

写真14 尺骨（推定）の状態（写真4の番号15、16）



大腿骨

写真15 大腿骨（推定）の状態（写真6の番号20、21、22）



写真16 右上顎の中切歯、側切歯の状態

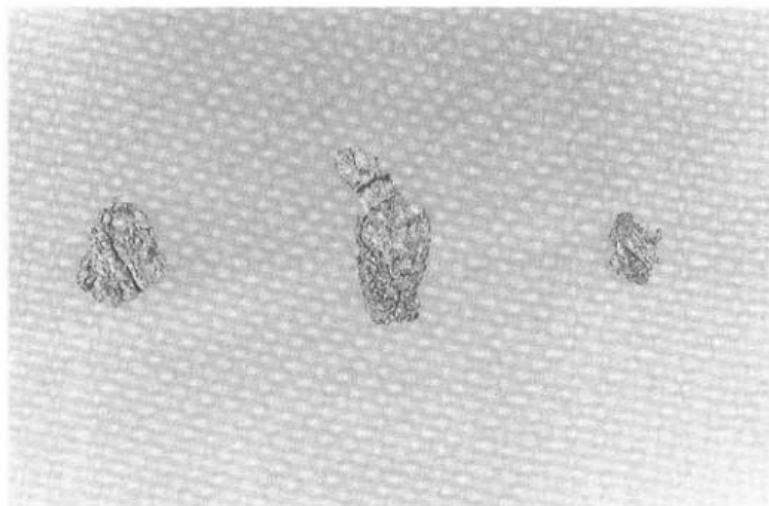


写真17 部位不明の試料（写真3の番号8、9、10）

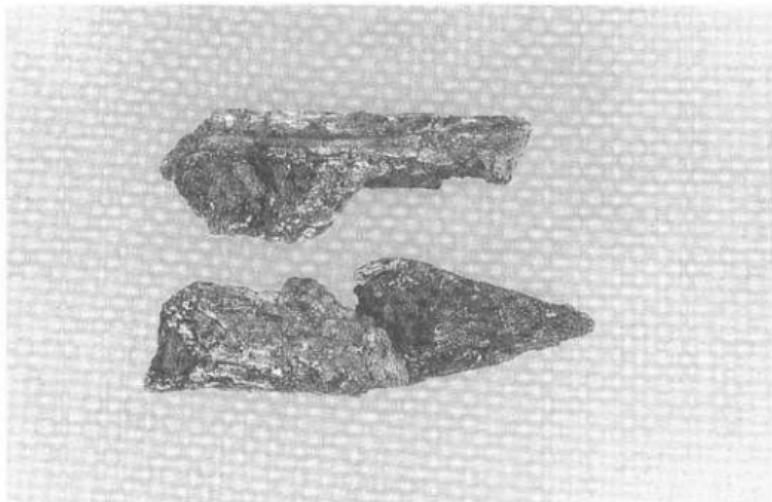


写真18 部位不明の試料（写真6の番号23）

(1) この遺物の報告はすでに「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第二十六箇 川津一ノ又
道跡」で行っているが、諸事情により、鑑定書を掲載できなかったため、本報告で掲載する。

意見書⁽¹⁾

目次

第一章 検査記録

第一 外観検査

第二 X線フィルム検査

第三 歯の萌出状態による年齢推定

第四 計測値による性別判定

第五 DNA分析による性別判定

第二章 説明

第三章 結論

添付写真一葉、附表一

第一章 検査記録

第一 外観検査

下顎骨は、五本の永久歯が認められる。歯冠の形態および歯の萌出状態から、左側第二小白歯、同第一大臼歯、右側第二小白歯、同第一大臼歯そして同第二大臼歯と思われる。歯はいずれも崩壊がみられ、歯冠部の形態がはっきり確認できるのは左側第二小白歯と同第一大臼歯の二本のみである。また、左側第二小白歯と同第一大臼歯は健全歯でう蝕および著明な着色などは認められないが、その他の三本は不明である。左側中切歯、同側切歯、同犬歯、同第一小白歯、同第二大臼歯、右側中切歯、同側切歯、同犬歯そして同第一小白歯の計九本の萌出部位には、歯冠は認められない。また、乳歯および左右第三大臼歯は認められない。

第二 X線フィルム検査

下顎骨は、神奈川歯科大学放射線学教室において、オルソバントモグラフィーによるX線撮影がおこなわれた。下顎の歯は五本で外観検査と同様の歯が認められた。歯根および顎骨は石灰化が著しく、未萌出歯、埋伏歯、過剰歯、さらに、根尖病巣をもつ歯など、確

認できなかった。

第三 歯の萌出状態による年齢推定

下顎骨に第二大臼歯が認められることから、十一歳以上と思われる。

第四 計測値による歯からの性別判定

下顎骨より、鑑識用の印象剤により印象を取り、石膏模型を作製し、最も歯冠の状態が保存されている左側第一大臼歯の歯冠幅（近遠心径）および歯冠厚を測定したところそれぞれ11.0, 10.5mmであった。これは1959年の権田の報告によると女性の計測値に近い値となっている（附表）。

第五 DNA分析による性別判定

歯のDNAは下顎左側第一大臼歯歯冠を機械的に粉末にし、蛋白分解酵素で完全に溶かした後、フェノール/クロロフォルム法でDNAを抽出した。DNAは分解が進行しており、分析法はDNAの特定領域を酵素的に増幅し分析可能な量まで増やすPCR法を選択した。

1. ヒト由来のDNAの確認

得られたDNAがヒト由来であることを確認するため、ヒト特異的な反復配列をもつAlu領域をPCRで増幅し、電気泳動でバンドを検出したところ、良好な増幅が認められた（写真）。

2. 性別判定

DNA分析による性別判定は、性染色体上に存在するアメロゲニン遺伝子の反復配列をPCR法により増幅し、電気泳動でバンドを検出したところ、一本のバンドが認められた（写真）。

第二章 説明

一. 歯

残存している臼歯五本は、歯冠の形態や萌出位置から、左側第二小白歯、同第一大臼歯、右側第二小白歯、同第一大臼歯そして同第二大臼歯の五本と思われる。しかし、永久歯のなかで最も早く萌出する、左側第一大臼歯の萌出位置が咬合平面よりかなり下方であるこ

とや、右側第二大臼歯の歯冠形態が異状であることなどから歯種を確実に決定することは困難であった。歯の認められない、九本の抜歯窩は、骨の状態が判定できないため、歯が生前に脱落あるいは死後変化によって脱落したか判定は不可能である。ただし、歯の萌出順序つまり、第一大臼歯、前歯、小白歯、第二大臼歯の順に萌出すること、また、あきらかに若年者であることを考慮すると、死後変化による脱落の可能性が高い。

二. 歯からの年齢推定および性別判定

年齢は歯の萌出状態からおこなった。一般に歯の萌出順序には規則性があり、下顎第二大臼歯はおよそ、11~13歳で萌出すると報告されている。また、性差は歯列弓の幅や歯冠の大きさなどから判定するが、試料は死後変化で歯の萌出状態が悪く、歯列弓の大きさでの判定は不可能であり、ほぼ原形をとどめている左側第一大臼歯の歯冠の大きさでおこなったところ、より女性に近いという結果を得た。

三. DNA分析

DNA分析は、ヒト由来であることを確認するためにAlu領域を、性別判定として、性染色体上に存在するアメロゲニン遺伝子を検出することでおこなった。

Aluおよびアメロゲニン遺伝子はPCR増幅後、電気泳動で判定した。その結果、Aluは良好な増幅を示しヒト由来のDNAであることを、アメロゲニンは一本のバンドを認めたことから女性のDNAであることをそれぞれ確認した。

第三章 結論

一. 歯の一般的所見

下顎骨に認められる五本の歯は、左側第二小白歯、同第一大臼歯、右側第二小白歯、同第一大臼歯そして同第二大臼歯と思われる。九本相当の歯の欠損原因は不明であるが死後脱落の可能性が高い。

一. 歯からの推定年齢

年齢は歯の萌出状態から、11~13歳と推定される。

一. 歯からの性別判定

下顎左側第一大臼歯の歯冠の大きさから、女性の可能性が高い。

一、DNA分析による性別判定

女性の可能性が高い。

写真の説明

レーン 1, 2

Alu : レーン 1 菊山来DNA

レーン 2 対照ヒトDNA

レーン 3, 4, 5

Amelogenin : レーン 3 菊山来DNA

レーン 4 対照女性DNA

レーン 5 対照男性DNA

レーン M 50bp ラグ・サイズマーカー

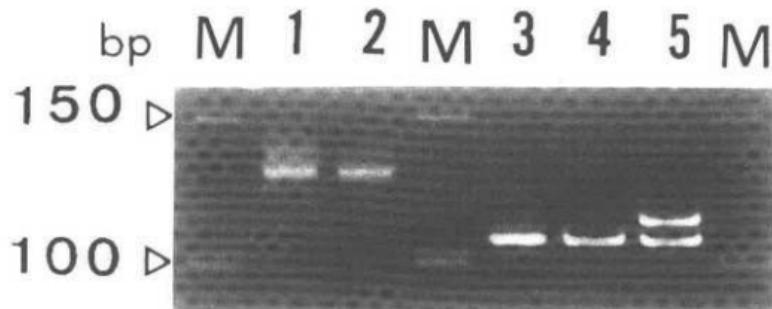


写真19 DNA分析

	歯種	冠長		冠幅		冠厚		根長		全長	
		男性	女性								
上顎	中切歯	11.39	10.99	8.67	8.55	7.35	7.28	12.04	11.42	23.65	22.52
	側切歯	9.87	9.45	7.13	7.05	6.62	6.51	12.26	11.67	22.39	21.29
	犬歯	10.44	9.91	7.94	7.71	8.52	8.13	16.19	14.27	25.92	24.39
	第一小白歯	8.38	8.10	7.38	7.37	9.54	9.43	12.11	11.67	20.66	19.90
	第二小白歯	7.63	7.37	7.02	6.94	9.41	9.23	13.26	12.34	21.01	19.80
	第一大臼歯	6.95	6.70	10.68	10.47	11.75	11.40	11.87	11.35	18.50	18.11
	第二大臼歯	7.16	6.73	9.91	9.74	11.85	11.31	11.89	11.56	19.04	18.28
	第三大臼歯	6.27	6.03	8.94	8.86	10.79	10.50	10.03	10.61	16.35	16.66
下顎	中切歯	8.57	8.56	5.48	5.47	5.88	5.77	11.46	10.55	20.06	19.50
	側切歯	9.00	8.65	6.20	6.11	6.43	6.30	12.28	11.72	21.43	20.63
	犬歯	10.10	9.59	7.07	6.68	8.14	7.50	14.11	13.26	24.51	22.99
	第一小白歯	8.24	8.09	7.31	7.19	8.06	7.77	13.01	12.40	21.42	20.60
	第二小白歯	7.69	7.40	7.42	7.29	8.53	8.26	13.19	12.49	20.92	20.04
	第一大臼歯	6.70	6.43	11.72	11.32	10.89	10.55	13.44	13.03	20.09	19.53
	第二大臼歯	6.47	6.20	11.30	10.89	10.53	10.26	13.39	12.72	19.65	18.81
	第三大臼歯	6.17	5.96	10.96	10.65	10.28	10.02	11.11	11.32	17.16	17.04

第18表 日本人歯の解剖学的計測値（単位：mm）（『白骨死体の鑑定』令文社1990から転載）

備考注

- (1) この意見書は、香川医科大学法医学教室から神奈川歯科大学法医歯科学教室の山田良弘氏にDNA鑑定を依頼して、その結果を山田氏から提出していただいたものである。

第5章 まとめ

第1節 川津一ノ又遺跡IV区の遺構の変遷 (第402~414図)

これまで述べてきたように、川津一ノ又遺跡IV区では堅穴住居跡31、掘立柱建物跡133、柵列7、ピット多数、土坑33、井戸1、溝約100、川跡1等を検出した。

第3章では、これらの遺構を大きな時期区分によって並べ、各遺構の性格・更に細かな所属時期を検討した。

この項では、その検討結果を基に、より細かな時期区分によって遺構を分け、時期単位の遺構説明を行い、更にそれを年代を追って眺めることにより、川津一ノ又遺跡IV区の集落の変遷を明らかにしたい。また、川津一ノ又遺跡IV区は川津一ノ又遺跡という集落の中心でもあることから、これまでに報告されたⅢ区・改修区の結果も参考にし、川津一ノ又遺跡としての視点からも隨時検討を行いたい。

弥生時代中期中葉

この時期以前では、Ⅲ区で旧石器及び縄文土器・弥生時代前期土器が出土している程度で、遺構は検出されていない。よって川津一ノ又遺跡での集落の成立は、この時期を始めてと考えることができる。

川津一ノ又遺跡IV区部分で、堅穴住居跡6、掘立柱建物跡1、土坑10、溝5、川跡1等を検出した。

川跡は遺跡南東から西へと巡る低地部で検出されているが、その他の遺構は微高地上で検出した。IV区中央を東西にSD059/100、SD098が抜け、ほとんどの堅穴住居跡・掘立柱建物跡がその溝の北に集まることから、これらの溝が集落の南を限るものであったと思われる。

堅穴住居跡は溝南に1軒孤立するSH21以外は、溝北でも特定の地点に集中する。この重なり具合から、中期中葉を古いSH30・31と新しいSH32・34の最低でも2つの小期に分けることが可能である。SH21も面積拡張による建て替えを2時期とみなせば、これに対応するものと見ることができなくもない。溝を境とする2つの堅穴住居跡群は構造によつても分かれ、北の群は四角に近い不整形で、主柱穴がなく、炉も持たない。一方、南

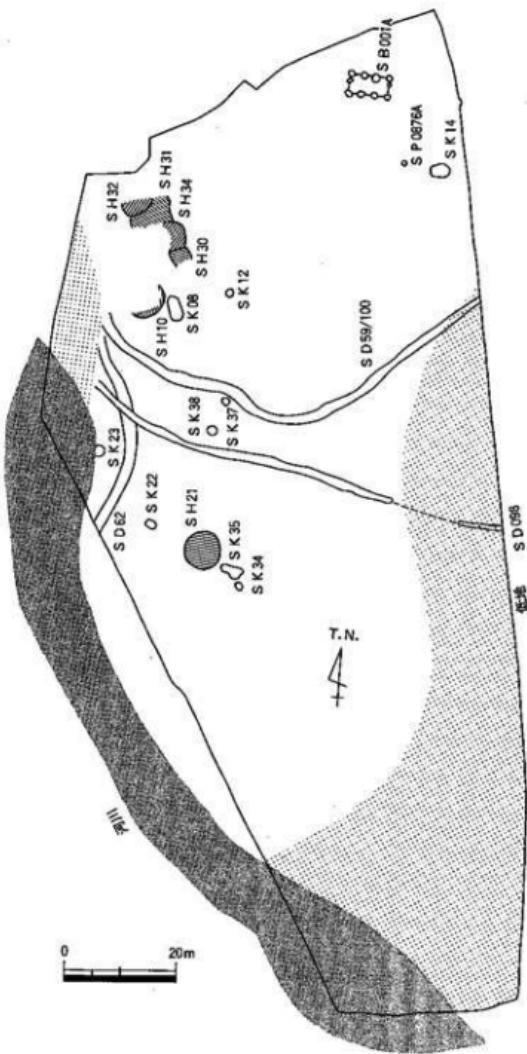
のS H21は円形で、6本の主柱穴の中央に円形の炉を持つ。これが集団の何らかの相違を反映しているものなのかどうかは、今後の検討課題である。

一方、溝もS D062を古、S D098を新とする2つの時期に分かれ、埋土からは、S D062を埋めることにより、S D098を作ったことが明らかである。S D059/100とS D098の関係は、両者を同時期のものと見れば、集落南境の溝が2重になっていたことになるが、S D098は埋め立て、S D059/100は自然埋没という違いから、S D062同様埋め立てた方を古いものと見ることもできる。これらの溝のうち、S D059/100は改修区S D21につながる可能性がある。改修区でもS D21の北で竪穴住居跡が検出されている。

この時期にはB区東部を南北に抜けるやや低い土地があり、ここに同時期の土器が多く捨てられていた。またS D062西の低地でも同様のことが行われている。

以上、東西南北を低地或いは川によって囲まれた微高地という地形は、その中に営まれた竪穴住居跡群を単位集団と見ざるを得ない状況を作り出している。よって、微高地中央を南北に分ける溝より北では、この溝（一種の環濠）によって更に囲まれた2、3棟の竪穴住居跡と倉庫である掘立柱建物跡1棟という単位集団が、2小期間継続したことになる。更に言えば、S H10とS H31が異なる時期のものであるなら、やや大きめの竪穴住居跡1棟と小型の竪穴住居跡1、2棟という構成で継続する可能性もある。2種の竪穴住居跡は、面積以外に特徴的な違いは現れず、この集団のリーダーの家といった役割が考えられる。S D059/100が改修区S D21につながる可能性を上述のように指摘したが、もしそうであるなら、70mほど離れた地点に別の単位集団が存在し、共通する溝は両者が同じ生産集団に属することを示していることになる。両単位集団のちょうど中間に位置するS B001Aは、生産集団の倉庫である可能性も出てくる。

なお、この時期の集落は短期間で消滅し、この後IV区や改修区で後期前半～中葉の遺構がまばらに見られるものの、川津一ノ又遺跡で集落の繁栄が認められるのは、弥生時代終末期を待たねばならない。中期集落の消滅については、何ら根拠がないとはいえる、S R01から可能性の一つを読みとてみたい。即ちS R01において認められた大木をも押し流すような激流を引き起こした集中豪雨により、集落自体が大損害を受けたと同時に、集落の生活を支えていた耕地や自然を破壊した結果、他の土地への移住を余儀なくされたのではないか。この直後の時期の遺跡との関わりの中で考えていく必要がある。



第402図 遺構変遷図(1)（赤生時代中期）（S = 1 /1000）

弥生時代終末期

川津・ノ又遺跡IV区部分で、竪穴住居跡17、土坑3、井戸1、溝13等を検出した。この時期の遺構は改修区では溝や土坑がわずかに検出され、III区ではIV区と同じ集落の北半分が検出されている。集落の北と西には川の名残の低地があり、これらの低地にやはり大量の土器が捨てられていた。竪穴住居跡群は、III区とIV区をまたいで北の低地と西の低地をつなぐ溝の西に偏っている。これは竪穴住居と溝が強い関係にあることを示し、この点については既にIII区の報告において、溝から派生する小溝が竪穴住居跡とつながり、一種の排水溝的な役割を果たしていたことが明らかにされている。

ここで改めて、各遺構を遺構・遺物の項で述べた細かな時期単位で分けてみると、

A. 後期前半；SH13

終末期-1；SH09, SH22, SH23, SH24, SH26, SH27, SH29, SH33,
SK09, SE01, SD097/113, SD112

終末期-1～2；SH25, SK21, SD001F, SD030, SD094, SD099, SD115

終末期-2；SH06, SH07, SH08, SH18, SH20

となる。

次に遺構の重なり具合から明らかになった新旧関係は、

B. SH27→SD030→SH07→SH06・SH08・SH18

SH22→SH07

SH13→SH06

SH17→SH16

SH29→SH33

である。ここまで、AとBに矛盾はない。

次に、

C. SD030から派生するSD115がSH22の下につながる状況は、III区でSD03(IV区SH030)から派生するSD08がSH02の下につながる状況と同一のものであることから、これらを同時期のものと見なせる。よって、Bの第1項は

SH27→SH22・SD030→SH07→SH06・SH08・SH18

と追加できる。

更に、

D. Aより、遺構全体が、終末期-1～2という実年代でも数十年以内の短い時間軸に集

中することから、このBの第1項で明らかな4つの小期以上に時期を細分することは不可能という前提に立ち、Bの第1項の土器とその他の遺構の土器を比較して、その他の遺構も、後期前半を含めて5小期のいずれかに分けてみた。その結果、

①S H13

↓

②S H09・(S H24)・S H27・S H29・【S H06・S H07・S H08】

↓

③S H17・S H22・S H23・S H25・S H33・S E01・S D001F・S D030・S D115・(S D097/113・S D112)・【S H01・S H02・S H04・S H05・S H10・S B05・S D03・S D08・S D12】

↓

④S H07・S H28・(S H16)・S H20・(S H24)・S H26・(S D097/113・S D112)・【S H05】

↓

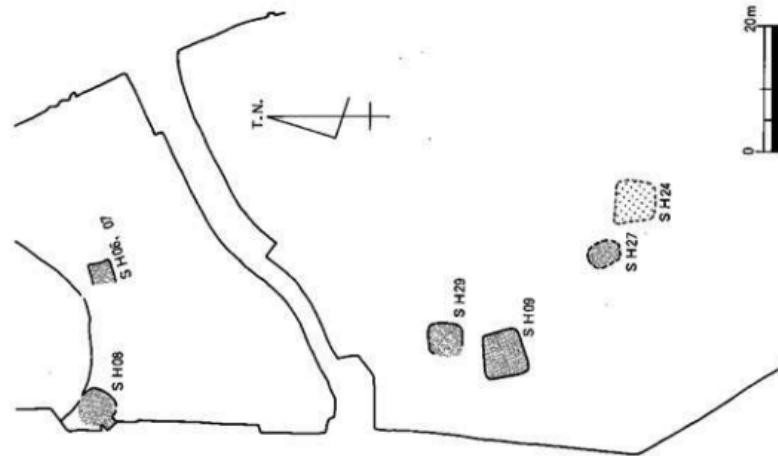
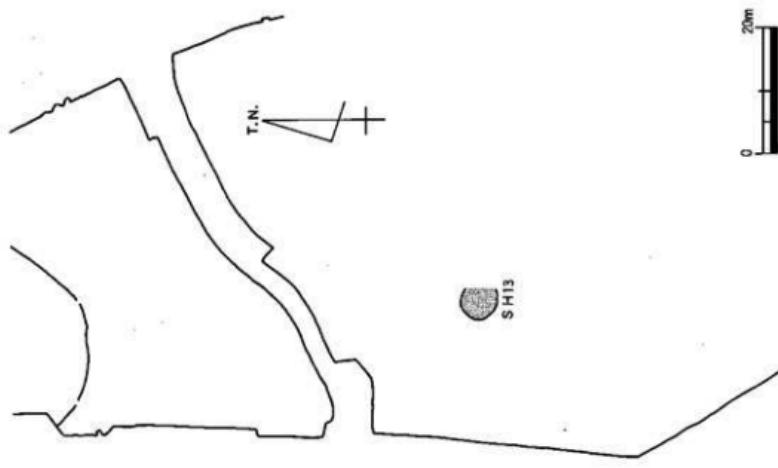
⑤S H06・(S H16)・S H08・S H18・【S H05】

(S H16はS H17との関係から、④か⑤期と考えた。S H24は③期の土器相に近いが、S H23と近すぎるから、前後の時期のものとした。S D097/113・S D112は、③期と④期の土器相を併せ持つことから、両期にまたがると考えた。【】内はⅢ区の遺構で、S H05は③期か④期か⑤期に属する。)

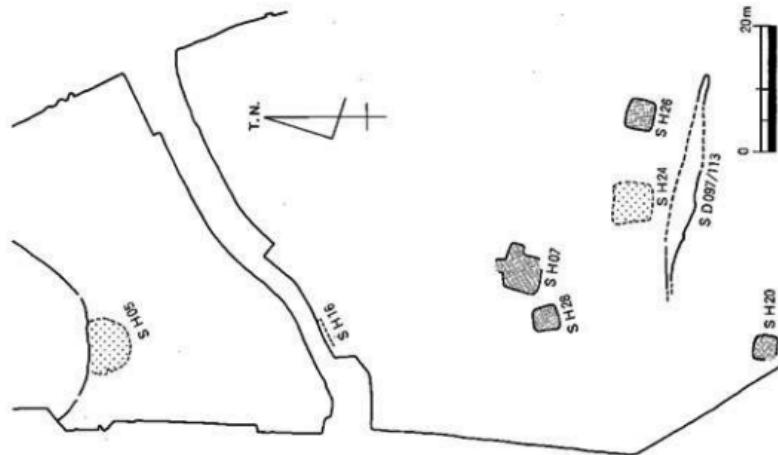
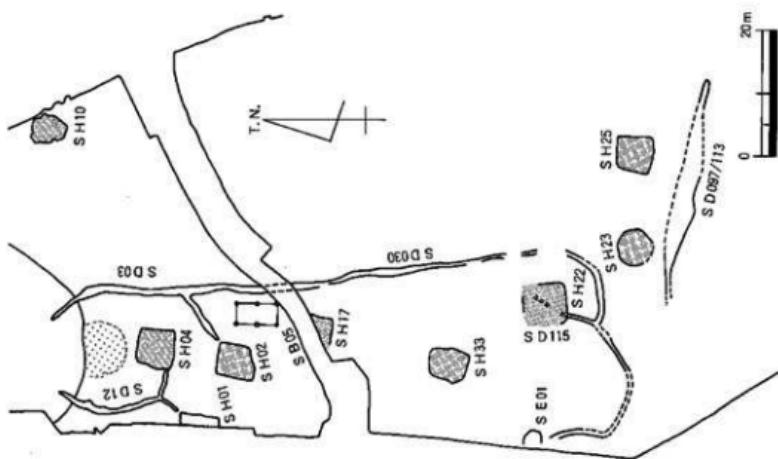
という結論を出した。

以下、Ⅲ区を含め、集落中心部の変遷をたどれば、①期の後期前半に竪穴住居跡が1棟のみ単独で現れる。S H13からは、朱の使用に関わることが指摘されている取手付広片口皿が出土している。朱の使用をこのような1軒のみの住居の人々が行いうるものとは考えにくいとすれば、他の竪穴住居跡が未検出なのか、あるいはS H13の時期判断が間違っている、終末期の朱製造に関わる竪穴住居跡と考えた方がよいのかもしれない。

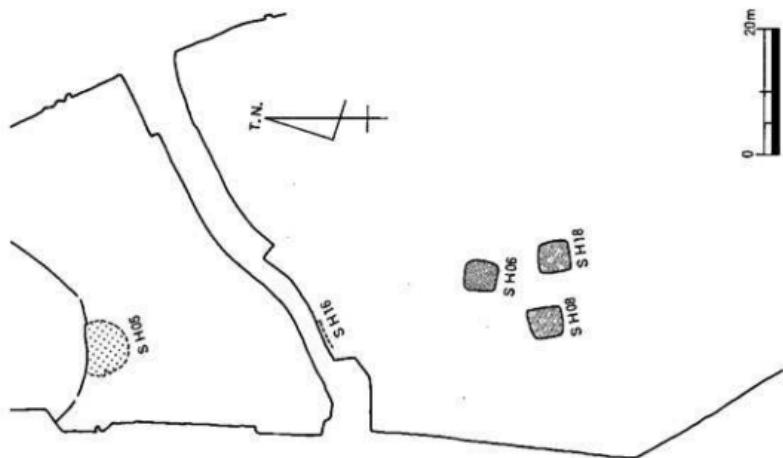
次に遺構が認められるのは終末期であり、②期に5、6棟の竪穴住居跡が認められる。弥生時代後期における川津ノ又遺跡への定住は、この期に本格的に開始されたということになる。竪穴住居跡群は南北100mの間に点在し、南北2つの群に分かれる。南群ではS H09が面積50m²で、他の竪穴住居跡の30m²より大きいが、それ以外には違いは認められず、ここでもこの集団内のリーダーの住居と考えておきたい。北群ではⅢ区S H08がそれ



第403図 遺構変遷図(2) (弥生時代後期①・②) ($S = 1/1000$)



第404図 遺構変遷図(3) (弥生時代後期③・④) (S = 1/1000)



第405図 遺構変遷図(4) (弥生時代後期⑤) ($S = 1/1000$)

に該当する。その他の遺構は様相が不明であり、中期同様限定された微高地という状況の中で、2つの群を1つの単位集団と見なしうるのか、住居規模の関係から異なる単位集団とすべきか判断できない。

②期から③期にかけて集落は順調に発展する。②期に竪穴住居が建てられていた地点では、同じ地点に建てられた③期の竪穴住居を囲むために溝を巡らす。この溝は一種の環濠ではあるが、規模は小さく、またこの溝の外にも同時期の竪穴住居が存在することから、防御的な性格が薄い。まさに排水を第1目的としたものと考えられる。各竪穴住居にはこの溝から派生した溝がつながり、排水機能を高めている。南西隅には井戸が1基設けられ、集落の共同井戸としての役割を果たしている。ただし井戸の立地は、集落の端というよりは、湧水点までの掘削深度が相対的に浅い低地寄りの標高の低い地点を選んだものと思われる。埋没がこの期であり、②期から機能していた可能性もある。中央北寄りには掘立柱建物が1棟存在する。弥生時代の研究成果から、これはこの集落の共同の高床倉庫であったと考えられる。この囲い溝の外には、より北と南に、あたかも集落の範囲が広がるかのように竪穴住居が建てられる。南の群はその更に南に、囲まないとはいって、この時期の集

落の境を示すかのように竪穴住居群と方向を以て、溝が掘削されている。この時期に同時存在した竪穴住居を9棟と復元したが、1つの単位集団とするにはやや多い。溝を境に2つの単位集団として、集団の増加ととらえるのか（この場合、②期も1つの単位集団ということになる）、更にそれ以上の単位集団ととらえるのか、或いは稀ではあるが1単位なのか、遺構・遺物からも判断できない。SH22は他の住居より大きく、SH09の建て替えの可能性が高いが、②期ほど他の竪穴住居との顕著な違いは見せない。改修区ではこの時期まで下る可能性も残る竪穴住居跡が検出されており、中期同様70mほど離れた地点に別の単位集団が存在している。

④期と判断した遺構は少ない。とはいえ、③期と同じ地点に遺構が作られており、集落としての継続は認められる。SD030は埋没したとはいえ、SD097/112は継続して使用されている。リーダーの家と考えたSH22の後に建てられたSH28はこの時期には規模が小さい。この時期で大きいのはⅢ区SH05と、2方向に張り出しを持つSH07である。ここまで見えてくると、SH07とSH28の関係はともかく、規模の大きな竪穴住居跡が検出される地点は、③期に溝に囲まれた中の南北両端に集中することがわかる。これは、この2ヶ所の竪穴住居が、建て替えられながらもリーダーの家であり続けたことを示している。朱付着土器が出土する遺構はSH24・26のみであり、大がかりな使用は③期という限られた期間だけであったらしい。

⑤期には更に遺構は減少する。同規模で、構造も似た竪穴住居跡が3棟狭い範囲にまとまる。SH06のみから朱付着土器が出土している。

⑥期を最後に、川津一ノ又遺跡では再び遺構が一齊に見られなくなる。次節で述べるように、これは地域の動きと一致している。

古墳時代後期から平安時代

この時期の遺構として、竪穴住居跡7、掘立柱建物跡127、柵列7、土坑17、溝54、畠状遺構2、「大畦畔」等を検出した。Ⅲ区、改修区でも検出している。検出密度から、Ⅲ区はⅣ区を中心とする集落の縁辺部となる。弥生時代終末から400年の間に微高地周辺は埋没が進み、Ⅳ区南1/3を除いたほぼ全域に居住可能部分が広がり、Ⅲ区を含め南北140mの範囲に掘立柱建物跡が展開している。

とはいえ上記の遺構も、それぞれは存続期間が限られ、全体の時期を更に小期に分けることにより、空間内での遺構の変遷を追うことができる。遺構の時期を判断する場合、そ

の中心を占める掘立柱建物跡は通常柱穴からのみ遺物が出土し、しかも少量のそれらの遺物が掘立柱建物跡の時期を必ずしも示すものではない。そこで、方法として、まず遺構の重なりにより遺構同士の前後関係を明らかにした。次に遺物の量などから時期が明らかな遺構を押さえ、そこからその他の遺構の時期を限定した。更に溝であれば、現在の地割りに近い方位を取るものとそうでないものが分類基準となり、掘立柱建物跡であれば、主軸方位が似るかどうか、建物間の柱列が揃うかどうか、柱間の距離が建物間で類似性があるかどうかなども検討基準とした。既にⅢ区では同じ時期には建物の主軸方位がほぼ揃うという結果も出ている。遺構個々の検討結果は、それぞれの項で述べているので、ここでは、遺構同士のつながりを検討しながら、時期単位での遺構の変遷を述べていくことにする。ただし、掘立柱建物跡では、柱穴出土遺物より方位の類似性を優先したため、その多くで柱穴出土遺物が直接の時期を示さないという結論に至ってしまった。この点、資料操作が恣意的で、何を優先するかで掘立柱建物跡の時期が一変するとの批判はあろうし、時期判断に問題を含む遺構が存在することは認めざるを得ない。しかしその上で、集落全体の流れは把握できたものと考えている。

最後に遺構群に与えた時期は、出土遺物を参考にしながらも、100年単位で区切った場合、その内で掘立柱建物が矛盾なく共存しうるためには、最低3小期に分ける必要があったことによる。従って、1つの掘立柱建物の存続時期が更に短いとすれば、4小期以上に分かれるであろうし、その場合は共存した掘立柱建物の数は更に少なくなる。

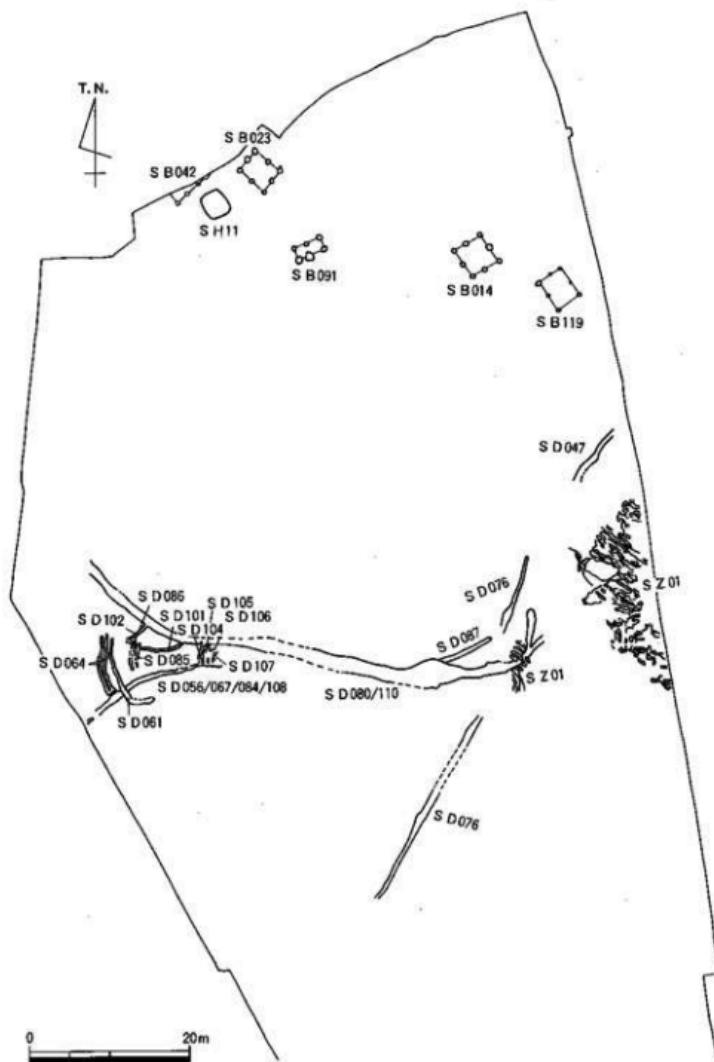
以下、①期～⑧期に分けた。

①期（7世紀前葉）

IV区部分で古代の遺構が認められるのがこの時期からである。それ以前、6世紀代の遺構はⅢ区で竪穴住居跡が1棟検出されており、北の川跡からも同時期の土器が出土している。

この時期の遺構は北に住居群、南の調査域中央に溝群や窓が認められる。住居群は位置関係から3群に分かれる。Ⅲ区との境にSH11・SB023・SB042、その南東に小型のSB091が1棟単独で、東にSB014・SB119が位置する。掘立柱建物跡は2間×2間が主体で、面積は15m²前後である。主軸方位は群毎にしかまとまりが見られない。Ⅲ区の1群と方位の共通するものも見られない。

南の遺構群中、SD080/110は、その後の溝群の重複により、全体像がはっきり掴めない。



第406図 遺構変遷図(5) (古代①) ($S = 1/700$)

東西の端が存在しないのだとすれば、水路というよりは、弥生時代中期に見たように集落境の溝としての評価しか与えられないであろうし、東西ともその周間に畑があることを強調すれば、畑⁽¹⁾近くまで水を運ぶような小水路とも考えうる。もう一つ平面的に同じ溝とも見える S D 076・047が存在する。S D 080/110との関係は明らかでないが、共存しない可能性が高い。S D 076の役割も把握しにくい。

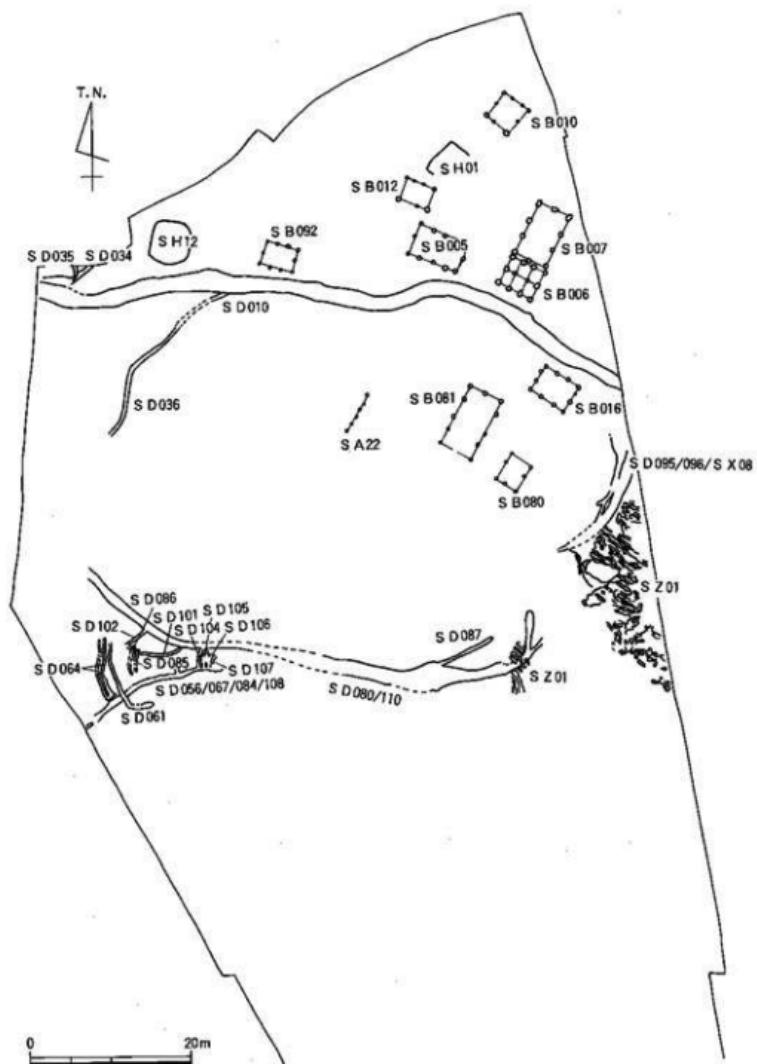
②期（7世紀中葉）

遺構数は増加する。北側は S D 010が新たに掘削され、それと方位を揃えながら、溝の両岸に建物群が建てられる。S H 12は S H 11の建て替えの可能性がある。S B 092は S B 091の建て替えであろうし、S H 12と同一群の可能性も残る。その東の群は竪穴住居跡1棟と掘立柱建物跡5棟からなる。総柱建物跡1棟を含み、全体的に面積も前代より広くなっている。溝の南には掘立柱建物跡3棟が並んでいる。S B 081は S B 007と、S B 016は S B 005と、S B 080は S B 012と面積がほぼ等しい。同様な建物の役割分担が考えられるのであろうか。主軸方位は群毎に揃い、N72°W、N65°W、N35°Wとなる。いずれも①期とは異なり、またⅢ区の1群とも異なる。

南は①期と同様の遺構が存続する。S D 095/096/S X 08は S D 047に代わる溝であろう。畑の耕作には、ウシやウマが利用されていたと思われる。ウマの蹄の跡と思われるような窟みも畠溝状の痕跡に混じって少数検出しており、S D 010出土の獸骨もこれを裏付ける。更にⅢ区北の川跡で検出された水田でも、下川津遺跡で出土したような犁(くわ)をウシやウマに引かせた作業が行われたであろう。

S D 010は S D 080/110に比べ、幅・深さとも大きく、また明らかに東西とも調査域外に延長する。東は改修区 S D 15とつながると見られる。恐らく基幹水路として掘削されたものであろう。しかし、この溝は短期間で埋め戻される。大量に出土した土師器の年代からいえば、7世紀第2四半期という年代が与えられる。出土した須恵器・土師器は完形品も多く含み、取えて捨てられた状況を示している。また、ウシやウマの骨も出土している。これらは5世紀以来、乗馬の風習あるいは農業技術の革新に伴って、徐々に導入されつつあった家畜であり、この時期にあっても一般集落では貴重であったことが、知られている。

(1) S Z 01が畑であったかどうか、あるいは何が栽培されていたかは、その付近より採取した試料により行った第4章第1節の分析の最後に、編注として少し考えを述べている。この分析はB区東半分のこの後の土地利用にも深く関わる問題を提起している。



第407図 遺構変遷図(6)（古代②）（S = 1 /700）

S D010出土のウシやウマは食用に供されたようで、解体痕が多数認められる。合計数頭分が数えられ、貴重なウシやウマを日常的に食したものでないとすれば、集落の構成員全員がこれだけの量の肉食に関わる必要性があったと思われる。とすれば使用可能な土器を大量に捨て、その上で基幹水路を埋め戻すという大きな行事と密接に結びついていたことは間違いない。

もう一つS D010で重要なことは、捨てられていた多量の土師器が「畿内産土師器」と酷似することである。これについては貴重な分析が既になされており、本報告でも以下の第4節であらためて取り上げている。供膳具ばかりではなく、日常用器である煮沸具までも畿内の煮沸具と似ているという事実は、ここに畿内からの人間集団の移動を考えざるを得ない。恐らくこれによって畿内と同じ土師器を作ることが当然であったであろうし、畜耕という最新技術をこの当時に持ち得たのであろう。

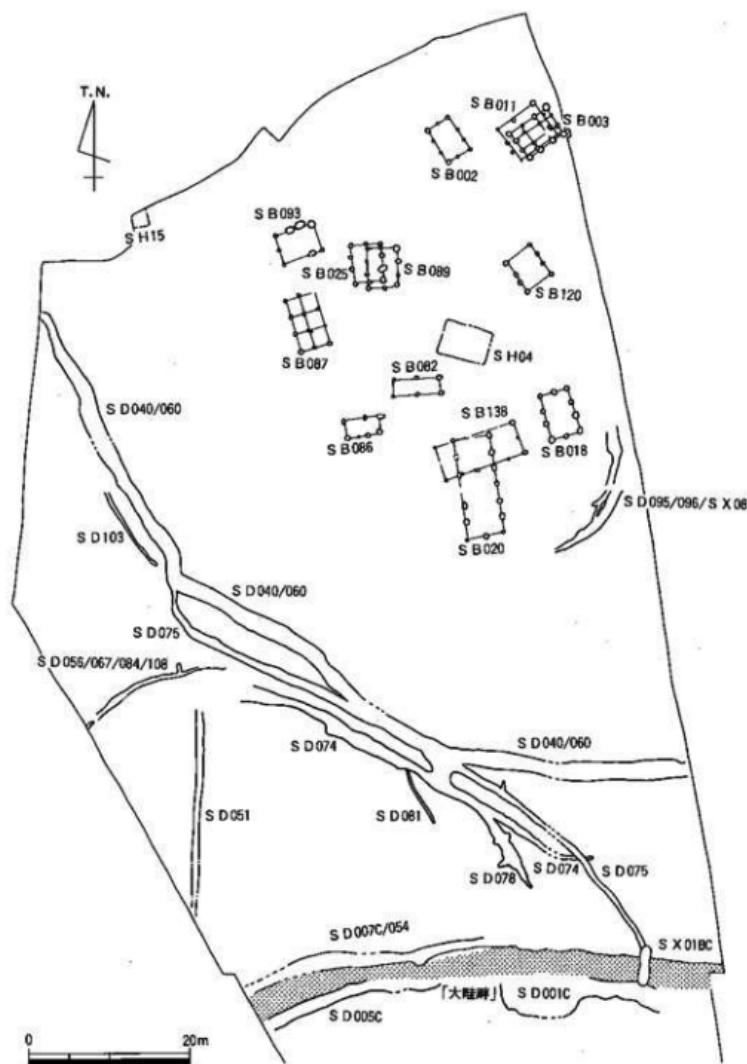
③期（7世紀後葉）

調査域南部の溝の大幅な付け替えが行われる。S D040/060は埋め立てたS D010の代わりに掘削された基幹水路で、より南に水を流すようになっている。この時期改修区にはS D41が存在し、②期にあたる7世紀前半のS D44及びS D45からの付け替えが認められる。これらの溝は東から西に水を流す構造になっており、IV区と改修区の間の未調査域に東西から水を集め結果になる。その水を利用するための生産域が広がるのかどうか、今後調査が行われる際には、注目される。

この他、S D040/060からは南にS D051、南東にS D075が分流する。S D075を伝った水は「大畦畔」を横切るSX01BCを通して南の低地に流れ込む。「大畦畔」の設置が溝の付け替えと同時であることは、その南に「大畦畔」と水路を伝う水を必要とするものが新たに作られたことを意味する。痕跡としては残されていないが、恐らくそこには水田が形成されたのではないだろうか。調査域外にはなるが、S D051もS D040/060もその南は、「大畦畔」を横切る木樋を通して、水田に水が導かれたと考えておきたい。

畑に伴うS D056/067/084/108は、この時代にも継続しており、新たに宅地化される9世紀まで、畑もまた営まれていた可能性は残る。

一方、北側では建物群が4群に分かれる、Ⅲ区との境のS H15はⅣ区内で他に伴う建物が認められない。他の建物群と異なり、建物群として大きくなりえず、この時期を最後に消えてしまう。その東のS B025・087・089・093は総柱建物を1棟持つ。北東のS B002・003・011・120も総柱建物を1棟持つ。南部のS H04・S B018・020・082・086・138は



第408図 遺構変遷図(7) (古代③) ($S = 1/700$)

東西に長い棟が多く、SB020は面積50m²以上で最大の建物である。SH15以外の3群はその中に建て替えの建物を含む。これを2時期に分けるなら、②期をSD010から7世紀第2四半期とし、①期を第1四半期、③期を第3・4四半期とする方がよいのかもしれない。この時期も群単位でしか主軸方位は揃わない。

④期（8世紀前葉）

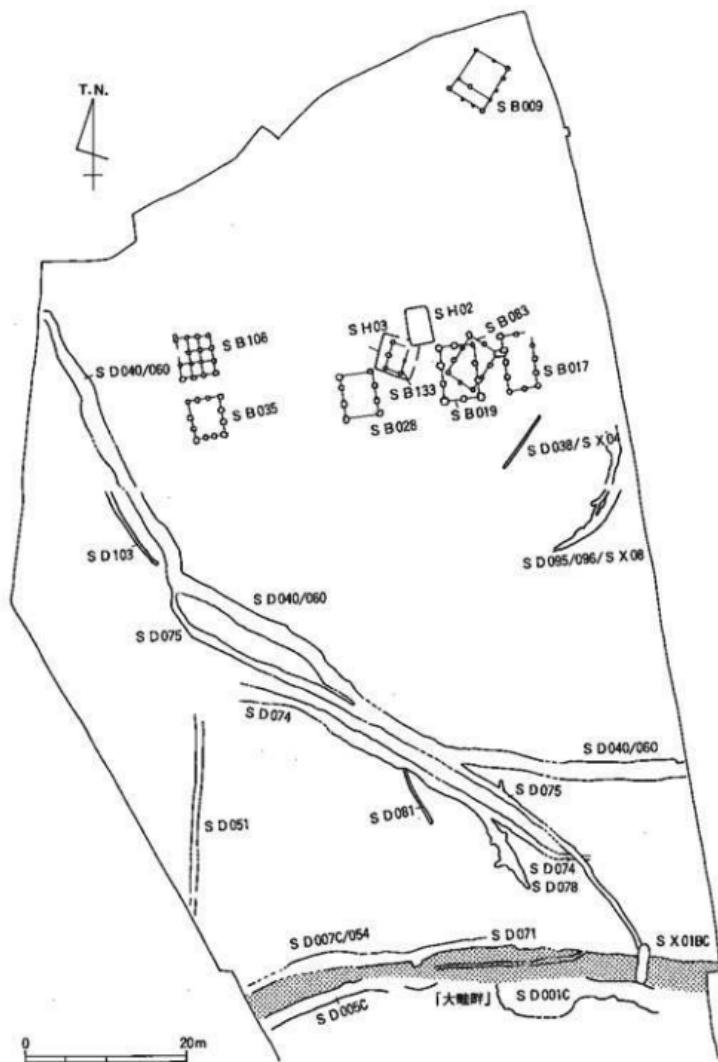
調査域南部では、この時期にSD040/060等が自然埋没する。⑤期には建物群1つという人口減を思わせる現象が、基幹水路を維持できないという事態に結びつくのであろうか。或いはⅢ区北部の川跡の水田の形成による調査域外南部の水田からの撤退を示すのか、基幹水路が再び付け替えられたのか、様々な理由が考えられる。森下英治氏は丸亀平野における条里地割の施行を7世紀末～8世紀初頭であろうと考えており^{①)}、同じ丸亀平野の東端部に属する川津一ノ又遺跡でも、何らかの土地改革が行われたのであろうか。

一方、北の建物群はこの時期から群単位での消長が活発になる。Ⅲ区との境にあった群は消滅し、その南に新たにSB035・106が出現する。面積20m²前後で側柱建物と総柱建物が1棟ずつで構成される。SH15の東にあったSB025等の群も消滅する。北東の群もSB009のみとなる。総じて、次の南東群以外はこの期を最後に消滅してしまう。③期に最大群であった南東群は、この期も建物数が多い。建て替えを考慮すると、恐らくSH03・SB083とSB017・019・028・133に分かれ、後者はSB035とも主軸方位(N07°W)が揃う。堅穴住居跡はこの時期まで存続するが、SH02は規模からいって住居以外の用途が考えられる。改修区でも同時期の堅穴住居跡SH05が検出されている。こちらも面積10m²で住居とはいえない。実質的には堅穴住居は7世紀に役割を終えたと見てよいであろう。県内では8世紀に下る堅穴住居跡は他に検出されていないことから、これは地域的な動きと見られる。

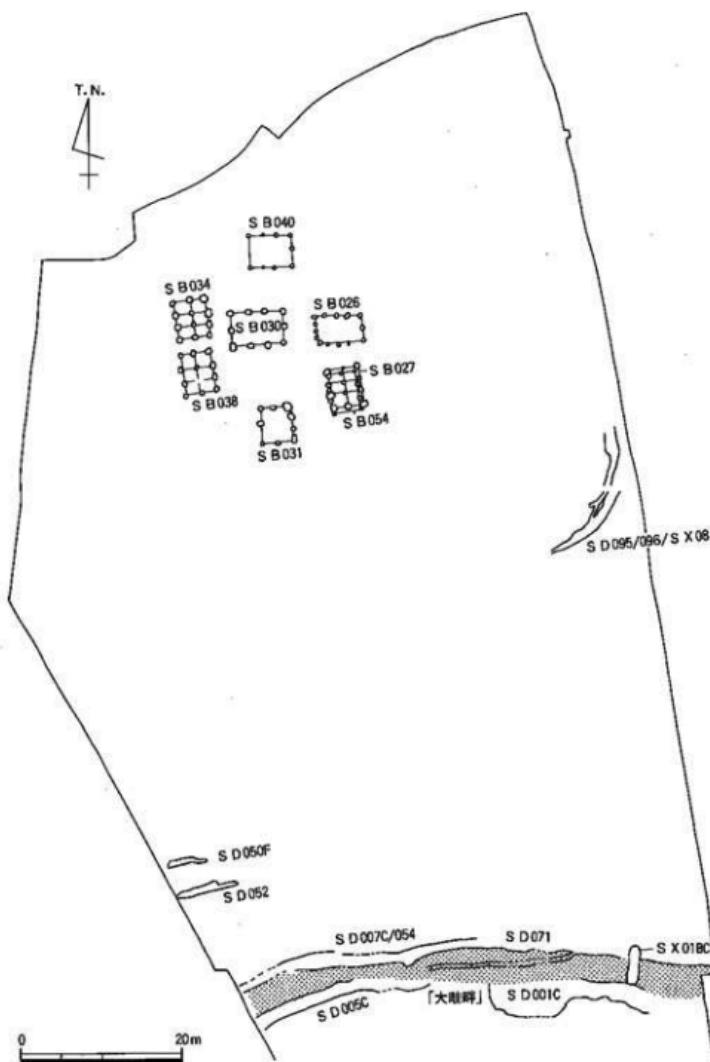
⑤期（8世紀中葉）

④期まで建物群として大きかった南東群は、この期に消滅する。唯一の群となったSB026・027・030・031・034・038・040・054は、④期より極端に建物数が増加し、中央に側柱建物、東西に総柱建物という構成をとる。主軸方位は真北～N08°Wで揃う。南西のSB027・054は④期の南東群のSB028とはば重なり、南東群はあるいは吸収されてしまったとも考えられる。

(1) 森下英治 1997『丸亀平野条里型地割の考古学的検討』『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要V』財団法人香川県埋蔵文化財調査センター



第409図 遺構変遷図(8) (古代④) (S = 1 / 700)



第410図 遺構変遷図(9)（古代⑤）（S = 1 / 700）

調査域南部では、S D040/060等の埋没後も「大畦畔」はその痕跡が残り、継続して何らかの利用がなされたようである。

⑥期（8世紀後葉）

唯一の建物群は主軸方位をN12°Wへと少し変える。30m²のS B033を中心として、大小の総柱建物を配し、西には西庇のS B036が建つ。

南では「大畦畔」の北にS D053/070が掘削され、「大畦畔」の維持が意図されているようである。

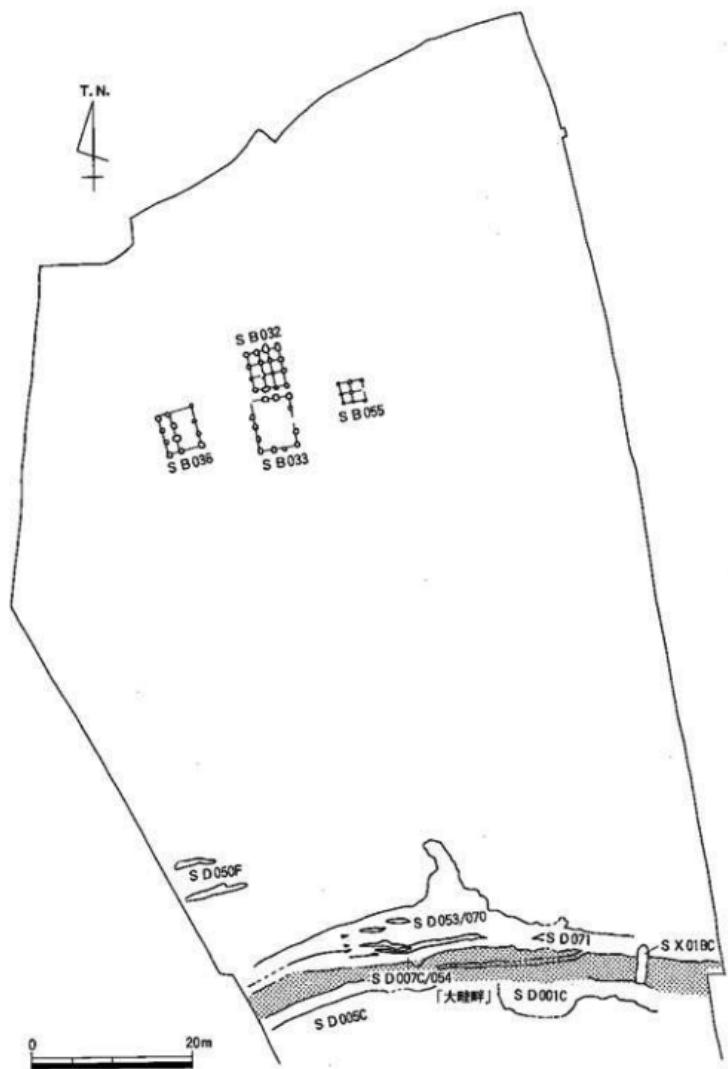
⑦期（9世紀前半）

調査域北部では、⑥期までの建物群は消滅し、その北東部に新たに3棟以下の建物群が出現する。面積はS B004が27m²と割合広いが、倉となる総柱建物跡は存在しない。

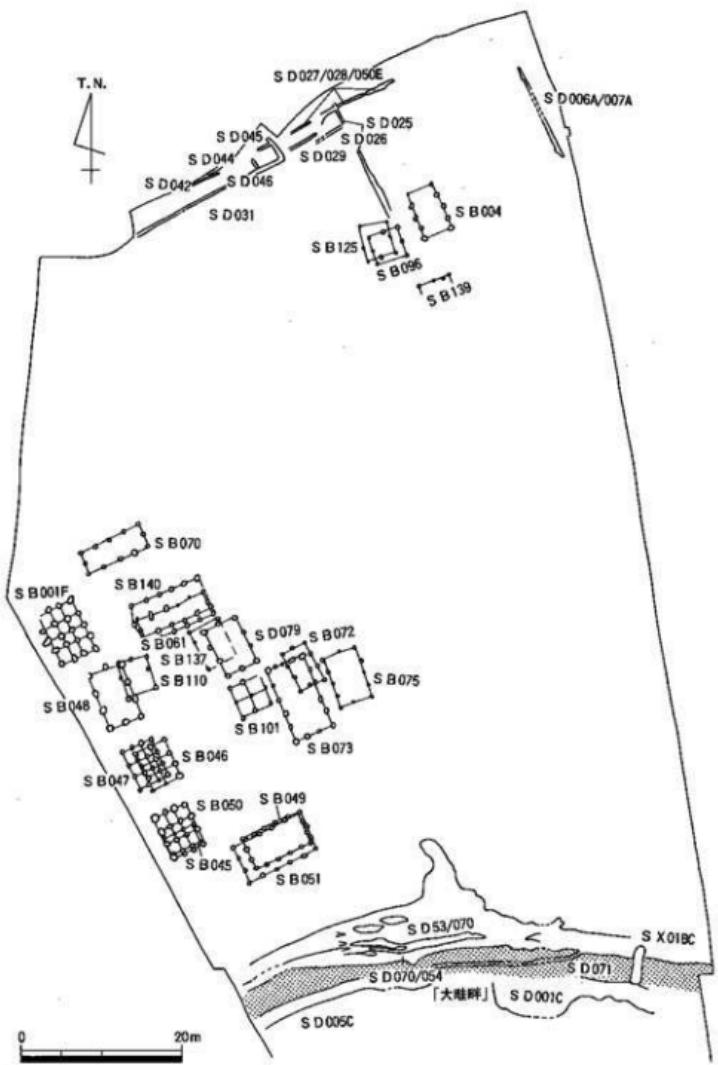
一方、南部では溝群の埋没という結果により、居住域としての利用が可能となり、しかもこちらが中心となるかのような多くの棟が整然と配置された建物群が出現する。西辺には総柱建物を含む3棟が並び、その両端から東に長方形の大型の建物を同規模で建て、東辺もS B079・101が並び、またS B047に対置してS B073が存在する。その南に空間があり、ここが建物群内の敷地への入り口であろう。この長方形配置の外側にはS B001FやS B070などが更に建てられている。建物群は建て替えにより2時期に分かれるが、それでも1時期当たりの建物数は10棟前後を数える。

このような大規模建物群の出現を、⑥期以前の建物群に求めてよいのかどうかわからないものの、川津一ノ又遺跡の古代集落の展開の中で一つの転換点と見ることはできよう。S B049からは帶金具片も出土しており、畿内中央権力とのつながりを考えることはできるが、Ⅲ区で奈良時代の墨書き器片がわずかに出土した程度であり、この時期の墨書き器・硯あるいは壺串等の祭祀遺物の出土が皆無なことから、官衙的な建物とは考えにくい。とりあえず有力者の居宅とのみ判断しておく。

調査域北端部では、この時期から直線の溝が縦横に交差するように掘削されている。これらの溝も建物群と同じN28°Wを軸にしており、当地の現在に残る条里地割の方向とはほぼ一致する。少なくとも9世紀前半には、条里地割の施行が及んでいたと判断できる。ただし川津一ノ又遺跡全体を見ると、この時期の条里地割の溝はⅣ区北端部でしか見つかっていない。規模が小さいことから削平されたと見ることもできる。S D027/028/50EやS D026・031は中世以来現在まで残りⅢ区とⅣ区の境としても利用された坪界の基幹水路のすぐ脇に平行することから、小さいとはいえ当初に設計された坪界溝である可能性を考えたい。



第411図 遺構変遷図(10) (古代⑥) ($S = 1/700$)



第412図 遺構変遷図(1) (古代⑦) (S = 1 /700)

同様に S D006A/007Aは、南北の坪界溝のある S D001A・002Aの西に接している。ちなみに S D006A/007Aと S D025間の距離は1町(109m)の2割に近似する。

条里地割が及んだとはい、南の「大畦畔」は、出土遺物から見て、この時期にも存在を続ける。北の坪界から1町の地点と「大畦畔」が交錯し、坪界の役割を与えられていた可能性もある。これより南には地形が傾斜しており、ここが条里地割の及びうる南限であったことは、現在の地割りを見ても明らかである。

以上の建物群・溝の検討及びⅢ区3調査区のこの時期の遺構の状況から、一坪の中に有力者の居宅が建てられ、北東隅にそれに従う層の人の住居があるといった状況を復元できる。

⑥期（9世紀後半～10世紀前半）

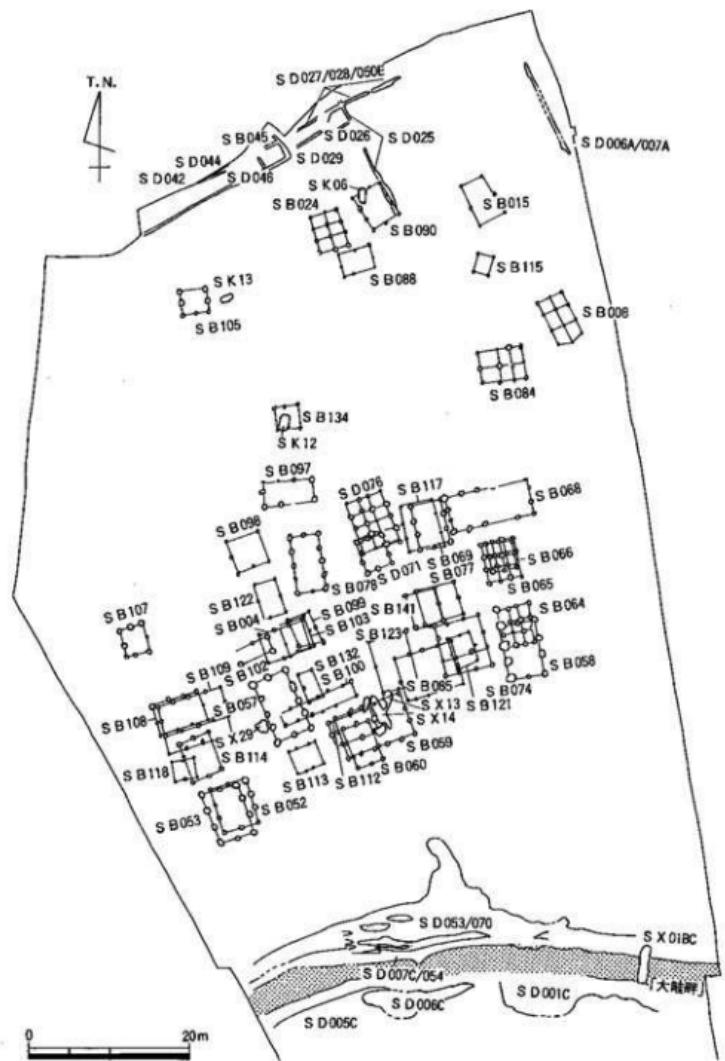
溝や「大畦畔」に変動はないが、有力者の居宅は消え、「大畦畔」より北の調査域全域に掘立柱建物跡が検出される。この時期だけで46棟を数える。ただし、主軸方位から見ると3～4期に細分できる。建物の重なりからでも最低3期には分かれ、しかも同じ方位のものが重なったりと、細分をより複雑なものにしている。結果的に建物間の前後関係まで明らかにし得なかったが、主軸方位ではN9°W, N14～20°W, N28°Wに分かれる。

N9°Wは6棟あり、SB078・097・134が1群を構成する。N28°Wは条里地割に沿っているが3棟しかなく、地割溝のある北西隅に面する(SB008・015・090)。残りの殆どはN14～20°Wであり、位置的にもこの時期の中心を占める。小群を構成する可能性が高いのは、SB068・066(065)・064(058)・074・123・117, SB085・141, SB098・122, SB057・059・132・113, SB052・109, SB108・114・053等であり、いずれも⑦期のような大規模な建物群は構成しない。

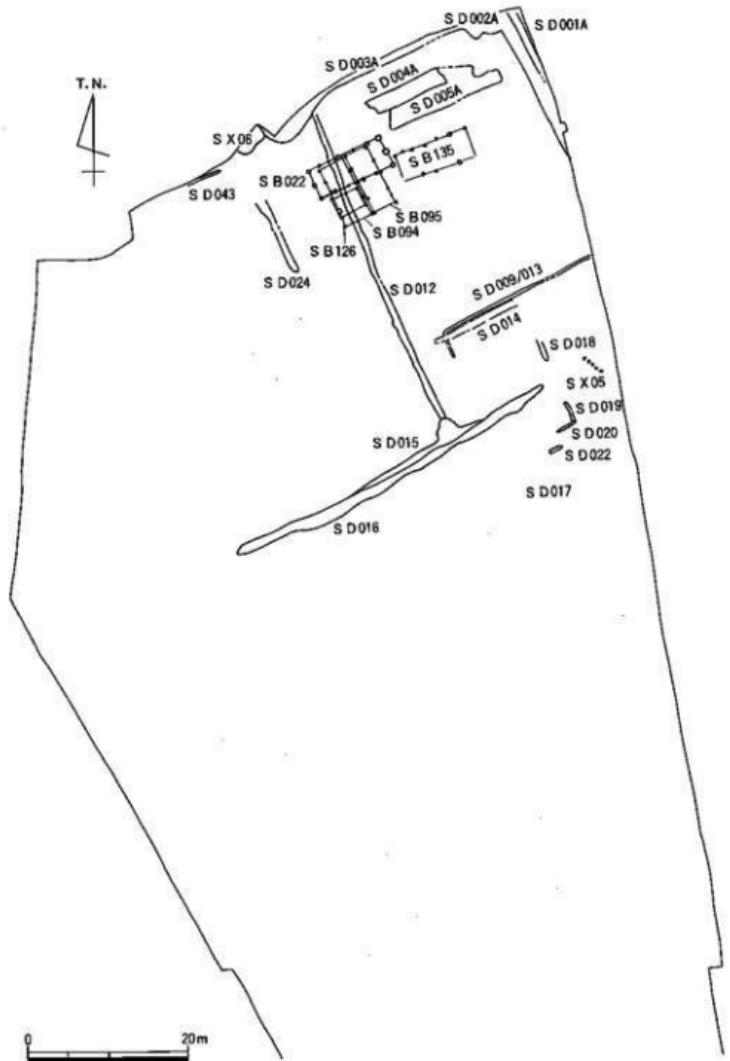
とはい、このような状況は、条里地割に沿わない掘立柱建物跡が全体の7割以上を占めると解釈し、その理由を何らかの事態に求めるのか、多少の振れを含めて、大きくは条里地割に沿っていると見てもよいのか、理解に苦しむところである。改修区でも13世紀前後にN20°Wに交錯する溝が存在することから、⑥期の一部の建物の時期を下らせることも考えられる。いずれにしても県内でも他に例を見ない事例である。

中・近世

13世紀以降の遺構をここに一括しておく。この時期以降は遺構の変化がほとんどなくなることによる。



第413図 遺構変遷図(2) (古代⑧) (S = 1 / 700)



第414図 遺構変遷図(3)（中・近世）(S = 1/700)

この期の遺構は北にのみ分布する。調査域北辺或いは東辺沿いには S D 001A~003Aがあり、現在も水路となって残る。浅いが幅は広いようで、現在の水路を挟んだⅢ区でも続きが検出されていることから、3~4 m幅と推定される。条里地割の復元案に重ねると S D 003Aは坪界溝にあたる。南北方向の溝はⅢ区 2④⑤ S D 01も規模が大きく、いずれが坪界溝か決定できない。この他、S D 009/013・012・015・016等もしっかりした溝である。

一方、掘立柱建物跡も数棟検出した。中世のピットはⅢ区で数多く検出しており、住居域としてはこちらが中心であったと思われる。また改修区でもこの期の掘立柱建物跡・土坑墓・溝などが検出されている。分布密度もほぼ等しく、集落の中心が別の土地へ移動したか、中心を持たない拡散した集落形態に変化したかなどが想定される。改修区では中世が3期に分けられている。Ⅳ区でも S D 012と掘立柱建物跡は時期が前後し、更に掘立柱建物跡も最低2時期に分かれる。長軸が長く面積も広い建物が多い。特に S D 094・095は規模の同じものが2棟接している。

掘立柱建物跡は中世を最後に検出していないことから、この期以降Ⅳ区は耕作地としての利用が主体を占めていったものと思われる。

第2節 川津一ノ又遺跡と弥生時代の大東川流域の遺跡

前節により、川津一ノ又遺跡Ⅳ区の変遷を明らかにし、また川津一ノ又遺跡全体の変遷を追うようにつとめた。しかし、遺跡はそれだけで存在するものではなく、同時期に存在する他の遺跡と有機的に関連を結びながら、展開するものもある。この項ではそのような状況を前提として、川津一ノ又遺跡の3つの調査の整理報告を終えた現時点での弥生時代における大東川中下流域の遺跡の変遷を考えてみたい。

弥生時代の始まりは稻作の導入を前提としているが、前期に大東川下流の川津下樋遺跡で水田跡が検出されており、この地域における稻作の開始は時代の流れに乗ったものといえる。下川津遺跡では竪穴住居跡を中心として集落が営まれており、まず河口に近い下流から定住が始まったものであろう。

下川津遺跡では前期で集落は一旦消滅し、中期から後期前半代の遺構・遺物は皆無となる。代わりにそれと一時期重なるような遺跡が下川津遺跡の南1 kmの地点に現れる。この西又遺跡では、大規模な環濠とそれに伴う多数のピットを検出している。環濠内出土の土

器から、前期後半から中期前葉の遺跡であることが判明している。環濠規模からいって、西又遺跡は大東川中下流域の拠点集落と認めてよく、下川津遺跡と同一集団であるとすれば、集団として順調に発展したことになる。両遺跡の中間に川津下塙遺跡があり、同じ生産域を有しながら、川の対岸に居住域が移動したととらえることができる。

ところで、前節で明らかにしたように川津一ノ又遺跡の中期集落は、1つ～2つの単位集団がⅢ期前半を中心としてⅡ期後半からⅢ期後半の間営まれたものであった。隣接する西又遺跡とは一時期共存していたことになる。集落の規模からみて、拠点的集落である西又遺跡から新たな生産域拡大のために進出した小集落が、川津一ノ又遺跡のこの時期の姿と思われる。西又遺跡の廃絶後も川津一ノ又遺跡は存続するが、母集団がいなくなった後も、細々と水稻耕作に従事したのであろうか。それにしても、やがて川津一ノ又遺跡の小集落も廃絶してしまうことになり、拠点集落の撤退が影を落としているようである。

次に川津一ノ又遺跡で遺構が認められる後期の集落を考えてみたい。

後期の遺跡は中期に比べ飛躍的に増加する。集落では下川津遺跡、川津中塙遺跡、川津二代取遺跡、川津元結木遺跡、川津一ノ又遺跡、川津東山田遺跡がある。

下川津遺跡は大東川東岸にあり、後期の竪穴住居跡が33棟検出されている⁽¹⁾。前葉のもの1棟を除き、中頃から終末の竪穴住居跡は第1微高地北部と南部・第2微高地の2～3のまとまりに分かれる。各まとまりは径80mの範囲内に住居が点在する。川津一ノ又遺跡でも集落区画の溝の南北距離がほぼ90mであり、これから区画内を1つのまとまりと見ることもできる。下川津遺跡のまとまり間の距離は150mほどである。全体で4期に分けられ、それぞれの変遷を見ると、2～5棟が各まとまりの1時期の竪穴住居跡数になる⁽²⁾。

川津中塙遺跡は下川津遺跡の南に隣接し、後期前半の3棟の竪穴住居跡と土坑墓群を検出している。

川津二代取遺跡は下川津遺跡と川津一ノ又遺跡の中間に位置する。住居遺構は未検出だが、溝から終末期～古墳時代初頭の土器が多量に出土しており、付近に集落の存在が予想される。

川津元結木遺跡は大東川西岸にあり、終末期～1の竪穴住居跡2棟を検出している。

川津東山田遺跡は飯野山南麓に位置し、未整理であるが、終末期の竪穴住居跡10棟前後と掘立柱建物跡数棟を検出している。遺構の重なり具合から、2時期に分かれるようである。

上記遺跡中下川津遺跡以外は、いずれも集落全域を調査したものではないとはいえる、一

集落は堅穴住居跡数棟を基本構成としていることが読みとれる。この数は単位集団を構成する程度のものである。すると、大東川中下流域にはこの川に沿うように、単位集団が点在して居住していたという状況が予想される。拠点集落となるような大集団が存在せず、中には2~3の単位集団が隣接しあうことにより規模の大きい集落のような形態をとる程度がありえたというのが、弥生時代後期の大東川中下流域の集落景観であったのではなかろうか。

ところで、この地域には古墳時代前期に川津茶臼山古墳・聖通寺山古墳・田尾茶臼山古墳・吉岡神社古墳という前方後円墳を主とする首長墓系列が認められる⁽¹⁾。古墳を生み出すには首長層の成長とそれを促すだけの集団内での余剰品の蓄積が必要であるが、現状で上記の弥生後期集落にそれを見いだすとすれば、下川津遺跡の堅穴住居跡から出土する鉄器や青銅鏡に求められるであろう。鉄という資源の掌握が集落の再編成・序列化、そして前方後円墳の成立につながるものであるなら、やはり規模の大きい集落がその中心になつていったのであろうか。現状では古墳と同じ時期の生活遺構が存在する遺跡の発見は少なく、下川津遺跡と川津二代取遺跡以外はほぼ弥生時代終末で途絶える。県下での古墳時代前期集落の発見自体が古墳の数に比べて少ないとから言えば、未発見の可能性が高い。前方後円墳の成立に伴い、集落の立地に変動が起つたのであろうか。今後の課題といえよう。

注

- (1) 以下の時期別遺構等の数は参考文献の田崎1995による。
- (2) 参考文献の田崎1995による。
- (3) 大久保徹也「歴史的環境」(参考文献の香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公团1990)

参考文献

- 甲元真之 1986 「農耕集落」『岩波講座日本考古学4』岩波書店
都出比呂志 1989 「日本農耕社会の成立過程」岩波書店
田崎博之 1995 「四国」「ムラと地域社会の変貌」埋蔵文化財研究会第37回集会発表要旨
香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公团 1990 「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 下川津遺跡」
香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公团 1995 「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第二十一号 川津下塙遺跡」
香川県教育委員会 1990 「西又遺跡」『香川県埋蔵文化財調査概報集』
香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公团 1994 「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第十四号 川津中塙遺跡」
香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公团 1995 「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第十六号 川津二代取遺跡」

香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 1992『中小河川大東川改修工事（津ノ瀬橋～弘光橋間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 川津元結木遺跡』
香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・日本道路公団高松建設局 1991『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 平成2年度』

第3節 弥生時代後期の赤色顔料関連土器

第4章第2節で分析を行ったのは、弥生時代の土器である。1点以外は終末期に属し、49点中47点が朱、2点がベンガラであった。1点は後期前半であり、朱使用に特定されている器種である。ここではこれら全部を赤色顔料関連土器として扱うこととする。

これらの土器は終末期でも特に③期の遺構から集中して出土している。遺構単位での疎密はないことから、この集落が一体となって関わっていた可能性が高いと見られる。用いられた土器は不要となった後、他の土器と一緒に周辺の低地や川に捨てられている。改修区の川跡からも、朱の付着した土器片が出土しており、この付近でも関わる遺構があるか、ここまで運ばれていた可能性がある。

朱については、県内でもこのような出土状況を示すものはこの時期には他にあまりなく、またこの時期の集落内での朱の使われ方も不明瞭な点が多い。

朱が付着していた土器は、壺・高杯・鉢がある。中でも鉢が主要器種を占め、大型・小型とも用いられている。朱付着土器が多量に出土した後期初頭の上天神遺跡では取手付片口皿と大型鉢が多い¹¹⁾。このような使用器種の変化はこの時期における器種としての小鉢の普及を背景としている。壺では大小各大きさのものに付着が見られる。把手付広片口皿は赤色顔料の付着は見られなかったが、朱使用に特定される器種であることが西日本の間に明らかにされつつあり、県内でも、高松平野以外で出土したことにより、普遍的に用いられていた可能性が出てきた。

一方、ベンガラは鉢と甕内面に認められた。その使用は朱を補完するものであったことが、分析者によって推測されている。

この他、川津一ノ又遺跡ではその製造を示す朱の付着した石杵や石皿は出土していない。この点でも、上天神遺跡と同様であり、このような状況が一般集落における朱に関わるあり方であったと予想される。なお、使用の一端を示すものとして、改修区出土鉢の分析により、沸点以下で水銀朱を加熱したことが明らかにされている¹²⁾。

- (1) 大久保徹也 1995 「第5章第8節 上天神遺跡出土赤色顔料付着資料について」『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第六冊 上天神遺跡』香川県教育委員会・財團法人香川県埋蔵文化財調査センター・建設省四国地方建設局
- (2) 片桐孝浩 1997 「第4章4 赤色顔料付着土器について」『中小河川大東川河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 川津一ノ又遺跡』香川県教育委員会・財團法人香川県埋蔵文化財調査センター

第4節 SD010出土の土師器から見た下川津・川津一ノ又遺跡

(1) はじめに

川津一ノ又遺跡IV区の調査における一つの成果に、7世紀中葉の溝SD010の検出がある。この大型の溝からは、IV区全体から出土した遺物の1割が出土し、また本報告でも掲載遺物の2割を占める量になった。全体の形を復原できる破片が多くなったことにもよるが、県内におけるこの時期の土器の出土例が少ないと、また上器・獸骨が多く捨てられていたというこの溝の重要性を考慮し、意図的に掲載量を多くしている。

さて、この溝の性格や埋め戻しの背景については本文及び遺構の変遷の項で少し考えてみた。6世紀後葉の集落の成立以来順調な発展を続ける中での、多量の土器の廃棄やウシ・ウマの解体（食用？）と同時に溝の埋め立て・付け替えという状況は、古代の集落変遷にあって、9世紀の溝群の埋没と有力建物群の成立とともに、一つの画期とでもいべき内容を含んでいると思われる。しかし、このような出土状況を示す遺構が全国的にも他に見あたらず、何らかの儀式が行われたのか、集落にどのような事態が起ったのかまでは、明らかにできなかった。

これは同様の遺構が見つからない他に、出土した土師器の特異性による点も大きい。たびたび触れてきたように、この土師器群については同じ性格を有する改修区のSD15資料により、また産地を同じくするであろう下川津遺跡河川等出土資料により検討が進められてきた⁽¹⁾。その成果をまとめると、杯は「畿内産土師器」に酷似しており、おそらく当地域で生産されたものと思われる。これらの土器は飛鳥の都での使用を目的として作られ、また運ばれていた。その過程には下川津遺跡の有力者が関与していたということになる。「畿内産土師器」に酷似する土師器の小地域からの多量の出土という全国的にも稀な状況を理解するには、現状では上記のような考えにたつ以外になく、本報告でもその基盤に

立って報告を進めてきた。

S D 010出土土師器群は、この特異な土師器を最も多く出土した遺構である。ここでは川津一ノ又遺跡他調査域出土資料をも合わせとりあげ、この土師器群の製作技法を中心にまとめ、その出現の背景を再度考えてみたい。

(2) S D 010出土土師器の検討

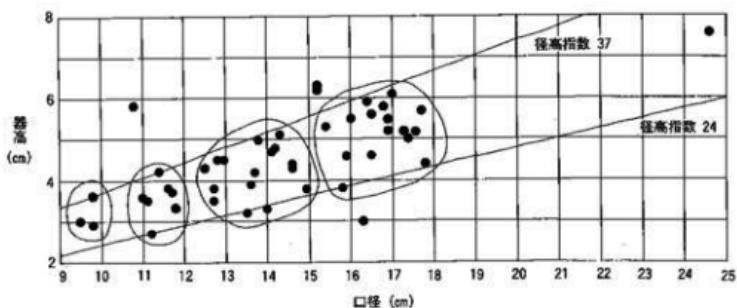
A. 供膳具

杯については片桐氏による論文⁽¹⁾があり、それと根本的に異なる資料は出土していない。以下それに付け足すと、成形方法の判明するものはIV区出土例でもすべて左回りに粘土紐を巻き上げている。またその際に付いたのか径14cmの中型の杯外面中位に布痕が残っている。布痕は後述するように壺や甌の内面にも残されており、想像する以上に幅広く用いられていたようである。調整の段階では、判明している手法の他に、外面に幅2mmの先の尖った工具を7本前後歯のように並べて引いたような深くて短い筋が多く残るものがあり(912)、ハケ目とも異なる。体部内面への暗文は、たまに2段のものが存在するが、いずれも次段階の2段放射状暗文のような整ったものではない。他にヘラ記号が1点認められる。改修区S D 22でも2点出土している。III区では片取っ手の付く小型杯が出土している。

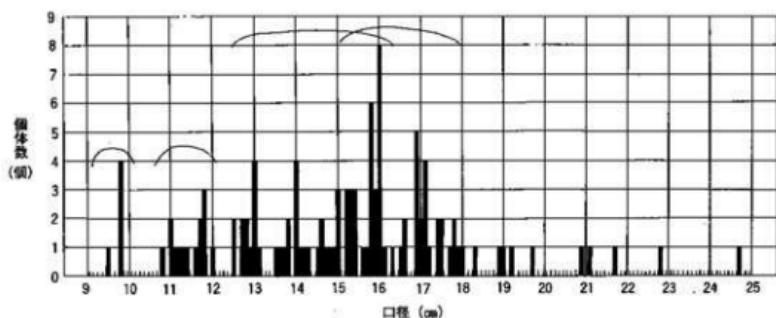
川津一ノ又遺跡全体から出土したこの時期の杯で改めて法量の分化を検討した。まず口径の判明する全115点中、器高も判明した49点の法量分布図を作成した(第415図)。径高指数24~37の範囲内で径が大きくなれば器高も高くなる。口径で記せば、9.5~10cm, 11~12cm, 12.5~15cm, 15.4~18cmに分布域が分かれる。次に全資料で口径毎の個体数を図化すると(第416図)、法量分布図とはほぼ一致する結果が出た。しかし、口径15.6~16.1cmの資料はそれより小さい方の分布域に含めた方がよいようでもあり、また12.5cm以上の分布域は更に小さく分かれるようにも見え、完全な法量分化には至っていない。

皿は改修区S D 15では見あたらず、S D 010で10点程出土している。口径17~20cmと24~26cmの2種に分かれる。内面に1~2段の放射状暗文を施す。外面は横ナデが多く、その他ヘラ削りや磨きが施される。脚が付くものと付かないものがあり、脚との接合には直側に刻みを入れて脚との接着を強固にする方法が用いられている(1166)。

高杯は改修区・S D 010とも出土している。杯は深く、内面には1段の放射状暗文を施し、稀に底に螺旋状暗文を描く。杯外面はナデか磨く。脚との接合には幾通りかの方法が



第415図 杯法量分布図



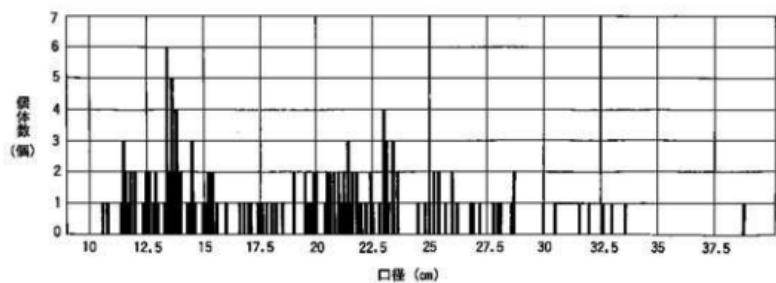
第416図 杯口径分布図

見られ、杯を作り上げた後に接合するもの(1241)、脚から杯底までを成形した後に、杯底内面をハケ目施文工具で平らに均し、体部となる粘土紐を継ぎ足し成形するもの(1085)、脚の横に粘土紐を継ぎ足し杯底から口縁までを成形するか底に穴の開いた杯を脚とつなぐもの(1105)がある。脚は底が上に開くよう杯同様粘土紐を左回りに巻き上げて作っている。

B. 煮炊き具

壺、瓶、鍋、移動式竈の器種があり、壺が全体の8割を占める。

壺には球形で取っ手が付いたりする壺と長胴壺が存在する。球形の壺は小型品は下ぶくれのものが多く、大型品は頸部の屈曲の強い球形が多い。明らかに長胴壺であるもの以外で口径毎の個体数分布図(第417図)を作ると、一見して11.4~15.4cmと19~23.6cmに大



第417図 壺口径分布図

きな分布の山が見いだせる。これ以外にも24.5~28.7cmに低い山があり、より大型品も存在したようで、同じ壺でも用途により数種の容量のものを使い分けていたようである。

成形は小型壺で幅2cm、大型壺で幅3cmの粘土縁を輪積みにしながら行う⁽²⁾。1059から大型壺では叩き締めも行われていたことが推測される⁽³⁾。粘土縁の境は指押さえを行う。中には布痕が残るものもあり、指と粘土の間に布を当てた場合もあったらしい。

小型壺の外面調整は、最初に頸部から胴中位までの縦方向のハケ目、次に胴の残り半分に横方向のハケ目、最後に底付近は真上から工具で左右に折り返しながらベンキを塗る時の刷毛捌きの要領で仕上げるという工程をとると想定される。大型壺はハケ目がやや斜めに入り、底のみ中小型壺同様の方法で仕上げる。長胴壺には疎密2種のハケ目が残るものがある。胴中位にハケ目の先端が崩うことから、小型壺同様3段階に分けてハケ目を施したようである。外面にヘラ削りの残るものは煮炊き具では1点も認められない。

内面調整では、口縁内面は横へのハケ目が基本で、その他横ナデもよく行われる。胴内面は、小型壺では指押さえがそのまま残るか継あるいは右斜め上へのヘラ削りを行う。ハケ目を残すものも若干存在する。大型壺では指押さえ後に上半横へのハケ目・下半ヘラ削りというものが多い。ハケ目は外面と異なるハケ密度のものが使われていることもある。

取っ手付き壺は小型品と大型品が存在する。また長胴壺は口径18~23cmであり、1種のみ存在する。

ヘラ記号は1点のみ外面胴中位で、他はすべて口内面に残されている。9点検出しており、煮炊き具としては、比較的まとまった資料である。これとよく似た痕跡で胴内面上部にヘラ痕が連続するものがあり、こちらはヘラ削り時にヘラ端部が深く刺さったものと思われる。

甕は煤が付着する資料がいくつかあり、この地で実用に供されたことがわかる。

鍋は口径30~42cmの間に分布し、特に34~38cmに集中する。ヘラ記号を持つものがある(1196)。また内面には炭化物が付着しているものがある(1198)。口縁外面はナデ・内面はハケ目、体部外面は底までハケ目のものが多く、ナデのものも見受けられる。内面はヘラ削り痕を残すものが1/3あり、その後板等でナデている。

瓶は口径24~26cmに集中する。内面は上部が指押さえ後横へのハケ目仕上げで、下部が指押さえのみかその後ヘラ削りを行う。外面は縦ハケ目を全面に施す。改修区 S D22出土の1114は外面下部にヘラ削り痕が残されており珍しい。共伴資料より S D010に若干先行するようである。底は完全に抜けている。胴最下部に3~4個小孔をあける例があり、何かを結びつけた可能性もある。

壺は全形の判明する資料はないが、上部径30~35cmのものが主流のようである。背面にたがを回すものと回さないものがある。また径3cmの粘土紐を組み指押さえを行うときに、布を用いて押されたもののが存在する(944)。

C. その他

壺は918が確実にこの時期のものであろう。口縁内外面の縦方向への磨きが改修区の壺1107と通ずるものがある。

口径32cm弱の大きな鉢型の土器が改修区で出土している(1786)。

(3) S D010出土須恵器の検討

ここでついでに須恵器に目を向けてみたい。器種的には杯・高杯・椀・壺・鉢・碟・平瓶・甕と出土しうるものがほぼ揃っている。土師器と比較して、全実測点数で見ると須恵器4割強・土師器6割弱という構成比率で、供膳形態だけで見ると須恵器4割・土師器4割という比率になる。これは、下川津遺跡の同時期のものをみても同じ様な結果が出ている^⑩ことからほぼ実態に近いものといえる。杯は身側に受け部がつく古墳時代以来の形態が主で、摘みのつく蓋はごく少量混じる程度である。身受け部径は11~13.5cmで大きさが揃う。これもこれらの土器群の一括性が高いことを示している。古墳時代タイプの杯蓋は、その形態から県内東から西まで4ヶ所の窯跡群から持ち込まれたと考えられている^⑪。飛鳥地域の状況と比較すれば、飛鳥I新段階~II古段階にあたり、須恵器だけをとっても土師器の時期観と矛盾しない^⑫。

(4) S D010出土土師器煮炊き具の位置付け

土師器杯は飛鳥の都に向けての搬出を主目的とする生産と考えられており、他の土師器供膳具も同様の状況と見られる。では、残る煮炊き具についてはどのような位置付けがなされるのであろうか。

6世紀後葉～同時期までの県内での出土資料を見てみたい。この時期の消費地資料は少なく、6世紀後葉の作田八丁遺跡⁽⁷⁾では土師器壺のみの出土で、内外面ナデで器形・口縁端部の形態をみても川津一ノ又遺跡出土資料とはつながりが認められない。7世紀前葉の大門遺跡⁽⁸⁾では壺の他鍋も出土しているが、ここでも作田八丁同様の状況が見られる。更に外面にヘラ削りを行う壺も存在する。一方、下川津遺跡の7世紀前葉の土師器をみると須恵器とともに多くの土師器供膳具が出土し、煮炊き具も全器種が揃っている。それらは古墳時代的な要素を残すものもあれば、川津一ノ又遺跡と器形・口縁端部形態・調整とも一見して違わないものも多く、集落の成立時期から見ても同じ地域集団であることは間違いない。同時期でありながら、前出の2遺跡とは全く異なった状況にあり、単に県中部と西部という地域性ではとらえることのできない問題を含んでいる⁽⁹⁾。

次に、「讃岐産土師器」の搬入される飛鳥地域のこの時期の土師器を見てみたい。S D010資料とほぼ同時期の土器群に飛鳥池遺跡・灰緑色粘砂層出土資料⁽¹⁰⁾がある。ここに示される煮炊き具の中には器形・調整が極めて似ているものが存在する(35～37)。これらは恐らく「河内産の壺」あるいは「河内型壺」⁽¹¹⁾に該当すると思われ、最近では北・中河内～摂津東南部を中心に分布することが明らかになってきており⁽¹²⁾、更には播磨・淡路でも認められる⁽¹³⁾。このような状況には、摂津東部を例に取ると、「7世紀に入ると次第に壺II類（「河内型」一編集注）が割合を増し、7世紀の中ごろには壺V類（在地の「難波型」一編集注）やそれに伴う煮炊具はほとんど姿を消す。この動きは供膳具においても同じで、壺V類に共通する手法でつくられた杯や鉢が暗文をもつ精製のものに取って代わられる。これは6世紀における在地的な土器組成が河内南部や大和南部で見られるような組成に変わっていったことを示している。これは難波宮の造営に象徴されるようなこの地域の特殊性・重要性によるものであろう」⁽¹⁴⁾という解釈もなされている。

つまり川津一ノ又遺跡の位置する大東川中下流域一帯も、摂津東部のような重要性を飛鳥の都と結んでいたからこそ、煮炊き具まで似るという状況に至ったことが想定できる。それは7世紀前半の段階では県内他地域には波及せず、ここが一種の先進地の様相を呈することになった。犁を用いた畜耕という農業面での最新技術の使用もこれを示している。

ただし浜津東部では在地の羽釜がこれ以後も残るのに対し、大東川中下流域一帯では、在地的な要素の残らない飛鳥の都に直結するような組成となっている。これは単に「讃岐產土師器」を生産していただけでなく、より強いつながりを飛鳥の都との間にもっていたことを表している。

(5) 下川津遺跡における「在地首長層」の再検討

ではより強いつながりを飛鳥の都との間にもっていた人々はどういう人々であったのであろうか。下川津遺跡では、その人々に「在地首長層」という表現を与えている⁽¹⁸⁾。大型の居宅に住み主頭大刀をもちうる階級が首長層であることには異論はないが、これは「在地」との判断基準とはならない。この表現が当初その土地での経済的政治的行為に主体的に関わった者を指した言葉として便宜的に援用されたのであれば、「在地」とは単にその地にその時点で住んでいることを指すことになる。しかし「在地」という言葉にはそれ以上にその地域に元々暮らしていることを一般的にイメージさせる。そして最近ではこの意味による下川津遺跡の評価が一人歩きしつつある様相が見られる。流域における集落の調査例が下川津遺跡のみであった当時においてはこの評価によつても違和感はなかつたであろうが、調査事例が増えた現在でも大東川中下流域では下川津遺跡の古代集落の出現まで3世紀の間居住・生産遺構が認められず、地域に元々暮らしている「在地」の住民には下川津遺跡は該当しないといえる。勿論、流域内の未発見の集落あるいは讃岐のこの地域以外から6世紀後葉に下川津遺跡に移り住んできた可能性は残されているが、このことを根拠に「在地」と評価することはそれが証明されない限り不可能である。下川津遺跡の「在地首長層」がどのような「在地首長層」であったかがあらためて検討される必要があるだろう。

この他検討材料としては、下川津遺跡の西1kmに位置する青ノ山古墳群がある。6世紀後葉頃から築造が開始されたと考えられ⁽¹⁹⁾、下川津遺跡の古代集落の出現とほぼ重なる。6・8号墳は「L」字形と呼ばれる右片袖の石室を持つ⁽²⁰⁾、奥行きと幅の平面比に違いはあるものの、右片袖自体は畿内に多く分布している⁽²¹⁾。それより若干時期の下る7号墳は群中最大規模で畿内型の石室を持つ。また山頂には7号墳とほぼ同時期の1号墳が存在し、方墳という特異な墳形が採用されている。石室は未実測であるが、両袖が羨道より内に張り出さない両袖式で⁽²²⁾、畿内型と判断される。群中には他に九州系⁽²³⁾の小型横穴式石室もあり、このような状況から7号墳の被葬者には「特徴的な石室を構築する複数の

世帯共同体を率いて地域政権を運営する被葬者像」⁽³¹⁾という評価が与えられている。

現研究段階では下川津遺跡と青ノ山古墳群を結びつけるのは短絡的であるとはいえる、このような環境は下川津遺跡の首長層が地域に元々暮らしている「在地」でなくとも異とするに足らない雰囲気を作り出している。

(6) 下川津・川津一ノ又遺跡の性格

S D010出土土器の検討の結果、土器供膳具だけでなく煮炊き具も飛鳥の都で用いられた煮炊き具に酷似し、それらが河内や攝津にも分布することが判明した。しかもそれらは下川津遺跡出現時から認められる形態であり、逆に「在地」的な土器は認められないという特異な様相が認められる。

とすれば、ある有力者が「河内産堺」を作っていた畿内のある地からその他の人々と一緒に6世紀末に大東川中下流域に移り住むことにより、「在地首長層」となったと考えることもできるのではないだろうか。現段階で広まりつつある「在地首長層」観とは大幅に異なるが、考古資料から見て下川津遺跡・川津一ノ又遺跡の首長層がどのような人々であったかという問題に一つの解釈を考えておきたい。

さてこの解釈に従って前提としてきた「讃岐産土師器」の搬出という状況を考えてみる。すなわち、「河内産堺」を生産する畿内のある地から移り住んできて、その人々が飛鳥の都に運び込んでいた器種を下川津・川津一ノ又遺跡でも生産するとする。これらの土器は使用階層や目的が本来限定されたものである。ところが出土土師器に精粗の差がないことで、この土師器を日常にも用いていたことが下川津・川津一ノ又遺跡の場合明らかである。つまりこの解釈によっても従来考えられてきた貢納を前提として余剩分が在地に流通するという状況に影響を及ぼすことはない。ただし同じように畿内と似たものが多量に出土しているのに、供膳具は貢納品、煮炊き具は在地での転換を示すのみという解釈では整合性がない。煮炊き具もまた消費都市である都に運ばれた可能性を考えるべきであろう。またこれとは別に今後より詳しい製作技法の比較検討や化学的分析等により、畿内中枢における「讃岐産土師器」の存在の有無を明らかにしていく必要もある。

(7) 最後に

最後に畿内よりの移住の決定的な証拠が見つかっていない点は認めざるを得ない。それにも関わらず、このような解釈を提示したのは、S D010出土土師器の検討を行っていく

中で、同一の遺跡群といえる下川津遺跡の「在地首長層」とは何なのかという素朴な疑問を感じたことがある。川津一ノ又遺跡という拠点集落に住んでいた人々を遺構・遺物で追いかける中でたどり着いた結論は、単純な人の移住という解釈によって安易な疑問の解決を行つただけという批判を受けるかもしれないが、これはまたその後の下川津・川津一ノ又遺跡の発展、「川津郷」の成立、文字資料への散見ともつながりやすいとも考えている。もうひとつこの解釈は特殊な状況にある土師器に焦点を当てて行ってきており、須恵器にはあまり注意を払っていない。こちらは在地で流通する須恵器の範疇を出るものではなく⁽²²⁾両者は矛盾するようでもあるが、移住集團の中にそれぞれの土器を作る2つの集團が含まれている必要はなく、またそれはより考えにくいくことである。柔軟に在地の須恵器を取り入れていったのではなかろうか。

注

- (1) 大久保徹也 1990「下川津遺跡における7・8世紀代の土器様相について」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅳ 下川津遺跡』香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡協同組合
- 片桐孝浩 1997「讃岐の土師器」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要V』財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
- 片桐孝浩・佐藤竜馬 1997「四国地方における7世紀の上器」「古代の上器研究—律令的土器様式の西・東5・7世紀の上器—」古代の土器研究会第5回シンポジウム発表資料
- 下川津遺跡 S D Ⅲ 86出土資料中に平底の甕が1点、川津一ノ又遺跡Ⅰ区 1①S R01出土資料中に平底の鉢が1点あり、少なくとも大型の甕は平底からつくり、最終的に丸底に成形した可能性が考えられる。
- 下川津遺跡 S D Ⅲ 86出土資料中に胴外面中位に格子の叩き目を残す例が1点ある。
- 大久保徹也 1990前掲文献
- 佐藤竜馬 1997「7世紀讃岐における須恵器生産の展開」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要V』財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
- 片桐孝浩・佐藤竜馬 1997前掲文献
- 「作田八丁遺跡」 1988「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第五冊」香川県教育委員会・日本道路公团
- 「大門遺跡」 1987「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第二冊」香川県教育委員会・日本道路公团
- 同様の検討が、佐藤竜馬 1996「四国の煮炊具」「古代の上器研究—律令的上器様式の西・東4 煮炊具ー」古代の土器研究会第4回シンポジウム発表資料でも行われている。
- 「飛鳥池遺跡の調査（飛鳥寺1991-1次測量）」 1992「飛鳥・藤原宮発掘調査概報22」奈良国立文化財研究所
- 西弘海 1984「平底の土器・丸底の土器」（『土器様式の成立とその背景』1986所収）
- 小笠原好彦 1980「近畿地方の七・八世紀の十師器とその流通」『考古学研究』第27卷第2号
- 三好美徳 1996「都城の煮炊具」「古代の土器研究—律令的土器様式の西・東4 煮炊具ー」古代の土器研究会第4回シンポジウム発表資料
- 各地域の甕を参考するにあたっては、古代の土器研究会編 1996「古代の土器4-煮炊具（近畿編）」が大いに役に立った。
- 佐藤隆 1996「摂津東部」「古代の土器4-煮炊具（近畿編）」古代の土器研究会
- この言葉については、「その集落經營上で中心的役割を果たした階層は、6世紀後葉の大型堅穴住居址」

- 7世紀の企画配置された大型建物群、6世紀後葉の金銅製主頭大刀柄頭・7世紀末の円画硯・先進農具である黎等の遺構・遺物より、在地の有力首長クラスが当たった可能性が高い。まとめるに、6・7世紀の下川津集落は、當時川津郷周辺を統治していた在地の有力首長層が主体となり、黎等の先進農具をいち早く導入し、周辺の耕地開発に当たるために一拠点集落とみなせる」(西村尋文 1990「下川津遺跡における6～8世紀の集落構造と動向」「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅱ 下川津遺跡」香川県教育委員会・財団法人香川県埋蔵文化財調査センター・本州四国連絡橋公团)という文章から判断した。
- ⑩ 丸亀市・香川県教育委員会 1977『青ノ山6号墳調査報告』
丸亀市教育委員会 1980『青ノ山南麓における埋蔵文化財調査概報』
香川県教育委員会 1983『新編香川叢書考古編』
丸亀市教育委員会 1984『青ノ山8・9号墳発掘調査概報』
- ⑪ 佐藤竜馬氏は「T」字形石室の片袖形態ととらえ、石室構造の類似する和歌山県岩橋千塚や朝鮮半島との関係を考えている(伊藤裕作・佐藤竜馬「高松市宍本神社古墳の測量調査」 1993『香川考古第2号』香川考古刊行会)。
- ⑫ 山崎信二 1985「横穴式石室構造の地域別比較研究—中・四国編—」。また河野一隆 1995「右片袖の思想」「四国における横穴式石室の成立と展開」古代学協会四国支部第9回大会資料では、中国南朝からの人々の移住により、畿内の人々にも採用されたとする。
- ⑬ 1998年4月19日実見。
- ⑭ 九州からの直接的な波及というより地域内での間接的な受容と考えられ、その点では「在地」に含まれると判断しておく。山崎信二 1985前掲文献
- ⑮ 国木達司 1995「香川の横穴式石室」「四国における横穴式石室の成立と展開」古代学協会四国支部第9回大会資料
- ⑯ 佐藤竜馬 1997前掲文献に下川津遺跡における須恵器供給元のデータが示されている。

遺物番号	持國	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1	16		弥生土器・壺	S H21	1/8	石・大・少	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ。ナデ	横ナデ。ハケ目	-
2	16		弥生土器・壺	S H21	1/8	石・小・少。赤・中・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	横ナデ。不 明	横ナデ。ハケ目	-
9	17		弥生土器・壺	S H31	1/8	石・中・普。赤・中・少	7.5Y7/6橙色	ハケ目	横ナデ。ハケ目	-
10	17		弥生土器・壺	S H31	1/8	石・小・少。赤・小・少	2.5Y7/3浅黄色	不明	不明	-
11	17		弥生土器・壺	S H31	3/8	石・中・普。他・小・多	7.5YR5/4に ぶい褐色	不明。ミガキ	不明	-
12	17		弥生土器・壺	S H31	-	石・大・多。赤・中・普	2.5Y7/3浅黄色	ナデ	横ナデ後ミガキ	
13	17		弥生土器・高杯	S H31	1/8	石・中・少。他・中・普	2.5Y7/3浅黄色	ナデ。指揮サエ後ハケ目	横ナデ。不明	-
14	19		弥生土器・壺	S H32	小片	石・中・多	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ。板ナデ	横ナデ。不明	-
15	19		弥生土器・壺	S H32	小片	他・小・少	10YR5/1褐灰色	横ナデ。ミガキ	横ナデ。ハケ目	-
16	19		弥生土器・壺	S H32	2/8	石・中・多。赤・大・少	10YR6/1褐灰色	横ナデ。ミガキ	横ナデ。指揮サエ後横ナデ。ミガキ	外画赤色顔料か
17	19		弥生土器・壺	S II32	1/8	石・大・多	10YR5/3に ぶい黄褐色	ナデ。ミガキ	ナデ	-
18	19		弥生土器・壺	S H32	8/8	石・大・多	5YR5/6明赤褐色	板ナデ	ナデ。不明。指揮サエ	-
19	19		弥生土器・壺	S H32	3/8	他・中・少	10YR5/2灰黄褐色	ナデ	指揮サエ。ナデ	焼成後底の 両面から穿孔を行おう としたが食い違ったため木質通
20	19		弥生土器・壺	S H32	1/8	石・中・普。他・中・普	2.5Y7/4浅黄色	不明	不明	-
21	19		弥生土器・壺	S H32	-	石・大・多。赤・中・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	指揮サエ。当て具。ハケ目	叩き。ハケ目	-
22	19		弥生土器・壺	S H32	-	石・大・普	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ。ナデ	ナデ	疑似流水文
23	19		弥生土器・壺	S H32	3/8	石・中・普。赤・中・少	10YR5/4に ぶい黄褐色	指揮サエ。ナデ	指揮サエ。ナデ	-
24	19		弥生土器・壺	S H32	3/8	石・大・多	10YR6/3に ぶい黄褐色	不明	横ナデ。ミガキ。不明	-
25	19		弥生土器・壺	S H32	小片	石・中・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	板ナデ	不明	-
26	19		弥生土器・壺	S H32	小片	石・小・多	2.5Y5/2暗灰褐色	不明	不明	-
27	19		弥生土器・壺	S II32	3/8	他・中・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	ナデ	ナデ	口唇斜格子文
28	19		弥生土器・壺	S H32	-	石・大・少。他・中・普	2.5YR5/6明赤褐色	指揮サエ。ナデ	不明	-
29	19		弥生土器・壺	S H32	2/8	歪・小・普。角・中・多。然・小・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ	横ナデ	-
30	19	36	弥生土器・高杯	S H32	-	石・小・普	7.5YR5/6橙色	不明	不明	-
31	19		弥生土器・高杯	S H32	1/8	石・大・多	2.5YR8/2灰白色	不明	不明	穿孔の数不明

第19表 土器観察表(1)

遺物 番号	坪 目	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
35	21		弥生土器・壺	S B001A	1/8	石・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、板ナ デ	-
36	21		弥生土器・壺	S B001A	-	石・大・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	続リ日後指 押サエ	板ナデ	樹脂痕文と 波状文
37	21		弥生土器・壺	S B001A	-	石・中・普	5YR5/6明赤 褐色	不明	ナデ	輝き・往不 明。2条×3条 の斜格子文
39	22		弥生土器・高杯	S P0212E	8/8	石・大・普、他 小・少	2.5YR5/6明 赤褐色	ナデ	指押サエ後ナ デ、不明	-
40	22		弥生土器・壺	S P0303E	4/8	石・中・普、他 小・少	5YR5/4にぶ い赤褐色	ミガキ、ナ デ	ナデ、板ナデ	-
41	22		弥生土器・壺	S P0398E	1/8	石・大・普、赤 小・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	ナデ	ミガキ	-
42	22		弥生土器・鉢	S P0570E	6/8	赤・小・少	10YR4/2灰 褐色	ナデ	指押サエ、ナ デ	粘土塊をつ まみ出して 成形
47	23		弥生土器・壺	S K08	1/8	石・中・少	5YR5/4にぶ い赤褐色	ハケ目、ミ ガキ	横ナデ、ハケ 目	-
48	23		弥生土器・壺	S K08	小片	石・中・少	7.5YR6/3に ぶい褐色	不明	不明	-
49	23		弥生土器・壺	S K08	5/8	石・大・普	2.5YR5/6明赤 褐色	ミガキ、指 押サエ	ミガキ、ナデ	-
50	23		弥生土器・壺	S K08	3/8	石・大・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	ミガキ、指 押サエ	ミガキ	-
51	23		弥生土器・壺	S K08	1/8	石・大・少	5YR5/6明赤 褐色	ナデ	刺突は幅 1.4cm間隔 で全部で24 個並ぶ	
52	23		弥生土器・壺	S K08	2/8	石・大・少	2.5Y2/1黒 色	指押サエ後 ミガキ	指押サエ後ナ デ	-
54	24		弥生土器・壺	S K14	-	石・小・多	5Y6/2灰才 リープ色	板ナデ	ナデ	樹脂波状文 と直線文の 混載。単位 8~9本
55	24		弥生土器・壺	S K14	1/8	石・大・多	2.5Y7/3浅 黄色	不明	横ナデ	-
56	24		弥生土器・壺	S K14	4/8	石・中・多	10YR7/3に ぶい黄褐色	ミガキ	不明	-
57	24		弥生土器・瓶	S K14	6/8	石・小・普、赤 小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ナデ、指押 サエ	板ナデ、ナデ	焼成後穿孔
59	25		弥生土器・壺	S K22	1/8	石・大・普	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ、板 ナデ	ナデ	-
60	25		弥生土器・壺	S K22	1/8	石・大・多	10YR6/4に ぶい黄褐色	ナデ	ナデ	-
61	25		弥生土器・壺	S K22	6/8	石・中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ナデ、指押 サエ	ミガキ、不明	-
62	26		弥生土器・壺	S K23	1/8	石・小・普、他 中・少	10YR8/2灰 白色	横ナデ、不 明	横ナデ、不明	-
63	28		弥生土器・壺	S K34	-	石・中・普、赤 白色	2.5Y8/2灰 白色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、不明	-
64	28		弥生土器・壺	S K34	-	石・小・普、赤 中・少	7.5YR6/6墨 色	横ナデ、ハ ケ目	ハケ目	-
65	28		弥生土器・壺	S K34	8/8	石・中・普、赤 中・少	2.5Y8/2灰 白色	ミガキ、不 明	横ナデ、不明	-
66	29		弥生土器・壺	S K35	1/8	石・大・少、赤 大・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、ミ ガキ、不明	ナデ、ミガキ	-

第20表 土器観察表(2)

遺物番号	標図	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
67	29		弥生土器・甕	S K35	1/8	石・中・少。赤・小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ。ミ ガキ	横ナデ。ナデ	-
68	30		弥生土器・甕	S K37	1/8	露・小・普。石・ 小・普	10YR5/4に ぶい黄褐色	横ナデ。不 明	横ナデ。板ナ デ	-
69	30		弥生土器・高杯	S K37	1/8	石・小・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ。ナ ガキ	横ナデ。板ナ デ	経不確定
70	30		弥生土器・壺	S K37	2/8	石・中・普。他・ 中・少	2.5Y5/3黃 褐色	ナデ	ナデ、不明	内面に桙压 痕
71	31		弥生土器・甕	S K38	1/8	石・大・少。赤・ 大・少	10YR8/3浅 黄褐色	横ナデ。ミ ガキ	横ナデ	-
72	31		弥生土器・壺	S K38	-	石・小・少	7.5YR4/3褐色	ハケ目	ミガキ	斜格子文、 櫛搔沈線、 竹管剥突文
73	31		弥生土器・甕	S K38	1/8	石・中・少	5YR6/6橙色	横ナデ。板 ナデ	横ナデ。ハケ 目	-
74	31		弥生土器・甕	S K38	小片	石・大・普。赤・ 中・少	2.5Y7/3浅 黄色	板ナデ	ナデ、指押サ エ。ナデ	-
75	31		弥生土器・甕	S K38	4/8	石・大・少	5YR6/6橙色	横ナデ	ナデ、ハケ目	-
77	32		弥生土器・壺	S P 0341/ 0343E	小片	石・小・少	5YR4/4に ぶい赤褐色	ナデ	ナデ	刻み目2段
78	32		弥生土器・甕	S P 0341/ 0343E	-	石・中・少	5YR4/4に ぶい赤褐色	ミガキ	ハケ目	経不確定
79	33		弥生土器・甕	S P 0876E	8/8	石・小・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ。指 押サエ。指 押サエ後ハ ケ目	横ナデ。ハケ 目。ミガキ	外向に各種 文様多数
80	35		弥生土器・甕	S D 059/100	4/8	石・大・多	5YR6/5橙色	横ナデ。ミ ガキ	横ナデ。ハケ 目。ハケ目後 ミガキ	-
81	35		弥生土器・甕	S D 059/100	1/8	露・小・少。石・ 小・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ。ナ デ	横ナデ。ナデ	-
82	35		弥生土器・甕	S D 059/100	3/8	石・中・多。赤・ 小・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ後ハ ケ目。ナデ	横ナデ。ハケ 目	-
83	35	36	弥生土器・甕	S D 059/100	8/8	石・中・少。他・ 小・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ。ハ ケ目。ナデ	横ナデ。ハケ 目。ミガキ	底部焼成後 穿孔。胴中 位に半截竹 管文
84	35		弥生土器・甕	S D 059/100	8/8	石・中・多	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ。ナ デ	横ナデ。ハケ 目。不明。ミ ガキ。ナデ	-
85	35		弥生土器・甕	S D 059/100	3/8	石・大・少。赤・ 小・普。他・中・ 少	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ。ミ ガキ	横ナデ。ハケ 目	-
86	35		弥生土器・甕	S D 059/100	2/8	石・大・多。赤・ 中・少	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ。板 ナデ	横ナデ。不明	-
87	35		弥生土器・甕	S D 059/100	3/8	露・小・普。石・ 大・多。赤・中・ 少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ後ハ ケ目。ハケ 目	横ナデ。ハケ 目	-
88	36		弥生土器・甕	S D 059/100	2/8	石・中・少。他・ 大・少	2.5Y5/3に ぶい黄色	横ナデ。板 ナデ後ミガ キ	横ナデ。ナデ	-
89	36		弥生土器・甕	S D 059/100	3/8	石・中・多。赤・ 小・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	-
90	36		弥生土器・甕	S D 059/100	4/8	石・中・多	5YR5/4に ぶい赤褐色	横ナデ。板 ナデ	横ナデ。ハケ 目後ナデ。ミ ガキ	-
91	36		弥生土器・甕	S D 059/100	2/8	石・中・多。他・ 大・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ。ハ ケ目。板ナ デ	横ナデ。ハケ 目。不明	-

第21表 土器観察表(3)

遺物 番号	種類	開版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調査	外面調整	備 考
92	36		弥生土器・甕	SD059/100	4/8	石・中・普、他・大・少	2.5YR5/6明赤褐色	板ナデ、横ナデ	指揮サエ後横ナデ、ハケ目	口縁に刻み目、腹部に刻み目穴等
93	36		弥生土器・甕	SD059/100	5/8	石・小・多、赤・小・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	不明	不明	-
94	36		弥生土器・甕	SD059/100	7/8	石・中・少、赤・小・普	5YR5/6明赤褐色	不明	不明	-
95	36		弥生土器・瓶	SD059/100	4/8	赤・中・少	2.5YR6/2灰 黄色	ナデ	ミガキ、ナデ	焼成後穿孔
96	36		弥生土器・壺	SD059/100	7/8	石・中・普	5YR6/4に ぶい藍色	横ナデ、ハ ケ目後横ナ デ、指揮サ エ後ナデ	横ナデ、ハケ 目	側中位に刻 み目文
97	36		弥生土器・壺	SD059/100	小片	石・中・普	5YR5/6明赤 褐色	ナデ、指 揮サエ、指 揮サエ後ナ デ	ナデ	-
98	36		弥生土器・壺	SD059/100	-	石・中・普	5YR7/6橙色	不明	ハケ目、ナデ	-
99	36		弥生土器・壺	SD059/100	-	石・大・多	10YR8/4浅 黄橙色	不明	ナデ、不明	波状文と直 線文が連続 する。単位 不揃い
100	36		弥生土器・壺	SD059/100	小片	石・中・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	不明	ハケ目	-
101	36		弥生土器・壺	SD059/100	小片	石・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	板ナデ	板ナデ	-
102	36		弥生土器・壺	SD059/100	小片	石・中・多	10YR8/1灰 白色	不明	不明	円形浮文貼 り付け
103	36		弥生土器・壺	SD059/100	小片	石・中・普	7.5YR8/4浅 黄橙色	ハケ目	板ナデ	-
104	36		弥生土器・壺	SD059/100	1/8	石・中・普、赤・ 小・普	7.5YR8/4浅 黄橙色	不明	不明	-
105	37		弥生土器・壺	SD059/100	-	石・小・少、他・ 小・普	10YR6/3に ぶい黄橙色	ミガキ	横ナデ	-
106	37		弥生土器・壺	SD059/100	2/8	石・中・少、他・ 中・多	5YR5/6明赤 褐色	ナデ、指 揮サエ	横ナデ、ナデ、 ハケ目	刻み目空等 2列
107	37		弥生土器・壺	SD059/100	6/8	赤・小・少、他・ 中・少	5YR5/4に ぶい赤褐色	横ナデ	ナデ、ハケ目	口縁に斜行 刻み目、その 上面に横子文
108	37		弥生土器・壺	SD059/100	2/8	石・中・少	2.5YR7/3浅 黄色	横ナデ、指 揮サエ後横 ナデ、指揮 サエ後ナデ	横ナデ、ハケ 目、ミガキ	-
109	37		弥生土器・壺	SD059/100	小片	石・中・普、他・ 大・少	5YR5/6橙色	不明	不明	口縁に穿孔 と側曲文
110	37		弥生土器・壺	SD059/100	2/8	石・小・多	10YR5/3に ぶい黄褐色	板ナデ後横 ナデ、横ナ デ、ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
111	37		弥生土器・壺	SD059/100	-	石・大・多、赤・ 大・少	10YR7/3に ぶい黄橙色	ミガキ、不 明、指揮サ エ、ナデ	横ナデ、ミガ キ、不明、ナ デ	-
112	37		弥生土器・鉢	SD059/100	3/8	石・中・少、赤・ 中・少	5YR5/6明赤 褐色	ハケ目、横ナ デ	ハケ目、横ナ デ	-

第22表 土器観察表(4)

遺物番号	博覧	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外表面色	内部調整	外面調整	備考
113	37		弥生土器・壺	SD059/100	7/8	石・中・少、赤・小・普	7.5YR6/4に ぶい褐色	指揮サエ	ミガキ、ナデ	-
114	37		弥生土器・壺	SD059/100	7/8	石・中・普、赤・小・普	2.5YR5/4に ぶい赤褐色	ナデ	ナデ	-
115	37		弥生土器・壺	SD059/100	6/8	石・大・多、赤・大・少	2.5YR5/6明 赤褐色	板ナデ	板ナデ、横ナ デ、ナデ	底部2箇所 に2つずつ の穿孔
116	37		弥生土器・壺	SD059/100	2/8	角・小・少、石・ 小・多、赤・中・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	ミガキ	ミガキ、ナデ	内外面ミガ キ
117	37		弥生土器・壺	SD059/100	8/8	石・大・多、赤・中・少	2.5Y7/2灰 黄色	ナデ	不明	-
118	37		弥生土器・壺	SD059/100	1/8	石・大・多	2.5Y6/3に ぶい黄色	不明	ミガキ、ナデ 後ミガキ	-
119	37	36	弥生土器・高杯	SD059/100	4/8	石・中・普、飽・ 中・普	7.5YR6/4に ぶい褐色	ナデ	ナデ	-
120	37		弥生土器・高杯	SD059/100	1/8	石・中・普	2.5Y7/3浅 黄色	ナデ	ナデ	穿孔の數 、大きさ 不明
121	38		弥生土器・鉢	SD059/100	小片	石・大・普	5YR6/6橙色	横ナデ、板 ナデ、板ナ デ後ミガキ	横ナデ、不明	-
122	38		弥生土器・鉢	SD059/100	3/8	石・中・普、飽・ 小・普	10YR5/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ミ ガキ	横ナデ、指揮 サエ、ミガキ	-
123	38		弥生土器・鉢	SD059/100	3/8	石・大・少、飽・ 中・普	7.5YR6/4に ぶい褐色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、板ナ デ	-
124	38		弥生土器・鉢	SD059/100	7/8	石・小・少、石・ 小・少	10YR5/4に ぶい黄褐色	ナデ	指揮サエ、ナ デ	-
137	41		弥生土器・壺	SD062	6/8	石・小・普、飽・ 小・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ミ ガキ	横ナデ、板ナ デ後ミガキ、 ミガキ、ナデ	-
138	41		弥生土器・壺	SD062	8/8	石・小・少、赤・ 小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ、ミ ガキ	横ナデ、ハケ 目、ミガキ、 ナデ	-
139	41		弥生土器・壺	SD062	1/8	石・大・普、赤・ 中・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	不明、ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
140	41		弥生土器・壺	SD062	1/8	石・中・少、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ミガキ	横ナデ、横ナ デ後ハケ目	-
141	42		弥生土器・壺	SD062	2/8	石・中・少、飽・ 小・普	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ、ミ ガキ	横ナデ、ハケ 目、ミガキ	-
142	42		弥生土器・壺	SD062	3/8	石・中・普、赤・ 小・少	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、ハケ 目、ミガキ	-
143	42		弥生土器・壺	SD062	7/8	石・中・普、赤・ 小・少	5YR5/6明赤 褐色	指ナデ	ミガキ、ナデ	-
144	42		弥生土器・高杯	SD062	6/8	石・大・多、赤・ 大・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、ナ デ	ナデ、ミガキ、 ナデ	-
145	42		弥生土器・壺	SD062	小片	石・小・多	2.5Y5/2暗 赤褐色	指揮サエ後 ハケ目	不明	波状・平行 斜格子の 網描文
146	42		弥生土器・壺	SD062	8/8	石・中・普、赤・ 小・普	7.5Y27/4に ぶい褐色	ナデ、ナデ 後ハケ目	ナデ、ミガキ、 ナデ	-
147	42		弥生土器・壺	SD062	8/8	石・大・多、赤・ 中・少	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、未 調整、ハケ 目、指揮サ エ	横ナデ、ハケ 目、ミガキ、 ナデ	-
148	42		弥生土器・壺	SD062	7/8	石・大・多、赤・ 中・普	10YR5/2灰 褐色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ハケ 目	刻み目突起 2条

第23表 土器観察表(5)

遺物 番号	種類	国版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
149	42		弥生土器・壺	SD062	8/8	石・大・普、赤・小・少	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ、ナデ	横ナデ、ハケ目後ナデ	-
156	45		弥生土器・壺	SD098	1/8	石・大・多、赤・大・普	7.5Y6/6橙色	横ナデ、不明	横ナデ、ナデ	L牌に沈線、頸部に刻み目安帯、肩に輪描沈線と平行線文を交互に配す
157	45		弥生土器・壺	SD098	小片	石・中・少、他・小・少	5YR4/4にぶい赤褐色	横ナデ、指押サエ	横ナデ	-
158	46		弥生土器・壺	SR01	4/8	石・中・多	2.5Y7/2灰黄色	不明	不明	-
159	46		弥生土器・壺	SR01	小片	石・中・少	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ、板ナデ後ミガキ	横ナデ、板ナデ	外面塗付着
160	46		弥生土器・壺	SR01	1/8	石・中・普	10YR7/3にぶい黄橙色	横ナデ、不明	横ナデ、板ナデ	-
161	46		弥生土器・壺	SR01	1/8	石・中・少	2.5Y6/2灰黄色	横ナデ、板ナデ後ミガキ	横ナデ、ハケ目	外面と口縁内面に焼付着
162	46		弥生土器・壺	SR01	1/8	石・中・普	2.5Y6/2灰黄色	横ナデ、ミガキ	横ナデ、ハケ目	外面塗付着
163	46		弥生土器・壺	SR01	7/8	石・小・普、赤・小・少	5Y6/2灰オリーブ色	板ナデ	ミガキ、ナデ	-
164	46		弥生土器・壺	SR01	1/8	石・中・少	2.5Y6/3にぶい黄色	ハケ目、ナデ	横ナデ	-
165	46		弥生土器・壺	SR01	小片	石・小・普	2.5Y6/2灰黄色	ミガキ、板ナデ	横ナデ、ハケ目	輪描文
166	46		弥生土器・壺	SR01	2/8	石・小・少、赤・小・少	2.5Y7/2灰黄色	板ナデ	ハケ目	輪描波状文
167	46		弥生土器・壺	SR01	1/8	石・中・少	2.5Y4/2暗灰黄色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、ハケ目	-
168	46		弥生土器・壺	SR01	2/8	石・中・少	2.5Y6/2灰黄色	横ナデ	横ナデ	頸部に刻み目安帯
169	46		弥生土器・壺	SR01	8/8	石・大・多	2.5Y6/4にぶい黄色	横ナデ、リヨン	横ナデ、ハケ目	-
170	46		弥生土器・壺	SR01	4/8	石・中・普	2.5Y5/3黄褐色	ハケ目、不明	ミガキ	-
171	46		弥生土器・壺	SR01	2/8	石・中・普	5Y6/2灰オリーブ色	横ナデ、指押サエ、板ナデ	横ナデ、板ナデ、ミガキ	-
173	48		弥生土器・壺	SH06	3/8	石・中・多、赤・大・少	5YR6/6明赤褐色	横ナデ、ミガキ	横ナデ、ハケ目、ミガキ	刺突文
174	48		弥生土器・壺	SH06	4/8	石・大・多、赤・大・普	7.5YR6/3にぶい褐色	ミガキ	ミガキ	-
175	48		弥生土器・壺	SH06	4/8	石・中・少	5YR5/6明赤褐色	指押サエナデ	横ナデ	-
176	48		弥生土器・壺	SH06	2/8	石・中・多、赤・小・少	2.5Y7/3浅黄色	ナデ、ハラ削り	叩き棒横ナデ、ハラ削り	-
177	48		弥生土器・壺	SH06	4/8	石・中・普、他・小・普	2.5Y7/4浅黄色	横ナデ、ハラ削り、ハケ目後指ナデ	横ナデ、叩き棒ナデ	-
178	48		弥生土器・壺	SH06	4/8	石・大・少	5YR5/4にぶい赤褐色	ハケ目	ハケ目、叩き、指押サエ	-
179	48		弥生土器・壺	SH06	3/8	石・大・少、赤・小・少	10YR7/4にぶい黄褐色	ハケ目、指押サエ、ナデ	叩き	-

第24表 土器観察表(6)

遺物番号	標記	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面調	内面調整	外面調整	備 考
180	48		弥生土器・壺	SH06	-	石・大・普、赤・大・少	2.5Y7/3浅黄色	指揮サエ、板ナデ、ナデ	叩き、ハケ目	幅広で縦やかな凹凸のハケ目
181	48		弥生土器・壺	SH06	8/8	石・大・多、赤・大・多	5YR6/6橙色	ハケ目、ヘタ削り	叩き、ハケ目	-
182	48		弥生土器・壺	SH06	1/8	石・中・普、赤・中・少	10YR7/4にぶい黄橙色	板ナデ、横ナデ	横ナデ、ナデ	-
183	49		弥生土器・壺	SH06	8/8	石・大・少	7.5YR6/4にぶい橙色	ハケ目、ナデ	ミガキ、ナデ	-
184	49		弥生土器・壺	SH06	3/8	石・大・多、赤・中・少	10YR7/4にぶい黄橙色	不明	小明	磨滅著しい
185	49		弥生土器・壺	SH06	4/8	石・大・多、赤・中・普	7.5YR6/6橙色	不明	ミガキ	-
186	49		弥生土器・壺	SH06	5/8	石・大・多、赤・大・普	5YR6/4にぶい橙色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、ハケ目	-
187	49		弥生土器・壺	SH06	2/8	石・大・多、赤・大・普	5YR6/6橙色	ハケ目	ハケ目	-
188	49		弥生土器・壺	SH06	6/8	石・大・多、赤・中・普	5YR5/4にぶい赤褐色	横ナデ、ハケ目	ナデ、横ナデ、ハケ目	-
189	49		弥生土器・鉢	SH06	小片	石・中・普、赤・中・少	5YR5/4にぶい赤褐色	ハケ目	ハケ目後横ナデ、ハケ目	-
190	49		弥生土器・鉢	SH06	1/8	石・中・普、赤・大・少	7.5YR6/4にぶい橙色	横ナデ後ハケ目、ハケ目	指揮サエ後横ナデ、ハケ目	-
191	49	36	弥生土器・鉢	SH06	6/8	石・小・普、他・小・普	7.5YR6/4にぶい橙色	ナデ	指揮サエ、叩き後ハケ目、叩き後ヘラ削り、叩き後ナデ	内面朱口縦直下まで付着
192	49		弥生土器・鉢	SH06	7/8	他・小・少	5YR5/4にぶい赤褐色	ハケ目、ミガキ	横ナデ、指揮サエ	口縦強い横ナデ
193	49		弥生土器・鉢	SH06	8/8	石・大・多、赤・大・普	5YR6/6橙色	ナデ	叩き、ナデ	-
194	49		弥生土器・鉢	SH06	3/8	石・大・多、赤・大・少	10YR7/3にぶい黄橙色	ナデ	叩き、ナデ	-
195	49		弥生土器・鉢	SH06	3/8	石・大・多、赤・大・普	10YR7/3にぶい黄橙色	ハケ目	横ナデ、ハケ目	-
196	49		弥生土器・鉢	SH06	2/8	石・中・普、赤・中・少	10YR7/4にぶい黄橙色	不明	板ナデ	-
197	49		弥生土器・鉢	SH06	2/8	石・中・多、赤・大・少	5YR5/6明赤褐色	不明	ナデ	-
198	49	36	弥生土器・鉢	SH06	8/8	石・大・多、赤・小・少	2.5Y6/3にぶい黄色	ハケ目	横ナデ	-
199	49		弥生土器・壺	SH06	4/8	石・大・多、赤・中・少	2.5Y6/1黄灰色	ハケ目、指揮サエ	ミガキ	外面ミガキ
200	49		弥生土器・鉢	SH06	1/8	石・小・普	10YR6/4にぶい黄橙色	ナデ	ハケ目	本来は完形で埋まっていた
201	49		弥生土器・鉢	SH06	8/8	石・大・少、他・小・普	2.5Y7/3浅黄色	ハケ目後ミガキ	ハケ目、ナデ	-
202	49		弥生土器・用途不明土製品	SH06	-	石・中・普、赤・小・普	2.5Y7/3浅黄色	不明	ミガキ	-
203	49		弥生土器・鉢	SH06	3/8	石・中・多、赤・大・少	7.5YR6/4にぶい橙色	横ナデ、板ナデ	横ナデ、ヘラ削り	-
204	51		弥生土器・壺	SH07	8/8	石・中・普、赤・大・少	7.5YR6/6橙色	ハケ目、板ナデ、ヘラ削り	横ナデ、ハケ目、ナデ	-

第25表 土器観察表(7)

遺物 番号	標印	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内部調整	外側調整	備 考
205	51		弥生土器・壺	S H07	小片	石・中・少。赤・中・少	5YR6/6橙色	横ナデ、ヘラ削り後ナデ	横ナデ、叩き後ハケ目	口縁内強い横ナデ
206	51		弥生土器・壺	S H07	1/8	石・大・普。赤・大・普	7.5YR6/6橙色	横ナデ、指押サエ、板ナデ	横ナデ、ナデ	-
207	51		弥生土器・壺	S H07	小片	石・中・少。石・人・少。赤・小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ、不明	横ナデ、ハケ目	-
208	51		弥生土器・壺	S H07	1/8	石・大・少。赤・小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	板ナデ後横ナデ、板ナデ	板ナデ後横ナデ、板ナデ	-
209	51		弥生土器・高杯	S H07	-	石・中・少。角・中・多。石・巾・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	不明	不明	-
210	51		弥生土器・土錐	S H07	8/8	石・中・多。赤・中・少	7.5YR6/6橙色	指押サエ	指押サエ	-
211	51		弥生土器・壺	S H07	1/8	石・中・少。石・中・普	5YR4/6赤褐色	横ナデ	横ナデ	-
212	51		弥生土器・壺	S H07	小片	石・中・多	10YR8/3浅 黄色	横ナデ	横ナデ、ハケ目	口縁にヘラ 描山形文
213	51		弥生土器・壺	S H07	6/8	石・中・普。赤・大・少	7.5YR6/6橙色	ミガキ、横ナデ、板ナデ	横ナデ、ミガキ	内外面ミガキ
214	51		弥生土器・壺	S H07	小片	石・小・多。赤・中・少	7.5YR6/6橙色	指押サエ後 ナデ	不明	-
215	51		弥生土器・鉢	S H07	2/8	石・中・普。赤・大・少	5YR6/6橙色	ナデ	ナデ、ハケ目、 不明	-
216	51		弥生土器・鉢	S H07	小片	石・大・普。赤・中・普	5YR6/6橙色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、板ナデ、 ヘラ削り	-
217	51		弥生土器・鉢	S H07	1/8	石・中・普。赤・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	叩き後ナデ、 ヘラ削り、ナデ	叩き後ナデ、 ヘラ削り、ナデ	-
218	51		弥生土器・鉢	S H07	1/8	石・大・少。赤・中・少	5YR6/6橙色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、板ナデ、 ハケ目	-
219	51		弥生土器・鉢	S H07	2/8	石・中・普。赤・中・少	5YR5/6明赤 褐色	ハケ目後横 ナデ、ハケ目	横ナデ、ヘラ 削り	-
220	51		弥生土器・鉢	S H07	2/8	石・中・普	5YR6/6橙色	ハケ目、ナ デ	ナデ、不明	-
221	51		弥生土器・壺	S H07	8/8	石・中・普。赤・大・普	7.5YR7/6橙色	板ナデ、ハ ケ目	ハケ目、ナデ	-
222	51		弥生土器・鉢	S H07	2/8	石・中・少。赤・大・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、板ナデ	横ナデ、ナデ	-
223	51		弥生土器・鉢	S H07	1/8	石・大・普。赤・中・少	5YR6/6橙色	ハケ目、指 押サエ	ハケ目、指 押サエ後ハケ目	外面に擦痕 痕
224	51		弥生土器・脚付 鉢	S H07	??/8	石・大・多。赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ハケ目後ミ ガキ、ハケ目	不明、ミガキ、 ハケ目後ミガキ、 横ナデ	穿孔ミケ所
225	54		弥生土器・壺	S H08	-	石・大・普。赤・大・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、指 押サエ後ナ デ、ヘラ削 り	横ナデ、ハケ 目	-
226	54		弥生土器・壺	S H08	1/8	石・中・多。赤・中・普	7.5YR6/6橙色	横ナデ、ハ ケ目	板ナデ後横 ナデ、不明	-
227	54		弥生土器・壺	S H08	1/8	石・中・多。赤・大・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ	指押サエ後横 ナデ	-
228	54		弥生土器・壺	S H08	2/8	石・大・多。赤・小・少	7.5YR6/6橙 色	不明	叩き後横ナデ、 叩き	-

第26表 土器観察表(8)

遺物番号	種別	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
232	54		弥生土器・鉢	SH08	1/8	石・中・多、赤・大・少	7.5YR7/4に ぶい黄褐色	不明	ハケ目後横ナ デ。ハケ目	口縁がほぼ 直立する
233	54		弥生土器・鉢	SH08	8/8	石・大・普、赤・大・少	2.5YR6/3に ぶい黄褐色	ナデ、指押 サエ後ハケ 目	指押サエ後ミ ガキ	-
234	54		弥生土器・甕	SH28	小片	石・大・少、赤・小・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、板ナ デ	横ナデ、叩き	怪不確定
235	54		弥生土器・甕	SH28	1/8	赤・中・少	5YR6/6橙色	ナデ、板ナ デ	ナデ、ハケ目	-
236	54		弥生土器・鉢	SH28	4/8	石・小・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	ナデ	指押サエ	-
238	56		弥生土器・甕	SH09	1/8	石・大・多	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、ナ デ。ヘラ削 り	叩き後横ナデ、 叩き、不明	-
239	56		弥生土器・甕	SH09	1/8	石・中・普、赤・ 小・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	ハケ目後横 ナデ。ハケ 目	ハケ目後横ナ デ。叩き後ハ ケ目	-
240	56		弥生土器・甕	SH09	小片	石・中・普、赤・ 大・少	5YR5/6明赤 褐色	ハケ目、ヘ ラ削り	横ナデ、ハケ 目	-
241	56		弥生土器・甕	SH09	1/8	石・中・普、赤・ 大・少	5YR6/6橙色	横ナデ、不 明	横ナデ、ハケ 目後横ナデ	-
242	56		弥生土器・甕	SH09	1/8	普・小・多、角・ 小・多、石・小・ 苦	10YR5/3に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ、ハケ 目後横ナデ	-
243	56		弥生土器・鉢	SH09	小片	石・中・多、赤・ 大・少	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、当 て具後ハケ 目	横ナデ、叩き 後ハケ目	-
244	56		弥生土器・鉢	SH09	2/8	石・大・普、赤・ 大・少	5YR5/6明赤 褐色	ハケ目	叩き後ナデ、 叩き、ナデ	-
245	56		弥生土器・鉢	SH09	6/8	石・中・普、赤・ 大・少	7.5YR6/6橙 色	板ナデ	指押サエ後ハ ケ目	-
246	56		弥生土器・鉢	SH09	4/8	石・小・多、赤・ 中・普	5YR5/6明赤 褐色	ハケ目	叩き後指押サ エ、ナデ	-
247	56		弥生土器・鉢	SH09	1/8	石・中・少、赤・ 中・少	5YR6/6赤褐色	ハケ目	指押サエ、板 ナデ	注書きが付 く
248	56		弥生土器・鉢	SH09	3/8	石・中・少、赤・ 小・少	5YR6/6橙色	不明	ナデ、ヘラ削 り	-
249	56		弥生土器・鉢	SH09	6/8	石・大・普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、指 押サエ後板 ナデ。指押 サエ後ハケ 目	横ナデ、ハケ 目、横ナデ、 ハケ目後横ナ デ	-
250	56		弥生土器・鉢	SH09	4/8	石・中・普、赤・ 中・少	5YR5/6明赤 褐色	ハケ目、ナ デ	ハケ目、ハケ 目後横ナデ、 ハケ目	-
251	56		弥生土器・鉢	SH09	小片	石・中・多、赤・ 大・少	5YR6/6橙色	ナデ	ナデ、ハケ目	-
252	56		弥生土器・甕	SH09	1/8	赤・小・少、偏・ 小・少	2.5Y6/3に ぶい黄褐色	指押サエ	指押サエ	-
253	56		土製品・防錆車	SH09	7/8	石・小・普、赤・ 中・少	2.5Y5/2暗 灰黄色	ナデ	ナデ	-
254	58		弥生土器・甕	SH13	8/8	石・中・多、赤・ 中・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	板ナデ	ハケ目	-
255	58		弥生土器・鉢	SH13	2/8	石・中・普、赤・ 大・少	7.5YR6/6橙 色	ハケ目	ハケ目、ナデ	-
256	58	36	弥生土器・取っ 手付皿	SH13	-	石・大・多、赤・ 中・普	7.5YR6/6橙 色	ナデ	指押サエ、ナ デ	-

第27表 土器観察表(9)

遺物 番号	桿回	国版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外因色調	内面調整	外面調整	備 考
259	59		弥生土器・甕	S H18	小片	石・中・多。赤・小・多	10YR8/4浅黄褐色	横ナデ。不明	横ナデ。板ナデ	-
260	59		弥生土器・甕	S H18	小片	石・中・少。赤・中・普	7.5YR6/6橙色	ハケ目。ヘラ割り	横ナデ。板ナデ。印き	-
261	59		弥生土器・甕	S H18	-	赤・小・少	5YR5/6橙色	横ナデ。ヘラ割り後板ナデ	横ナデ。印き	-
262	59		弥生土器・甕	S H18	8/8	石・大・普	5YR5/6橙色	ハケ目。板ナデ。指押サエ	ナデ。ハケ目	-
263	59		弥生土器・甕	S H18	小片	石・小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	-
264	59		弥生土器・鉢	S H18	-	赤・小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	焼き不確定
265	59		弥生土器・鉢	S H18	2/8	石・中・普。赤・中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	板ナデ	ナデ。印き後ナデ	-
266	59		弥生土器・鉢	S H18	6/8	石・中・少。他・小・少	10YR5/2灰 黄褐色	横ナデ	横ナデ。印き	外底面に植物葉の圧痕
267	59		弥生土器・甕	S H18	小片	石・中・普。赤・中・少	5YR5/6明赤 褐色	板ナデ。ヘラ割り	横ナデ。板ナデ。横ナデ	-
268	59		弥生土器・高杯	S H18	1/8	石・中・多	5YR6/6橙色	不明。横ナデ	不明。ハケ目 後ナデ。不明	-
269	59		弥生土器・鉢	S H18	1/8	石・大・普。赤・大・少	10YR5/3に ぶい黄褐色	ミガキ	ナデ	-
270	59		弥生土器・紡錘 車	S H18	5/8	石・小・少	5YR5/6明赤 褐色	指押サエ	指押サエ	-
272	61		弥生土器・甕	S H20	4/8	石・中・普。赤・中・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	ハケ目。ヘラ割り後板ナデ。ナデ	ナデ。ハケ目	口縁外側は 粗いナデ
273	61		弥生土器・甕	S H20	-	石・中・普。他・小・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	ナデ。横ナデ	ナデ。印き後 ハケ目	口縫がゆがんで いる
274	62		弥生土器・甕	S H20	5/8	石・中・少。赤・中・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目	ナデ。印き	口縁外側は 粗いナデ
275	62		弥生土器・甕	S H20	1/8	石・中・少。他・小・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ハケ目	ハケ目	-
276	62		弥生土器・甕	S H20	1/8	石・中・少。赤・中・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	不明。ナデ	横ナデ。ハケ 目	-
277	62		弥生土器・甕	S H20	1/8	石・中・少。他・小・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ。指 押サエ	横ナデ	-
278	62		弥生土器・甕	S H20	小片	石・中・普。他・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	ハケ目	ナデ。印き後 ハケ目	-
279	62		弥生土器・甕	S H20	6/8	石・小・少。他・小・少	7.5YR7/3に ぶい橙色	横ナデ。指 押サエ	横ナデ。ハケ 目	-
280	62		弥生土器・鉢	S H20	4/8	石・小・少。他・小・普	5YR5/4に ぶい赤褐色	不明	指押サエ後ハ ケ目。ナデ	-
281	62		弥生土器・高杯	S H20	小片	角・中・多。他・小・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ	横ナデ	-
282	62		弥生土器・甕	S H20	2/8	角・中・多。他・小・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ。指 押サエ	横ナデ。ハケ 目	-
283	62		弥生土器・甕	S H20	3/8	石・中・少。赤・小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	-
284	62		弥生土器・甕	S H20	3/8	赤・小・少	2.5Y7/4浅 黄色	横ナデ。板ナデ	横ナデ	-
285	62		弥生土器・甕	S H20	-	角・中・多。他・小・普	10YR5/3に ぶい黄褐色	ヘラ削り。指 押サエ	ミガキ	-

第28表 土器観察表(10)

遺物 番号	坪図	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
286	62		弥生土器・甕	S H20	小片	霧・中・苔、石・中・普、他・中・苔	5YR6/6橙色	横ナデ、指押サエ後板ナデ、ヘラ削り	横ナデ、ミガキ、叩き後ミガキ	-
287	64		弥生土器・甕	S H22	1/8	石・大・多、赤・中・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ヘラ削り	横ナデ、ハケ目	洞内面に朱付着
288	64		弥生土器・甕	S H22	1/8	霧・中・苔、角・中・少、石・小・普	10YR6/4に ぶい黄橙色	ハケ目、指押サエ	指押サエ後横ナデ、叩き目後ハケ目	-
289	64		弥生土器・甕	S H22	-	石・小・少、赤・小・少	10YR6/3に ぶい黄橙色	横ナデ、指押サエ	横ナデ、ハケ目	-
290	64		弥生土器・鉢	S H22	2/8	石・中・少、赤・小・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	不明	指押サエ後ナデ、ナデ	-
291	64		弥生土器・甕	S H22	1/8	石・小・普、他・小・普	2.5Y7/3浅 黄色	ナデ	ナデ、不明、指押サエ、ナデ	-
292	64		弥生土器・甕	S H22	小片	石・中・普、赤・大・少	5YR5/6橙色	横ナデ、不明	横ナデ、ハケ目	天端部の可 能性有り
293	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	石・大・多、赤・中・少	7.5YR6/6橙色	ハケ目、ナ デ後ヘラ削 り	ナデ、ハケ目	-
294	66		弥生土器・甕	S H23	5/8	石・中・普	10YR6/3に ぶい黄橙色	ハケ目、指 押サエ、ヘ ラ削り	横ナデ、ハ ケ目	-
295	66		弥生土器・甕	S H23	2/8	霧・中・苔、石・大・多	10YR6/3に ぶい黄橙色	横ナデ、ヘ ラ削り	横ナデ、ナデ	-
296	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	石・大・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、指 押サエ後ナ デ、ハケ目、 ヘラ削り	横ナデ、ハ ケ目、叩き 目	-
297	66		弥生土器・甕	S H23	8/8	石・中・普、赤・小・少	10YR6/3に ぶい黄橙色	横ナデ、ナ デ、ヘラ削 り	横ナデ、ハ ケ目	-
298	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	霧・小・多、石・中・普	10YR4/1褐 灰色	横ナデ、ナ デ、ヘラ削 り	横ナデ、板ナ デ	-
299	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	石・大・多、赤・大・普	10YR6/4に ぶい黄橙色	横ナデ、指 押サエ、ハ ケ目後ナデ 後ヘラ削り	横ナデ、ハ ケ目	-
300	66		弥生土器・甕	S H23	4/8	霧・小・少、石・中・普、赤・中・普	5YR6/6橙色	横ナデ、指 押サエ、ヘ ラ削り	横ナデ、ハ ケ目	-
301	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	霧・小・少、石・小・普、赤・中・多	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、指 押サエ、ヘ ラ削り後ハ ケ目	横ナデ、ハ ケ目	-
302	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	石・大・多	2.5Y5/3黄 褐色	横ナデ、ハ ケ目後ナデ、 ハケ目後横 ナデ、ハケ 目後ナデ、 ハケ目後ヘ ラ削り	横ナデ、叩 き後横ナデ、叩 き後板ナデ	-

第29表 土器観察表(1)

遺物番号	押印	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
303	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	雲・小・少、角・小・普、石・小・普	10YR5/4に ぶい黄褐色	横ナデ、指 押サエ後ナ デ	横ナデ、ナデ 目	-
304	66		弥生土器・甕	S H23	2/8	雲・小・少、石・大・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、ナ デ、ヘラ削 リ、板ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
305	66		弥生土器・甕	S H23	2/8	石・中・普、赤・中・普	5YR5/6橙色	横ナデ、指 押サエ後ヘ ラ削リ	横ナデ、指 押サエ後ハケ 目	外面下部煤 付着
306	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	石・大・多	7.5YR5/6橙 色	ハケ目、ナ デ後ハケ目	ナデ、印き	-
307	66		弥生土器・甕	S H23	4/8	雲・小・普、角・中・普、石・大・普、赤・大・少	10YR5/4に ぶい黄褐色	指 押サエ後横 ナデ、ナデ後 ヘラ削リ	指 押サエ後横 ナデ、ナデ後 ヘラ削リ	-
308	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	石・小・普、赤・大・少	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、ミガ キ、指 押サエ後 ハケ目、ナ デ	-
309	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	石・大・普、赤・中・普	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、ハケ 目	-
310	66		弥生土器・甕	S H23	5/8	雲・大・多、石・大・多、赤・小・少	10YR5/4に ぶい黄褐色	横ナデ、ナ デ	横ナデ	-
311	66		弥生土器・甕	S H23	-	角・小・多、石・小・少	10YR5/4に ぶい黄褐色	ナデ、ヘラ 削リ、指 押サエ	横ナデ、ミガ キ	-
312	66		弥生土器・甕	S H23	1/8	石・小・普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ハケ 目	穿孔は上 は4組、下は 3組か
313	66		弥生土器・甕	S H23	2/8	石・大・普	5YR5/6橙色	横ナデ	横ナデ	-
314	66		弥生土器・甕	S H23	-	石・大・多、赤・中・少	2.5Y7/3浅 黄色	ハケ目、指 押サエ、ナ デ、指 押サ エ	ミガキ	-
315	66		弥生土器・甕	S H23	8/8	石・大・多、赤・大・少	10YR5/4に ぶい黄褐色	板ナデ	ハケ目	-
316	67		弥生土器・高杯	S H23	小片	雲・中・多、角・中・多、石・小・普、赤・小・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、ミ ガキ、ヘラ 削リ	横ナデ、ヘラ 削リ後ミガキ、 ナデ、横ナデ	-
317	67		弥生土器・高杯	S H23	1/8	雲・小・普、角・小・多、石・小・普	2.5Y6/2灰 黄色	横ナデ	横ナデ	-
318	67		弥生土器・高杯	S H23	4/8	雲・小・普、角・小・普、石・小・普	7.5YR5/4に ぶい橙色	横ナデ、ミ ガキ、ナデ	横ナデ、ヘラ 削リ	杯内底1分 割のミガキ
319	67		弥生土器・高杯	S H23	1/8	雲・小・普、角・小・普、石・中・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	ヘラ削リ	横ナデ	穿孔は2個1 組。全体での 概数不明
320	67		弥生土器・瓶	S H23	小片	石・小・少、赤・小・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	指 押サエ後ナ デ、板ナデ	指 押サエ後ナ デ、板ナデ	-
321	67		弥生土器・鉢	S H23	1/8	石・小・普、赤・小・普	10YR5/4に ぶい黄褐色	板ナデ後横 ナデ、板ナ デ	板ナデ後横 ナデ、印き後ナ デ	-
322	67		弥生土器・鉢	S H23	2/8	石・小・普	10YR5/3に ぶい黄褐色	ナデ	横ナデ、不明	-
323	67		弥生土器・鉢	S H23	5/8	石・大・多	10YR5/4に ぶい黄褐色	横ナデ、ナ デ、指 押サ エ	横ナデ、横ナ デ後板ナデ	-

第30表 土器観察表(12)

遺物番号	博認	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
325	67		弥生土器・鉢	S H23	3/8	石・大・普、赤・火・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ハ ケ目後ナデ	横ナデ、板ナ デ後ナデ	外底に植物 の葉の圧痕
326	67	36	弥生土器・鉢	S H23	8/8	石・小・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	ハケ日	叩き、ナデ	-
327	67		弥生土器・鉢	S H23	4/8	石・中・普、赤・ 小・少	5YR7/6橙色	横ナデ、不 明	横ナデ、叩き、 指押サエ後ナ デ、ナデ	-
328	67		弥生土器・鉢	S H23	4/8	石・大・普、赤・ 中・普	10YR6/4に ぶい黄橙色	ナデ	板ナデ	-
329	69		弥生土器・甕	S H24	1/8	石・大・普、赤・ 大・少	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ、ハ ラ削リ	横ナデ、叩き、 ハケ目	-
330	69		弥生土器・甕	S H24	1/8	石・大・少、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、ハケ 目	-
331	69		弥生土器・甕	S H24	4/8	石・小・多、赤・ 中・少	5YR5/4に ぶい赤褐色	板ナデ、指 押サエ	ミガキ、ミガ キ後横ナデ、 ナデ	-
332	69		弥生土器・甕	S H24	2/8	石・中・多、石・ 小・普	10YR5/4に ぶい黄褐色	横ナデ、指 押サエ後機 ナデ、指押 サエ後ナデ	横ナデ、横ナ デ後ハケ目、 横ナデ	-
333	69		弥生土器・鉢	S H24	小片	石・小・少、赤・ 小・少	7.5YR6/6橙 色	不明	不明	-
334	69		弥生土器・鉢	S H24	-	石・中・少、角・ 中・少、赤・中・ 少	7.5YR5/4に ぶい褐色	ナデ、ハケ 目、ナデ	ハケ目	-
335	69		弥生土器・鉢	S H24	1/8	石・小・多	5YR6/6橙色	ハケ日、ナ デ	ナデ、指押サ エ	-
336	69		弥生土器・鉢	S H24	3/8	石・中・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	横ナデ、板 ナデ後ミガ キ	横ナデ、指 押サエ	-
337	69		弥生土器・鉢	S H24	4/8	石・中・普、赤・ 大・多	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、ナデ	-
338	69		弥生土器・鉢	S H24	8/8	石・大・多、赤・ 中・少	7.5YR6/6橙 色	ナデ後ハケ 目、ナデ	ハケ目	-
339	71		弥生土器・甕	S H25	1/8	石・大・多、赤・ 人・普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、不 明	横ナデ、ハケ 目	-
340	71		弥生土器・甕	S H25	5/8	石・中・多、赤・ 中・普	7.5YR6/6橙 色	ハケ目後機 ナデ、ハケ 目、ヘラ削 り	ハケ目後機ナ デ、ハケ目	-
341	71		弥生土器・甕	S H25	7/8	石・小・普、赤・ 中・普	5YR5/4に ぶい赤褐色	横ナデ、ハ ケ目後ヘラ 削り、ヘラ 削り	指押サエ、横 ナデ、ハケ目	-
342	71		弥生土器・甕	S H25	1/8	石・小・少、石・ 中・普	7.5YR6/6橙 色	指押サエ、 ヘラ削り	ナデ、叩き目 後ナデ、叩き 目後ハケ目	-
343	71		弥生土器・甕	S H25	3/8	石・大・普、赤・ 大・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、ナ デ後ヘラ削 り	横ナデ、叩き 目後機ナデ、 叩き目後ハケ 目	-
344	71		弥生土器・甕	S H25	2/8	石・大・多、赤・ 大・少	2.5YR7/3淡 赤褐色	ハケ目、ヘ ラ削り後板 ナデ	指押サエ後ナ デ、叩き目後 ナデ、叩き目 後板ナデ	-
345	71		弥生土器・甕	S H25	1/8	石・大・多	10YR7/4に ぶい黄橙色	ハケ目、指 押サエ後ナ デ	横ナデ、ハケ 目	-

第31表 土器観察表(3)

遺物番号	博物館	国版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
346	71		弥生土器・壺	S H25	1/8	石・少・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目、板 ナデ	不明、指押サ 工後ハケ目、 ハケ目後板ナ デ	-
347	71		弥生土器・壺	S H25	3/8	石・大・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	板ナデ、ハ ケ目	横ナデ、印き 目	-
348	71		弥生土器・壺	S H25	4/8	石・大・多、赤・ 大・普	5YR6/6橙色	ハケ目、板 ナデ後ナデ	印き後ハケ目、 ハケ目	-
349	72		弥生土器・壺	S H25	3/8	角・小・多、石・ 少・赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、指 押サ工後横 ナデ、ハケ 目後指押サ 工後ナデ	横ナデ、ハケ 目後横ナデ	-
350	72		弥生土器・壺	S H25	-	石・中・少、角・ 中・多、石・中・ 普	10YR6/4に ぶい黄褐色	ナデ、ヘラ 削り	ミガキ	-
351	72		弥生土器・高杯	S H25	1/8	石・大・多、赤・ 大・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ヘラ 削り後ミガキ	-
352	72		弥生土器・高杯	S H25	1/8	石・中・少、角・ 中・少、石・中・ 普、赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ミ ガキ	杯内底は方 形区割のミ ガキ	
353	72		弥生土器・高杯	S H25	2/8	石・大・普、赤・ 中・少	7.5YR6/6橙 色	ヘラ削り	ナデ、横ナデ 空孔2段。 何箇所か不明	
354	72		弥生土器・高杯	S H25	3/8	石・中・多、角・ 中・多、石・中・ 多	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、ナ デ後ミガキ、 板ナデ	横ナデ、ヘラ 削り後ミガキ、 ナデ	杯内外底と も方形区画のミ ガキ
355	72		弥生土器・鉢	S H25	2/8	石・大・多	5YR6/6橙色	ハケ目後板 ナデ	ナデ、板ナデ	-
356	72		弥生土器・鉢	S H25	2/8	石・中・普、赤・ 中・多	7.5YR6/4に ぶい橙色	ハケ目、不 明	板ナデ、指 押サ工後ナデ、 ナデ	-
357	72		弥生土器・鉢	S H25	3/8	石・大・多、赤・ 大・少	7.5YR6/6橙 色	ハケ目	ナデ	外底に植物 葉の圧痕
358	72	36	弥生土器・鉢	S H25	2/8	石・大・多、石・ 大・普	7.5YR4/3褐 色	ハケ目後ミ ガキ	横ナデ後ハケ 目、ハケ目	-
359	72		弥生土器・壺	S H25	2/8	石・中・普、赤・ 中・少	7.5YR7/6橙 色	指押サエ	ナデ	-
360	72		弥生土器・鉢	S H25	-	石・大・多	7.5YR6/6橙 色	ハケ目、指 押サ工後ナ デ	ハケ目、不明	-
361	72		弥生土器・鉢	S H25	4/8	石・小・普、石・ 大・普	10YR5/4に ぶい黄褐色	ハケ目後指 押サエ、横 ナデ、板ナ デ	横ナデ、ミガ キ	-
362	72		弥生土器・鉢	S II25	小片	石・中・普、赤・ 中・少	5YR6/6橙色	横ナデ、指 押サ工後ナ デ、横ナデ、 指押サ工後 ナデ	横ナデ、横ナ デ後ミガキ、 ヘラ削り	-
363	72		弥生土器・脚付 鉢	S H25	-	石・中・少、赤・ 火・少	5YR6/6橙色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、ナデ	-
364	73		弥生土器・壺	S H26	小片	石・小・多、角・ 小・普、赤・小・ 少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	-
365	73		弥生土器・壺	S H26	小片	赤・小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ	ミガキ	三角区画文

第32表 土器観察表II

遺物 番号	押印	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
366	73		弥生土器・甕	S H26	-	石・小・少、赤・ 小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ、指 押サエ	横ナデ、叩き 後ハケ目	-
367	73		弥生土器・甕	S H26	小片	Li・中・少、赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい黄褐色	板ナデ、ハ ク削り	指押サエ、ハ ケ目、叩き	-
368	73		弥生土器・甕	S H26	小片	赤・小・少	7.5YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	-
369	73		弥生土器・耳皿	S H26	8/8	他・小・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	指押サエ後ナ デ	指押サエ後ナ デ	-
370	73		弥生土器・脚付 鉢	S H26	1/8	石・小・少、赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい黄褐色	不明	ナデ	-
371	73		弥生土器・鉢	S H26	8/8	雲・小・多、石・ 大・普	7.5YR6/4に ぶい褐色	ハケ目、ナ デ	指押サエ	-
372	73		弥生土器・脚付 鉢	S H26	-	角・中・普、石・ 小・少、他・小・ 少	7.5YR7/4に ぶい褐色	不明、ミガ キ	ミガキ、不明	-
373	73		弥生土器・鉢	S H26	小片	赤・中・少、他・ 中・普	2.5Y7/3浅 黄色	指押サエ、 板ナデ	不明	口径不定
374	74		弥生土器・甕	S H27	小片	石・中・多、赤・ 中・少	5YR5/4に ぶい赤褐色	横ナデ、ハ ク削り	横ナデ、ハケ 目後横ナデ、 ハケ目	-
375	74		弥生土器・甕	S H27	小片	石・小・少	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ	横ナデ	-
376	74		弥生土器・鉢	S H27	1/8	Li・中・少、赤・ 小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	ナデ	ナデ、ハケ目、 ナデ	-
377	76		弥生土器・甕	S H29	小片	石・大・少、赤・ 中・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、叩き、 ナデ	-
378	76		弥生土器・甕	S H29	1/8	石・大・少、赤・ 大・少	10YR6/6赤色	横ナデ、指 押サエ	横ナデ、ハケ 目、叩き	-
379	76		弥生土器・甕	S H29	-	石・小・少、赤・ 中・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、ハケ 目	-
380	76		弥生土器・高杯	S H29	1/8	石・大・少、赤・ 小・少	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ	ヘラ削り	-
381	76		弥生土器・壺	S H29	小片	石・中・少	10YR4/2灰 黄褐色	横ナデ	横ナデ	-
382	76		弥生土器・鉢	S H29	小片	石・大・少、他・ 小・少	7.5YR7/6橙 色	板ナデ	板ナデ、叩き	-
383	76		弥生土器・鉢	S H29	2/8	石・中・普	7.5YR6/4に ぶい褐色	ナデ	指押サエ後ナ デ	-
390	78		弥生土器・甕	S II33	小片	雲・小・少、石・ 小・普、赤・大・ 少	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、叩き、 ハケ目	-
391	78		弥生土器・甕	S H33	2/8	石・小・普、赤・ 大・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、ハケ 目	-
392	78		弥生土器・脚付 鉢	S H33	7/8	石・小・少、赤・ 小・少	7.5YR4/3褐 色	指押サエ、 ナデ	ハケ目	-
393	78		弥生土器・鉢	S H33	2/8	石・小・少、赤・ 小・少	5YR6/6橙色	ナデ、板ナ デ、指押サ エ	ナデ、叩き	-
394	78		弥生土器・鉢	S H33	4/8	Li・中・普	7.5YR6/6橙 色	ナデ	叩き、ナデ	-
395	78		弥生土器・鉢	S H33	4/8	石・中・少	5YR6/6橙色	指押サエ、 ナデ	ナデ	-
396	78		弥生土器・鉢	S H33	2/8	石・大・多、赤・ 大・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ハケ目後横 ナデ、ハケ 目後指押サ エ	横ナデ、ヘラ 削り	-

第33表 土器観察表(1)

遺物番号	標図	図版	種類・器種	遺構名	現存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
397	78		弥生土器・鉢	S H33	2/8	石・大・普・赤・大・青	7.5YR7/6橙色	ハケ目・ナデ	ナデ・叩き	-
398	78		弥生土器・鉢	S H33	7/8	石・大・多・赤・大・青	5YR5/6橙色	ハケ目・横ナデ	横ナデ・叩き	-
399	78		弥生土器・鉢	S H33	1/8	石・小・普・他・小・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	ハケ目	叩き・ナデ	-
400	78		弥生土器・鉢	S H33	8/8	石・大・普	5YR5/6明赤 褐色	ハケ目	ナデ	-
401	78		弥生土器・鉢	S H33	1/8	石・大・普・赤・大・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	板ナデ	ナデ	-
402	78		弥生土器・鉢	S H33	8/8	石・小・多	7.5YR5/6明 褐色	ハケ目・ナデ・ ハケ目	横ナデ・叩き 後ナデ・ナデ	叩き痕不明 瞭
403	78		弥生土器・鉢	S H33	2/8	石・中・少・赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ・ハ ク目	横ナデ・叩き	-
404	78		弥生土器・鉢	S H33	1/8	石・中・少・赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ナデ	ナデ・ヘラ削 り	-
405	78		弥生土器・鉢	S H33	2/8	石・大・少・赤・大・少	10YR5/3に ぶい黄褐色	ハケ目・横 ナデ	ナデ・横ナデ	外底に植物 の圧痕
406	78		弥生土器・鉢	S H33	1/8	石・大・少・他・小・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	ハケ目・不 明	ナデ	-
407	78		弥生土器・鉢	S H33	2/8	石・中・多・赤・中・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	ナデ	不明	-
411	79		弥生土器・壺	S K09	1/8	石・小・少・赤・小・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ・ナ ク目	横ナデ・叩き	-
412	79		弥生土器・壺	S K09	6/8	石・大・少・赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ハケ目・指 押せし、 ヘラ削り	横ナデ・ハケ 目	-
413	79		弥生土器・壺	S K09	6/8	石・大・普・赤・中・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	指押サエ・ 横ナデ・ヘ ラ削り	横ナデ・ナデ	-
414	79		弥生土器・壺	S K09	1/8	石・小・普・赤・小・普	7.5YR6/6橙 色	ハケ目・ナ デ・ヘラ削 り	ナデ・ハケ目	-
415	79		上部器・壺	S K09	7/8	石・大・少・赤・小・普	5YR5/6橙色	板ナデ・ヘ ラ削り	横ナデ・叩き 後ナデ	口縁直下ま でヘラ削り
416	79		弥生土器・鉢	S K09	3/8	赤・中・普・他・小・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	ハケ目	ナデ・指押サ エ	-
417	79		弥生土器・鉢	S K09	1/8	石・大・普・赤・中・少	5YR5/4にぶ い橙色	ハケ目・ナ デ	ナデ・ハケ目 後ナデ・ヘラ 削り	-
418	80		弥生土器・壺	S K21	1/8	石・大・多・赤・中・少	2.5YR5/6明 赤褐色	ハケ目・横 ナデ・指 押せし、 ヘラ削 り	横ナデ・叩き ハケ目	頭部外縁を 強く横方向 にハケ目
419	80		弥生土器・壺	S K21	2/8	石・大・多	7.5YR7/4に ぶい橙色	横ナデ・指 押せし、ハ ク目	不明	-
420	80		弥生土器・壺	S K21	2/8	石・中・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ・指 押せし、ナ デ	横ナデ・ハケ 目	-
421	80		弥生土器・壺	S K21	2/8	石・中・普・赤・中・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	横ナデ・板ナ デ	横ナデ・板ナ デ	-
422	80		弥生土器・壺	S K21	1/8	石・大・普・赤・大・少	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ・ハ ク目・板ナ デ	横ナデ・指 押せし、ハケ 目	-
423	80		弥生土器・壺	S K21	1/8	赤・大・少・他・小・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	板ナデ・指 押せし	叩き・横ナデ	-

第34表 土器観察表(1)

遺物番号	種類	器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
424	80	弥生土器・甕	S K21	1/8	石・中・普	5YR5/6橙色	ハケ目、板ナデ	板ナデ、ハケ目	頸部のくびれが小さく肩が広がらない
425	80	弥生土器・甕	S K21	5/8	石・大・多、赤・中・普	2.5YR5/6黄赤褐色	ナデ、指揮サエ、板ナデ	不明	-
426	80	弥生土器・甕	S K21	4/8	石・中・少、他・小・少	2.5Y7/3浅黄色	指揮サエ、ハケ目、ヘラ削り後継ナデ	横ナデ、叩き、ハケ目	-
427	81	弥生土器・甕	S K21	小片	石・中・普、赤・大・少	7.5YR5/6明褐色	小明	不明、横ナデ	-
428	81	弥生土器・鉢	S K21	1/8	石・大・少、赤・中・少	10YR5/4にぶい黄橙色	横ナデ、ハケ目、板ナデ	横ナデ、ハケ目、ナデ	-
429	81	弥生土器・鉢	S K21	8/8	石・中・普、赤・中・少	10YR7/4にぶい黄橙色	ナデ、板ナデ	ハケ目、ナデ	-
430	81	弥生土器・鉢	S K21	1/8	石・小・普、赤・小・少	2.5Y7/3浅黄色	板ナデ	叩き	-
431	81	弥生土器・鉢	S K21	5/8	石・大・少、他・中・普	2.5YR5/6明赤褐色	板ナデ	ヘラ削り、ナデ	-
432	81	弥生土器・鉢	S K21	4/8	石・大・多、赤・大・普	5YR5/6橙色	ナデ	ヘラ削り、ハケ目	-
433	83	弥生土器・甕	S K36	3/8	石・中・少、赤・中・少	7.5YR5/6橙色	横ナデ、ナデ、ヘラ削り後ナデ	横ナデ、ハケ目、横ナデ	-
434	83	弥生土器・甕	S K36	3/8	石・中・少、赤・中・少	7.5YR6/6橙色	横ナデ、ナデ、ヘラ削り後ナデ	横ナデ、ハケ目、横ナデ	-
435	83	弥生土器・甕	S K36	4/8	石・中・少、赤・中・少	7.5YR5/4にぶい橙色	横ナデ、指揮サエ、ヘラ削り	横ナデ、ハケ目、ナデ	叩きの可能性もある様なハケ目。内面横へのヘラ削り
436	83	弥生土器・甕	S K36	3/8	石・中・少、赤・小・普	7.5YR5/6明褐色	板ナデ、指揮サエ後ヘラ削り	横ナデ、板ナデ	-
437	84	弥生土器・甕	S E01	1/8	石・中・普	2.5Y8/2灰白色	ハケ目、ナデ	横ナデ、叩き、ハケ目	-
438	84	弥生土器・甕	S E01	2/8	石・大・普、赤・中・少	2.5Y6/3にぶい黄色	ハケ目、板ナデ	叩き、ナデ、ハケ目	胴外面塗付帯
439	84	弥生土器・甕	S E01	2/8	石・中・普、赤・大・普	2.5Y7/3浅黄色	ハケ目、板ナデ	ナデ、ハケ目、叩き	-
440	84	弥生土器・甕	S E01	3/8	角・大・多、石・大・多	10YR6/3にぶい黄橙色	ハケ目、板ナデ	ハケ目	外面撫付着
441	84	弥生土器・甕	S E01	4/8	石・大・多、赤・大・少	2.5Y6/2灰黄色	ハケ目、ヘラ削り	叩き、ハケ目	外面塗付着
442	84	弥生土器・甕	S E01	4/8	石・中・普	2.5Y6/2灰黄色	指揮サエ、横ナデ、ハケ目、板ナデ	横ナデ、叩き、ハケ目	-
443	84	弥生土器・甕	S E01	6/8	石・大・少、他・小・普	5Y6/2灰オーリーブ色	ハケ目、指揮サエ、ヘラ削り	横ナデ、叩き、ハケ目	外面塗付着
444	84	弥生土器・甕	S E01	8/8	石・中・普、赤・中・少	10YR6/4にぶい黄橙色	横ナデ、指揮サエ、ヘラ削り、ハケ目	叩き、ハケ目	外面塗付着

第35表 土器観察表(1)

遺物番号	博物館	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面痕撃	外面調整	備考
445	84		弥生土器・甕	SE01	8/8	石・中・少、他・小・普	2.5Y5/3黄褐色	指押サエ、ナデ、板ナデ	叩き、ハケ日、横ナデ	-
446	84	37	弥生土器・甕	SE01	1/8	石・中・普、赤・小・少	10YR7/3にぶい黄褐色	横ナデ、指押サエ、板ナデ	横ナデ、叩き、横ナデ	-
447	84		弥生土器・甕	SE01	4/8	石・大・多	2.5Y5/1黃灰色	ヘラ削り	ミガキ	外面焼、内面炭化物付着
448	85		弥生土器・甕	SE01	2/8	石・大・多、赤・大・少	2.5Y6/3にぶい黄色	横ナデ、ハケ日、指押サエ	横ナデ、松ナデ、ハケ目	-
449	85		弥生土器・甕	SE01	6/8	石・大・多	10YR6/4にぶい黄褐色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、ハケ目	
450	85		弥生土器・甕	SE01	3/8	普・小・少、石・小・多	5Y6/2灰オリーブ色	横ナデ、指押サエ	横ナデ、ハケ目	-
451	85	37	弥生土器・甕	SE01	8/8	普・中・普、角・中・少、石・小・少	5Y6/2灰オリーブ色	横ナデ、ハケ目、指押サエ	横ナデ、ハケ目	-
452	85		弥生土器・甕	SE01	3/8	普・小・少、角・中・多、石・中・多	2.5Y6/2灰黄色	横ナデ、指押サエ、ナデ、ヘラ削り	ミガキ、ハケ目	-
453	85	37	弥生土器・甕	SE01	7/8	角・小・普、石・小・少	2.5Y6/2灰黄色	板ナデ、ハケ目、ヘラ削り、指押サエ	横ナデ、ミガキ、ハケ目	漆状物質、朱付着
454	85		弥生土器・甕	SE01	-	普・小・多、石・小・少	2.5Y6/3にぶい黄色	指押サエ、指押サエ後ナデ	ハケ目	-
455	85		弥生土器・甕	SE01	3/8	他・小・普	2.5Y6/3にぶい黄色	指押サエ	ハケ目、ミガキ	底付近のみ叩きが残る
456	85		弥生土器・高杯	SE01	-	他・小・普	2.5Y6/3にぶい黄色	指押サエ、ナデ	ハケ目	穿孔4ヶ所
457	85	37	弥生土器・鉢	SE01	8/8	石・小・普、赤・小・少	2.5Y7/2灰黄色	ハケ目、指押サエ	横ナデ、叩き	-
458	85	37	弥生土器・鉢	SE01	7/8	石・小・普	2.5Y7/2灰黄色	横ナデ	横ナデ、ハケ目	-
459	85		弥生土器・鉢	SE01	3/8	赤・大・少、他・小・少	2.5Y3/1黒褐色	ナデ	ハケ目、ナデ、指押サエ	-
460	85		弥生土器・鉢	SE01	6/8	石・大・普、他・小・普	2.5Y6/2灰黄色	ハケ目、板ナデ	ナデ	-
461	85		弥生土器・鉢	SE01	1/8	石・中・少、他・小・少	2.5Y6/2灰黄色	ハケ目、ミガキ、ヘラ削り	ミガキ	-
462	85		弥生土器・鉢	SE01	8/8	石・小・少、赤・小・少	2.5Y7/2灰黄色	ハケ目	指押サエ後ナデ	-
463	85		弥生土器・甕	SE01	1/8	石・大・多	5Y6/2灰オリーブ色	ナデ、ハケ目、指押サエ、板ナデ	ナデ、ハケ目、ミガキ	-
464	85	37	弥生土器・脚付鉢	SE01	6/8	石・小・少	7.5YR7/4にぶい橙色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、ミガキ、ヘラ削り	-
465	85		弥生土器・脚付鉢	SE01	5/8	他・小・少	7.5YR8/3浅黄褐色	ハケ目	ナデ、ハケ目	穿孔4ヶ所
466	86		弥生土器・甕	SD001F	1/8	他・小・少	7.5YR6/3にぶい褐色	横ナデ、板ナデ	横ナデ、叩き後ハケ目	-
467	86		弥生土器・甕	SD001F	1/8	石・小・少	10YR6/3にぶい黄褐色	ハケ目、ナデ	ナデ、叩き後ハケ目	-

第36表 土器観察表

遺物番号	博団	国版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外表面調	内面調整	外面調整	備 考
468	86		弥生土器・甕	S D001F	1/8	石・中・普。赤・中・少	5YR6/6褐色	ハケ目、ハケ目後ナデ	ナデ、叩き、叩き後ハケ目	-
469	86		弥生土器・甕	S D001F	1/8	石・大・少。赤・大・少	7.5YR5/4にぶい褐色	ハケ目、ハケ目後ナデ	ナデ、叩き	-
470	86		弥生土器・甕	S D001F	2/8	石・小・少。赤・小・少	7.5YR5/4にぶい褐色	横ナデ、指揮サエ後ハケ目、板ナデ	横ナデ、ハケ目	-
471	86		弥生土器・甕	S D001F	2/8	石・大・多	2.5Y6/3にぶい黄色	横ナデ、ハケ目、ハケ目後ナデ、指揮サエ、ナデ後ヘラ削り	横ナデ、ハケ目	-
472	86		弥生土器・甕	S D001F	8/8	石・大・普。他・小・少	2.5Y6/3にぶい黄色	横ナデ、ハケ目、指揮サエ	横ナデ、ハケ目、板ナデ	ハケ目2種使用
473	86		弥生土器・甕	S D001F	-	石・中・少。他・小・少	2.5Y7/2灰黄色	横ナデ、指揮サエ	横ナデ、ハケ目	-
474	86		弥生土器・甕	S D001F	7/8	石・中・少。他・小・少	10YR6/4にぶい黄橙色	横ナデ、ナデ	横ナデ、ハケ目	-
475	86		弥生土器・甕	S D001F	1/8	石・大・多。赤・大・普	7.5YR6/6褐色	ナデ、指揮サエ	ナデ、不明、ハケ目	-
476	86		弥生土器・鉢	S D001F	8/8	石・中・普。他・小・少	2.5Y7/3浅黄色	不明	横ナデ、指揮サエ後叩き	外底に植物葉の圧痕
477	86		弥生土器・鉢	S D001F	7/8	石・中・普。他・小・少	10YR7/3にぶい黄褐色	ハケ目	ナデ、叩き	外底に植物葉の圧痕
478	86		弥生土器・鉢	S D001F	4/8	石・中・少	2.5Y6/3にぶい黄色	指揮サエ	指揮サエ	-
479	86		弥生土器・甕	S D001F	-	角・中・多。他・小・普	10YR6/4にぶい黄橙色	指揮サエ	不明	-
480	86		弥生土器・高杯	S D001F	小片	角・中・普。他・小・少	7.5YR6/4にぶい褐色	ナデ	ナデ	穿孔数不明
481	89		弥生土器・甕	S D030	4/8	石・中・少	10YR7/4にぶい黄橙色	横ナデ、板ナデ、小明ミガキ	横ナデ、ナデ、ミガキ	外画面中位斜み目入り刻文
482	89		弥生土器・甕	S D030	1/8	石・小・少	2.5Y6/2灰黄色	ミガキ	ミガキ	-
483	89		弥生土器・甕	S D030	2/8	石・中・普。赤・中・普	7.5YR6/4にぶい褐色	横ナデ、指揮サエ、ナデ	ナデ、叩き	-
484	89		弥生土器・甕	S D030	8/8	石・中・少。赤・中・少	7.5YR6/4にぶい褐色	横ナデ、不明、指揮サエ、不明	横ナデ、叩き後ハケ目	-
485	89		弥生土器・甕	S D030	4/8	石・大・普。赤・大・普	5YR5/4にぶい赤褐色	不明、横ナデ、指揮サエ後ナデ、ヘラ削り	横ナデ、板ナデ、ナデ	-
486	89		弥生土器・甕	S D030	1/8	石・大・多。赤・大・普	7.5YR5/6褐色	ハケ目、ナデ、ヘラ削り	叩き後ハケ目	-
487	89		弥生土器・甕	S D030	6/8	石・大・普。赤・大・普	7.5YR6/6褐色	ハケ目、指揮サエ、ハケ目	ナデ、叩き後ハケ目	-
488	89		弥生土器・甕	S D030	7/8	石・中・少。赤・中・少	10YR6/4にぶい黄橙色	ナデ、板ナデ、指揮サエ	ナデ、叩き	-

第37表 土器観察表(1)

遺物番号	神田	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外表面調	内面調整	外面調整	備考
489	89		弥生土器・壺	SD030	3/8	石・大・普、赤・大・少	7.5YR6/6橙色	横ナデ、指押サエ、ヘラ削り	横ナデ。ハケ日	外面鋸圧痕付窓
490	89		弥生土器・壺	SD030	2/8	石・大・多、赤・大・普	7.5YR6/6明褐色	ハケ目後ナデ、ヘラ削り	横ナデ。ハケ目	口縁底下までヘラ削り
491	89		弥生土器・壺	SD030	5/8	石・大・多、赤・中・普	7.5YR6/6橙色	ヘラ削り	指押サエ後ハケ目	小さなギザ
492	89		弥生土器・壺	SD030	8/8	石・中・普、赤・中・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	横ナデ、指押サエ、板ナデ、指押サエ後ナデ	横ナデ、叩き、 ハケ日	-
493	89		弥生土器・壺	SD030	3/8	石・大・多、赤・大・普	7.5YR6/6明褐色	板ナデ	叩き後横ナデ、 叩き後板ナデ	-
494	90		弥生土器・壺	SD030	1/8	石・中・普、赤・中・多	7.5YR6/6橙色	横ナデ後ハケ目、板ナデ	横ナデ後ハケ目、 ハケ日、不明	-
495	90		弥生土器・壺	SD030	小片	石・大・普、赤・中・少	7.5YR6/4橙色	横ナデ、横ナデ後ミガキ、 ヘラ削り	横ナデ、板ナデ、不明	-
496	90	37	弥生土器・壺	SD030	8/8	石・大・多、赤・大・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ヘラ削り	横ナデ、叩き後ハケ目	-
497	90		弥生土器・壺	SD030	1/8	石・大・多、赤・大・普	2.5YR6/6明褐色	横ナデ、ヘラ削り	横ナデ、板ナデ	-
498	90		弥生土器・壺	SD030	2/8	石・小・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ後ハケ目、 ヘラ削り、指押サエ	指押サエ後叩き後横ナデ、 叩き後ナデ	粗雑なつくり、 形態不均質
499	90		弥生土器・壺	SD030	1/8	石・大・多、赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ハケ目、ヘラ削り	横ナデ。ハケ日	-
500	90		弥生土器・壺	SD030	2/8	角・中・普、石・中・普、赤・大・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ヘラ削り	横ナデ、ハケ目	-
501	90		弥生土器・壺	SD030	小片	石・中・少、赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ミガキ	繊維波状文	繊維波状文と 帶墨痕状文
502	90		弥生土器・壺	SD030	-	石・大・多、赤・小・普	10YR6/4に ぶい黄橙色	不明	ナデ	-
503	90		弥生土器・壺	SD030	-	石・大・普、赤・大・少	5YR6/6明赤褐色	ハケ目、指押サエ	小明、ハケ日、 ハケ目後ミガキ	-
504	90	37	弥生土器・壺	SD030	3/8	石・大・少、他・中・普	2.5Y5/2暗灰黄色	ナデ	横ナデ、ナデ	極めて厚く 重たい
505	90		弥生土器・壺	SD030	4/8	石・大・普、赤・大・少	5YR6/8橙色	ナデ、ハケ日後ナデ、 小明	横ナデ、ハケ日後ナデ、ナデ	口縁に半截 竹管による 削み目
506	90		弥生土器・壺	SD030	8/8	石・大・多、赤・大・多	2.5Y7/3浅黄色	ナデ、指押サエ、 ハケ日、指押サエ	ナデ、叩き後 ハケ日後ナデ、ナデ	-
507	91	37	弥生土器・壺	SD030	8/8	角・大・多、石・中・多、赤・中・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、指 押サエ後ナ デ、ヘラ削 り、指押サ エ	横ナデ、ミガ キ、ハケ日後 ミガキ	-

第38表 土器観察表(2)

遺物 番号	伴 属	図版	種類・器種	遺構名	現存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
508	91		弥生土器・壺	SD030	7/8	素・中・普・角・ 中・普・石・中・ 普・赤・中・少	10YR6/3に ぶい黄橙色	横ナデ、指 押サエ、絞 り目、ナデ、 指押サエ、 ヘラ削り	横ナデ、ミガ キ、ハケ目後 ミガキ	-
509	91		弥生土器・壺	SD030	8/8	石・中・多	10YR6/4に ぶい黄橙色	ハケ目	指押サエ後ハ ケ目後ミガキ	-
510	91		弥生土器・高杯	SD030	2/8	石・大・多	5YR5/6明赤 褐色	不明	不明	胎上粗い
511	91		弥生土器・高杯	SD030	2/8	石・中・少	5YR6/6橙色	横ナデ、ナ デ、ヘラ削 り	横ナデ、ヘラ 削り、ナデ	内底に朱微 量付着
512	91		弥生土器・高杯	SD030	2/8	角・中・多・石・ 中・多・赤・大・ 少	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、不 明	横ナデ、ミガ キ	杯底外面 四方向のミ ガキ
513	91	38	弥生土器・高杯	SD030	4/8	素・小・多・角・ 小・多・石・大・ 普・赤・大・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ、ミ ガキ、ナデ、 ヘラ削り	横ナデ、ヘラ 削り後ミガキ、 ナデ、横ナデ	外面ミガ キ、穿孔 3ヶ所
514	91		弥生土器・壺	SD030	4/8	石・中・普	7.5YR7/6橙 色	ハケ目、指 押サエ後ナ デ	ハケ目	-
515	91		弥生土器・鉢	SD030	2/8	素・小・少・角・ 中・多・石・中・ 普・赤・小・少	2.5Y7/4浅 黄色	横ナデ、ヘ ラ削り	横ナデ、ナデ	-
516	91		弥生土器・脚付 鉢	SD030	7/8	素・小・多・角・ 小・多	10YR5/4に ぶい黄橙色	ナデ、横ナ デ	横ナデ後ミガ キ、横ナデ、 ミガキ、ナデ	-
517	91		弥生土器・脚付 鉢	SD030	4/8	石・小・少・他・ 小・普	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ	横ナデ	-
518	91		弥生土器・脚付 鉢	SD030	5/8	石・中・普・赤・ 中・少	5YR6/6橙色	ナデ、ハケ 目後ナデ	ハケ目、ナデ 穿孔4ヶ所	
519	91		弥生土器・脚付 鉢	SD030	3/8	石・中・少・他・ 小・少	5YR6/6橙色	ナデ、横ナ デ	ナデ、板ナデ、 ナデ	穿孔は2個 1対で3方 向開口
520	92		弥生土器・鉢	SD030	1/8	石・中・少	5YR5/8明赤 褐色	ハケ目、ハ ケ目後ナデ	ハケ目	外面のハケ 目は粗い
521	92		弥生土器・鉢	SD030	6/8	石・大・普・他・ 小・少	10YR7/3に ぶい黄橙色	ハケ目、ナ デ	叩き、ヘラ削 り、ナデ	-
522	92	38	弥生土器・鉢	SD030	7/8	石・中・多・赤・ 大・普	5YR6/6橙色	横ナデ、ハ ケ目後ミガ キ	ハケ目後横ナ デ、板ナデ、 ヘラ削り	内外面とも 丁寧な仕上 げ、内外面 朱付着
523	92		弥生土器・鉢	SD030	3/8	石・中・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、ミ ガキ	ナデ、ヘラ削 り	-
524	92		弥生土器・鉢	SD030	-	石・中・少・赤・ 大・普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、ミ ガキ	横ナデ、ナデ、 不調整	内面ミガキ
525	92		弥生土器・鉢	SD030	1/8	素・小・少・石・ 大・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、ナデ、 ヘラ削り	-
526	92		弥生土器・鉢	SD030	7/8	石・中・普・赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	指押サエ、 ナデ	指押サエ、ナ デ	-
527	92		弥生土器・鉢	SD030	4/8	石・大・多・赤・ 中・普	7.5YR6/6橙 色	ハケ目	ナデ	-
528	92		弥生土器・鉢	SD030	2/8	石・小・多	2.5Y7/3浅 黄色	ハケ目後横 ナデ、ハケ 目	ハケ目後横ナ デ、ハケ目	内外面朱付 着

第39表 土器観察表(2)

遺物 番号	神國	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
529	92		弥生土器・鉢	SD030	7/8	石・中・普、赤・小・普、他・火・少	7.5YR7/4に ぶい・橙色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、ハケ目	-
530	92		弥生土器・鉢	SD030	2/8	石・大・普	7.5YR7/3に ぶい・褐色	板ナデ	ナデ	内底朱残
531	92		弥生土器・鉢	SD030	3/8	石・大・多、赤・大・多	10YR6/4に ぶい・黄褐色	ハケ目、ナデ	板ナデ	-
532	92		弥生土器・鉢	SD030	8/8	石・大・少、赤・中・普	7.5YR6/4に ぶい・橙色	指押サエ	指押サエ	手捏ね
533	92	38	弥生土器・鉢	SD030	4/8	石・大・普、赤・大・少	10YR7/4に ぶい・黄褐色	指押サエ後ナ デ	指押サエ後ナ デ	粘土塊より 引きのばし て底形
534	92	38	弥生土器・鉢	SD030	8/8	石・小・普	2.5Y6/3に ぶい・黄色	指押サエ後ナ デ	指押サエ後ナ デ	1つの粘土 塊より成形
535	92		弥生土器・壺	SD030	8/8	石・大・普	7.5YR7/4に ぶい・橙色	横ナデ、指 押サエ後ナ デ	横ナデ、指 押サエ後ナ デ	-
536	92	38	弥生土器・壺	SD030	8/8	石・大・普	7.5YR4/3褐色	指押サエ	指押サエ	底部に1.3 × 0.5cmの 穴開口
537	92		弥生土器・製塩 土器	SD030	4/8	石・中・普	10YR7/4に ぶい・黄褐色	指押サエ後 当て見?	叩き、ナデ	内面に当て 具らしき板 底直
538	92		弥生土器・製塩 土器	SD030	3/8	石・大・普	10YR8/4浅 黄褐色	板ナデ	ナデ、指押サ エ、ナデ	-
548	95		弥生土器・壺	SD094	1/8	石・中・普、赤・ 中・普	7.5YR6/4に ぶい・橙色	横ナデ、ハ ケ目、ヘラ 削り	ハケ目後横ナ デ、ハケ目	-
549	95		弥生土器・壺	SD094	1/8	石・中・普、赤・ 小・少	10YR7/4に ぶい・黄褐色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
550	96		弥生土器・壺	SD097/113	3/8	石・大・少	10YR6/4に ぶい・黄褐色	横ナデ、ハ ケ目、指押 サエ	横ナデ、指押 サエ後叩き	-
551	96		弥生土器・壺	SD097/113	8/8	石・中・少、赤・ 中・少	10YR6/3に ぶい・黄褐色	指押サエ後 ナデ	叩き	-
552	96		弥生土器・壺	SD097/113	4/8	石・中・普、角・ 中・少、石・中・ 少、他・小・少	10YR6/4に ぶい・黄褐色	横ナデ、ヘ ラ削り	横ナデ、叩き 後ハケ目	-
553	96		弥生土器・壺	SD097/113	4/8	石・小・少、他・ 小・普	5YR5/6橙色	板ナデ、指 押サエ後ヘ ラ削り	横ナデ、ハケ 目	-
554	96		弥生土器・壺	SD097/113	1/8	石・中・少	10YR4/2灰 黄褐色	横ナデ、指 押サエ後ナ デ	横ナデ、ハケ 目	-
555	96		弥生土器・壺	SD097/113	4/8	石・中・少、他・ 小・普	10YR6/4に ぶい・黄褐色	横ナデ、指 押サエ後板 ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
556	96		弥生土器・壺	SD097/113	2/8	角・中・多、他・ 小・普	10YR6/4に ぶい・黄褐色	横ナデ、指 押サエ後ハ ケ目、指押 サエ、ヘラ 削り	横ナデ、ハケ 目、ハケ目後 ミガキ	-
557	96		弥生土器・高杯	SD097/113	5/8	露・小・少、角・ 中・多、石・小・ 普、他・大・少	10YR5/4に ぶい・黄褐色	横ナデ、ミ ガキ、ナデ	横ナデ、ヘラ 削り、板ナデ	-
558	96		弥生土器・高杯	SD097/113	2/8	角・中・多、赤・ 中・少、他・小・ 普	10YR6/4に ぶい・黄褐色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 削り	-

第40表 土器観察表22

遺物番号	神國	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面部調	内部調整	外面部調	備考
559	96		弥生土器・鉢	SD097/113	7/8	角・中・多・他・小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	ヘラ削り	横ナデ	穿孔3ヶ所
560	96		弥生土器・鉢	SD097/113	小片	露・中・普・石・大・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ・ハケ 目	横ナデ・ハケ 目	往き口が付く
561	96		弥生土器・鉢	SD097/113	2/8	角・中・少・赤・小・普・他・小・少	10YR5/2灰 黄褐色	横ナデ・ハ ケ目	横ナデ・ハ ケ削り	-
562	96		弥生土器・鉢	SD097/113	8/8	石・中・普・赤・小・少・他・小・少	2.5Y6/2灰 黄色	指押サエ後 ハケ目	指押サエ後板 ナデ	-
563	98		弥生土器・甕	SD099	小片	石・小・少・赤・小・少	5Y6/2灰オ リーブ色	ナデ	ナデ	-
567	98		弥生土器・甕	SD109	1/8	石・大・多	2.5Y7/3淡 黄色	不明、指押 サエ後ナデ	横ナデ・ナデ ナデ後ミガキ	-
568	99		弥生土器・甕	SD112	1/8	石・中・多・赤・中・普	2.5Y5/3灰 褐色	ハケ目後横 ナデ・ハケ 目・ヘラ削 り	ハケ目・板ナ デ	-
569	99		弥生土器・甕	SD112	3/8	露・中・普・角・中・少・石・小・多	7.5YR5/4に ぶい褐色	不明	横ナデ・叩き 後ハケ目	-
570	99		弥生土器・甕	SD112	2/8	露・中・多・角・小・多・石・大・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	ナデ・ヘラ 削り	ナデ・叩き 叩き後ハケ目	-
571	99		弥生土器・甕	SD112	3/8	石・小・普・赤・中・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ・指 押サエ・板 ナデ・不明	横ナデ・ハケ 目・ハケ目後 ミガキ・ミガ キ	-
572	99		弥生土器・甕	SD112	1/8	他・小・少	2.5Y8/2灰 白色	不明	不明	-
573	99		弥生土器・甕	SD112	2/8	露・小・少・石・大・普・赤・中・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ・ナ デ	横ナデ・ハケ 目	刻み目3段 と半截竹管 文
574	99		弥生土器・甕	SD112	-	角・小・多・他・小・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	指押サエ	横ナデ	-
575	99		弥生土器・甕	SD112	-	石・中・少・他・少・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	指押サエ後 板ナデ	ミガキ・横ナ デ・ミガキ	竹管刺突文 2段
576	99		弥生土器・甕	SD112	6/8	露・大・少・角・中・多・石・大・普・赤・人・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ナデ・指押 サエ	不明	-
577	99		弥生土器・鉢	SD112	8/8	石・大・普・赤・大・少	7.5YR6/6橙 色	ハケ目・ナ デ	叩き	-
578	99		弥生土器・鉢	SD112	4/8	石・中・多・赤・大・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	不明・ハケ 目・不明	不明・指押サ エ・不明	-
579	99		弥生土器・鉢	SD112	3/8	石・中・普・赤・大・少	5YR5/6明赤 褐色	ナデ	ナデ・叩き	-
580	99		弥生土器・鉢	SD112	5/8	石・小・普	2.5YR7/3淡 赤褐色	横ナデ・ミ ガキ	横ナデ・板ナ デ	-
581	99		弥生土器・甕	SD112	6/8	角・中・多・石・小・普	10YR5/4に ぶい黄褐色	ナデ	横ナデ・ハケ 目・ナデ	向かい合う 形で口縁に 穿孔2ヶ所
582	99		弥生土器・鉢	SD112	8/8	角・中・多・石・小・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ後ミ ガキ・板ナ デ・ヘラ削 り	横ナデ後ミ ガキ・ナデ後ミ ガキ	-
583	99		弥生土器・鉢	SD112	小片	石・小・少	7.5YR7/6橙 色	不明	不明	-

第41表 土器観察表(2)

遺物 番号	種別	固版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内部調整	外面調整	備 考
584	99		土師器・火鉢	SD112	1/8	石・大・多、赤・大・少	2.5YR5/6明赤褐色	横ナデ、板ナデ後横ナデ、板ナデ	指揮サエ後横ナデ、ハケ目後横ナデ、ハケ目	上面口縁から内面に焼付着
587	101		弦生上器・蓋	SD115	小片	石・小・少、赤・中・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、ハケ目	-
588	102		須恵器・杯	SH01	小片	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
589	102		土師器・甕	SH01	-	石・小・少、赤・小・少	2.5Y7/3浅黄色	-	指揮サエ	取っ手
590	102		土師器・杯	SH01	小片	石・大・普	5YR6/6橙色	不明	不明	-
591	103		須恵器・蓋	SH02	7/8	石・中・少	5PB5/1青灰色	回転ナデ後ナデ、回転ナデ	ヘラ切り後ナデ、回転ナデ	-
592	103		須恵器・杯	SH02	2/8	石・中・少	N4灰色	回転ナデ	回転ナデ、ナデ	-
593	103		須恵器・蓋	SH02	-	石・小・少	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
594	103		須恵器・蓋	SH02	1/8	石・小・少	10Y6/1灰白色	回転ナデ	回転ヘラ削り、回転ナデ	ロクロ右回転
595	103		須恵器・高台付杯	SH02	小片	石・中・少	5Y7/1灰白色	回転ナデ後ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り	ロクロ右回転
596	103		土師器・蓋	SH02	-	石・大・普	5Y4/1灰色	横ナデ後ナデ	横ナデ、ヘラ削り	-
597	103		土師器・杯	SH02	1/8	石・小・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	ナデ	ナデ	放射状暗文2段
598	103		土師器・高台付杯	SH02	2/8	石・中・少、赤・中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ、ナデ	横ナデ後ミガキ、横ナデ、ナデ	放射状暗文2段、内底螺旋状暗文
599	103		土師器・高杯	SH02	1/8	石・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ミガキ	横ナデ、ミガキ	内底螺旋状暗文
600	103		土師器・鍋	SH02	小片	石・中・多	5YR5/4に ぶい赤褐色	ハケ目後横ナデ、ハケ目、板ナデ	指揮サエ後横ナデ、ハケ目	-
601	103	38	土師器・杯	SH02	7/8	石・小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ、ヘラ切り後ナデ	-
602	104		土師器・甕	SH03	4/8	石・小・多	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ、ハケ目後横ナデ、ハケ目、ハケ目後ナデ、指揮サエ後ナデ、指揮サエ後ヘラ削り	横ナデ、指揮サエ後横ナデ、指揮ナデ、ハケ目	前面上半部原灰に布目残存
603	105		須恵器・蓋	SH04	小片	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
604	106		須恵器・蓋	SH11	8/8	石・大・少、他・小・少	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	ヘラ切り後ナデ、回転ヘラ削り、回転ナデ	ロクロ左回転
605	106		須恵器・杯	SH11	7/8	石・大・少、他・小・少	5PB5/1青灰色	回転ナデ、回転ヘラ削り、ヘラ切り後ナデ	ロクロ左回転	-
606	106		土師器・杯	SH11	小片	石・小・少	7.5YR7/6橙色	横ナデ	横ナデ	径・頬き不明
607	106		土師器・甕	SH11	1/8	石・中・普、他・小・少	7.5YR5/6橙色	ナデ	ナデ	-

第42表 土器観察表24

遺物番号	種別	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
608	107	土師器・杯	S H12	小片	赤・小・少	2.5Y6/2灰 黄色	ナデ	横ナデ	-
609	107	土師器・杯	S H12	小片	赤・小・少	5YR7/8橙色	横ナデ	横ナデ	-
610	107	弥生土器・鉢	S H12	小片	石・中・少。他・ 小・少	7.5YR7/4に ぶい橙色	横ナデ	横ナデ	外面口縁下 に沈線1条
611	107	土師器・鉢	S H12	2/8	石・中・多。石・ 中・少。他・小・ 少	7.5YR7/4に ぶい橙色	不明	不明	-
612	107	土師器・高杯	S H12	1/8	赤・中・少	10YR5/3に ぶい黄褐色	横ナデ	ナデ後ハケ目	-
613	107	土師器・壺	S H12	小片	石・小・普。他・ 小・普	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ	-
614	107	弥生土器・壺	S H12	1/8	石・中・少。赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ	横ナデ	-
615	108	須恵器・杯	S H15	小片	赤・小・少	5PB5/1青灰 色	回転ナデ	回転ナデ	-
616	108	弥生土器・鉢	S H16	小片	石・小・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ナデ。ハケ 目	ナデ	径・傾き不 明
617	108	弥生土器・壺	S H17	-	赤・小・少。角・ 中・多。他・小・ 普	5YR5/6橙色	ナデ。指押 サエ	ハケ目、ミガ キ半 ガキ	外輪下半 ミ ガキ
618	108	弥生土器・甕	S H17	小片	赤・小・普	5YR5/6橙色	横ナデ。ハ ケ目。板ナ デ	横ナデ。ハケ 目	-
619	108	弥生土器・鉢	S H17	1/8	他・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	ミガキ	横ナデ	-
620	108	弥生土器・鉢	S H17	1/8	石・小・少。赤・ 小・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ハケ目。ミ ガキ	横ナデ。ハケ 目。ヘラ削り	内面朱付層
621	109	須恵器・高台付 杯	S B001F	1/8	石・大・少	5Y7/2灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
622	109	須恵器・高台付 杯	S B001F	1/8	精良	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ。ナ デ	-
623	109	土師器・高杯	S B001F	小片	赤・小・少	10YR8/4淡 黄褐色	ナデ	ナデ。ヘラ削 り後ミガキ	放射状暗文 と螺旋状暗文
624	110	須恵器・杯	S B002	小片	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
625	111	須恵器・杯	S B003	小片	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	径不明
626	111	土師器・壺	S B003	小片	赤・小・少	10YR8/3淡 黄褐色	横ナデ。ハ ケ目	ハケ日後横ナ デ	-
627	112	須恵器・壺	S B004	2/8	石・小・少	5PB4/1暗青 灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
628	113	須恵器・杯	S B005	1/8	石・中・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
629	114	須恵器・杯	S B006	-	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	高台が付く 可能性がある
630	116	土師器・碗	S B008	小片	赤・小・少	2.5Y8/3淡 黄色	ナデ	ナデ	-
631	116	土師器・碗	S B008	8/8	精良	2.5Y8/2灰 白色	横ナデ	横ナデ	口径不明
632	118	須恵器・高杯	S B010	3/8	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	少し重む
633	122	須恵器・杯	S B015	1/8	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
634	123	須恵器・杯	S B016	小片	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
635	124	須恵器・高台付 杯	S B017	2/8	石・大・少。赤・ 中・少	5Y6/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ。ナ デ	-

第43表 土器観察表24

遺物 番号	標目	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
636	125		須恵器・蓋	S B018	小片	精良	7.5Y6/1灰 色	回転ナデ	回転ヘラ削り、 回転ナデ	-
637	125		須恵器・蓋	S B018	4/8	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ヘラ削り、 回転ナデ	ロクロ右回 転
638	125		須恵器・高台付 杯	S B018	1/8	石・小・少	5GY6/1オ リーブ灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
639	125		須恵器・高台付 杯	S B018	1/8	石・中・普	N5灰色	回転ナデ、 回転ナデ後 ナデ	回転ナデ	-
640	125		土師器・皿	S B018	小片	石・小・少、赤・ 小・少	2.5Y8/3淡 黄色	ナデ	ナデ	-
641	126		須恵器・蓋	S B019	小片	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
642	126		土師器・蓋	S B019	7/8	石・小・少	7.5YR6/6橙 色	ナデ	ナデ	内外面赤色 顔料塗布
643	126		土師器・皿	S B019	小片	石・小・少	10Y7/1灰白 色	横ナデ	横ナデ	-
644	127		須恵器・蓋	S B020	7/8	石・小・少	5P6/1紫灰 色	回転ナデ	ナデ、回転ヘ ラ削り、回転 ナデ	ロクロ右回 転
645	127		須恵器・蓋	S B020	1/8	石・小・普	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
646	127		須恵器・杯	S B020	小片	他・小・普	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	高台付きか ?
647	127		須恵器・高台付 杯	S B020	2/8	石・中・普、他・ 中・少	N6灰色	回転ナデ後 ナデ	回転ナデ	-
648	128		土師器・蓋	S B024	-	石・中・少、赤・ 大・少	10YR8/4透 黄褐色	ナデ	ナデ、横ナデ	-
649	128		土師器・端	S B024	1/8	石・小・普、赤・ 大・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	ハケ目後横 ナデ、横ナ デ、指押サ エ後ナデ	横ナデ、ハケ 目	外表面縁と 崩の境を強 い横ナデ
651	130		須恵器・蓋	S B025	小片	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	傾き不確定
652	130		土師器・皿	S B025	小片	石・小・少、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ、ミガ キ	径不明、放 射状暗文
654	131		土師器・蓋	S B026	7/8	石・中・普、赤・ 中・少	2.5Y8/2灰 白色	横ナデ	ナデ	-
655	132		須恵器・蓋	S B027	小片	石・小・少	7.5Y8/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
656	132		須恵器・杯	S B027	小片	他・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	口径不確定
657	132	38	土師器・円錐不 明土製品	S B027	-	石・中・普、赤・ 中・普	7.5YR7/5橙 色	不明	指押サエ	芯に粘土を 巻いて成形
658	133		土師器・杯	S B028	小片	赤・小・少、他・ 小・普	10YR7/3に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	径不確定
659	133		土師器・杯	S B028	小片	赤・小・少、他・ 小・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ	ナデ、横ナデ	放射状暗文 が少し残る
660	134		須恵器・蓋	S B030	2/8	他・中・多	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り、 回転ナデ	ロクロ右回 転
661	134		須恵器・高台付 杯	S B030	1/8	他・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
662	134		須恵器・皿	S B030	1/8	他・小・少	5Y5/1灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
663	134		土師器・高台付 杯	S B030	2/8	石・小・少、赤・ 中・普、他・中・ 少	5Y5/1灰色	ナデ	横ナデ	-

第44表 土器観察表(2)

遺物 番号	坪回	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
664	134		須恵器・高台付 杯	S B030	2/8	石・小・少。他・ 小・少	7.5Y5/1灰 色	ナデ	回転ナデ	-
665	134		土師器・皿	S B030	小片	他・小・少	5Y5/6明赤 褐色	横ナデ	横ナデ	径不確定、 内外面赤色 顔料塗布
666	134		土師器・皿	S B030	小片	赤・小・少	2.5Y8/3淡 黄色	ナデ	ナデ	径不確定
667	134		土師器・土馬	S B030	-	石・小・多。他・ 小・普	10YR7/3+ 5YR7/6橙 色	-	板ナデ、指押 サエ	土馬の足先
668	136		土師器・杯	S B032	小片	赤・小・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ	径不確定、 放射状暗文
670	139		須恵器・高台付 杯	S B035	小片	石・中・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	底径不確定
672	140		須恵器・高台付 杯	S B036	小片	精良	2.5GY6/1オ リーブ灰色	回転ナデ	回転ナデ	頬き、底径 不確定
673	143		須恵器・杯	S B040	小片	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	口径不確定
674	144		須恵器・高台付 杯	S B045	2/8	他・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ、 回転ヘラ削り、 回転ナデ	ロクロ右回 転
675	146		須恵器・蓋	S B047	1/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
676	146		須恵器・高台付 杯	S B047	1/8	他・小・少	5B4/1暗青 灰色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
677	147		須恵器・蓋	S B048	1/8	他・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
678	147		須恵器・高台付 杯	S B048	8/8	精良	2.5GY6/1オ リーブ灰色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ削り?	外底へラ削 り?
679	148		土師器・蓋	S B049	-	赤・小・少	5YR5/6明赤 褐色	ナデ	ナデ	つまみ部分
681	149		須恵器・杯	S B050	1/8	石・小・少	2.5GY7/1明 オリーブ灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
682	149		須恵器・蓋	S B050	2/8	石・中・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
683	149		須恵器・蓋	S B050	1/8	石・中・多	10GY6/1深 灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
684	150		須恵器・皿	S B051	1/8	石・大・普	2.5GY7/1明 オリーブ灰色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
685	150		土師器・皿	S B051	1/8	石・中・普。赤・ 中・少	5YR6/8橙色	横ナデ	横ナデ、横ナ デ後ミガキ	内外面赤色 顔料塗布
687	151		須恵器・蓋	S B052	1/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
689	152		土師器・杯	S B053	2/8	石・小・普。赤・ 中・少	2.5Y7/2灰 色	ナデ	ナデ、板ナデ、 ヘラ削り	-
690	152		土師器・高杯	S B053	-	石・中・少。赤・ 中・少	7.5Y8/8浅 黄色	不明	ナデ、板ナデ	-
691	153		土師器・皿	S B054	小片	赤・小・少。他・ 小・少	5YR6/8橙色	横ナデ	横ナデ	口徑不確定、 放射状暗文
692	156		須恵器・皿	S B057	1/8	石・中・多。他・ 小・少	10Y5/1灰色	回転ナデ	ヘ ラ切り後ナデ	-
693	156		土師器・皿	S B057	1/8	石・中・普。赤・ 中・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ、横ナ デ後ミガキ	内外面赤色 顔料塗布
694	157		須恵器・蓋	S B058	1/8	石・大・多	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
695	157		須恵器・高台付 杯	S B058	3/8	石・小・普。他・ 小・少	N5灰色	ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
696	157		土師器・杯	S B058	1/8	石・中・少。赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ	横ナデ後ミガ キ	側面状の上 下に連続す る暗文

第45表 土器観察表(2)

遺物番号	種類	回転	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
697	157		須恵器・甕	S B058	1/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	ハケ日	内外面自然釉
698	157		土師器・杯	S B058	小片	石・小・少	7.5YR6/3に ぶい褐色	回転ナデ	回転ナデ	-
699	157		土師器・甕	S B058	小片	石・小・少	5YR7/4に ぶい褐色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、ハケ 日	-
700	158		土師器・皿	S B059	1/8	石・小・少、赤・ 小・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ、横ナ デ後ミガキ、 ヘラ削り後ミ ガキ	内外面赤色 顔料塗布
701	158		須恵器・皿	S B059	2/8	石・小・青	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
702	159		須恵器・杯	S B060	1/8	石・中・多	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
703	160		須恵器・蓋	S B061	1/8	石・大・多	7.5Y6/1灰 色	回転ナデ	手持ちヘラ削 り、回転ナデ	-
704	160		須恵器・杯	S B061	1/8	石・中・多、他・ 小・多	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
705	161		須恵器・蓋	S B062	小片	石・小・少	5Y5/1灰 色	回転ナデ	回転ナデ	外面自然釉
706	161		須恵器・高台付 杯	S B062	2/8	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後回転 ナデ	-
707	161		土師器・杯	S B062	小片	石・小・少	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ、ミガ キ	-
708	161		土師器・杯	S B062	小片	石・小・少、石・ 小・少	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ	内外面赤色 顔料塗布
709	161		土師器・皿	S B062	小片	石・小・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	内外面赤色 顔料塗布
710	161		土師器・皿	S B062	1/8	赤・小・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ミガキ	ミガキ	-
711	163		須恵器・蓋	S B063	小片	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
712	163		須恵器・杯	S B063	1/8	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
713	163		土師器・甕	S B063	1/8	石・小・少、石・ 小・青	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目、横 ナデ、指押 サエ	横ナデ、ハケ 日	長胴甕
714	164		須恵器・杯	S B064	小片	石・小・少	N4灰色	回転ナデ	回転ナデ	焼き不确定 蓋の可能性 あり
715	164		須恵器・蓋	S B064	1/8	石・中・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り	外面高台の 上位で回転 ヘラ削り
716	164		土師器・皿	S B064	小片	石・中・少、赤・ 小・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ	横ナデ	-
717	164		土師器・甕	S B064	小片	石・小・少、石・ 小・青、赤・中・ 少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目	横ナデ	-
718	165		須恵器・蓋	S B065	1/8	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
719	165		須恵器・杯	S B065	小片	石・中・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
720	165		須恵器・杯	S B065	1/8	石・小・少	5G7S/1オ リーブ灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
721	165		土師器・杯	S B065	小片	石・小・少	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ、ミガ キ	放射状暗文 字
722	165		土師器・皿	S B065	-	石・小・少	7.5YR8/6浅 黄褐色	横ナデ	横ナデ	内外面赤色 顔料塗布
723	165		土師器・甕	S B065	1/8	石・小・少、石・ 小・青、赤・中・ 少	10YR7/3に ぶい黄褐色	ハケ目	横ナデ	-

第46表 土器観察表20

遺物 番号	桿回	圓版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内部調整	外側調整	備考
724	166		須恵器・高台付 杯	S B066	1/8	石・中・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
725	166		土師器・壺	S B066	小片	露・小・少。石・ 小・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目	横ナデ	-
726	167		須恵器・壺	S B068	小片	精良	7.5YR4/2灰 褐色	回転ナデ	回転ナデ	-
727	167		須恵器・壺	S B068	小片	石・小・普	N4灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
728	167		須恵器・杯	S B068	1/8	石・中・少。他・ 小・普	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
729	167		須恵器・皿	S B068	小片	石・小・少。赤・ 小・少	5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、横 ナデ	-
730	167		土師器・杯	S B068	1/8	石・小・少。赤・ 小・少	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ。ナ デ	横ナデ。ミガ キ	-
731	167		土師器・杯	S B068	小片	石・小・少	7.5YR6/4に ぶい褐色	横ナデ	横ナデ後ミガ キ、ミガキ	-
732	167		土師器・高台付 杯	S B068	1/8	石・小・少	7.5YR7/4に ぶい褐色	不明	ナデ、横ナデ、 板状正真	外面赤色顔 料塗布
733	167		土師器・皿	S B068	小片	石・小・少。赤・ 小・少	2.5YR8/3淡 黄色	横ナデ	横ナデ、ミガ キ	-
734	168		須恵器・壺	S B069	小片	石・小・少。他・ 中・普	5P5/1紫灰 色	回転ナデ	回転ナデ	身の可能性 もある
735	168		須恵器・壺	S B069	小片	石・小・少。他・ 小・少	10Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
736	168		土師器・杯	S B069	小片	石・小・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ	-
737	169		須恵器・高台付 杯	S B070	1/8	石・小・普。他・ 小・少	10B65/1青 灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
738	169		土師器・杯	S B070	1/8	石・小・少。水・ 小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ。横ナ デ後ミガキ	放射状端文
739	169		須恵器・平瓶	S B070	1/8	石・中・普。他・ 中・普	N5灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
740	170		須恵器・壺	S B071	1/8	石・中・普。他・ 中・普	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
741	171		須恵器・壺	S B073	1/8	石・小・普。他・ 小・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
742	171		須恵器・杯	S B073	1/8	石・小・普。他・ 小・少	10Y6/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
743	173		須恵器・高台付 杯	S B072	2/8	石・大・普。他・ 中・普	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
744	173		土師器・皿	S B072	1/8	石・小・普。赤・ 小・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ。横ナ デ後ミガキ	外面赤色 顔料塗布
745	174		須恵器・杯	S B074	2/8	石・小・多	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り後回転 ナデ	-
746	174		土師器・杯	S B074	2/8	石・小・多。赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	回転ナデ	回転ナデ。ナ デ	-
747	174		黒色土器・碗	S B074	-	石・大・少。赤・ 中・少	10YR8/3淡 黄色	ミガキ	横ナデ	径不定
748	174		土師器・壺	S B074	小片	石・小・普。他・ 小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目、板 ナデ	ハケ目後横ナ デ。ハケ目	-
749	174		土師器・土釜	S B074	小片	石・小・普	10YR6/3に ぶい黄褐色	ハケ目、ナ デ	横ナデ。指押 サ工	外面緋より 下に墨付着
750	174		土師器・土鉢	S B074	8/8	石・小・普	5Y3/1オ リーブ黑色	-	指押サ工	-
751	175		土師器・皿	S B075	1/8	石・小・普。赤・ 小・少	2.5Y7/4浅 黄色	回転ナデ。ナ デ	回転ナデ。ナ デ	-

第47表 土器観察表(2)

遺物番号	博団	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
752	175		土師器・杯	S B075	1/8	石・小・普。赤・ 小・少	5YR5/6橙色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 切り後ナデ	-
753	175		須恵器・高台付 杯	S B075	1/8	石・小・普。他・ 中・少	5P8S/1青灰 色	回転ナデ	回転ナデ	-
754	176		須恵器・皿	S B076	1/8	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
756	177		須恵器・壺	S B077	2/8	石・小・少	N4灰色	回転ナデ	ヘラ削り。回 転ナデ	ロクロ右回 転
757	178		須恵器・杯	S B078	1/8	石・小・少	7.5Y6/1灰 色	回転ナデ	回転ナデ	-
758	179		土師器・皿	S B079	小片	石・小・少。赤・ 中・少	7.5YK7/4に ぶい桜色	横ナデ	横ナデ	内外面赤色 顔料塗布
759	182		土師器・杯	S B082	1/8	他・中・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	板ナデ後輪 ナデ	横ナデ	内面削と底 に放射状擦 文
760	182		土師器・壺	S B082	小片	他・小・少	10YR8/3浅 黄橙色	ハケ目	横ナデ	口径不確定
761	183		須恵器・高台付 杯	S B083	1/8	石・小・普	5Y7/1灰白 色	回転ナデ	回転ナデ	ロクロ左回 転
762	183		土師器・鉢	S B083	小片	赤・小・少	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ	-
763	184		須恵器・蓋	S B084	小片	他・小・少	2.5GY6/1オ リーブ灰白色	回転ナデ	回転ナデ	口径不確定
764	184		須恵器・皿	S B084	小片	他・中・普	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	口径不確定
765	185		土師器・杯	S B085	1/8	石・小・少。赤・ 小・少	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ、板ナ デ	-
766	189		須恵器・杯	S B089	1/8	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
767	191		土師器・碗	S B091	小片	他・小・少	5Y8/1灰白 色	ハケ目後ナ デ	指押サエ後ナ デ	高台が付く 痕跡有り
769	194		須恵器・鉢	S B093	2/8	石・小・少	7.5Y6/1灰 色	回転ナデ。	回転ナデ	-
770	194		須恵器・平瓶	S B093	小片	他・大・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	沈縁1条
771	194		土師器・鍋	S B093	小片	石・中・多。他・ 小・多	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ。板 ナデ	横ナデ、ハケ 目後ナデ	-
772	196		土師器・杯	S B097	1/8	石・小・普	2.5Y7/2灰 黄色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 切り後ナデ	-
773	198		須恵器・杯	S B099	1/8	石・大・普	7.5G7S/1綠 灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
774	199		須恵器・皿	S B100	1/8	石・小・少。他・ 小・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
775	200		須恵器・蓋	S B101	小片	石・小・少。他・ 小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
776	200		須恵器・杯	S B101	1/8	石・小・多	2.5Y8/3淡 黄色	回転ナデ	回転ナデ	やや土師質
777	200		土師器・皿	S B101	1/8	石・小・普	10YR7/3に ぶい黄橙色	横ナデ	横ナデ。横ナ デ後ミガキ	内外面赤色 顔料塗布
778	201		須恵器・杯	S B102	小片	石・中・普	10Y4/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
779	201		土師器・杯	S B102	1/8	石・小・普。赤・ 小・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ	横ナデ、横ナ デ後ミガキ	放射状擦文, 頬き不確定
780	203		須恵器・蓋	S B104	1/8	石・中・普。他・ 中・普	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
781	203		土師器・皿	S B104	1/8	石・小・少	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ	横ナデ	-

第48表 土器観察表30

遺物番号	標記	固版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
782	204		土師器・甕	S B105	小片	石・中・普、赤・中・少	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ	-
783	204		黒色土器・碗	S B105	1/8	石・中・少	2.5Y8/2灰白色	ミガキ	ミガキ	-
784	205		須恵器・蓋	S B106	1/8	他・小・多	10Y5/1灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
786	206		須恵器・杯	S B107	小片	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	口径・傾き不確定
787	207		須恵器・高台付杯	S B108	1/8	石・中・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
788	207		土師器・杯	S B108	1/8	精良	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ、ヘラ切り	-
789	207		土師器・碗	S B108	1/8	赤・小・少	10YR6/4にぶい黄褐色	ナデ、横ナデ	横ナデ	-
790	208		須恵器・杯	S B109	1/8	石・大・普、他・中・多	5YR7/1明青灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
791	208		土師器・杯	S B109	小片	石・小・少	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ、ミガキ	放射状暗文字
792	208		土師器・土釜	S B109	-	石・大・多、赤・小・少	2.5Y5/2暗灰黄色	横ナデ	横ナデ	-
793	210		須恵器・杯	S B112	1/8	石・大・少、他・小・多	5Y8/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
794	212		須恵器・杯	S B114	1/8	石・小・普	5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
796	213		須恵器・杯	S B115	小片	他・小・普	10Y6/1灰色	回転ナデ	回転ナデ	口径不確定
797	214		弥生土器・纺錘車	S B116	6/8	石・中・少	10YR4/2灰黃褐色	ナデ	ナデ	土器片転用品か?
798	217		須恵器・杯	S B119	1/8	他・中・少	7.5Y3/1オリーブ黑色	回転ナデ	回転ナデ	-
800	219		須恵器・杯	S B121	-	他・小・少	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	内面1条の沈線
801	219		土師器・杯	S B121	2/8	他・小・少	10YR4/2灰黃褐色	横ナデ	横ナデ、ヘラ切り	-
802	219		土師器・杯	S B121	小片	赤・小・少	10YR5/3にぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	-
803	220		土師器・杯	S B122	2/8	石・小・少。赤・小・少	2.5Y6/3にぶい黄色	横ナデ	横ナデ、ヘラ切り	-
804	221		須恵器・杯	S B123	小片	石・小・少	5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
805	224		須恵器・蓋	S B127	1/8	精良	2.5Y7/1暗オリーブ灰褐色	回転ナデ	回転ナデ	外面自然釉
806	224		土師器・皿	S B127	-	他・小・少	7.5YR7/4にぶい橙色	横ナデ	横ナデ	内外面赤色顔料塗布
807	224		土師器・皿	S B127	1/8	赤・中・少	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ	-
808	226		土師器・甕	S B129	小片	石・大・普、赤・小・少	7.5YR6/4にぶい橙色	ハケ目、指押サ工後ハケ目	横ナデ、ハケ目	口径・傾き不確定、長削要
809	226		土師器・高杯	S B129	-	赤・中・普	7.5YR6/4にぶい橙色	指揮サ工後ナデ	ヘラ削り	内面螺旋状暗文
811	228		土師器・皿	S B131	小片	赤・小・少	7.5YR5/6明褐色	横ナデ	横ナデ	-
812	231		土師器・杯	S B134	小片	赤・小・普	10YR7/3にぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	口径不確定
813	237		須恵器・蓋	S B141	小片	石・中・少、他・小・普	N4灰色	回転ナデ	回転ナデ	-

第49表 土器観察表(3)

遺物 番号	種類	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
814	237	黑色土器・碗	S B141	小片	雲・小・多。石・ 小・少。赤・小・ 少	10YR6/3に ぶい黄橙色	横ナデ	横ナデ	内面黒色
815	239	弥生土器・壺	S A08	2/8	赤・中・少。施・ 小・普	10YR8/3浅 黄橙色	不明	不明	-
816	239	弥生土器・壺	S A08	小片	石・中・普。赤・ 小・少	5YR4/3にぶ い赤褐色	不明	ナデ	壺の頭部片
817	240	弥生土器・鉢	S A22	8/8	石・中・普。赤・ 大・少	7.5YR6/6橙 色	ミガキ	ミガキ。ナデ	-
818	244	土器器・壺	S A27	小片	石・中・多	10YR7/4に ぶい黄橙色	ハケ目。ナ デ。板ナデ	横ナデ。ハケ 目	焼き不確定
819	246	須恵器・壺	S P0065A	小片	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	沈縁1条
820	246	須恵器・杯	S P0138A	小片	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
821	246	土器器・杯	S P0148A	小片	石・中・少。他・ 中・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ	横ナデ	内面暗文?
822	246	土器器・皿	S P0181A	小片	角・小・少。石・ 小・少。赤・小・ 少	7.5YR7/4に ぶい橙色	横ナデ	横ナデ	-
823	246	須恵器・杯	S P0270A	1/8	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
824	246	須恵器・壺	S P0277A	1/8	石・小・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
825	246	須恵器・杯	S P0279A	1/8	石・小・少	5Y6/1灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
826	246	須恵器・杯	S P0285A	小片	石・小・少	5Y8/1灰白 色	回転ナデ	回転ナデ	-
827	246	土器器・鍋	S P0335A	小片	石・小・普。赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ。ハ ケ目	横ナデ	-
828	246	土器器・壺	S P0335A	2/8	石・中・普	7.5YR7/6橙 色	ナデ	ナデ	-
829	246	須恵器・杯	S P0357A	小片	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
830	246	土器器・碗	S P0391A	3/8	石・小・少	2.5Y8/1灰 白色	横ナデ	横ナデ	-
831	246	須恵器・杯	S P0432A	1/8	石・小・少	10Y7/1灰白 色	回転ナデ。ハ ケ切り	回転ナデ。ハ ケ切り	-
832	246	須恵器・杯	S P0458A	1/8	石・中・普	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ。ハ ケ切り後ナデ	-
833	246	土器器・壺	S P0505A	8/8	石・大・多。雲・ 中・少	2.5Y8/3淡 黄色	横ナデ。不 明	横ナデ。ナデ	-
834	246	土器器・碗	S P0539A	1/8	石・小・少	2.5Y7/2灰 黄色	ナデ	横ナデ	-
835	246	須恵器・壺	S P0638A	1/8	石・小・少	5P9S/1青灰 色	回転ナデ	回転ナデ。ハ ケ切り	-
836	246	須恵器・杯	S P0739A	1/8	石・小・普	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ。ハ ケ切り	-
837	246	須恵器・杯	S P0801A	1/8	石・小・少	5B5/1青灰 色	回転ナデ	回転ナデ	-
838	246	須恵器・高台付 杯	S P0819A	1/8	石・小・普	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ。回 転ヘラ削り	ロクロ右回 転
839	246	土器器・皿	S P0820A	小片	石・小・少。赤・ 中・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ	横ナデ	-
840	246	土器器・杯	S P0903A	3/8	石・小・少	5YR6/6橙色	横ナデ。ナ デ	横ナデ。ナデ	放射状暗文 低い
841	246	須恵器・杯	S P1017A	小片	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
842	246	須恵器・杯	S P1023A	小片	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	-

第50表 土器観察表(2)

遺物番号	採回	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
843	247		土師器・杯	S P0840B	5/8	石・小・少	10YR8/4浅 黄褐色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 切り	-
844	247		須恵器・蓋	S P0851B	2/8	石・中・少	N4灰褐色	円転ナデ、 ナデ	回転ナデ	家用、外面 自然釉
845	247		土師器・蓋	S P0883B	-	石・大・多、赤・ 大・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	ハケ目	ハケ目、横ナ デ	-
846	247	38	須恵器・皿	S P0079E	2/8	陶・小・普	2.5Y4/1黄 灰色	回転ナデ	回転ナデ、ナ デ	-
847	247		須恵器・杯	S P0082E	1/8	石・小・少	10Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り	-
848	247		土師器・碗	S P0135E	小片	陶・小・少	10YR8/2灰 白色	ミガキ	指押サエ後横 ナデ	怪不確定
849	247		土師器・高杯	S P0453E	-	石・中・少、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ナデ	ヘラ削り、横 ナデ	脚部面取り
850	247		須恵器・杯	S P0657E	小片	石・小・少	10Y7/1灰白色	横ナデ	横ナデ	怪不確定
851	247		土師器・皿	S P0678E	小片	陶・小・少	7.5YR6/6橙 色	ナデ	ナデ	怪不確定
852	247		土師器・蓋	S P0937E	1/8	石・中・多、赤・ 中・多	10YR6/3に ぶい黄褐色	ナデ、指押 サエ後ナデ	ナデ、指押サ エ後ハケ目	-
853	247		須恵器・杯	S P1024E	小片	陶・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
854	247		土師器・杯	S P0135F	5/8	石・中・少	2.5Y7/4浅 黄色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ヘラ 切り	-
855	247		土師器・杯	S P0135F	2/8	赤・中・少	5YR6/6橙色	不明	横ナデ、ヘラ 切り	-
856	247		土師器・高杯	S P0440F	-	赤・小・少	5YR6/6橙色	ナデ、指押 サエ後ナデ	板ナデ	脚部面取り (15曲)
857	247		土師器・蓋	S P0867F	-	赤・小・少	5YR6/6橙色	ナデ	ナデ	-
858	247		土師器・皿	S P0874F	1/8	赤・中・少	5YR6/6橙色	ナデ	ミガキ、ヘラ 削り後ミガキ	-
859	247		須恵器・蓋	S P0929F	2/8	石・小・少	N6灰褐色	回転ナデ	回転ナデ	-
860	247		土師器・皿	S P1004F	小片	石・小・少、赤・ 小・少	7.5YR7/6橙 色	ナデ	横ナデ	内外面赤色 頭糞塗布
861	247		土師器・杯	S P0247F	1/8	精良	7.5YR6/6橙 色	不明	横ナデ、ヘラ 切り	-
862	247		弦生土器・用途 不明品	S P1125F	-	石・大・普	5YR5/4にぶ い赤褐色	指押サエ	指押サエ	小さな場に 取っ手がつく
863	248		土師器・皿	S K02C	小片	赤・小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	不明	不明	-
864	250		土師器・蓋	S K05	1/8	石・小・多、赤・ 大・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、指 押サエ後ナ デ、ヘラ削 り	横ナデ、ハケ 目	-
865	251		須恵器・杯	S K06	小片	石・小・少	N5灰褐色	回転ナデ	回転ナデ	-
866	251		土師器・蓋	S K06	小片	石・大・普	10YR6/3に ぶい黄褐色	ハケ目	ナデ、ハケ目	-
867	251		土師器・杯	S K06	小片	赤・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	回転ナデ	回転ナデ	-
868	252		黒色土器・碗	S K12	小片	石・小・少	2.5Y3/1黑 褐色	ミガキ	ミガキ、ナデ	外面もかな り黒い
869	253		須恵器・皿	S K13	小片	石・小・少	N5灰褐色	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	回転ナデ	-

第51表 土器観察表(3)

遺物 番号	種別 回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外表面調	内面調査	外調整	備考
870 253		上部器・椀	S K13	小片	赤・少・少	2.5Y8/2灰白色	ミガキ	不明	往不確定
871 253		土師器・杯	S K13	7/8	石・中・少・赤・中・少	10R5/6赤橙色	不明	不明、ナデ	-
872 253		黑色土器・碗	S K13	1/8	石・少・少	2.5Y6/3に ぶい、黄色	ナデ、ミガ キ	ナデ、ミガキ	内面黒色
873 255		須恵器・蓋	S K24	小片	他・少・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ	焼き不確定
874 255		須恵器・鉢	S K24	小片	他・少・少	5Y8/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	焼き不確定
875 255		土師器・高台付 杯	S K24	1/8	赤・少・少	7.5Y8/6橙色	不明	不明	-
876 256		須恵器・蓋	S K25	1/8	他・少・少	10Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
877 259		弥生土器・甕	S K29	小片	石・少・普	5Y8/6橙色	横ナデ	横ナデ	-
878 259		弥生土器・甕	S K29	小片	石・少・普・赤・ 少・少	10Y8/4に ぶい、黄色	不明	不明	-
879 259		須恵器・杯	S K29	1/8	石・少・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り、ナデ	-
880 259		須恵器・皿	S K29	1/8	石・少・少	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
882 265		須恵器・杯	S D001C	8/8	石・大・普・他・ 少・普	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
883 265		須恵器・高杯	S D001C	2/8	石・少・少	7.5Y4/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	土師質
884 266		土師器・土鍋	S D005C	小片	石・少・少・赤・ 少・少	7.5Y7/6橙色	ハケ目、横 ナデ	横ナデ、ナデ、 ハケ目	怪不確定
885 266		土師器・土釜	S D005C	-	赤・少・少	2.5Y7/2灰 黄色	横ナデ	横ナデ	-
886 266		須恵器・杯	S D006C	1/8	石・少・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
887 266		土師器・杯	S D006C	小片	赤・大・少	10Y8/7/4に ぶい、黄橙色	ミガキ	ミガキ	-
888 266		須恵器・皿	S D006C	1/8	石・少・少	5B4/1暗青 灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
890 267		須恵器・高台付 杯	S D007C/ 054	1/8	石・少・少	5B5/1青灰 色	ナデ	回転ナデ	-
891 267		須恵器・壺	S D007C/ 054	3/8	石・少・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、不 明	-
892 267		須恵器・壺	S D007C/ 054	1/8	石・少・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
893 267		須恵器・甕	S D007C/ 054	小片	石・大・少	5P8/1青灰 色	回転ナデ	回転ナデ	-
894 267		須恵器・甕	S D007C/ 054	小片	角・少・少・石・ 少・少	10Y5/1灰 色	ナデ	ナデ	-
895 267		土師器・土釜	S D007C/ 054	小片	石・少・少	2.5Y5/2暗 灰黄色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、指 揮	往不確定
896 268		須恵器・蓋	S D006A/ 007A	小片	石・少・普	7.5Y6/1灰 色	回転ナデ	回転ナデ	焼き不確定
897 268		須恵器・壺	S D006A/ 007A	小片	石・少・普	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
898 273		須恵器・蓋	S D010	1/8	石・少・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り	-
899 273		須恵器・蓋	S D010	1/8	石・少・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り	-
900 273		須恵器・蓋	S D010	2/8	石・少・普	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り	-

第52表 土器観察表(4)

遺物番号	神田	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
901	273		須恵器・蓋	SD010	-	石・中・多	N5灰色	ナデ, 回転ナデ後ハラ削り	回転ナデ後ナデ	-
902	273		須恵器・杯	SD010	1/8	石・中・普	S05G/1青灰色	回転ナデ, ハラ切り後ナデ	回転ナデ, ハラ切り後ナデ	-
903	273		須恵器・杯	SD010	3/8	石・小・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ, ハラ切り	-
904	273		須恵器・杯	SD010	1/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
905	273	41	須恵器・高杯	SD010	4/8	石・中・普	5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
906	273		須恵器・壺	SD010	1/8	石・中・普	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
907	273		須恵器・壺	SD010	1/8	石・中・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
908	273		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・少, 赤	7.5Y8/6橙色	板ナデ	板ナデ	-
909	273		土師器・杯	SD010	2/8	石・小・少, 石・中・少	7.5Y8E/4にぶい橙色	横ナデ	横ナデ, ハラ削り	-
910	273		土師器・杯	SD010	2/8	石・中・少, 赤・小・普	7.5Y8E/6橙色	横ナデ	横ナデ, 指押サエ, 板ナデ	内底放射状断文
911	273		土師器・杯	SD010	1/8	石・大・少, 赤・大・少	5Y8/6橙色	板ナデ, ハラ削り	ミガキ, ハラ削り	放射状暗文
912	273	39/ 40/ 41	土師器・杯	SD010	8/8	石・中・普	5Y8/8橙色	横ナデ, ナデ後落文	横ナデ, ハラ削り後ハラ痕, 何本かで1單位	外面の短いハラ痕, 何本かで1單位
913	273		土師器・杯	SD010	2/8	石・大・普, 赤・中・普	7.5Y8/6橙色	横ナデ, ナデ	横ナデ, 板ナデ	放射状暗文
914	273		土師器・杯	SD010	2/8	石・中・普, 赤・小・少	10YR8/4淡黄橙色	横ナデ, ナデ	横ナデ, ナデ, ハラ削り	放射状暗文
915	273		土師器・杯	SD010	3/8	赤・小・少, 赤・小・少	2.5Y8/6橙色	指押サエ, 板ナデ	指押サエ, 横ナデ	内面丁寧な板ナデ, 外面粗い横ナデ
916	273		土師器・碗	SD010	1/8	石・小・少, 赤・小・少	2.5Y8/2淡白色	ナデ	ナデ	貼り付け高台の付く縁片あり
917	273		須恵器・壺	SD010	2/8	石・中・少, 他・中・多	N7灰色	回転ナデ, 叫き後カキ目	回転ナデ, 叫き後カキ目	-
918	274		土師器・壺	SD010	3/8	赤・小・少, 他・小・少	7.5Y8/7橙色	ハケ目, 板ナデ	ハケ目後ミガキ	粘土精良, 口縁内外面暗文
919	274	41	土師器・壺	SD010	6/8	石・大・少	7.5Y8/6橙色	横ナデ, ハケ目, ナデ	横ナデ, ハケ目	口縁内面1ヶ所に3本のハラ沈線文
920	274		土師器・壺	SD010	1/8	石・中・多	7.5Y8/4にぶい橙色	ハケ目後ナデ	横ナデ	-
921	274		土師器・壺	SD010	4/8	石・中・普	5Y8/4にぶい赤褐色	横ナデ, ハラ削り後ハケ目	横ナデ, ハケ目	-
922	274	41	土師器・壺	SD010	8/8	石・小・少, 石・中・普, 赤・小・普	7.5Y8/4にぶい橙色	ハケ目, 板ナデ	ハケ目後横ナデ, ハケ目	口縁内面にハラ沈線による文様
923	274		土師器・壺	SD010	1/8	角・小・少, 石・大・普	2.5Y8/2淡白色	ハケ目後ナデ, 削り後指押サエ	ナデ, 指押サエ後ハケ目	-
924	274		土師器・壺	SD010	7/8	石・小・少, 赤・小・少	10Y8/4にぶい黄橙色	ナデ, 指押	ナデ, ハケ目	-

第53表 土器観察表

遺物番号	博団	回版	種類・器種	遺構名	残存	施 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
925	274		土師器・壺	SD010	1/8	石・大・普、赤・小・多	5YR6/6橙色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、ハケ目	口縁端部は強い指つまみの横ナデ
926	274		土師器・壺	SD010	小片	角・大・少、石・中・普、赤・大・少	5YR6/6橙色	横ナデ、横ナデ後ハケ目、指揮サ工後板ナデ	横ナデ、指揮サ工後ハケ目	-
927	274		土師器・製塙土器	SD010	1/8	石・小・多	5YR5/4に赤い赤褐色	指揮サエ、ナデ	横ナデ、ナデ	-
928	274		土師器・瓶	SD010	2/8	石・大・普	7.5YR6/4に赤い橙色	指揮サ工後ハケ目、ハケ目後ヘラ削り	横ナデ、ハケ目	底部の穿孔4つ
929	275	40/ 41	土師器・鍋	SD010	5/8	石・大・普、赤・大・普	7.5YR6/6橙色	横ナデ、ハケ目、ヘラ削り後ハケ目	横ナデ、ハケ目	-
930	275		土師器・鍋	SD010	小片	石・中・多、赤・大・少	10YR6/4に赤い黄褐色	ハケ目、ハク削り	横ナデ	-
931	275		土師器・壺	SD010	2/8	石・大・多	7.5YR7/4に赤い橙色	指揮サ工後板ナデ	ハケ目後ナデ	-
932	275		須恵器・杯	SD010	4/8	石・中・多	5PB6/1青灰色	ナデ	ナデ、ヘラ切り後ナデ	-
933	275		須恵器・杯	SD010	8/8	石・大・少	N5灰色	ナデ	ナデ、回転ナデ、ヘラ切り	-
934	275	40/ 41	須恵器・高杯	SD010	5/8	石・中・普	7.5Y7/1灰白色	ナデ	ナデ	外面に沈線1条
935	275		須恵器・ハソウ	SD010	7/8	石・小・少	N6灰色	ナデ	ナデ、回転ナデ、回転ヘラ削り	ロクロ右回転内面自然輪
936	275		土師器・杯	SD010	2/8	石・中・少、赤・小・少	7.5YR6/4に赤い橙色	横ナデ、ナデ	横ナデ、ナデ	放射状暗文
937	275		土師器・壺	SD010	2/8	石・中・普	7.5YR6/4に赤い橙色	横ナデ、ハケ目、板ナデ	横ナデ、ハケ目	強い板ナデ
938	275	41	土師器・壺	SD010	4/8	赤・小・少	10YR7/4に赤い黄褐色	ハケ目、ハク削り後指揮サエ	ハケ目後ナデ、ハケ目後指揮サエ	鶴内面上半にヘラ削の文様?
939	275		土師器・壺	SD010	小片	石・小・普	7.5YR7/4に赤い橙色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、ハケ目	-
940	275		土師器・蛤壺	SD010	2/8	石・小・普	2.5Y7/2灰黄色	指ナデ、指サエ	指ナデ、指サエ	-
941	275		土師器・蛤壺	SD010	8/8	赤・小・少、白・小・普	2.5Y8/3灰黄色	ナデ	ナデ	-
942	275		弦生土器・鉢	SD010	4/8	石・中・少、赤・小・普	7.5YR6/4に赤い橙色	板ナデ	指揮サエ	-
943	275	40/ 42	土師器・製塙土器	SD010	7/8	石・小・少、石・小・多	7.5YR6/6橙色	指揮サエ	指揮サエ	-
944	275		土師器・甕	SD010	1/8	石・大・多、赤・中・少、白・中・普	7.5YR7/6橙色	ハケ目後ナデ、指揮サエ	ナデ、ハケ目	-
945	276		須恵器・蓋	SD010	小片	石・小・少	N5灰色	ナデ	ナデ	-
946	276	40	須恵器・蓋	SD010	6/8	石・大・少	N7灰白色	回転ナデ、回転ヘラ削り後ナデ	ロクロ左回転	-
947	276		須恵器・蓋	SD010	2/8	石・小・少、白・小・少	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-

第54表 土器観察表⑥

遺物番号	地図	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
948	276	42	須恵器・杯	SD010	4/8	石・小・多	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
949	276		須恵器・蓋	SD010	1/8	石・中・普	N7灰白色	回転ナデ後ナデ、回転ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り、回転ナデ	ロクロ右回転
950	276		須恵器・杯	SD010	1/8	石・大・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
951	276		須恵器・杯	SD010	小片	石・小・少	2.5GY6/1オーリーブ灰色	回転ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り	ロクロ左回転
952	276		須恵器・杯	SD010	4/8	石・中・多	5Y8/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
953	276		須恵器・杯	SD010	2/8	精良	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	外面自然釉
954	276		須恵器・杯	SD010	小片	石・小・少	7.5Y5/1灰白色	ナデ	ナデ	外面自然釉
955	276		須恵器・杯	SD010	2/8	石・大・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	外面全体に自然釉
956	276		須恵器・杯	SD010	2/8	石・中・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
957	276		須恵器・杯	SD010	2/8	精良	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り後ナデ	-
958	276		須恵器・杯	SD010	2/8	精良	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り後ナデ	-
959	276		須恵器・杯	SD010	8/4	石・小・普	10Y5/1灰白色	回転ナデ、回転ナデ後ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
960	276		須恵器・杯	SD010	2/8	石・大・普	N5灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	外底面上に強い滑ナデによる凹み
961	276		須恵器・杯	SD010	4/8	石・小・少、石・小・少、赤・中・少	10Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
962	276		須恵器・杯	SD010	2/8	石・中・普	5Y7/1灰白色	ナデ	ナデ、ヘラ切り	-
963	276		須恵器・杯	SD010	小片	石・小・少	N7灰白色	ナデ	ナデ、ヘラ切り	外面に沈線1条
964	276		須恵器・杯	SD010	2/8	石・大・少	5B5/1青灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り(回転方向不明)、ヘラ切り後ナデ	底と胴の境をヘラ削り
965	276		須恵器・杯	SD010	1/8	石・中・普	N7灰白色	ナデ	ナデ	-
966	276		須恵器・杯	SD010	6/8	石・小・少	N5灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り、ヘラ切り	底面裏十字のヘラ記号、ロクロ左回転
967	276		須恵器・蓋	SD010	2/8	精良	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り(回転方向不明)、ヘラ切り後ナデ	外底付近ヘラ削り
968	276		須恵器・杯	SD010	2/8	石・中・普	N6灰白色	回転ナデ、回転ナデ後ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り	ロクロ右回転
969	276		須恵器・蓋	SD010	3/8	石・中・多	10Y5/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り	-
970	276		須恵器・蓋	SD010	3/8	石・小・少、石・小・少	N5灰白色	回転ナデ	ヘラ切り後ナデ、回転ナデ	蓋などの蓋か?
971	276		須恵器・蓋か蓋	SD010	1/8	石・中・少、石・小・少	N5灰白色	回転ナデ	回転ナデ	胴部大部に沈線1条

第55表 土器観察表(3)

遺物番号	押印	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外側色調	内面調整	外間調整	備考
972	276		須恵器・平底	SD010	5/8	石・中・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	赤んでいる
973	276		須恵器・壺	SD010	7/8	石・中・普	SY5/1灰色	回転ナデ	回転ナデ	外面に沈線1条
974	276	40/ 42	須恵器・鷺	SD010	-	石・小・少	N6灰色	横ナデ、ナ デ	ナデ、手持ち ヘラ削り	沈線一条
975	276		須恵器・鷺	SD010	-	石・小・少	7.5Y7/1色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ削り	-
976	276		須恵器・壺	SD010	2/8	精良	N7灰白色	回転ナデ、 当て具	回転ナデ	-
977	276		須恵器・壺	SD010	4/8	石・小・普	N7灰白色	ハケ目、横 ナデ	小明	-
978	276		須恵器・壺	SD010	1/8	石・中・多	5Y3/1オ リーブ黒色	回転ナデ、 当て具	回転ナデ、叩 き後特打	-
979	276		須恵器・壺	SD010	2/8	石・中・普	2.5Y7/1灰 白色	回転ナデ、 当て具	回転ナデ、叩 き後特打	-
980	276		須恵器・壺	SD010	1/8	石・中・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ、 当て具	回転ナデ、平 行叩き後回転 ナデ	-
981	277		須恵器・高杯	SD010	-	石・中・普	7.5Y7/1灰 白色	続り目、回 転ナデ	回転ナデ	透かし2~ 3方向2段
982	277		須恵器・台付碗	SD010	3/8	精良	2.5G7/1明 オリーブ灰 色	回転ナデ後 ナデ、回転 ナデ	回転ナデ	-
983	277		須恵器・台付碗	SD010	3/8	石・大・多	N6灰色	回転ナデ、 ナデ、回転 ナデ	回転ナデ	側外面に沈 線1条。身 厚い
984	277		須恵器・台付碗	SD010	小片	精良	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	外面自然縫
985	277		須恵器・台付碗	SD010	-	石・中・普	10%1灰色	回転ナデ、 ナデ、回転 ナデ	回転ナデ	-
986	277		須恵器・高杯	SD010	1/8	石・大・少、他 ・大・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	沈線2条
987	277		須恵器・高杯	SD010	-	石・大・普	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
988	277		須恵器・高杯	SD010	-	石・小・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
989	277		須恵器・高杯	SD010	2/8	石・中・普	N5灰色	ナデ	ナデ	-
990	277		須恵器・高杯	SD010	5/8	石・大・多	5Y8/1灰白 色	回転ナデ	回転ナデ	-
991	277		須恵器・高杯	SD010	6/8	石・大・普、他 ・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
992	277	42	須恵器・高杯	SD010	6/8	石・中・普	SY8/1灰白 色	回転ナデ	回転ナデ	-
993	277		須恵器・高杯	SD010	1/8	精良	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
994	277		須恵器・高杯	SD010	3/8	石・中・多	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
995	277		須恵器・高杯	SD010	2/8	石・中・少、他 ・大・少	SGCS/1青灰 色	回転ナデ、 転ヘラ削り、 回転ナデ	ロクロ右回 転	-
996	277		須恵器・高杯	SD010	7/8	石・中・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
997	277		須恵器・高杯	SD010	6/8	石・大・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
998	277		須恵器・高杯	SD010	8/8	石・大・普、他 ・中・普	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
999	277		須恵器・高杯	SD010	6/8	石・中・多	N7灰白色	回転ナデ	ハケ目後回転 ナデ	-
1000	277		須恵器・高杯	SD010	8/8	石・小・普	7.5Y5/1灰 色	ナデ	ナデ	-

第56表 土器観察表(3)

遺物番号	持因	因版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
1001	277		須恵器・高杯	SD010	2/8	石・中・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1002	277		須恵器・高杯	SD010	1/8	石・小・少	N5灰色	回転ナデ後 ナデ、回転 ナデ	回転ナデ	-
1003	277	40/ 42	須恵器・壺	SD010	8/8	他・小・多	N6灰色	回転ナデ、 当て具	回転ナデ、格 子目叩き	-
1004	278	39/ 42	土師器・杯	SD010	7/8	石・大・多。赤・ 小・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ナデ	放射状暗文
1005	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・大・少。赤・ 大・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ、ナデ	-
1006	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・多。赤・ 中・少	5YR7/6橙色	横ナデ	ナデ	-
1007	278		土師器・杯	SD010	6/8	赤・中・普。他・ 小・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、板 削り	横ナデ、ヘラ 削り	粘土紐巻き 上げ
1008	278		土師器・杯	SD010	4/8	石・中・少	5YR7/6橙色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 削り	放射状暗文
1009	278	39/ 40/ 43	土師器・杯	SD010	7/8	石・中・少	5YR6/6橙色	横ナデ	ミガキ、ヘラ 削り	放射状暗文、 外面粗いミガキ
1010	278		土師器・杯	SD010	3/8	石・大・多	5YR7/8橙色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、不明	-
1011	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・少	5YR7/6橙色	ナデ	横ナデ、指揮 サエ、ヘラ削 り	放射状暗文
1012	278	43	土師器・杯	SD010	4/8	赤・中・少	7.5YR6/6橙 色	板ナデ、ナ デ	横ナデ、ヘラ 削り	外面中位に 布状压痕、 外底にヘラ 記号
1013	278		土師器・杯	SD010	2/8	石・中・多。赤・ 小・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ	横ナデ	-
1014	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・少	5YR6/6橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、板ナ デ	放射状暗文
1015	278		土師器・杯	SD010	2/8	石・大・普。赤・ 中・少	5YR6/6橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ヘラ 削り	放射状暗文
1016	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・普。赤・ 中・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ヘラ 削り	放射状暗文
1017	278		土師器・杯	SD010	1/8	赤・中・少。他・ 小・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	ナデ、ミガ キ	ナデ、ミガキ	-
1018	278		土師器・杯	SD010	小片	石・小・少	5YR7/8橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、指揮 サエ、ヘラ削 り	放射状暗文 2段
1019	278		土師器・杯	SD010	2/8	石・小・普	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ、指揮 サエ	放射状暗文
1020	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・多	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ナ デ	回転ナデ、ナ デ、指揮サエ、 ヘラ削り	放射状暗文
1021	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・少	5YR7/6橙色	横ナデ、ハ ク目	横ナデ、指揮 サエ	放射状暗文
1022	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・少。赤・ 小・少	5YR6/8橙色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 削り	-
1023	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、ヘラ 削り	-
1024	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・多	5YR6/6橙色	ナデ	指揮サエ、ナ デ	-
1025	278		土師器・杯	SD010	2/8	赤・小・少。他・ 中・少	7.5YR7/6橙 色	指揮サエ、ナ デ	指揮サエ、ナ デ	内面丁寧な ナデ、外面 粗いナデ
1026	278		土師器・杯	SD010	-	石・中・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ヘラ 削り	放射状暗文
1027	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・大・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ナデ	放射状暗文

第57表 土器観察表39

遺物 番号	種類 標目	回数	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外表面調	内面調整	外面部調整	備考
1028	278		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・普。赤・中・普	7.5YR7/6橙色	横ナデ。ナデ	横ナデ。ヘラ削り	放射状略文2段(肩と底)
1029	278		土師器・皿	SD010	1/8	石・中・普。赤・人・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ミガキ	ミガキ	内面放射状略文
1030	278		土師器・高杯	SD010	-	石・小・多	10YR8/2灰白色	ミガキ	ミガキ。横ナデ	杯部外面放射状ミガキ
1031	278	40/ 43	土師器・高杯	SD010	-	石・大・普	2.5YR7/6橙色	ナデ, ハケ目	板ナデ	放射状略文
1032	279		土師器・壺	SD010	2/8	石・小・少	7.5YR6/6橙色	横ナデ。ヘラ削り	横ナデ後ハケ目。ハケ目	-
1033	279	39/ 40/ 43	土師器・壺	SD010	4/8	石・中・少。他・小・少	7.5YR6/6橙色	指押サエ後 ヘラ削り	ハケ目後板ナデ	口縁が4分割の線やかな波状
1034	279		土師器・壺	SD010	2/8	石・大・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	指押サエ。 ナデ	ハケ目後ナデ。 ハケ目	-
1035	279		土師器・壺	SD010	1/8	赤・小・少。他・小・少	10YR4/2灰 黄褐色	指押サエ	横ナデ。ハケ目	-
1036	279		土師器・壺	SD010	1/8	石・小・少。赤・小・少	7.5YR6/3に ぶい褐色	ハケ目後指 押サエ。削 り	ナデ, ハケ目	径不確定
1037	279		土師器・壺	SD010	2/8	赤・小・少	5YR6/6橙色	ハケ目。指 押サエ	ナデ, ハケ目	-
1038	279		土師器・壺	SD010	2/8	石・中・少。赤・中・少	7.5YR7/6橙色	横ナデ。ナデ	横ナデ。ナデ	-
1039	279		土師器・壺	SD010	小片	石・大・多。赤・中・少。他・大・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ。指 ナデ	指押サエ後ナ デ	細いナデ
1040	279	43	土師器・壺	SD010	6/8	石・中・少。他・小・普	7.5YR7/6橙色	ハケ目。指 押サエ後ヘ ラ削り	横ナデ。指 押サエ後ハ ケ目。ヘラ削り 後ハケ目	-
1041	279		土師器・壺	SD010	1/8	石・中・多	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ。ハ ケ目。指押 サエ後ヘラ 削り	横ナデ。ハケ 目	-
1042	279		土師器・壺	SD010	1/8	石・中・普。赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ。ハ ケ目。ヘラ 削り	横ナデ。指 押サエ後ハケ 目	-
1043	279		土師器・壺	SD010	3/8	石・中・少	7.5YR7/4に ぶい橙色	ハケ目。指 押サエ後ナ デ	横ナデ。指 押サエ後横ナ デ。ハケ目	-
1044	279		土師器・壺	SD010	1/8	石・小・多	7.5YR7/4に ぶい橙色	横ナデ。ハ ケ目。板ナ デ	横ナデ。ハケ 目	口縁内面へ ラ沈線文
1045	279		土師器・壺	SD010	2/8	石・小・普。赤・大・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ。ハ ケ目。指押 サエ後ヘラ 削り	横ナデ。ハケ 目	-
1046	279		土師器・壺	SD010	2/8	石・大・多。赤・中・普	5YR5/4に ぶい橙色	ハケ目。ヘ ラ削り	指押サエ後横 ナデ。ハケ目	-
1047	279		土師器・壺	SD010	1/8	石・大・多。赤・大・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ハケ目。ヘ ラ削り	横ナデ。ハケ 目	口縁内面に ヘラ沈線文
1048	279		土師器・壺	SD010	2/8	赤・小・普	5YR7/6橙色	指押サエ後 ハケ目	横ナデ。ハケ 目。指押サエ	剥内面へラ 沈線文
1049	279		土師器・壺	SD010	小片	石・中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目	ナデ, 横ナデ 後ハケ目。ハ ケ目	口縁内面に ヘラ沈線文
1050	279		土師器・壺	SD010	1/8	赤・中・少。石・中・多	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ。ハ ケ目。ナデ 後ハケ目	横ナデ。指 押サエ。ナデ 後ハケ目	-

第58表 土器観察表40

遺物番号	標図	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外因色調	内面調整	外面調整	備 考
1051	279		土師器・甕	SD010	2/8	石・中・普・赤・中・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ハケ ク目、ハケ 目後ナデ	横ナデ、ハケ ク目	口縁内面に ヘラ波1条
1052	279		土師器・甕	SD010	1/8	石・小・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ、ハ ケク目、指押 サエ後ヘラ 削り	横ナデ、ハケ ク目	-
1053	280		土師器・甕	SD010	5/8	石・小・少・G・ 中・多・他・小・ 普	10YR8/3浅 黄橙色	ハケ目、指 押サエ	横ナデ、ハケ ク目	-
1054	280		土師器・甕	SD010	4/8	石・中・普・赤・ 中・少	7.5YR7/6橙 色	ハケ目、ナ デ	ナデ、ハケ目	-
1055	280		土師器・甕	SD010	2/8	石・中・普	10YR6/3に ぶい黄橙色	ハケ目後ナ デ、板ナデ	ナデ、ハケ目	-
1056	280		土師器・甕	SD010	5/8	石・大・少・赤・ 大・少	5YR6/6橙色	横ナデ後ハ ケ目、ハケ 目後板ナデ	横ナデ、ハケ ク目	-
1057	280		土師器・甕	SD010	3/8	石・小・少・赤・ 小・普	2.5Y7/3浅 黄色	ナデ、ハケ ク目	ナデ、ハケ目	-
1058	280		土師器・甕	SD010	1/8	石・中・少・石・ 小・普・赤・大・ 普	10YR8/3浅 黄橙色	横ナデ、ハ ケ後ナデ、 ハケ後指押 サエ	横ナデ、ハケ ク目	-
1059	280	44	土師器・甕	SD010	2/8	石・小・少・石・ 小・多・赤・大・ 少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ、ハ ケ目、板ナ デ、ヘラ削 り	横ナデ、ナデ、 ハケ目	外面口縁下 に波形の押 压痕。強 い横ナデ
1060	280		土師器・甕	SD010	1/8	石・大・普・赤・ 大・普	7.5YR8/6橙 色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、ハケ ク目	-
1061	280	44	土師器・甕	SD010	2/8	石・中・普・赤・ 中・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	ハケ目、ハ ケ目後ヘラ 削り	指押サエ後横 ナデ、ハケ目、 指押サエ	-
1062	280		土師器・甕	SD010	4/8	石・小・少・赤・ 小・普	10YR8/4浅 黄橙色	ハケ目、指 押サエ、ヘ ラ削り	ナデ、ハケ目、 指押サエ、ハ ケク目	胴中粒にハ ラ記号らし きもの有り
1063	280	39/ 40/ 44	J-土師器・甕	SD010	7/8	石・中・多・赤・ 大・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	ハケ目、板 ナデ、指押 サエ後ナデ	横ナデ、指押 サエ、ハケ目	外面ハケ目 2種。媒付 器
1064	280		土師器・甕	SD010	1/8	石・中・普	7.5YR7/4に ぶい橙色	横ナデ、指 押サエ	横ナデ、ハケ ク目	-
1065	281	44	土師器・鍋	SD010	7/8	石・大・普・赤・ 大・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ、ハ ケ目、ナデ、 ヘラ削り、 ナデ、指押 サエ	横ナデ、横ナ デ後ハケ目、 ハケ目	-
1066	281		土師器・土鉢	SD010	-	赤・小・普	10YR8/1灰 白色	-	ナデ	-
1067	281	44	土師器・鉢皿	SD010	8/8	石・中・多・赤・ 中・多	2.5Y7/3浅 黄色	指ナデ、横ナ デ	指ナデ、横ナ デ	-
1068	281		土師器・鉢皿	SD010	3/8	他・小・普	2.5Y8/3浅 黄色	ナデ	ナデ	-
1069	281		土師器・鉢皿	SD010	-	石・小・多・石・ 小・少・他・小・ 少	7.5YR6/4に ぶい橙色	指ナデ	指ナデ	-
1070	281		土師器・壺	SD010	-	石・大・普・赤・ 中・少	7.5YR7/6橙 色	指押サエ	横ナデ、指押 サエ、ナデ	-

第59表 土器観察表(1)

遺物 番号	標識 番号	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
1071	281		土師器・甌	SD010	-	赤・中・普	10VR7/4に ぶい黄橙色	ハケ目後ヘ ラ削り	ヘラ削り、ハ ケ目、ナデ	-
1072	281		土師器・甌	SD010	1/8	石・大・多、赤・ 大・多	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、ハケ目、 横ナデ、板ナデ、 横ナデ、ナデ、 横ナデ。ヘラ削 り	口沿不確定
1073	281		土師器・甌	SD010	-	石・大・多、赤・ 中・少	7.5YR7/6橙 色	ナデ後ハケ 目	ナデ後ハケ目、 横ナデ、ナデ	-
1074	281		土師器・甌	SD010	1/8	石・大・多、赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ハ ケ目後ナデ、横 ナデ	横ナデ、ハケ 目後ナデ、横 ナデ、ハケ目、 横ナデ、ハケ 目後ナデ、横 ナデ	-
1075	281	44	土師器・甌	SD010	-	石・大・普、赤・ 小・普	7.5YR7/4に ぶい橙色	ヘラ削り後 ナデ	ハケ目、ナデ	-
1076	282		須恵器・杯	SD010	4/8	石・中・少、他・ 小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り、 ヘラ切り後ナ デ	沈線1条
1077	282		須恵器・杯	SD010	1/8	石・大・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	高杯?
1078	282		須恵器・蝶	SD010	8/8	石・小・多	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り後 手持ちヘラ削 り	乳孔1ヶ所、 ロクロ左回 転
1079	282	40/ 44	須恵器・平瓶	SD010	1/8	石・中・少、他・ 小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
1080	282	44	須恵器・平瓶	SD010	-	石・中・普、他・ 小・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り、 ナデ	ロクロ右回 転
1081	282		須恵器・甌	SD010	2/8	石・中・少、他・ 小・少	N6灰色	回転ナデ、 当て具	回転ナデ	-
1082	282		須恵器・甌	SD010	1/8	石・中・少、他・ 少・多	7.5Y7/1灰 白色	当て具	叩き後カキ目	外面自然釉
1083	282	44	土師器・杯	SD010	8/8	石・大・普	7.5YR8/4浅 黄橙色	横ナデ	横ナデ、ミガ キ、指押サエ	放射状暗文、 粘土組成形
1084	282	39/ 45	土師器・杯	SD010	8/8	石・中・普、赤・ 大・普	10YR6/3に ぶい黄橙色	横ナデ、板 ナデ後暗文	横ナデ、板 ナデ	粘土組成形
1085	282		土師器・高杯	SD010	-	石・小・少、赤・ 中・普	5YR6/8橙色	ナデ	ミガキ、不規 則剥離面に接合前 調整のハケ目	杯部剥離面に 接合前調整のハ ケ目
1086	282	45	土師器・注ぎ口 付き蓋	SD010	2/8	石・大・少、赤・ 大・少	5YR6/6橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ハ ケ目	注口が外に 開く
1087	282		土師器・蓋	SD010	1/8	石・中・少、赤・ 小・少	7.5YR6/6橙 色	ナデ	横ナデ、ハ ケ目	口縁に粉被 拭
1088	283		土師器・甌	SD010	1/8	石・中・普、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	ハケ目、ヘ ラ削り	ハケ目後横ナ デ、指押サエ 後ハケ目	胴内面上半 にヘラ痕多 数有り、文 様の一種か
1089	283	39/ 40/ 45	土師器・甌	SD010	7/8	石・中・普	2.5Y8/3淡 黄色	ハケ目、指 押サエ後ヘ ラ削り	ハケ目後横ナ デ、指押サエ 後ハケ目	外周保付壺
1090	283	39/ 40	土師器・甌	SD010	7/8	石・大・少、赤・ 小・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ、指 押サエ後板 ナデ	横ナデ、指 押サエ後板 ナデ	外面保付壺
1091	283	39/ 45	土師器・甌	SD010	3/8	石・中・少	10YR7/2に ぶい黄橙色	ハケ目、指 押サエ後ヘ ラ削り	ナデ、ハケ目	-

第60表 土器観察表4

遺物 番号	坪區 面積	国版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外縁調整	備 考
1092	283	39/ 45	土師器・甕	SD010	8/8	石・中・多、赤・ 中・普、黒・中・ 普	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目、ヘ ラ削り	指揮サエ後板 ナデ、ハケ目	-
1093	283	39/ 45	土師器・甕	SD010	8/8	赤・小・少、他・ 小・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ハケ目、ヘ ラ削り	指揮サエ後板 ナデ、ハケ目	内面保付着
1094	283		土師器・甕	SD010	8/8	石・中・普、赤・ 中・普	7.5YR6/6橙 色	ハケ目後ナ デ、板ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
1095	283		土師器・甕	SD010	2/8	石・中・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ、ハ ケ目、指揮 サエ後板ナ デ	横ナデ、ハケ 目	-
1096	283		土師器・甕	SD010	1/8	他・小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ、ハ ケ目、指揮 サエ後板ナ デ	横ナデ、ハケ 目	-
1097	283		土師器・甕	SD010	小片	器・大・普、石・ 大・多	10YR6/3に ぶい黄褐色	ハケ目、ナ デ	横ナデ、指揮 サエ後板ナ デ	ハケ目が粗 い
1098	283		土師器・甕	SD010	2/8	石・小・普、赤・ 小・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、ハ ケ目、指揮 サエ	横ナデ、ハケ 目、横ナデ、 ハケ目	-
1099	283		土師器・甕	SD010	1/8	石・大・多、赤・ 大・普	5YR7/8橙色	ヘラ削り、 板ナデ	横ナデ、ハケ 目、横ナデ	たがは背面 を一周する
1100	284		須恵器・甕	SD010	2/8	石・大・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り	外面辺縁一 条、ロクロ 右側部
1101	284	45	須恵器・高杯	SD010	5/8	石・中・多	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1102	284	45	土師器・杯	SD010	3/8	石・小・普、赤・ 中・普	5YR7/6橙色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 削り	放射状暗文 化
1103	284		土師器・高杯	SD010	3/8	石・小・多、赤・ 中・普	5YR6/8橙色	絞り目、板 ナデ、ハケ 目、横ナデ	指揮サエ後板 ナデ、板ナデ後 ナデ、横ナデ	-
1104	284		土師器・高杯	SD010	1/8	石・大・少、赤・ 中・普	7.5YR7/6橙 色	ハケ目	板ナデ、横ナ デ	-
1105	284		土師器・高杯	SD010	-	石・大・多、赤・ 小・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	指揮サエ	板ナデ?	粘上巻き 上げ
1106	284	46	土師器・甕	SD010	7/8	石・中・少、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ、指 揮サエ	横ナデ、ハケ 目	-
1107	284	39/ 46	土師器・甕	SD010	7/8	石・中・少	7.5YR8/4浅 黄褐色	ハケ目、ナ デ、指揮サ エ後板ナデ	ナデ、ハケ目	-
1108	284		土師器・甕	SD010	4/8	石・大・多、赤・ 小・普	7.5YR7/4に ぶい橙色	ハケ目、指 揮ナデ	横ナデ、ハケ 目、指揮サエ	-
1109	285		須恵器・蓋	SD010	1/8	石・中・少、他・ 小・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1110	285		須恵器・蓋	SD010	2/8	石・中・普、赤・ 小・少、黒・小・ 多	N6灰色	ナデ	ナデ	-
1111	285		須恵器・蓋	SD010	1/8	石・小・少	5Y7/1灰白 色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り	-
1112	285		須恵器・杯	SD010	2/8	石・中・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り	-
1113	285	40/ 46	須恵器・杯	SD010	6/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り	-
1114	285		須恵器・杯	SD010	2/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-

第61表 土器観察表(43)

遺物番号	採集回数	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
1115	285	須恵器・杯	SD010	2/8	石・小・少	-	回転ナデ	回転ナデ	-
1116	285	須恵器・杯	SD010	3/8	精良	2.5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ・ヘラ切り	-
1117	285 40/ 46	須恵器・蓋	SD010	8/8	石・大・多	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ・ヘラ切り	ロクロ右回転
1118	285	須恵器・蓋	SD010	1/8	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ・ヘラ切り	-
1119	285	須恵器・蓋	SD010	2/8	石・大・普	N5灰色	回転ナデ・後ナデ・回転ナデ	回転ナデ・回転ナデ・ヘラ切り	ロクロ右回転
1120	285	須恵器・杯	SD010	2/8	石・小・少	5Y8/4に赤褐色	回転ナデ	回転ナデ	-
1121	285	須恵器・杯	SD010	4/8	石・中・少・他・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ・ヘラ切り	-
1122	285	須恵器・杯	SD010	1/8	石・中・普	N4灰色	回転ナデ	回転ナデ・ナデ	-
1123	285	須恵器・杯	SD010	1/8	石・中・多	7.5Y8/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ・ヘラ切り後ナデ	-
1124	285	須恵器・杯	SD010	1/8	石・中・普	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1125	285	須恵器・高台付杯	SD010	3/8	石・中・普	5Y8/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1126	285	須恵器・高杯	SD010	1/8	石・大・少	N5灰色	回転ナデ・ナデ	回転ナデ	杯外面上に強い指ナデによる凹み
1127	285	須恵器・高杯	SD010	1/8	角・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1128	285	須恵器・高杯	SD010	2/8	石・小・少	5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1129	285	須恵器・高杯	SD010	8/8	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1130	285	須恵器・高杯	SD010	-	石・大・少	N6灰色	回転ナデ・ナデ	回転ナデ	-
1131	285	須恵器・高杯	SD010	2/8	石・大・少	N6灰色	回転ナデ・ナデ	回転ナデ	-
1132	285 46	須恵器・高杯	SD010	5/8	石・大・多	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ・ヘラ切り後ナデ・回転ナデ	-
1133	285 40/ 46	須恵器・高杯	SD010	4/8	石・大・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	外面に沈線1条
1134	285	須恵器・高杯	SD010	3/8	石・小・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1135	285	須恵器・高杯	SD010	5/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1136	285	須恵器・高杯	SD010	8/8	石・小・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1137	285	須恵器・高杯	SD010	2/8	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1138	285	須恵器・蓋	SD010	小片	石・中・普・他・小・普	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1139	285	須恵器・蓋	SD010	小片	石・中・少	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1140	285	須恵器・群	SD010	8/8	石・中・少・他・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ・ヘラ切り後ナデ	穿孔部を欠く
1141	285	須恵器・平瓶	SD010	8/8	石・中・少	N4灰色	回転ナデ	回転ナデ	口縁少し歪む
1142	285	須恵器・台付瓶	SD010	小片	石・中・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	沈線一条
1143	285	須恵器・すり鉢	SD010	-	石・中・普	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ・ナデ	ナデ	-
1144	285 40/ 46	須恵器・鉢	SD010	4/8	石・中・普・他・小・普	10Y7/1灰白色	回転ナデ・格子目印	回転ナデ	外向のヘラ痕はヘラ記号か?
1145	285	須恵器・丸瓦	SD010	3/8	精良	N4灰色	布目・ヘラ割り	ナデ	-

第62表 土器観察表(4)

遺物 番号	博回 番号	図版 番号	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
1146	286	40/ 46	頸部器・甕	SD010	7/8	石・大・多	5P86/1青灰色	回転ナデ、 当て具	回転ナデ、平 行叩き目	当て具径6 cm
1147	286		頸部器・甕	SD010	1/8	石・大・普	5V7/1灰色	小明	不明	-
1148	286		頸部器・甕	SD010	1/8	石・中・少、他・ 小・普	N4灰色	回転ナデ、 当て具	回転ナデ	-
1149	286		頸部器・甕	SD010	3/8	赤・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ、 ハケ目、當 て具	回転ナデ、格 子目叩き	-
1150	286	47	頸部器・甕	SD010	3/8	石・小・多	N6灰色	回転ナデ、 当て具	回転ナデ、格 子目叩き後カ キ印	上縁内面ヘ テ記号
1151	287		土師器・杯	SD010	5/8	石・小・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	ナデ、ミガキ	放射状暗文
1152	287	47	土師器・杯	SD010	4/8	石・中・普、赤・ 小・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 削り	密度の濃い 放射状暗文
1153	287		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・普、赤・ 中・普	7.5YR7/4に ぶい黄色	横ナデ、横 ナデ後板ナ デ	横ナデ、ヘラ 削り	放射状暗文
1154	287		土師器・杯	SD010	小片	精良	2.5Y8/2灰 白色	ミガキ	ナデ	良質の胎土
1155	287		土師器・杯	SD010	2/8	石・中・少、赤・ 小・少	7.5YR7/6橙 色	ナデ、ミガ キ	横ナデ、指揮 サエ、ナデ	外面凸線直 下沈線
1156	287		土師器・杯	SD010	1/8	石・大・普、赤・ 人・普、他・小・ 普	7.5YR7/6橙 色	横ナデ、ナ デ	ナデ、ヘラ削 り	放射状暗文
1157	287		土師器・杯	SD010	5/8	石・大・普、赤・ 人・少	5YR7/6橙色	ナデ	ナデ、ミガキ	-
1158	287	47	土師器・杯	SD010	4/8	石・中・少、赤・ 大・多	7.5YR7/6橙 色	ナデ	ナデ、ヘラ削 り後ナデ	-
1159	287		土師器・杯	SD010	1/8	石・小・少	7.5YR7/6橙 色	ナデ	横ナデ、ミガ キ	放射状暗文
1160	287		土師器・高台付 皿	SD010	小片	石・小・少、赤・ 中・少	7.5YR7/6橙 色	不明	横ナデ	-
1161	287		土師器・高台付 皿	SD010	-	石・大・少、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	不明、横ナ デ	横ナデ	-
1162	287		土師器・皿	SD010	1/8	石・大・普、赤・ 人・普	7.5YR7/6橙 色	ナデ	横ナデ、ヘラ 削り	-
1163	287		土師器・皿	SD010	3/8	石・大・多	7.5YR7/6橙 色	ナデ	ナデ、ヘラ削 り、ミガキ	内底に暗文 或小さなヘ ラ压痕
1164	287		土師器・皿	SD010	小片	他・小・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ	横ナデ	-
1165	287		土師器・皿	SD010	小片	石・中・少、赤・ 中・少	7.5YR7/6橙 色	ナデ	ナデ、ヘラ削 り	-
1166	287		土師器・皿	SD010	1/8	赤・小・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ	上面剥離面 に支様か?
1167	287		土師器・高杯	SD010	-	石・中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ナデ、ヘラ 削り後ナデ、 ナデ	不明	脚上半部圓 取り
1168	287		土師器・製塙土 器	SD010	小片	角・中・少、石・ 中・少	7.5YR5/B明 褐色	指揮サエ後 ナデ	格子目叩き	-
1169	287		土師器・土錐	SD010	-	石・中・普	7.5YR5/B明 褐色	指揮サエ	指揮サエ	指で抜んで 漬し孔を開 ける

第63表 土器観察表(4)

遺物番号	持出回	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外表面調	内面調整	外面調整	備考
1170	287	40/ 47	土師器・壺	SD010	8/8	石・大・多。赤・中・多	10YR7/4に ぶい黄褐色	ナデ	ナデ	-
1171	288		土師器・壺	SD010	1/8	石・大・少。赤・中・少	5YR5/6明赤 褐色	板ナデ、指 押サエ	板ナデ、ハケ 目	-
1172	288		土師器・壺	SD010	1/8	角・小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目、板 ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
1173	288		土師器・壺	SD010	1/8	石・中・普	5YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ、指 押サエ、ナ デ	横ナデ、不明	-
1174	288		土師器・壺	SD010	1/8	石・中・少。赤・ 中・普	10YR6/3に ぶい黄褐色	ハケ目、横 ナデ、ナデ	横ナデ、不明	-
1175	288		土師器・壺	SD010	1/8	石・中・普。赤・ 中・普。他・大・ 普	5YR6/6橙色	ナデ、ヘラ 削り	ナデ、ナデ後 ハケ目	-
1176	288	39/ 47	土師器・壺	SD010	7/8	石・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ヘ ラ削り	ナデ、指押サ エ、ハケ目	-
1177	288		土師器・壺	SD010	2/8	石・大・普。赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ハ ケ目、指押 サエ、ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
1178	288		土師器・壺	SD010	2/8	石・中・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ナ デ後板ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
1179	288		土師器・壺	SD010	5/8	石・中・普	5YR6/6橙色	横ナデ、ハ ケ目、指押 サエ後ナデ	横ナデ、ハケ 目	ハケ目根面 2種使用
1180	288		土師器・壺	SD010	5/8	石・中・普。赤・ 中・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、板 ナデ、指押 サエ	横ナデ、ナデ、 ハケ目	-
1181	288		土師器・壺	SD010	1/8	石・中・少	2.5YR7/2灰 白色	ナデ後ハケ 目、ナデ	ナデ、ハケ目	-
1182	288		土師器・壺	SD010	5/8	石・小・少。赤・ 小・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ、指 押サエ後ナ デ	横ナデ、ハケ 目	-
1183	288		土師器・壺	SD010	2/8	石・小・普。赤・ 小・少	10YR7/6明 黄褐色	ハケ目、横 ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
1184	288		土師器・壺	SD010	4/8	石・小・普	5YR6/6橙色	ハケ目、板 ナデ	横ナデ、ハケ 目	頭部に沈線 1条
1185	288		土師器・壺	SD010	2/8	他・中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目、指 押サエ後ハ ケ目	横ナデ、指押 サエ後ハケ目	口縁内面へ ラ庄痕文
1186	288		土師器・壺	SD010	1/8	石・大・多。赤・ 中・普	5YR6/6橙色	横ナデ、ハ ケ目後指押 サエ、ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
1187	288		土師器・壺	SD010	2/8	石・大・多。赤・ 大・多	10YR5/4に ぶい黄褐色	板ナデ、指 押氣後ナデ	板ナデ後横ナ デ、横ナデ	-
1188	289		土師器・壺	SD010	小片	石・中・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	ナデ	ナデ、ハケ目、 指押サエ	-
1189	289		土師器・壺	SD010	8/8	石・中・普。他・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目、指 押サエ後板 ナデ	横ナデ、ハケ 目	-

第64表 土器観察表40

遺物番号	博物館	回転	種類・器種	遺物名	残存	胎 土	外面色調	内面模様	外面調整	備 考
1190	289	47	土師器・壺	SD010	4/8	石・大・多。赤・火・少	10YR7/3に ぶい黄橙色	横ナデ、板ナデ、指押 サ工後板ナデ	指押サ工後ハ ケ目	-
1191	289		土師器・壺	SD010	-	石・中・普。赤・ 大・少	7.5YR6/4に ぶい黄橙色	ハケ目、指 押サ工後ハ ケ目、ヘラ 削り	ハケ目	使用ハケ2 種。外面ト 半焼付着
1192	289	40/ 48	土師器・瓶	SD010	3/8	石・中・普。赤・ 小・普	10YR7/3に ぶい黄橙色	ハケ目、指 押サ工後ハ ケ目	ハケ目後横ナ デ。ハケ目、 指押サ工	底上に焼成 前の刺突穴 4
1193	289		土師器・瓶	SD010	小片	角・大・少。赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい黄橙色	ナデ	ナデ、ハケ目	-
1194	290		土師器・鍋	SD010	小片	石・中・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ	-
1195	290		土師器・鍋	SD010	小片	石・中・少。赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
1196	290		土師器・鍋	SD010	1/8	石・小・少。赤・ 小・少	7.5YR7/4に ぶい黄橙色	ハケ目、板 ナデ	ナデ、番押サ 工後ハケ目	口縁内面ハ ラ压痕文
1197	290		土師器・鍋	SD010	小片	石・中・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ	-
1198	290		土師器・鍋	SD010	小片	石・中・普。赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい黄橙色	ハケ目、ナ デ後ヘラ削 り	横ナデ。ハケ 目後ナデ	内面に炭化 物付着
1199	290		土師器・鍋	SD010	1/8	石・中・少	7.5YR7/4に ぶい黄橙色	ハケ目、横 ナデ	横ナデ、ハケ 目後ナデ	-
1200	291		須恵器・蓋	SD010	2/8	石・中・少	N7灰白色	ナデ	ナデ	-
1201	291		須恵器・杯	SD010	2/8	石・小・少	N7灰白色	ナデ	ナデ	-
1202	291		須恵器・杯	SD010	2/8	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	ナデ	ナデ、回転ナ デ、回転ヘラ 削り	回転方向不 明
1203	291		須恵器・杯	SD010	2/8	石・小・普	N6灰白色	ナデ	ナデ	-
1204	291		須恵器・蓋	SD010	-	石・小・少	N6灰白色	ナデ	回転ナデ	-
1205	291		須恵器・杯	SD010	5/8	石・大・多	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り	並む
1206	291		須恵器・杯	SD010	3/8	石・大・多	N6灰白色	ナデ	ナデ、ヘラ切 り後ナデ	-
1207	291		須恵器・杯	SD010	3/8	石・中・少	N5灰白色	ナデ	ナデ	-
1208	291		須恵器・杯	SD010	8/8	石・中・少	N6灰白色	ナデ	ナデ、ヘラ切 り後ナデ	身厚い。外 面底直上に 強い凹み
1209	291		須恵器・杯	SD010	2/8	石・大・普	5Y4/1灰色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り後ナデ	-
1210	291		須恵器・杯	SD010	4/8	石・大・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り	-
1211	291		須恵器・杯	SD010	4/8	石・中・少	N7灰白色	ナデ	ナデ	外面に沈線 1条
1212	291		須恵器・杯	SD010	1/8	石・大・普	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り	-
1213	291		須恵器・杯	SD010	1/8	石・小・少	N7灰白色	ナデ	ナデ	外面に沈線 1条
1214	291		須恵器・高台付 杯	SD010	2/8	石・中・多。赤・ 小・少	N8灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1215	291		須恵器・杯	SD010	3/8	石・中・普	N8灰白色	回転ナデ	回転ナデ。回 転ヘラ削り、 ヘラ切り	ロクロ右回 転
1216	291		須恵器・杯	SD010	1/8	石・大・普	N5灰白色	回転ナデ	回転ナデ。回 転ヘラ削り	ロクロ左回 転

第65表 土器観察表(7)

遺物番号	標目	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調査	外因調整	備 考
1217	291		須恵器・壺	SD010	8/8	石・中・少。他・小・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り、ヘラ切り後指押サエ	クロロ左回転
1218	291		須恵器・高杯	SD010	1/8	石・中・少。赤・小・少	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ削り、回転ナデ	底と胴の境を回転ヘラ削り
1219	291		土師器・高壺	SD010	1/8	石・中・少	2.5Y6/8橙色	板ナデ	横ナデ	-
1220	291		須恵器・高杯	SD010	3/8	石・大・普	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り、回転ナデ	クロロ右回転
1221	291		須恵器・高杯	SD010	6/8	石・中・普	N4灰色	ナデ	ナデ、ヘラ切り	-
1222	291		須恵器・高杯	SD010	2/8	石・中・普	N8灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1223	291		須恵器・壺	SD010	小片	石・小・少	N4灰色	回転ナデ	回転ナデ、カキ目	斜行ヘラ指文2段、沈線2条
1224	291	40/ 48	須恵器・すり鉢	SD010	8/8	石・中・普。赤・中・少	N6灰色	ナデ	ナデ、板ナデ、手持ちヘラ削り	内外面に剥離痕。中央のみ貫通
1225	291		須恵器・不明	SD010	8/8	石・中・普	5Y5/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	或いは焼向きに付く注ぎ口か?
1226	291	40/ 48	須恵器・壺	SD010	3/8	石・小・少	5P8/1明青 灰色	ナデ	ナデ	外側に沈線1条
1227	291	40/ 48	須恵器・壺	SD010	-	石・中・少	N6/0灰色	回転ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り	沈線2条、クロロ右回転
1228	291		須恵器・壺	SD010	2/8	赤・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1229	291		須恵器・壺	SD010	4/8	石・大・少	N5灰色	横ナデ。叩きて具	横ナデ。叩き後カキ目	-
1230	291		須恵器・平瓦	SD010	-	-	N4灰色	ナデ	板ナデ	内面底日模をナデ消す
1231	292	39/ 40	土師器・杯	SD010	7/8	石・中・多。赤・中・少	5YR7/6橙色	横ナデ	横ナデ、ヘラ削り	放射状暗文
1232	292		土師器・杯	SD010	1/8	石・小・少。赤・小・少	7.5YR7/6橙色	ナデ	ナデ	放射状暗文
1233	292	39/ 48	土師器・杯	SD010	4/8	赤・小・少	7.5YR6/6橙色	ナデ、ミガキ、 指ナデ	ナデ、ミガキ、 指ナデ	丁寧なミガキ
1234	292		土師器・杯	SD010	-	石・中・少。他・小・普	5YR7/8橙色	ナデ	横ナデ、指押サエ、板ナデ	-
1235	292		土師器・杯	SD010	1/8	石・大・少。赤・中・少	5YR6/8橙色	ナデ	ナデ、不明	-
1236	292		土師器・杯	SD010	2/8	石・大・多。赤・大・少	5YR7/6橙色	横ナデ、ハケ目	横ナデ、ヘラ削り	放射状暗文
1237	292		土師器・杯	SD010	1/8	石・中・少。赤・中・少	5YR7/5橙色	横ナデ	横ナデ、指押サエ、ミガキ	放射状暗文
1238	292	39/ 49	土師器・杯	SD010	3/8	石・大・普。赤・大・普	7.5YR7/6橙色	横ナデ	横ナデ、ヘラ削り	密度の濃い放射状暗文
1239	292		土師器・鉢	SD010	1/8	石・小・少。他・小・少	2.5Y5/6才 リーブ	横ナデ後暗文	指押サエ後ナデ、ヘラ削り	放射状暗文
1240	292	49	土師器・杯	SD010	2/8	石・大・少。赤・中・少	7.5YR7/4に ぶい橙色	横ナデ	横ナデ、ミガキ	重みがあり 丁寧な仕上げ
1241	292		土師器・高壺	SD010	1/8	石・中・少。赤・中・普	7.5YR7/6橙色	ナデ	ナデ、ミガキ	密度の濃い放射状暗文
1242	292	40/ 49	土師器・壺	SD010	2/8	石・中・普	2.5YR6/6橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ミガキ	-
1243	292		土師器・壺	SD010	1/8	石・小・少	7.5YR7/4に ぶい橙色	横ナデ	横ナデ、ヘラ削り	放射状暗文

第66表 土器観察表(4)

遺物 番号	持國 図版	種類・器種	通査名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
1244	292	土師器・皿	S D010	1/8	赤・中・少	5YR7/6橙色	横ナデ	ミガキ	外周口縁直 下沈線
1245	292	土師器・高杯	S D010	-	石・中・少、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	不明。ナデ	板ナデ後指ナ デ	-
1246	292	土師器・壺	S D010	2/8	石・中・多、赤・ 大・普	5YR6/8橙色	ハケ目	横ナデ、ハケ 目	-
1247	292 39/ 49	弥生土器・壺	S D010	3/8	石・中・普	7.5YR7/6橙 色	ナデ、ハケ 目後ナデ、 ハケ目	ナデ、ハケ目、 指押サエ後ハ ラ削り	-
1248	292	土師器・壺	S D010	1/8	石・小・普、赤・ 中・少	2.5YR6/6橙 色	ハケ目、板 ナデ	ナデ、指押サ エ、ハケ目	口縁内へ ア痕
1249	292	土師器・壺	S D010	7/8	石・中・少	10YR6/3に ぶい黄橙色	ハケ目、ヘ ラ削り	ナデ、指押サ エ、指押サエ 後ハケ目	-
1250	292	土師器・壺	S D010	7/8	石・中・多、赤・ 中・普	7.5YR6/6橙 色	板ナデ、指 押サエ後板 ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
1251	292	土師器・壺	S D010	3/8	赤・小・普、他・ 小・普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、稍 押サエ後板 ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
1252	292	土師器・壺	S D010	3/8	石・中・普、赤・ 中・少	7.5YR6/6橙 色	ハケ目、指 押サエ、指 押サエ後ナ デ	横ナデ、ハケ 目	-
1253	292 39/ 49	土師器・壺	S D010	7/8	石・中・少、他・ 小・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	ハケ目、ハ ク目後ハラ 削り	横ナデ、ハケ 目	-
1254	292	土師器・焼壺	S D010	2/8	石・中・多、赤・ 中・少	2.5Y6/2灰 黄色	指押サエ	指押サエ	-
1255	292	土師器・製塙上 器	S D010	2/8	角・小・少、石・ 小・少	5YR5/4にぶ い赤褐色	ナデ	叩き目、横ナ デ	-
1256	293	土師器・壺	S D010	2/8	石・中・普、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	ハケ目後ナ デ、指押サ エ後ハラ削 り	横ナデ、ハケ 目	-
1257	293	土師器・壺	S D010	3/8	石・小・普、赤・ 小・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	ハケ目、横 ナデ	横ナデ、ハケ 目	-
1258	293	土師器・壺	S D010	4/8	石・小・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ	横ナデ、板ナ デ後ハケ目	-
1259	293 49	土師器・壺	S D010	8/8	芸・小・少、石・ 小・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	ナデ後ハケ 目、ハケ目 後指押サエ	ナデ、ハケ目	-
1260	293	土師器・壺	S D010	1/8	石・小・少、他・ 小・普	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ハ ク目	横ナデ、ハケ 目	-
1261	293	土師器・壺	S D010	3/8	石・中・少、赤・ 中・少	7.5YR7/6橙 色	ナデ、ナデ 後ハケ目	ナデ、ハケ目	器壁が厚い
1262	293	土師器・壺	S D010	1/8	石・中・多、赤・ 中・普	5YR6/8橙色	横ナデ、指 押サエ	横ナデ、指 押サエ後ハケ 目	-
1263	293	土師器・鍋	S D010	小片	赤・小・少	2.5Y8/3淡 黄色	ハケ目、ナ デ	ナデ、指押サ エ	-
1264	293	弥生土器・壺	S D010	1/8	石・中・多	7.5YR7/4に ぶい黄橙色	不明	不明	-
1269	307	須恵器・蓋	S D010/060	6/8	石・大・少、他・ 小・普	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り後 ナデ	-
1290	307	須恵器・杯	S D040/060	6/8	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1291	307	須恵器・杯	S D040/060	1/8	角・小・少、石・ 中・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-

第67表 土器観察表

遺物 番号	種類 番号	図版	種類・器種	遺物名	残存	胎 土	外側色調	内面調整	外面調整	備 考
1292	307		須恵器・高台付 杯	SD040/060	8/8	石・中・多	5PB7/1明青 灰色	回転ナデ、回 転ヘラ削り	回転ナデ、回 転ヘラ削り	-
1293	307		須恵器・壺	SD040/060	3/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り、回 転ナデ	ロクロ右回 転
1294	307		須恵器・高台付 杯	SD040/060	3/8	精良	5Y7/1灰白 色	回転ナデ、ナ デ	回転ナデ、回 転ヘラ削り	ロクロ右回 転
1295	307		須恵器・高台付 杯	SD040/060	2/8	石・大・少。他・ 小・少	2.5GY4/1暗 オリーブ灰 色	回転ナデ、ヘ ラ切り	回転ナデ、ヘ ラ切り	-
1296	307		須恵器・高台付 杯	SD040/060	1/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り	ロクロ右回 転
1297	307		須恵器・壺	SD040/060	-	他・小・少	10Y5/1灰色	回転ナデ	回転ナデ	外側自然釉
1298	307	50	須恵器・高台付 杯	SD040/060	7/8	石・中・多。他・ 大・少	N7灰白色	回転ナデ、回 転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り	-
1299	307		須恵器・高台付 杯	SD040/060	3/8	石・小・少	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り	ロクロ右回 転
1300	307		須恵器・高台付 杯	SD040/060	2/8	石・中・少。他・ 小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ、回 転ヘラ削り	ロクロ右回 転
1301	307		須恵器・壺	SD040/060	小片	石・小・少	N4灰色	回転ナデ	回転ナデ、手 持ちヘラ削り 後ナデ	-
1302	307		須恵器・壺	SD040/060	8/8	石・大・多	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	粘土紐成形
1303	307		須恵器・壺	SD040/060	-	他・小・少	7.5Y6/1灰 色	回転ナデ	回転ナデ	頭部に沈線 1条。外側 自然釉
1304	307		須恵器・壺	SD040/060	-	石・大・多	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ削り	沈線2条
1305	307		須恵器・壺	SD040/060	2/8	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1306	307		須恵器・壺	SD040/060	4/8	石・大・普	5B6/1青灰 色	回転ナデ	回転ナデ、指 押サエ、ナ デ	-
1307	308		須恵器・壺	SD040/060	1/8	石・中・多	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ	沈線2条
1308	308		須恵器・壺	SD040/060	2/8	角・中・少	N6灰白色	回転ナデ、平 行引き	回転ナデ、平 行引き	-
1309	308		須恵器・壺	SD040/060	-	石・小・少。他・ 中・多	N7灰白色	回転ナデ、 当て具後ナ デ。当て具	回転ナデ、印 き目後カキ日	当て具真約 6cm
1310	309		土師器・杯	SD040/060	7/8	赤・中・少。他・ 小・少	7.5Y7/6橙 色	横ナデ	横ナデ	粘土紐成形
1311	309		土師器・杯	SD040/060	小片	石・小・少	7.5Y6/6橙 色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ナ デ	口径17.6cm 前後か?
1312	309		土師器・高台付 杯	SD040/060	小片	赤・中・少	2.5Y7/2灰 黄色	不明	不明	-
1313	309		土師器・壺	SD040/060	1/8	石・中・少。赤・ 人・少	7.5Y7/4に ぶい橙色	横ナデ。ナ デ	横ナデ、ナ デ	縦文に規則 性無し
1314	309		土師器・壺	SD040/060	4/8	石・中・普。赤・ 巾・普	10Y7/4に ぶい黄橙色	横ナデ	横ナデ。ヘ ラ削り	放射状と螺 旋状繊文
1315	309		土師器・杯	SD040/060	4/8	赤・小・少	5Y8/6橙色	横ナデ	横ナデ。ヘ ラ削り	-
1316	309		土師器・鉢	SD040/060	4/8	他・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ	横ナデ、不明	-
1317	309	50	土師器・高杯	SD040/060	7/8	石・小・少。赤・ 中・少	2.5Y7/3淡 黄色	不明	ナデ、ヘラ削 り	底部外面に 高台剥離痕

第68表 土器観察表50

遺物 番号	博団	回版	埋藏・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1318	309		土師器・高杯	SD040/060	—	石・中・少。赤・中・普	7.5YR6/6橙色	不明、ナデ	ヘラ削り	調節側面面取り
1319	309		土師器・高杯	SD040/060	—	石・中・普。赤・中・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	ナデ	横ナデ後ヘラ削り	螺旋状暗文
1320	309		土師器・壺	SD040/060	—	石・中・多。赤・中・少	2.5Y7/3浅黄色	ハケ目後ナデ	ナデ	取っ手部分
1321	309		土師器・壺?	SD040/060	8/8	赤・小・少。他・小・少	2.5Y7/4浅黄色	—	指押サエナデ	器種不明。 小型品の 取っ手
1322	309		土師器・壺	SD040/060	2/8	石・大・多。赤・大・少。他・中・多	2.5Y8/2灰白色	ナデ、板ナデ後ナデ	ナデ、ハケ目後横ナデ、ハケ目	口沿の小さな長柄刺
1323	309		土師器・壺	SD040/060	1/8	石・中・少。赤・大・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	ハケ目、ハケ目後指押サエ	ナデ、ハケ目	内面頸部から側面に炭化物付着
1324	309		土師器・壺	SD040/060	1/8	窑・小・少。石・小・少	5YR6/6赤褐色	指押サエ後ナデ	指押サエ後ナデ	—
1325	309		土師器・壺	SD040/060	3/8	石・小・普	7.5YR6/6橙色	横ナデ、ハケ目後板ナデ、板ナデ後指押サエ	横ナデ、ハケ目後板ナデ、板ナデ後指押サエ	外側口縁下を強い横ナデ
1326	310		埴生土器・壺	SD040/060	1/8	石・大・多。赤・中・少	2.5Y7/3淡黄色	不明	不明	口縁内面に 櫛划文
1329	311	50	須恵器・壺	SD047	8/8	石・中・少。他・小・少	N5灰色	回転ナデ、 回転ヘラ削り、ヘラ切り	回転ナデ	胴と天井の境 回転ヘラ削り
1330	311		須恵器・壺	SD047	4/8	石・中・普。他・小・普	5Y7/1灰白色	回転ナデ、 ヘラ切り後ナデ、ヘラ切り	回転ナデ	—
1331	311	50	須恵器・壺	SD047	8/8	石・中・少。他・小・少	2.5Y8/2灰白色	回転ナデ、 ヘラ切り後ナデ	回転ナデ	—
1332	311	50	須恵器・杯	SD047	8/8	石・大・少。他・小・普	5Y7/1灰白色	回転ナデ、 ヘラ削り、 ヘラ切り後ナデ	回転ナデ	胴と底の境 回転ヘラ削り
1333	311	50	須恵器・杯	SD047	6/8	石・中・少。他・小・少	N7灰白色	回転ナデ、 ヘラ切り	回転ナデ	—
1334	311	50	須恵器・杯	SD047	5/8	石・中・普。他・小・普	N5灰色	回転ナデヘ ラ切り	回転ナデ	胴と底の境 回転ヘラ削りの可能性 有り
1335	311	50	須恵器・杯	SD047	7/8	石・中・少。他・小・普	N7灰白色	回転ナデ、 ヘラ切り	回転ナデ	—
1336	311	50	須恵器・すり鉢	SD047	8/8	石・中・少。他・小・普	N6灰色	回転ナデ、 ヘラ切り後ナデ	回転ナデ	割突9のうち2貫通
1337	311		土師器・壺	SD047	小片	石・中・多。赤・中・少	7.5YR6/6橙色	不明	不明	—
1338	313		須恵器・高台付 杯	SD051	小片	他・小・普	10Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	—
1339	313		須恵器・壺	SD051	小片	他・小・普	5Y7/1灰白色	回転ナデ、 当て具	回転ナデ、格子目叩き	—
1341	314		土師器・壺	SD052	—	角・中・少。石・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	指押サエ後 板ナデ	指押サエ	取っ手

第69表 土器観察表61

遺物 番号	種類 回数	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外表面調	内面調整	外側調整	備考
1342	315	須恵器・壺	S D053/S D 070	2/8	他・少・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ, 回 転ヘラ削り後 回転ナデ, 回 転ナデ	クロ右回 転
1343	315	須恵器・壺	S D053/S D 070	2/8	他・中・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1344	315	須恵器・皿	S D053/S D 070	1/8	石・中・少, 他・ 小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ, ヘ ラ切り後ナデ	-
1345	315	須恵器・皿	S D053/S D 070	1/8	石・大・少, 他・ 小・少	7.5Y5/1灰 色	回転ナデ	回転ナデ, ヘ ラ切り後ナデ	重ね焼きに よる色調の 変化
1346	315	須恵器・皿	S D053/S D 070	2/8	石・小・少, 他・ 中・少	10Y7/1灰白 色	回転ナデ	回転ナデ, ヘ ラ切り後ナデ	-
1347	315	須恵器・杯	S D053/S D 070	2/8	精良	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ, ヘ ラ切り後ナデ	-
1348	315	須恵器・杯	S D053/S D 070	小片	他・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	口縁上部に 平塗面
1349	315	須恵器・杯	S D053/S D 070	小片	他・小・少	5Y7/1灰白 色	回転ナデ	回転ナデ	高台付杯か?
1350	315	須恵器・杯	S D053/S D 070	1/8	他・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	高台付杯か?
1351	315	須恵器・壺	S D053/S D 070	2/8	石・中・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	沈縞2条
1352	315	須恵器・高台付 杯	S D053/S D 070	8/8	石・小・少	7.5Y5/1灰 色	回転ナデ	回転ナデ	-
1353	315	須恵器・高台付 杯	S D053/S D 070	2/8	石・中・少	7.5Y6/1灰 色	回転ナデ	回転ナデ	-
1354	315	須恵器・高台付 壺	S D053/S D 070	1/8	精良	2.5GY7/1明 オリーブ灰 色	回転ナデ	回転ナデ	-
1355	315	土師器・杯	S D053/S D 070	1/8	他・小・少	2.5Y7/2灰 黄色	ミガキ	横ナデ	-
1356	315	土師器・杯	S D053/S D 070	小片	精良	2.5Y7/2灰 黄色	横ナデ	横ナデ	不明, ヘラ切 り後ナデ
1357	315	土師器・高台付 皿	S D053/S D 070	-	石・中・少, 赤・ 中・普	5YR6/6橙色	ナデ	横ナデ, ナデ	-
1358	315	土師器・皿	S D053/S D 070	1/8	石・小・少, 赤・ 小・少	7.5Y7/6橙 色	横ナデ	横ナデ, ナデ	口径不定
1359	315	土師器・碗	S D053/S D 070	小片	石・小・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	ミガキ	ミガキ, ヘラ 削り	-
1360	315	須恵器・壺	S D053/S D 070	1/8	石・小・多, 赤・ 中・少, 普・中・ 普	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1361	315	土師器・土釜	S D053/S D 070	小片	石・大・少	10YR6/2灰 黄褐色	横ナデ	横ナデ, 指押 サエ後ナデ	内面塗付 着, 口縁不 確定
1362	315	土師器・土馬	S D053/S D 070	-	石・大・多	10YR7/3に ぶい黄褐色	-	指押サエ後ナ デ, ナデ	足の部分
1363	317	須恵器・皿	S D058	小片	角・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ, ナ デ	-
1364	317	須恵器・壺	S D058	7/8	角・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1365	318	須恵器・壺	S D071	小片	石・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ヘラ削 り, 回転ナデ	クロ左回 転
1366	318	須恵器・高台付 杯	S D071	1/8	石・中・少	5Y6/1灰色	回転ナデ	回転ナデ, 回 転ヘラ削り	クロ右回 転
1367	318	須恵器・皿	S D071	小片	石・小・普	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ, ヘ ラ切り	怪小確定

第70表 土器観察表50

遺物番号	件名	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1368	318		須恵器・壺	S D071	小片	石・中・少	N8灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ削り	ロクロ右回転
1369	319		土師器・皿	S D074	2/8	石・小・少。赤・中・少	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ	横ナデ、不明	脚付き
1370	319		須恵器・壺	S D074	-	石・中・少	10Y6/1灰色	回転ナデ、不明	回転ナデ	-
1371	319		須恵器・杯	S D074	1/8	石・中・少	5GY6/1オーリーブ灰褐色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
1372	319		須恵器・杯	S D074	8/8	石・中・多。赤・中・少	10YR7/3にぶい黄橙色	回転ナデ	回転ナデ、回転ヘラ削り	ロクロ左回転
1373	319		土師器・高台付杯	S D074	2/8	石・中・少。赤・中・少	7.5YR6/4にぶい褐色	横ナデ。不明	横ナデ、ナデ	暗文の有無不明
1374	319		須恵器・杯	S D074	1/8	石・小・普	N6灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
1375	319		須恵器・杯	S D074	1/8	石・大・少	5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
1376	319		土師器・皿	S D074	2/8	石・小・少	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ、ヘラ削り後ナデ	内面放射状暗文
1377	319		土師器・壺	S D074	2/8	石・中・少	10YR7/4にぶい黄橙色	横ナデ、ハサウエ後横ナデ指揮サエ後ナデ	横ナデ、指揮サエ後横ナデ、ナデ、ハケ目	外面口縁下に強い横ナデ
1378	321		須恵器・壺	S D075	6/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
1379	321		須恵器・壺	S D075	小片	石・小・普	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	身の可能性もある
1380	321		須恵器・杯	S D075	1/8	石・小・少	2.5GY7/1明オーリーブ灰褐色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	外面部に「一」形のヘラ切跡
1381	321		須恵器・壺	S D075	1/8	石・小・少	N5灰白色	回転ナデ	回転ナデ	沈泥4条
1382	321		土師器・皿	S D075	小片	石・小・普	7.5YR6/6橙色	不明	小明、板ナデ	-
1383	321		土師器・壺	S D075	3/8	石・小・苦。赤・小・普	7.5YR5/4にぶい褐色	横ナデ、ハケ目。不明	横ナデ、指揮サエ後横ナデ、ハケ目	-
1384	321		土師器・壺	S D075	1/8	石・中・多。赤・小・少	10YR7/4にぶい黄橙色	ハケ目後タミガキ、板ナデ	横ナデ後ミガキ、板ナデ後ミガキ	内面ヘラミガキ
1385	321		土師器・壺	S D075	1/8	石・大・普	10YR7/4にぶい黄橙色	横ナデ、板ナデ後横ナデ、板ナデ、ヘラ削り	横ナデ、ハケ目	外面口縁下強い横ナデ
1386	321		須恵器・丸瓦	S D075	-	石・中・少	N6灰白色	ヘラ削り	ナデ	内面に毫目
1387	322		土師器・杯	S D076	1/8	石・小・普。赤・中・普	7.5Y7/6橙色	横ナデ	横ナデ、ナデ	傾き不確定
1388	322		土師器・壺	S D076	-	石・小・多。赤・小・普	2.5Y7/2灰黄色	ナデ	ナデ、ナデ後板ナデ	取っ手
1389	323		須恵器・高台付杯	S D078	1/8	石・中・多	5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1390	323		土師器・杯	S D078	小片	石・小・少。赤・中・普	5YR6/6橙色	ナデ	ミガキ	放射状暗文
1391	325		特殊土器・壺	S D080/110	1/8	赤・小・少。他・中・普	10YR7/3にぶい黄橙色	ハケ目。ヘラ削り後指揮サエ	指揮サエ、ナデ。ハケ目	-

第71表 土器観察表53

遺物 番号	押印	回版	種類・器種	測定名	現存	胎 土	外面色調	内面調整	外側調整	備 考
1392	325		弥生土器・甕	SD080/110	3/8	石・中・普、赤・中・普	7.5YR6/6橙色	横ナデ、指押サエ後ナデ、ヘラ削り	横ナデ、ハケ目、叩き後ハケ目	-
1393	325		弥生土器・甕	SD080/110	1/8	石・小・少、赤・小・少	7.5YR6/6橙色	ハケ目、横ナデ、ヘラ削り	横ナデ、ハケ目、ハケ目後叩き	-
1394	325		弥生土器・甕	SD080/110	小片	石・中・少、赤・小・少	10YR8/4浅黄褐色	ハケ目、板ナデ	横ナデ、ハケ目	-
1395	325		弥生土器・甕	SD080/110	8/8	石・中・普、赤・大・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ、横ナデ後指押サエ、板ナデ	横ナデ、指押ミガキ	指押沈殿文 6条
1396	325		弥生土器・甕	SD080/110	-	石・小・多	2.5Y5/2暗灰 灰黄色	板ナデ	ハケ目	擦接きの波 状文と底銀 文
1397	325		弥生土器・瓶	SD080/110	-	角・中・多、他・中・多	10YR5/3に ぶい黄褐色	ヘラ削り後 指押サエ、 指押サエナデ	ミガキ後板ナ デ	焼成後底部 穿孔
1398	325		弥生土器・高杯	SD080/110	2/8	角・小・多、赤・小・少、他・小・多	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、ミ ガキ	横ナデ、ヘラ 削り後ミガキ	-
1399	325		弥生土器・脚付 鉢	SD080/110	小片	角・中・多、他・小・普	10YR5/4に ぶい黄褐色	ナデ	ナデ	-
1400	325		弥生土器・鉢	SD080/110	2/8	石・中・少、赤・小・普、他・小・普	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ、ハケ 目、ナデ	-
1401	326		須恵器・杯	SD080/110	4/8	石・小・普	10Y4/1灰色	回転ナデ、 ナデ	ヘラ切り後ナ デ	ゆがんでい る。ロクロ 左回転
1402	326		須恵器・杯	SD080/110	3/8	石・中・普	N5灰色	回転ナデ、 ナデ	回転ナデ	器種不明の 須恵器と重 ね焼き
1403	326		須恵器・杯	SD080/110	1/8	他・中・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1404	326		須恵器・杯	SD080/110	8/8	石・中・普	7.5YR7/1明 褐色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り後ナデ	-
1405	326		須恵器・杯	SD080/110	小片	芸・小・少、他・ 小・少	5Y6/1灰色	回転ナデ	-	-
1406	326		須恵器・甕	SD080/110	-	他・小・少	5PBS/1青灰 色	回転ナデ、回 転ヘラ削り	回転ナデ、回 転ヘラ削り	胴中位2条 の沈線の間 に刻み目
1407	326		須恵器・甕	SD080/110	小片	他・小・普	N7灰白色	回転ナデ、 ハケ目	回転ナデ	外側自然釉
1408	326		土師器・鉢	SD080/110	2/8	Li・大・普、他・ 大・普	2.5Y8/2灰 白色	不明	不明	-
1409	326		土師器・甕	SD080/110	7/8	石・中・多、赤・ 中・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ、ハ ケ目後横ナ デ、ハケ目、 指押サエ後 ハケ目、指 押サエ後ハ ケ目後ヘラ 削り	横ナデ、ハ ケ目後横ナ デ、ハケ目	-
1410	326		土師器・甕	SD080/110	-	石・中・普、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい橙色	指押サエナ デ	指押サエナ デ、ハケ目	取っ手

第72表 土器観察表54

遺物番号	地図	図版	種類・器種	遺構名	現存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
1414	327		須恵器・皿	S D087	1/8	石・中・普	N4灰色	回転ナデ後ナデ	回転ナデ	-
1415	327		土師器・甕	S D087	小片	石・大・多。赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ハケ 目後ナデ	横ナデ、ハケ 目後ナデ	-
1416	329		須恵器・蓋	S D095/096/ S X08	1/8	石・小・少	7.5Y4/1灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1417	329		須恵器・杯	S D095/096/ S X08	1/8	石・小・普。赤・中・少	5Y8/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1418	329		須恵器・高杯	S D095/096/ S X08	-	石・中・普。他・中・少	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1419	239		須恵器・高杯	S D095/096/ S X08	6/8	石・大・多。他・中・多	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1420	329		土師器・杯	S D095/096/ S X08	1/8	石・小・少。赤・中・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ	-
1421	329		土師器・杯	S D095/096/ S X08	1/8	石・小・少。赤・中・少	5YR6/6橙色	ミガキ、ナ ゲ	ナデ、ミガキ 丁寧なつくり	-
1425	330		須恵器・蓋	S D101	小片	石・小・普	5Y8/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1426	331		須恵器・平瓶	S D103	7/8	石・中・普	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1427	333		須恵器・蓋	S D086	小片	石・中・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	径不確定
1428	333	51	須恵器・高台付 杯	S D061	1/8	石・小・少	N6灰色	回転ナデ。不 調整	回転ナデ。不 調整	-
1429	335		須恵器・杯	S Z01	2/8	精良	5Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1430	335		須恵器・杯	S Z01	小片	精良	10Y5/1灰色	回転ナデ	-	傾き不確定
1431	335		須恵器・高杯	S Z01	-	石・中・普。他・ 小・少	5B4/1暗青 灰色	回転ナデ、 ナデ後回転 ナデ	回転ナデ	-
1432	335		土師器・杯	S Z01	1/8	石・小・少。赤・ 小・少	7.5YR7/6橙 色	不明	不明	-
1433	335		土師器・杯	S Z01	小片	石・小・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ	-
1434	335		土師器・蓋	S Z01	小片	石・中・少。赤・ 中・少	5YR6/6橙色	横ナデ、指 サエ	横ナデ、指 サエ	-
1435	335		土師器・蓋	S Z01	小片	石・中・少。他・ 小・普	7.5YR4/2灰 褐色	横ナデ。板 ナデ	横ナデ	-
1438	337		土師器・甕	S X01BC	1/8	石・大・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	不明。ヘラ 削り	不明	-
1439	339		須恵器・杯	S B022	1/8	石・中・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1440	339		土師器・高台付 皿	S B022	小片	石・中・少。赤・ 中・普	5YR6/6橙色	ナデ。横ナ デ	横ナデ	放射状暗文
1441	340		土師器・高台付 杯	S B094	1/8	赤・小・少	5YR6/6橙色	ナデ	横ナデ	外面赤色顔 料塗布
1442	341		土師器・蓋	S B095	-	赤・小・多	7.5YR6/6橙 色	横ナデ	横ナデ	内外面赤色 顔料塗布
1443	341		土師器・杯	S B095	小片	他・小・少	7.5YR7/6橙 色	横ナデ	横ナデ	口径不確定
1444	341		瓦器・碗	S B095	4/8	他・小・少	10Y4/1灰色	横ナデ	指揮サエ後ナ デ	-
1445	344	59	石製品・温石?	S P0164A	-	-	-	-	-	-
1446	344		土師質・土器	S P0157B	小片	石・中・少。他・ 小・少	2.5Y8/3浅 黄色	横ナデ	横ナデ、指 サエ	-

第73表 土器観察表55

遺物番号	標印	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内部調整	外側調整	備考
1447	344		土師質・土釜	S P0157E	1/8	赤・小・普・他・少	2.5Y7/3浅黄色	指押サ工後ナデ	横ナデ、指押サ工	-
1448	344		土師器・鍋	S P0164A	小片	石・小・少	2.5Y7/4浅黄色	横ナデ	横ナデ	-
1449	344		瓦質土器・皿	S P0808E	1/8	石・中・少	5Y7/1灰白色	回転ナデ後ミガキ	回転ナデ、ナデ	-
1450	346		土師質・すり鉢	S K16	小片	石・大・普	10YR5/3に 赤い黄褐色	おろし目	指押サエ、ナデ	おろし日は 2条1単位
1451	346		土師質・焰塔	S K16	1/8	精良	2.5Y3/1黒褐色	ナデ、ハケ月	指押サエ	-
1452	347		瓦質・椀	S X06	2/8	精良	N4灰色	ミガキ	横ナデ、指押サエ	和泉型、内 面のミガキは 細い
1453	347		土師器・皿	S X06	4/8	他・小・少	10YR8/2灰白色	ナデ	ナデ、ヘラ切 り	-
1454	348		土師器・壺	S D001A	-	石・中・普・赤・ 中・多	2.5Y8/4浅黄色	不明	ナデ	-
1455	348		土師質・土釜	S D002	小片	角・中・少・石・ 中・多	2.5Y7/4浅黄色	横ナデ、板ナデ	横ナデ、ハケ目	外面下半部 付着
1456	348		龜山焼・壺	S D002	小片	石・大・少	N4灰色	椎子目叩き	不明	-
1457	348		土師質・土釜	S D001A	-	石・大・少・石・ 中・多・赤・中・ 普	10YR7/3に 赤い黄褐色	ナデ	ナデ	脚部
1458	349		須恵器・壺	S D003	1/8	石・大・少・石・ 中・普	N7灰白色	ヘラ削リ	回転ナデ	-
1459	349		瓦質土器・椀	S D003	2/8	石・小・少	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ後回 転ヘラミガキ	西村遺跡 差? 内外面 回転ヘラミ ガキ	
1460	349		瓦質土器・すり鉢	S D003	小片	石・中・普	10YR8/4浅 黄褐色	横ナデ	横ナデ後おろ し目	傾き不確定
1461	349		土師質・土釜	S D003	8/8	石・大・普・赤・ 中・普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、ナ デ	ハケ目	外面剥付着
1462	350		土師器・小皿	S D004	2/8	角・中・少・石・ 中・普・赤・小・ 少	10YR8/4浅 黄褐色	横ナデ	横ナデ、静止 底部静止系 切り	
1463	350		須恵器・皿	S D004	1/8	精良	2.5G7/1明 オリーブ灰 色	回転ナデ、 ヘラ切り後 ナデ	回転ナデ	-
1464	351		須恵器・壺	S D012	2/8	石・大・多	5P6S/1青灰 色	回転ナデ	回転ナデ	-
1465	351		瓦質・椀	S D012	小片	石・小・少	2.5Y8/2灰 白色	横ナデ	横ナデ	-
1466	351		土師器・椀	S D012	小片	石・小・少・赤・ 小・少	2.5Y8/2灰 白色	横ナデ	横ナデ	外面口縁下 に沈線? 1 条
1467	351		土師器・椀	S D012	4/8	石・中・多・赤・ 中・普	2.5Y8/3浅 黄色	横ナデ、ヘ ラ切り	ナデ	-
1468	351		平瓦	S D012	-	石・小・普・赤・ 小・少	2.5Y8/1灰 白色	ヘラ削リ、 ヘラ削リ後 ミガキ	ナデ	-
1471	352		土師質・土釜	S D015	小片	石・中・少・石・ 中・多・赤・中・ 多	2.5Y7/2灰 黄色	横ナデ	ナデ	-
1472	352		土師器・椀	S D016	2/8	石・中・普・赤・ 中・少	7.5Y8/3に 赤い橙色	ナデ	ハケ目	-

第74表 土器観察表58

遺物番号	博団	回版	種類・器種	遺構名	現存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1473	352		備前・すり鉢	S D016	小片	石・中・普	2.5Y4/2暗灰褐色	回転ナデ	回転ナデ	頬き小確定
1474	353		須恵器・盞	S D017	一	石・小・普・赤・少	10%6/1灰色	回転ナデ・回転ヘラ削り	回転ナデ・回転ヘラ削り	ロクロ左回転
1475	354		弥生土器・甕	S D043	7/8	石・小・少	10YR5/3にぶい黄褐色	ナデ後指揮サエ	ナデ	-
1476	354	51	瓦器・碗	S D043	7/8	角・小・少・石・少	5Y4/1灰色	ナデ後回転ヘラミガキ	指揮サエ後回転ヘラミガキ	繪葉型?
1477	356		弥生土器・甕	A包含層	1/8	石・大・多・赤・中・少	7.5Y7/6橙色	横ナデ・ナデ	横ナデ・不明	全体に磨滅
1478	356		弥生土器・甕	A包含層	小片	赤・小・少	2.5Y7/3浅黄色	ナデ	ハケ目・ナデ・ハケ目	-
1479	356		弥生土器・甕	A包含層	3/8	石・大・多	2.5Y8/6橙色	不明	ミガキ・ナデ	-
1480	356		弥生土器・高杯	A包含層	1/8	石・小・少・他・小・普	5Y8/4にぶい赤褐色	ミガキ	不明・ミガキ	-
1481	356	51	弥生土器・劫鍤車	A包含層	8/8	石・小・少・赤・小・少	2.5Y6/3にぶい黃褐色	指揮サエ	ナデ	上器片利用
1482	356		土師器・高杯	A包含層	4/8	他・小・少	10YR7/4にぶい黄褐色	横ナデ	小明・指揮サエ	-
1483	356		須恵器・盞	A包含層	4/8	石・中・少・他・小・普	N6灰色	回転ナデ・回転ヘラ削り	回転ナデ・回転ヘラ削り	ロクロ右回転・少し歪む
1484	356		須恵器・杯	A包含層	2/8	石・大・普・他・小・少	2.5Y8/2灰白色	回転ナデ	回転ナデ・回転ヘラ削り	底部回転ヘラ削り(ロクロ右回転)
1485	356		須恵器・不明	A包含層	小片	他・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1486	356		須恵器・杯	A包含層	1/8	他・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1487	356		須恵器・高杯脚	A包含層	8/8	石・大・少・他・小・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1488	356		土師器・碗	A包含層	3/8	精良	2.5Y8/2灰白色	ナデ	ナデ	-
1489	356		瓦質土器・碗	A包含層	小片	石・小・多	N6灰色	横ナデ	横ナデ	-
1490	356		須恵器・鉢	A包含層	1/8	石・中・多	N6灰色	回転ナデ・当て具	回転ナデ・叩き後カキ目	-
1498	358		弥生土器・甕	B包含層	3/8	石・大・普・赤・中・普	2.5Y8/2灰白色	横ナデ・不明	横ナデ・不明	-
1499	358		弥生土器・甕	B包含層	2/8	石・大・多・赤・中・少	7.5Y8/4にぶい褐色	横ナデ・ミガキ	横ナデ・ナデ	-
1500	358		弥生土器・甕	B包含層	2/8	石・大・多・赤・大・少	10YR6/4にぶい黄褐色	横ナデ・板ナデ	横ナデ・ハケ目	-
1501	358		弥生土器・甕	B包含層	8/8	石・中・普・他・中・少	5Y8/6明赤褐色	横ナデ・絞り目・後ナデ・指揮サエ後板ナデ	横ナデ・ハケ目	-
1502	358		弥生土器・甕	B包含層	2/8	石・小・多・赤・小・少	10YR8/2灰白色	横ナデ・ミガキ	横ナデ・ハケ目	-
1503	358		弥生土器・高杯	B包含層	7/8	石・大・多・赤・大・少	7.5Y8/4にぶい褐色	絞り目・板ナデ・横ナデ	ミガキ	-
1504	358		弥生土器・甕	B包含層	小片	石・大・少・赤・小・少	7.5Y8/4にぶい褐色	横ナデ・指揮サエ後ナデ	横ナデ	-

第75表 土器観察表57

遺物 番号	坪田	国版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外表面調	内面調整	外面調整	備 考
1505	358		弥生土器・壺	B包含層	2/8	玄・小・多・角・中・普・石・中・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	ハケ日、指 押サ工後ナ デ	横ナデ、ハケ 目	-
1506	358		弥生土器・壺	B包含層	1/8	石・小・普	10YR7/3に ぶい黄褐色	横ナデ。不 明	横ナデ、板ナ デ	-
1507	358		弥生土器・壺	B包含層	1/8	玄・大・少・石・中・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	横ナデ。板 ナデ	横ナデ、板ナ デ	-
1508	358		弥生土器・壺	B包含層	4/8	石・中・普・赤・中・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ、指 押サ工後ナ デ	横ナデ、ハケ 目	-
1509	358		弥生土器・壺	B包含層	4/8	石・中・普・赤・大・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	指押サ工、 ナデ	ナデ	-
1510	358		弥生土器・鉢	B包含層	8/8	石・大・普	7.5YR7/4に ぶい橙色	ナデ	ナデ、指押サ 工、ナデ	-
1511	358		弥生土器・壺	B包含層	2/8	石・小・多	2.5Y7/3浅 黄色	不明	横ナデ、板ナ デ	刻み目4列
1512	358		弥生土器・高杯	B包含層	7/8	石・大・普・赤・大・少	2.5YR5/4に ぶい赤褐色	不明、指押 サ工、ナデ	不明	-
1513	358		弥生土器・鉢	B包含層	1/8	石・小・普	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、横ナ デ、ハケ目	-
1515	359		弥生土器・壺	B包含層	小片	石・大・多・赤・中・少	5YR6/6橙色	横ナデ、ミ ガキ	横ナデ、ミガ キ	-
1516	359		弥生土器・壺	B包含層	3/8	石・小・多・赤・小・少	2.5Y6/3に ぶい黄褐色	横ナデ。ナ デ	横ナデ、ナデ	-
1517	359		弥生土器・壺	B包含層	5/8	石・中・普・赤・中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ミ ガキ、板ナ デ後ミガキ	横ナデ、板ナ デ、ミガキ	-
1518	359		弥生土器・壺	B包含層	1/8	石・大・多・赤・中・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	横ナデ。ミ ガキ	横ナデ、板ナ デ	-
1519	359		弥生土器・壺	B包含層	1/8	石・小・多	2.5Y7/2灰 黄色	ミガキ	横ナデ、ハケ 目	-
1520	359		弥生土器・壺	B包含層	2/8	石・小・多・赤・大・少	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、板ナ デ後ナデ	-
1521	359		弥生土器・壺	B包含層	小片	玄・中・多・角・大・多・石・大・多	10YR5/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ナ デ、不明	横ナデ、ハケ 目	-
1522	359		弥生土器・壺	B包含層	8/8	石・大・多	5YR5/6橙色	ナデ	ミガキ、ミガ キ後横ナデ、 ナデ	-
1523	360		弥生土器・壺	B包含層	6/8	石・大・多・赤・大・多	10YR8/4浅 黄褐色	ナデ	ナデ	口縁に刻み 目と竹管刺 突文
1524	360		弥生土器・壺	B包含層	-	石・小・多	7.5YR6/2灰 褐色	不明	ナデ	刻み目突帶 3段
1525	360		弥生土器・壺	B包含層	-	石・中・多・赤・中・普	2.5Y4/1黄 灰色	ナデ	ナデ	彫描沈着文 と網格子文
1526	360		弥生土器・壺	B包含層	2/8	石・大・多・赤・中・普	10YR5/2灰 黄褐色	横ナデ、不 明、板ナデ、 ナデ	横ナデ、ハケ 目、横ナデ	口縁上面に 刻目突帶と 刺突文
1527	360		弥生土器・壺	B包含層	8/8	石・中・多・赤・中・普	10YR8/3浅 黄褐色	横ナデ、不 明	横ナデ、不明	-
1528	360		弥生土器・壺	B包含層	5/8	石・小・多	7.5YR5/3に ぶい褐色	ミガキ、ハ ケ目後ミガ キ	横ナデ、指押 サ工後横ナ デ、横ナデ、 ミガキ	文様多数
1529	360		弥生土器・壺	B包含層	3/8	石・大・多・赤・中・少	10YR8/1灰 白色	ナデ、ナ デ	横ナデ、横ナ デ後ハケ目	-

第76表 土器観察表58

遺物番号	押回	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
1530	360		弥生土器・壺	B包含層	2/8	角・中・多、赤・小・普、他・小・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	ナデ、指押 サエ	ナデ	-
1531	360		弥生土器・壺	B包含層	2/8	雲・中・多、角・中・普、石・大・多、赤・中・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ後ハ ケ目、ハケ目、不明	横ナデ後ハケ 目、ハケ目	-
1532	360		弥生土器・壺	B包含層	-	雲・小・少、角・中・多、石・中・普、赤・中・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	ナデ、不明	横ナデ、ミガ キ	-
1533	360		弥生土器・壺	B包含層	5/8	石・大・多、赤・大・普	10YR6/3に ぶい黄褐色	指押サエ後 板ナデ	ハケ目後ミガ キ、ナデ	-
1534	361		弥生土器・高杯	B包含層	-	石・大・少	5Y8/2灰白色	指押サエ後 ナデ、指押 サエ後板ナ デ	ミガキ、不明	対向する2 個1組・一对 の穿孔
1535	361		弥生土器・高杯	B包含層	1/8	石・中・普、赤・大・少	10YR6/2灰 黃褐色	横ナデ、較 り目	横ナデ、ハケ 目	口縁に削み 目
1536	361		弥生土器・高杯	B包含層	8/8	石・中・多、赤・中・普	10YR7/3に ぶい黄褐色	ミガキ、ナ デ	ナデ、ミガキ、 ナデ	対向する2 個1組・一对 の穿孔
1537	361		弥生土器・高杯	B包含層	3/8	石・大・多、赤・中・普	5Y8/6橙色	ナデ	ナデ、板ナデ ナデ	対向する2 個1組・一对 の穿孔
1538	361		弥生土器・高杯	B包含層	-	角・中・少、石・小・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	ミガキ、板 ナデ	不明、板ナデ	-
1539	361		弥生土器・甌	B包含層	8/8	石・大・多、赤・中・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	指押サエ後 ナデ	板ナデ、ナデ	焼成後穿孔
1540	361	51	弥生土器・分類 型土製品	B包含層	-	石・小・少	2.5Y4/1黄 灰色	指押サエ後ナ デ	刺突文の内 側に直線文？	
1541	361		弥生土器・鉢	B包含層	1/8	石・大・多、赤・大・普	2.5Y5/2暗 灰黄色	不明	不明	全体の穿孔 個数不明
1553	363		弥生土器・甌	B包含層	3/8	石・中・普、赤・大・少	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、ヘ ラ削り	横ナデ、印 き後ハケ目、ナ デ	-
1554	363		弥生土器・甌	B包含層	3/8	石・大・少、赤・大・普	7.5Y8/4に ぶい橙色	ナデ、指押 サエ後ヘラ 削り	指押サエ、ナ デ、印き後ハ ケ目、ナデ	-
1555	363		弥生土器・甌	B包含層	3/8	石・中・少、赤・大・少	7.5Y8/4に ぶい橙色	ヘラ削り	印き後ハケ目	-
1556	363		弥生土器・甌	B包含層	7/8	石・大・少、赤・中・普	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ナ デ、指押サ エ、ナデ、 指押サエ	横ナデ、印き、 ナデ	-
1557	363		弥生土器・甌	B包含層	5/8	石・大・普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、指 押サエ、指 押サエ後ハ ケ目、ヘラ 削り後ハケ 目、ヘラ削 り	横ナデ、ハケ 目、ナデ	内面強い指 痕痕
1558	363		弥生土器・甌	B包含層	6/8	雲・中・多、角・中・多、石・大・普	7.5Y8/4に ぶい橙色	ナデ、指押 サエ後ナデ、 ヘラ削り	ナデ、ハケ目	-
1559	363		弥生土器・甌	B包含層	6/8	石・大・多	7.5Y8/4に ぶい橙色	ナデ	ナデ	外底に指 痕の圧痕
1560	363		弥生土器・甌	B包含層	8/8	石・中・普、赤・大・少	5Y8/6明赤 褐色	横ナデ、板 ナデ	横ナデ、ハケ 目、ナデ	-

第77表 土器観察表69

遺物番号	擇認	回版	種類・器種	過横名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
1561	363		弥生土器・甕	B包含層	2/8	赤・中・少、赤・小・少	2.5Y7/2灰 黄色	横ナデ、指押サエ、板ナデ	横ナデ、叩き後ハケ目	外面叩き後粗いハケ目
1562	363		弥生土器・甕	B包含層	6/8	石・中・普、赤・中・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ、指押サエ、ナデ	横ナデ、叩き後板ナデ	-
1563	363		弥生土器・鉢	B包含層	-	石・大・少、赤・大・少	2.5Y8/2灰 白色	ナデ	ハケ目	内面未付着
1564	363		弥生土器・甕	B包含層	7/8	石・大・多、赤・大・少	5YR6/6橙色	横ナデ、指押サエ、ハケ目後ナデ、指押サエ後ナデ	横ナデ、ハケ目、ミガキ、ナデ	対向する2個1組一对の穿孔
1565	363		弥生土器・甕	B包含層	-	石・大・多、赤・中・普	2.5Y7/3浅 黄色	ナデ	ナデ	刺突文(城下段)と縦い波状文
1566	363		弥生土器・鉢	B包含層	6/8	石・大・少	2.5Y7/2灰 黄色	指押サエ後ナデ	ナデ	-
1567	363		弥生土器・鉢	B包含層	2/8	石・中・少、赤・小・少	10YR5/2灰 黄褐色	ナデ	ナデ、指押サエ、ナデ、指押サエ、ナデ	-
1568	363		弥生土器・鉢	B包含層	6/8	白・小・少	10YR8/1灰 白色	ナデ、板ナデ	ナデ、ハケ目、ナデ	-
1569	363		弥生土器・鉢	B包含層	6/8	石・中・普	2.5Y7/3浅 黄色	ハケ目	横ナデ	-
1570	363		弥生土器・鉢	B包含層	5/8	石・小・少、赤・小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	ハケ目、指押サエ	横ナデ、板ナデ	外底ヘラ削り
1571	364		弥生土器・甕	B包含層	2/8	石・中・普、赤・中・普	2.5Y7/3浅 黄色	ハケ目、板ナデ、ハケ目	横ナデ、叩き後ハケ目	-
1572	364		弥生土器・甕	B包含層	8/8	石・小・普	2.5Y5/2暗 灰黄色	不明	叩き後ハケ目、叩き	-
1573	364		弥生土器・甕	B包含層	2/8	石・大・普、赤・中・多	7.5YR6/6橙 色	ハケ目、板ナデ	横ナデ、叩き後ナデ	-
1574	364		弥生土器・甕	B包含層	小片	石・中・普、赤・中・普	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ、指押サエ	横ナデ、叩き	-
1575	364		弥生土器・甕	B包含層	7/8	石・小・多、石・大・普、赤・中・少	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ、指押サエ、板ナデ	横ナデ、ハケ目	-
1576	364		弥生土器・甕	B包含層	1/8	石・小・多	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、指押サエ後板ナデ、板ナデ	ハケ目後横ナデ、ハケ目	-
1577	364		弥生土器・高杯	B包含層	小片	石・小・多、赤・小・少	2.5Y7/2灰 黄色	ハケ目、ミガキ	横ナデ、不明	-
1578	364		弥生土器・甕	B包含層	1/8	石・中・多、赤・中・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ、板ナデ	横ナデ、ハケ目、ナデ	-
1579	364		弥生土器・甕	B包含層	8/8	石・大・普、赤・中・少	2.5Y7/3浅 黄色	ヘラ削り、横ナデ	不明	焼成前穿孔
1580	364		弥生土器・鉢	B包含層	2/8	石・中・少、角・中・多、石・小・多、赤・中・少、白・小・多	10YR5/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ナデ後ハケ目	横ナデ、板ナデ	内面本付港、注ぎ口
1581	364		弥生土器・鉢	B包含層	4/8	石・中・普、赤・人・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ヘラ削り	横ナデ、ヘラ削り、ナデ	--
1582	364		弥生土器・甕	B包含層	8/8	石・中・普、角・中・普、石・大・普	2.5Y6/3に ぶい黄色	不明	ナデ	-

第78表 土器観察表

遺物番号	桟回	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1583	364		弥生土器・壺	B包含層	5/8	石・大・普・赤・中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	板ナデ	ハケ目	外底に植物 葉の痕跡
1588	365		弥生土器・脚付 鉢	B包含層	5/8	角・小・多・石・小・多	10YR5/3に ぶい黄褐色	不明・ナデ・ ヘラ削り	不明・ナデ・ 不明	穿孔跡不明
1589	365		弥生土器・壺	B包含層	3/8	石・大・多・赤・大・普	5YR6/6橙色	横ナデ・不明	横ナデ・不明	注ぎ口有り
1590	365		弥生土器・壺	B包含層	4/8	石・中・普	5YR5/4に ぶい赤褐色	板ナデ	ミガキ	-
1591	365		弥生土器・壺	B包含層	-	石・小・普	10YR6/3に ぶい黄褐色	不明	ハケ目	-
1592	365		弥生土器・脚付 鉢	B包含層	6/8	角・中・少・石・中・少	10YR6/3に ぶい黄色	不明	不明	-
1594	365		須恵器・罐	B包含層	8/8	石・小・普	5YR6/1青灰 色	回転ナデ	回転ナデ・回 転ヘラ削り	串孔1ヶ所
1595	365	51	土師器・用途不 明	B包含層	6/8	石・中・多・赤・小・少・ 灰・小・多	10YR7/4に ぶい黄褐色	指揮サエ・横 ナデ・指揮サ エ・ナデ	横ナデ・ハケ 目	-
1596	365		須恵器・壺	B包含層	8/8	他・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ・回 転ヘラ削り・ 回転ナデ	ろくろ右回 転
1597	365		須恵器・杯	B包含層	4/8	雲・小・少・石・小・少	7.5Y8/1灰 白色	回転ナデ	-	-
1598	365		土師器・杯	B包含層	小片	石・小・少・赤・ 小・少	7.5Y8/4に ぶい橙色	横ナデ	横ナデ・ヘラ 削り	暗文の有無 不明
1599	365		須恵器・壺	B包含層	8/8	石・小・普	5YR6/1青灰 色	回転ナデ	回転ナデ・回 転ヘラ削り・ 回転ナデ・ヘ ラ削り	-
1600	365		須恵器・壺	B包含層	1/8	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1601	365		須恵器・高台付 杯	B包含層	2/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ・ヘ ラ削り後回転 ナデ	-
1602	365		須恵器・高杯	B包含層	2/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	-
1603	365		土師器・杯	B包含層	小片	石・小・少・赤・ 大・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ	横ナデ・ヘラ 削り	外面赤色 顔料染布・ 放射状模様
1604	365		須恵器・杯	B包含層	1/8	他・中・少	7.5Y5/1灰 色	回転ナデ・ヘ ラ削り後ナデ	回転ナデ・ヘ ラ削り後ナデ	-
1605	365		須恵器・高台付 杯	B包含層	2/8	精良	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ・ 回転ナデ後ナ デ	回転ナデ・ヘ ラ削り後ナデ	-
1606	365		土師器・高杯	B包含層	小片	石・小・少・赤・ 大・少	5YR6/6橙色	横ナデ	横ナデ・横ナ デ後ミガキ	放射状模様・ 外面赤色顔 料染布
1607	365		黒色土器・瓶	B包含層	1/8	石・小・普	5YR6/6橙色	ナデ	横ナデ	放射状模様
1608	365		弥生土器・鉢	B包含層	小片	赤・小・普	7.5YR6/6橙 色	横ナデ・ハ ケ目	横ナデ	内面朱付着
1610	367		弥生土器・鉢	B包含層	小片	赤・中・少	7.5YR6/6橙 色	横ナデ・ハ ケ目・ナデ	横ナデ・指揮サ エ・ヘラ削り	-
1611	367		弥生土器・鉢	B包含層	8/8	石・大・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	指揮サエ	ナデ	蓋の可能性 もある
1612	367		土師器・皿	B包含層	6/8	赤・中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ナデ後板ナ デ	ミガキ	暗文の有無 不明
1613	367		土師器・土釜	B包含層	1/8	雲・小・少・石・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	指揮サエ後 ハケ目	横ナデ・ハケ 目	外面に媒付 着
1614	367	51	土師器・土馬	B包含層	-	石・大・多・赤・ 中・普	2.5Y7/3浅 黄色	小明	指揮サエ	-
1615	367		須恵器・壺	B包含層	5/8	他・小・少	N5灰色	回転ナデ	-	-

第79表 土器観察表

遺物 番号	神田	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1616	367		須恵器・杯	B包含層	8/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ	外底にヘラ記号
1617	367		須恵器・壺	B包含層	1/8	石・大・少	7.5YR6/3に ぶい褐色	回転ナデ	叩き後回転ナデ、ヘラ削り、 ヘラ切り	-
1618	367		須恵器・壺	B包含層	8/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
1619	367		須恵器・壺	B包含層	8/8	石・小・少	10Y7/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ切り	-
1620	367		須恵器・鉢	B包含層	1/8	石・小・少	7.5Y7/1灰白色	回転ナデ	平行叩き、板ナデ	-
1621	367		須恵器・甕	B包含層	2/8	精良	N3暗灰色	当て具	平行叩き目	傾き、性不確定
1630	370		弥生土器・壺	C-D包含層	2/8	窓・中・普、角・ 中・普、石・大・ 普	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ、ヘラ削り	横ナデ、叩き後ハケ目、ハケ目	-
1631	370		弥生土器・壺	C-D包含層	7/8	窓・中・多、角・ 中・普、石・大・ 多、赤・大・普	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ、指 押サエ後機 ナデ、指押 サエ、ナデ、 指押サエ後 ヘラ削り	横ナデ、板ナデ、 叩き後ミガキ、ミガキ 後機ナデ、ミ ガキ	外面下部 付着
1632	370		弥生土器・壺	C-D包含層	1/8	石・中・普	5Y7/2灰白色	横ナデ、不明	横ナデ、ハケ目、不明	-
1633	370		弥生土器・壺	C-D包含層	4/8	石・小・少、赤・ 小・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	ハケ目、板ナデ、ヘラ 削り、指押サエ	横ナデ、叩き 後ハケ目	剥に早い段 内面にも僅 少見
1634	370		弥生土器・壺	C-D包含層	6/8	石・大・多、赤・ 中・普	2.5Y6/3に ぶい黄色	指押サエ後 ナデ、板ナデ	ハケ目、不明	-
1635	370		弥生土器・壺	C-D包含層	2/8	石・大・多、赤・ 大・少	7.5Y7/4に ぶい橙色	横ナデ、不明	横ナデ、叩き 後ナデ、叩き	-
1636	370		弥生土器・壺	C-D包含層	-	石・小・少、赤・ 小・少	2.5Y6/2灰 黄色	横ナデ、指 押サエ	ハケ目	内面粘土層 接着板が残 着に残る
1638	371		弥生土器・甕	C-D包含層	2/8	石・小・普	2.5Y6/2灰 黄色	横ナデ、指 押サエ後ナデ、ナデ	横ナデ、ハケ 目後ナデ、ハ ケ目	-
1639	371		弥生土器・甕	C-D包含層	2/8	窓・中・多、角・ 中・多、石・大・ 多、赤・小・少	10YR5/3に ぶい黄褐色	不明、ナデ、 ヘラ削り	不明、叩き後 ハケ目、不明、 ナデ	-
1640	371		弥生土器・甕	C-D包含層	7/8	窓・中・普、角・ 中・多、石・中・ 少	10YR5/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ヘ ラ削り	横ナデ、ハケ 目	-
1642	371		弥生土器・壺	C-D包含層	2/8	角・中・多、石・ 中・普	2.5Y6/3に ぶい黄色	不明、指 押サエ、ナデ、 絞り目、ヘ ラ削り	不明	頭部沈緑は 1本の沈緑 が螺旋状に 連続して3 本にみえる
1643	371		弥生土器・壺	C-D包含層	1/8	石・小・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	不明	不明	-

第80表 土器観察表②

遺物 番号	桙図	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1644	371		弥生土器・壺	C-D包含層	4/8	雲・中・少・角・中・多・石・大・晉・赤・中・晉	-	横ナデ、ハケ目後指押サエ後横ナデ、ハケ目後指押サエ、指押サエ後ヘラ削り	横ナデ、ミガキ、ハケ日、不明、ハケ日	-
1645	371		弥生土器・壺	C-D包含層	-	角・中・多・石・中・少・赤・中・少	2.5Y6/2灰 黄色	指押サエ、指押サエ後ヘラ削り、 ヘラ削り	ハケ目後横ナデ、ハケ日、 ハケ目後ミガキ、ミガキ	外面のミガキは上下で 折り返しながら行う
1654	373		弥生土器・壺	C-D包含層	4/8	石・中・多・赤・中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ハケ目、ナデ、ヘラ削 リ、指押サエ	横ナデ、叩き 後ハケ日、ハ ケ目	-
1655	373		弥生土器・鉢	C-D包含層	小片	石・小・少・赤・小・少	2.5Y6/2灰 黄色	横ナデ	横ナデ	径不確定
1656	373		弥生土器・鉢	C-D包含層	2/8	雲・小・晉・角・小・少・石・中・晉	7.5YR7/4に ぶい黄褐色	不明	横ナデ、ヘラ削 リ	-
1657	373		弥生土器・鉢	C-D包含層	8/8	石・中・晉・赤・人・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	ナデ	ナデ	-
1658	373		須恵器・蓋	C-D包含層	2/8	石・中・少	N6灰色	回転ヘラ削り、 回転ナデ	回転ヘラ削り、 回転ナデ	-
1659	373		須恵器・杯	C-D包含層	3/8	石・小・少	5Y8/1灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ タ切り	-
1660	373		須恵器・杯	C-D包含層	1/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ タ切り	-
1661	373		須恵器・高台付 杯	C-D包含層	2/8	精良	N6灰色	回転ナデ、 回転ナデ後 ナデ	回転ナデ	-
1662	373		須恵器・杯	C-D包含層	1/8	飽・中・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ、板 ナデ	外底粗い板 ナデ、沈線 1条
1663	373		土師器・溝付皿	C-D包含層	1/8	石・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	ナデ、横ナ デ	横ナデ	晴文有無不 明
1664	373		土師器・高杯	C-D包含層	1/8	石・小・少	5Y7/6黄色	不明、ナデ	横ナデ、ナデ、 横ナデ	脚部取 (13面)
1666	373		須恵器・杯	C-D包含層	1/8	飽・中・少	N6灰色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ タ切り後ナデ	-
1667	373		土師器・壺	C-D包含層	4/8	石・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ	横ナデ	-
1668	373		青磁・碗	C-D包含層	小片	精良	2.5Y6/1オ リーブ灰色	回転ナデ	回転ナデ	外面に蓮 背?
1669	373		縫物陶器・碗	C-D包含層	-	石・小・少	5Y8/2灰白 色	回転ナデ	回転ナデ	袖: 7.5Y6/ 3オリーブ 黄色
1670	373		土断器・壺	C-D包含層	1/8	石・小・少・赤・ 小・少	10YR7/2に ぶい黄褐色	不明	横ナデ	-
1671	373		青磁・碗	C-D包含層	2/8	精良	10Y5/2オ リーブ灰色	回転ナデ	回転ナデ	ハマ接着痕
1672	373		土師器・羽釜	C-D包含層	3/8	石・人・多	2.5Y6/2灰 黄色	横ナデ	横ナデ、ハケ 日	外面焼付着 目
1673	373		土断器・土馬	C-D包含層	-	石・中・晉・赤・ 小・晉	2.5Y7/4浅 黄色	-	指押サエ、ナ デ	足。外上部 に剥離痕
1674	374		弥生土器・高杯	E包含層	7/8	石・中・多・赤・ 中・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	ハケ日	横ナデ、叩き 目後ヘタ削り、 ハケ日、横ナ デ	穿孔3~4 ヶ所

第81表 土器観察表⑥

遺物番号	種別	固版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
1675	374		弥生土器・甕	E包含層	6/8	石・中・普、赤・大・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	ハケ日後横 ナデ、指揮 サエ後ハケ 日、ハケ目 後板ナデ	横ナデ、叫き 後ハケ目	-
1676	374		弥生土器・甕	E包含層	1/8	石・中・普	2.5Y7/2灰 黄色	ハケ目、横 ナデ、ハケ 日、板ナデ、 ハケ目	不明、ハケ目、 ハケ日後横ナ デ、明き後ハ ケ目	-
1677	374		弥生土器・甕	E包含層	8/8	石・大・多、赤・ 大・普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、指 揮サエ後横 ナデ、ハケ 目、ヘラ削 り	横ナデ、ハケ 日後横ナデ、 明き後ハケ目、 不明	-
1678	374		弥生土器・甕	E包含層	2/8	石・大・普、赤・ 大・少	2.5Y7/3浅 黄色	板ナデ、横 ナデ、板ナ デ	ハケ目後横ナ デ、明き目後 ハケ目	-
1679	374		弥生土器・甕	E包含層	4/8	石・中・普、石・ 中・多	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ、板ナ デ	横ナデ、印き 目	-
1680	374		弥生土器・甕	E包含層	8/8	石・大・多	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、ヘラ 削り後横ナデ、 ハケ目	横ナデ、ヘラ 削り後横ナデ、 ハケ目	-
1681	374		弥生土器・鉢	E包含層	2/8	石・中・普、赤・ 小・少	10YR6/3に ぶい黄橙色	ハケ目	明き、指揮サ エ、ヘラ削り	-
1682	374		弥生土器・甕	E包含層	2/8	石・中・普、赤・ 大・少	7.5YR3/3灰 褐色	ハケ目	ハケ目	内面朱付着
1683	374		弥生土器・鉢	E包含層	8/8	石・大・普、赤・ 大・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	ナデ	ナデ、明き、 ナデ	-
1684	374		弥生土器・鉢	E包含層	3/8	石・大・少	2.5Y6/2灰 黄色	横ナデ、板ナ デ	横ナデ、ハケ 目	-
1685	374		弥生土器・鉢	E包含層	8/8	石・中・普	10YR5/2灰 黃褐色	ハケ目、ナ デ	ハケ目、横ナ デ、ハケ目	-
1686	374		弥生土器・脚付 鉢	E包含層	6/8	石・小・普、赤・ 中・少	7.5YR7/4に ぶい橙色	ナデ	不明、ハケ目、 穿孔4ヶ所 横ナデ	-
1688	375		弥生土器・甕	E包含層	6/8	石・大・普、赤・ 中・少	10YR4/3に ぶい黄褐色	横ナデ、指 揮サエ後板 ナデ	横ナデ、指 揮サエ後板 ナデ	-
1689	375		弥生土器・甕	E包含層	2/8	石・小・少、石・ 小・普、赤・中・ 少	5YR4/3に ぶい赤褐色	指揮サエ後 横ナデ後ハ ケ目、ハケ 目	指揮サエ後 横ナデ、ハケ 目	-
1690	375		弥生土器・甕	E包含層	8/8	石・小・多、赤・ 小・少	10YR7/3に ぶい黄橙色	指揮サエ後 板ナデ	ハケ目、ミカ 刻み目2段 キ	-
1691	375		土師質・土釜	E包含層	1/8	陶・小・普	10YR5/2灰 黃褐色	ナデ	ナデ、指揮サ エ	-
1692	375		土師器・甕	E包含層	小片	石・中・少、赤・ 小・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	ナデ	ナデ、ハケ目	-
1693	375		土師器・小皿	E包含層	2/8	陶・小・普	7.5YR8/3浅 黄橙色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 切り後ナデ	-
1694	375		弥生土器・甕	E包含層	小片	石・中・少	7.5YR7/2橙 色	不明	ナデ	-
1695	375		弥生土器・甕	E包含層	4/8	石・小・多	7.5YR4/2灰 褐色	ナデ	ナデ	-
1696	375		弥生土器・甕	E包含層	8/8	石・大・普	10YR7/3に ぶい黄橙色	不明	指揮サエ、ナ デ	器壁が厚く 重い

第82表 土器観察表(4)

遺物番号	持國	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1697	375		弥生土器・甕	E包含層	4/8	石・大・少	2.5Y7/3浅黄色	不明	不明	-
1698	375		弥生土器・鉢	E包含層	8/8	石・大・多。赤・小・少	2.5Y6/3にぶい黃色	ナデ	板ナデ。ナデ	蓋の可能性もある
1699	375		弥生土器・壺	E包含層	小片	石・大・普	10Y6/6赤褐色	指揮サエ。ナデ	ナデ	外面沈線と波状文
1700	375		弥生土器・高杯	E包含層	1/8	石・小・少。赤・大・少	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ。ナデ	横ナデ。ヘラ削り	-
1701	375		弥生土器・脚付鉢	E包含層	-	角・中・多。石・中・普。赤・中・少	7.5Y6/4にぶい橙色	横ナデ	横ナデ。ナデ	-
1702	375		弥生土器・鉢	E包含層	小片	雲・小・少。角・中・多。石・中・少	7.5Y6/4褐色	ハケ目	ナデ	内面朱付蓋
1703	375		須恵器・甕	E包含層	3/8	石・中・少	10Y7/1灰白色	圓転ナデ。ナデ	円転ナデ。ナデ	-
1704	375		土師器・杯	E包含層	3/8	石・中・普。赤・中・普	7.5Y8/6橙色	ミガキ。ヘラ削り後ミガキ	ナデ	他と向きが反対の放射状跡文
1705	375		土師器・椀	E包含層	1/8	他・小・少	2.5Y8/2灰白色	圓転ナデ	圓転ナデ	-
1706	375		土師器・甕	E包含層	-	石・大・多。赤・大・少	7.5Y8/6橙色	ナデ	ナデ。ヘラ削り	違う器種の可能性もある
1713	378		弥生土器・甕	F包含層	2/8	石・中・普	7.5Y8/6にぶい橙色	横ナデ。ハケ目後ミガキ	横ナデ。ハケ目	-
1714	378		弥生土器・甕	F包含層	1/8	石・小・多。赤・大・少	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ。指揮サエ	横ナデ。板ナデ	刻み目の間隔不明
1715	378		弥生土器・甕	F包含層	2/8	石・中・少。他・小・少	5Y8/6橙色	板ナデ。ミガキ	横ナデ。板ナデ	-
1716	378		弥生土器・甕	F包含層	1/8	石・大・普	2.5Y7/2灰黄色	板ナデ。指揮サエ後ミガキ	横ナデ。ハケ目	口縁に刻み目
1717	378		弥生土器・甕	F包含層	4/8	石・大・多	10Y7/3にぶい黄橙色	横ナデ。指揮サエ後ミガキ	横ナデ。ナデ	-
1718	378		弥生土器・高杯	F包含層	8/8	石・小・普。赤・小・普	10Y8/3にぶい黄褐色	指揮サエ後ミガキ	ミガキ	-
1719	378		弥生土器・壺	F包含層	2/8	赤・小・少。他・小・少	10Y8/3にぶい黄褐色	ナデ	ナデ。ハケ目	-
1720	378		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・中・普。他・小・少	2.5Y7/2灰黄色	横ナデ。ナデ	横ナデ。ハケ目	隙孔2個1組
1721	378		弥生土器・高杯	F包含層	1/8	石・中・普。赤・大・少	5Y8/4にぶい赤褐色	横ナデ。ミガキ	横ナデ。ミガキ	-
1722	378		弥生土器・鉢	F包含層	3/8	石・中・少。赤・中・少	10Y8/4にぶい黄橙色	横ナデ。ハケ目後ミガキ	横ナデ。ハケ目	外向口縁直下強い横ナデ
1723	378		弥生土器・鉢	F包含層	1/8	石・中・少	7.5Y5/1灰白色	ナデ	ハケ目。ナデ	蓋のつまみの可能性もある
1724	378		弥生土器・鉢	F包含層	2/8	石・大・普	2.5Y6/6明黄褐色	ナデ	ナデ	ハケフ状の大きな形になる
1732	379		弥生土器・甕	F包含層	2/8	赤・小・少。他・小・多	5Y6/1灰色	板ナデ。ナデ。指揮サエ後板ナデ	横ナデ。ハケ目	口縫刻み目

第63表 土器観察表

遺物番号	排図	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外側調整	備考
1733	380		弥生土器・壺	F包含層	2/8	雲・小・茎、角・ 小・多、赤・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ナ デ、指揮サ エ	横ナデ、ハケ 目	-
1734	380		弥生土器・壺	F包含層	3/8	雲・小・茎、石・ 大・多	2.5Y6/3に ぶい黄色	ハケ目、ヘ ラ削り	横ナデ、ハケ 目後横ナデ、 叩き後ハケ目	-
1735	380		弥生土器・壺	F包含層	2/8	他・小・多	7.5YR4/4褐色	指揮サエ後 ミガキ	横ナデ、ハケ 目	-
1736	380		弥生土器・鉢	F包含層	5/8	石・中・普	2.5Y7/2灰 黄色	横ナデ、ミ ガキ	横ナデ、叩き、 ナデ	-
1737	380		弥生土器・壺	F包含層	1/8	石・中・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、指 揮サエ、ヘ ラ削り	横ナデ、板ナ デ、叩き	-
1738	380		弥生土器・鉢	F包含層	3/8	石・小・普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、ハ ラ削り	横ナデ、指 揮サエ後ナデ、 ナデ	-
1739	380		弥生土器・鉢	F包含層	3/8	石・小・普、赤・ 中・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ナデ、 ヘラ削り	-
1740	380		弥生土器・壺	F包含層	5/8	石・小・普、赤・ 小・普	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、板ナ デ	-
1741	380		弥生土器・壺	F包含層	1/8	石・小・少、他・ 小・普	10YR8/2灰 白色	横ナデ、指 揮サエ後ミ ガキ	横ナデ、ハケ 目	-
1742	380		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・大・少、赤・ 中・多、他・大・ 少	10YR7/3に ぶい黄褐色	ナデ、指 揮サエ、板ナ デ、ナデ、 指揮サエ	指揮サエ、ナ デ	-
1743	380		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・大・多、赤・ 中・普、他・小・ 普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、指 揮サエ後ハ ラ削り、ナデ、 指揮サエ	横ナデ、指 揮サエ後ハ ラ削り、指 揮サエ	-
1744	380		弥生土器・壺	F包含層	4/8	石・中・多、赤・ 大・多、他・小・ 多	2.5Y7/3浅 黄色	ナデ後ハケ 目、板ナデ、 ナデ、指 揮サエ	ナデ後ハケ 目、指揮サエ 後ハケ目、指 揮サエ	-
1745	380		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・中・多、赤・ 大・普、他・大・ 少	10YR5/3に ぶい黄褐色	指揮サエ後 ナデ	板ナデ	-
1746	380		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・大・少、赤・ 小・少、他・中・ 普	10YR4/3に ぶい黄褐色	横ナデ、指 揮サエ後ナ デ、ヘラ削 り	横ナデ、ハケ 目	-
1747	381		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・中・少、赤・ 中・少	2.5Y7/2灰白 色	ハケ目、指 揮サエ後ヘ ラ削り	横ナデ、ハ ケ目	器高は不確 実
1748	381		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・大・少、他・ 小・少	5Y7/2灰白 色	横ナデ、ハ ラ削り、ナデ	横ナデ、ハ ケ目	-
1749	381		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・大・少、赤・ 小・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ヘ ラ削り	横ナデ、印 き、ハケ目	-
1750	381		弥生土器・壺	F包含層	1/8	雲・小・茎、角・ 小・普、石・中・ 多、赤・小・少、 他・大・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ、ヘ ラ削り	横ナデ、ハ ケ目	-

第84表 土器観察表

遺物 番号	持60	固版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内部調整	外面調整	備考
1751	381		弥生土器・甕	F包含層	3/8	石・大・多。赤・大・少	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ、横ナデ後ハケ目、指揮サエ、ナデ後ハケ目後ヘラ削り	横ナデ、叩き後ハケ目	-
1752	381		弥生土器・甕	F包含層	2/8	石・小・少。赤・小・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	板ナデ、指揮サエ、ヘラ削り	ナデ、ハケ目	-
1753	381		弥生土器・甕	F包含層	4/8	石・小・少。赤・中・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	板ナデ、ヘラ削り	横ナデ、叩き、 ハケ目	-
1754	381		弥生土器・甕	F包含層	3/8	石・大・多。赤・大・多	7.5YR6/6橙色	横ナデ、ナデ、指揮サエ後ヘラ削り	横ナデ、ハケ目	-
1755	381		弥生土器・甕	F包含層	3/8	石・大・多。赤・大・多	2.5Y7/2灰 黄色	不明、ハケ目後指揮サエ、ナデ、 ハケ目後ヘラ削り	横ナデ後ハケ 目。叩き	-
1756	381		弥生土器・甕	F包含層	1/8	赤・小・普	2.5Y6/2灰 黄色	指揮サエ、 ヘラ削り	ナデ、指揮サエ、 ハケ目	胸内面下半 は弱いヘラ削り
1757	381		弥生土器・甕	F包含層	3/8	石・中・普。他・人・普	2.5Y7/2灰 黄色	ハケ目、横 ナデ、指揮サエ、ヘラ削り	横ナデ、ハケ 目	-
1758	381		弥生土器・甕	F包含層	3/8	石・中・普。赤・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、指 揮サエ、ヘ ラ削り	横ナデ、叩き	-
1759	381		弥生土器・甕	F包含層	1/8	石・中・普。赤・中・少	2.5Y7/3浅 黄色	ハケ目、指 揮サエ、ハ ケ目後ヘラ削 り	ナデ、ナデ後 ハケ目	-
1760	381		弥生土器・甕	F包含層	7/8	石・大・多。赤・大・普	7.5YR7/6橙 色	横ナデ、指 揮サエ後横 ナデ、指揮サエ後ヘラ削 り	横ナデ、ハケ 目	-
1761	381		弥生土器・甕	F包含層	2/8	石・中・少。赤・中・少	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、指 揮サエ、ヘ ラ削り	横ナデ、ハケ 目	-
1762	381		弥生土器・甕	F包含層	4/8	雲・小・多。角・小・普。石・小・普	10YR6/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ヘ ラ削り	横ナデ。叩き	-
1763	382		弥生土器・甕	F包含層	1/8	石・中・少。赤・大・少。佳・中・普	2.5Y7/3浅 黄色	指揮サエ、 板ナデ、ヘ ラ削り、板 ナデ、指揮 サエ	指揮サエ後ハ ケ目	ヘラ削りは 弱く部分的
1764	382		弥生土器・甕	F包含層	1/8	石・中・多。赤・大・少。佳・中・多	2.5Y7/3浅 黄色	指揮サエ、 ナデ、指揮 サエ	叩き、指揮サ エ、叩き後ハ ケ目	-
1765	382		弥生土器・甕	F包含層	8/8	石・大・普	2.5Y6/2灰 黄色	ヘラ削り	叩き、ハケ目、 板ナデ。ナデ	-
1766	382		弥生土器・甕	F包含層	8/8	石・大・多	10YR6/3に ぶい黄橙色	ヘラ削り、指 揮サエ	板ナデ	-
1767	382		弥生土器・甕	F包含層	4/8	石・小・普。赤・中・普	7.5YR7/4に ぶい橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ	-

第85表 土器観察表(7)

遺物 番号	擇回	固版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1768	382		弥生土器・壺	F包含層	2/8	角・中・多。石・小・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ。ナ デ。指押サ エ	横ナデ。不明	-
1769	382		弥生土器・壺	F包含層	1/8	角・小・多。石・小・普。他・小・少	10YR5/3に ぶい黄褐色	横ナデ。ナ デ。ヘラ削 り	横ナデ。ミガ キ。ハケ目	-
1770	382		弥生土器・壺	F包含層	1/8	雲・小・普。角・中・普。石・小・少。赤・小・少。他・大・少	10YR5/3に ぶい黄褐色	ナデ	ナデ	三角区画文 を連續させ る
1771	382		弥生土器・壺	F包含層	8/8	雲・中・多。角・小・普。石・大・多	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ。ハ ケ目後ミガ キ。ナデ	横ナデ。ハケ 目後ミガキ	-
1772	382		弥生土器・壺	F包含層	5/8	石・中・普	6Y7/2灰白色	横ナデ。指 押サエ	横ナデ。ハケ 目	-
1773	382		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・小・普。赤・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ。ナ デ	横ナデ。ナデ	器壁薄い、 小型の壺か
1774	382		弥生土器・壺	F包含層	-	雲・中・多。石・中・普	2.5Y6/3に ぶい黄色	板ナデ	ミガキ	胴中位に幅 広の擴のミ ガキ
1775	382		弥生土器・高杯	F包含層	1/8	石・大・普	7.5YR5/4に ぶい褐色	横ナデ。不 明	横ナデ。ハケ 目。ナデ	-
1776	382		弥生土器・高杯	F包含層	8/8	雲・小・少。角・小・多。石・小・普	10YR6/3に ぶい黄褐色	ヘラ削り	ナデ。横ナデ	穿孔5ヶ所
1777	383		弥生土器・鉢	F包含層	3/8	石・大・普。赤・大・少	7.5YR7/4に ぶい橙色	横ナデ。板 ナデ。不明	叩き。指押サ エ	-
1778	383		弥生土器・鉢	F包含層	6/8	石・大・多。赤・大・多	7.5YR5/4に ぶい褐色	不明	横ナデ。ナデ。 回転ヘラ切り	外底に斜十 字線を走る ような成形 の痕跡が残 る
1779	383		弥生土器・鉢	F包含層	6/8	石・大・多	6Y7/3浅黃 色	ナデ後ハケ 目	ハケ目後ヘラ 削り。ナデ	-
1780	383		弥生土器・鉢	F包含層	2/8	石・中・少。赤・小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ。ナ デ	ハケ目。指押 サエ	-
1782	384		弥生土器・壺	F包含層	1/8	石・中・普。赤・中・少	2.5Y7/2灰 黄色	横ナデ。ナ デ	横ナデ。ナデ	-
1783	384		弥生土器・壺	F包含層	1/8	石・大・少。赤・中・普	5YR5/6明赤 褐色	横ナデ。指 押サエ。ヘ ラ削り	横ナデ。ハケ 目。	外向爆付層
1784	384		弥生土器・壺	F包含層	4/8	石・大・普。赤・大・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ。ハ ケ目	横ナデ。ハケ 目	3種のハケ 目を使い分 ける
1785	384		弥生土器・壺	F包含層	5/8	雲・中・多。角・中・普。石・中・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ。ヘ ラ削り	横ナデ。ハケ 目	-
1786	384		弥生土器・壺	F包含層	3/8	石・大・多。赤・大・少	10YR8/3浅 黄褐色	不明。ハケ 目。指押サ エ。ヘラ削 り後ナデ	不明。ハケ目。 叩き後ハケ目	-
1787	384		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・小・普。赤・小・少	10YR6/4に ぶい黄褐色	横ナデ。指 押サエ後ハ ケ目	横ナデ。ハケ 目	-

第86表 土器観察表

遺物番号	博認	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1788	384		弥生土器・壺	F包含層	7/8	石・中・少	5Y7/2灰白色	ハケ目、指押サエ工後ヘラ削り	指押サエ、叩き後ハケ目	-
1789	384		弥生土器・壺	F包含層	4/8	石・大・普、赤・大・少	10YR5/2灰黃褐色	横ナデ、ハケ目、ヘラ削り	横ナデ、叩き後指押サエ、叩き、叩き後ハケ目、ハケ目	-
1790	384		弥生土器・壺	F包含層	3/8	石・大・普、赤・中・少	10YR5/3に ぶい黄橙色	横ナデ、ヘラ削り	横ナデ、板ナデ	-
1791	384		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・中・普、他・小・普	2.5Y7/2灰黄色	横ナデ、ナデ、ヘラ削り、指押サエ	横ナデ、ナデ、叩き、叩き後ハケ目、ナデ	-
1792	384		弥生土器・壺	F包含層	4/8	石・小・普、他・中・少	7.5Y7/4に ぶい褐色	指押サエ	ナデ	-
1793	384		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・中・普、赤・中・少	7.5Y6/4に ぶい橙色	指押サエ	指押サエ	-
1794	384		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・中・多、赤・中・多	2.5Y6/3に ぶい褐色	横ナデ、ヘラ削り	横ナデ、板ナデ、ナデ	-
1795	384		弥生土器・壺	F包含層	4/8	石・中・多、石・小・多、赤・小・普	7.5Y5/6明 褐色	横ナデ、指押サエ、ヘラ削り	横ナデ、ハケ目	-
1796	385		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・中・普、赤・中・普	2.5Y7/2灰 黄色	ナデ	ナデ、ミガキ	沈録2本1組による新 格子文
1797	385		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・大・少、赤・中・少	2.5Y6/2灰 黄色	横ナデ、指 押サエ後横 ナデ、指押 サエ後板ナ デ	横ナデ、ハケ 目後横ナデ、 横ナデ、ハケ 目	-
1798	385		弥生土器・壺	F包含層	5/8	石・中・少、石・中・普	2.5Y6/3に ぶい黄色	ハケ目後横 ナデ、ハケ 目、ナデ、指 押サエ、指 押サエ後ハ ケ目	横ナデ、ハケ 目後横ナデ、 指押サエ後ハ ケ目後横ナデ、 ハケ目	-
1799	385		弥生土器・壺	F包含層	7/8	石・大・普	2.5Y7/3浅 黄色	横ナデ、指 押サエ後ナ デ	横ナデ	-
1800	385		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・中・少、赤・中・少	2.5Y7/3浅 黄色	板ナデ、ハ ケ目	横ナデ、ハケ 目	-
1801	385		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・大・多、赤・大・普	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ、ハ ケ目	横ナデ、ハケ 目	-
1802	385		弥生土器・壺	F包含層	5/8	石・大・多、赤・中・少	10YR7/4に ぶい黄橙色	横ナデ、不明	横ナデ、ハケ 目	-
1803	385		弥生土器・壺	F包含層	4/8	石・小・普	10YR6/3に ぶい黄橙色	横ナデ、不 明	横ナデ、ハケ 目	-
1804	385		弥生土器・壺	F包含層	3/8	石・大・普、角・中・多、石・中・多、赤・小・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ナデ	-
1805	385		弥生土器・壺	F包含層	4/8	石・小・普、角・大・普、石・中・多、赤・大・少	10YR6/3に ぶい黄橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ナデ、 ハケ目	三角区画文
1806	385		弥生土器・壺	F包含層	6/8	石・小・普、石・大・普	10YR6/4に ぶい黄橙色	横ナデ、不 明	横ナデ、不明	-
1807	385		弥生土器・壺	F包含層	1/8	石・大・普、赤・中・少	10YR6/4に ぶい黄橙色	横ナデ	ナデ	口縁に側面 文

第87表 土器観察表

遺物 番号	拂図	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1808	385		弥生土器・壺	F包含層	3/8	石・中・普	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ	横ナデ	-
1809	385		弥生土器・壺	F包含層	6/8	石・大・普、赤・ 大・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ナ デ	横ナデ、ハケ 目後横ナデ、 ハケ目	-
1810	386		弥生土器・壺	F包含層	-	雲・小・普、角・ 中・普、石・中・ 普	2.5Y6/3に ぶい黄色	指押サエ後 ナデ	ハケ目	-
1811	386		弥生土器・壺	F包含層	-	雲・中・普、角・ 大・多、石・中・ 普、赤・大・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	指押サエ後 ナデ	ハケ目	-
1812	386		弥生土器・壺	F包含層	-	石・中・多、赤・ 中・少	2.5Y8/2灰 白色	ナデ、指押 サエ、ナデ	不明	内面朱付着、 天地不確定
1813	386		弥生土器・壺	F包含層	-	石・大・少	10YR5/3に ぶい黄褐色	板ナデ	ミガキ	-
1814	386		弥生土器・壺	F包含層	-	角・中・多、石・ 中・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	指押サエ後 ナデ、ナデ	ナデ	壺の頸部
1815	386		弥生土器・壺	F包含層	-	雲・小・少、角・ 中・多、他・小・ 多	7.5YR6/4に ぶい橙色	指押サエ後 板ナデ	横ナデ、不明、 ミガキ、不明	-
1816	386		弥生土器・壺	F包含層	-	角・中・多、石・ 大・普、赤・大・ 普	10YR6/3に ぶい黄褐色	ナデ、ヘラ 削り、指押 サエ	ミガキ	-
1817	386		弥生土器・高杯	F包含層	6/8	石・大・普、赤・ 大・普	7.5YR6/6褐色	不明	ミガキ	-
1818	386		弥生土器・高杯	F包含層	小片	石・小・普	7.5YR8/4浅 黄色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 削り	内面朱付着
1819	386		弥生土器・高杯	F包含層	3/8	雲・中・普、角・ 中・多、石・中・ 少	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ、ミ ガキ	横ナデ、ナデ	-
1820	386		弥生土器・高杯	F包含層	3/8	雲・中・普、角・ 小・多、石・小・ 普	7.5YR6/6棕 色	ナデ、ヘラ 削り	不明、横ナデ	穿孔2段、 上下共3ヶ所
1821	386		弥生土器・高杯	F包含層	-	石・大・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	ナデ	指押サエ後ナ デ	穿孔4ヶ所
1822	387		弥生土器・鉢	F包含層	6/8	石・大・普	7.5YR7/4に ぶい橙色	不明	不明	-
1823	387		弥生土器・鉢	F包含層	5/8	石・大・少、赤・ 中・普	10YR8/4浅 黄色	板ナデ	ナデ、ヘラ削 り後ナデ、指 押サエ、ナデ	-
1824	387		弥生土器・鉢	F包含層	2/8	石・大・少、赤・ 大・少	7.5YR6/4に ぶい橙色	横ナデ、ハ ケ目、ナデ	横ナデ、ハケ 目、叩き、ナ デ	-
1825	387		弥生土器・鉢	F包含層	1/8	石・中・少、赤・ 中・少	10YR4/2灰 褐色	横ナデ後ミ ガキ	横ナデ、ハケ 目	内面朱付着
1826	387		弥生土器・鉢	F包含層	4/8	石・大・少、赤・ 大・少	7.5YR7/4に ぶい橙色	ナデ、ハケ 目	ナデ、ナデ後 ハケ目、ナデ	-
1827	387		弥生土器・鉢	F包含層	1/8	石・中・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	ナデ	指押サエ後ナ デ	内面朱付着
1828	387		弥生土器・鉢	F包含層	7/8	石・大・多	5Y6/2灰オ リーブ色	ハケ目	叩き、ナデ	-
1829	387		弥生土器・鉢	F包含層	4/8	石・中・普、赤・ 中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ナデ、ハケ 目	ナデ	底部外面に ヘラ痕
1830	387		弥生土器・鉢	F包含層	4/8	空・中・多、石・ 大・普	10YR5/4に ぶい黄褐色	ナデ後ハケ 目	指押サエ後板 ナデ、ナデ	外底に擦痕
1831	387		弥生土器・鉢	F包含層	8/8	石・小・普、赤・ 大・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	不明、ハケ 目、指押サ エ	小明	-

第88表 土器観察表(70)

遺物 番号	押印	固版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備考
1832	387		弥生土器・脚付鉢	F包含層	一	石・大・普。赤・中・普	2.5Y7/2灰黄色	不明	不明	-
1833	387		弥生土器・鉢	F包含層	8/8	石・大・普。赤・中・少	5Y7/2灰白色	指揮サエ後ナデ	指揮サエ後ナデ	-
1834	387		弥生土器・鉢	F包含層	1/8	石・中・少	2.5Y7/3浅黄色	ナデ	ナデ	-
1835	387		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・大・少	2.5Y7/3浅黄色	指揮サエ後板ナデ	ナデ、ハケ目	-
1836	387		弥生土器・瓶	F包含層	8/8	石・大・多	2.5Y3/1黒褐色	ハケ目	叩き	焼成前穿孔
1837	387		弥生土器・壺	F包含層	6/8	石・大・多。赤・大・普	7.5Y6/4に ぶい橙色	ナデ	ナデ	穿孔は対向する位置に 2ヶ所
1838	387		弥生土器・彷彿車	F包含層	8/8	石・大・多	7.5Y7/4に ぶい橙色	指揮サエ後ナデ	指揮サエ後ナデ	-
1847	389		弥生土器・壺	F包含層	3/8	石・大・多。赤・大・少	2.5Y7/2灰黄色	横ナデ。不明	横ナデ、ハケ目。ミガキ、 ハケ目	-
1848	389		弥生土器・壺	F包含層	7/8	石・中・普。赤・大・少	2.5Y8/3浅黄色	横ナデ	横ナデ、ハケ目	口縁に2段の半斜竹管 文
1849	389		弥生土器・壺	F包含層	1/8	石・小・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	ナデ、ハケ目、指揮サエ、板ナデ	ナデ、ハケ目	-
1850	389		弥生土器・壺	F包含層	-	石・中・普。角・小・多	7.5Y6/4に ぶい橙色	ナデ	不明	-
1851	389		弥生土器・鉢	F包含層	-	石・小・普	10YR7/3に ぶい黄褐色	指揮サエ後ナデ	不明	-
1852	389		弥生土器・脚付鉢	F包含層	-	石・中・少。角・中・多。石・小・普	10YR6/4に ぶい黄褐色	ナデ	ナデ	-
1853	389		弥生土器・鉢	F包含層	2/8	石・小・普。赤・中・少	10YR7/4に ぶい黄褐色	ナデ。不明	ナデ、指揮サエ後ナデ。ナデ	-
1854	389		弥生土器・鉢	F包含層	4/8	石・小・少	2.5Y7/3浅黄色	板ナデ	ナデ、ハケ目	-
1855	389		須恵器・壺	F包含層	-	石・小・少	5YR5/2灰褐色	圓転ナデ	頂と側に沈 線各1	
1857	389		弥生土器・壺	F包含層	3/8	石・小・多。角・小・普。石・中・少。堆・小・普	2.5Y7/3浅黄色	横ナデ。指 揮サエ。ヘ ラ削り	横ナデ。叩き 後ハケ目	-
1858	389		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・中・多。赤・大・少	10YR7/3に ぶい黄褐色	ハケ目後機 ナデ、ナデ、 ヘラ削り	横ナデ。叩き 後ハケ目。ナデ、 ナデ、ハケ目	-
1859	389		弥生土器・壺	F包含層	4/8	石・中・少。赤・小・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	ハケ目。板ナデ	ナデ、ハケ目。 ナデ	-
1860	389		弥生土器・壺	F包含層	4/8	石・大・多。赤・中・普	10YR8/4浅 黄褐色	不明。板ナ デ。ヘラ削 り	ナデ、ハケ目	-
1861	389		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・大・少	5Y7/3浅黃 色	ハケ目。ハ ケ目後ヘラ 削り	ハケ目。不調 整	-
1862	389		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・大・普。赤・小・普	2.5Y6/3に ぶい黄色	ハケ目。指 揮サエ後ヘ ラ削り	ハケ目。ハケ 目後ナデ	-
1863	390		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・大・普。赤・大・普	10YR7/3に ぶい黄褐色	横ナデ。ヘ ラ削り	横ナデ。叩き 後ハケ目	-
1864	390		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・中・多	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ。ヘ ラ削り	横ナデ。ハケ 目	-

第89表 土器観察表(1)

遺物番号	擇回	回版	種類・器種	遺構名	残存	胎 土	外面色調	内面調整	外面調整	備 考
1865	390		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・大・多。赤・小・少	2.5Y6/2灰 黄色	横ナデ。ハケ 目。ハケ日後 ナデ。指押サ エ後板ナ デ。ナデ	横ナデ。ハケ 目。ハケ日後 ナデ。ナデ	-
1866	390		弥生土器・壺	F包含層	4/8	石・大・普。赤・中・少	2.5Y7/3浅 黄色	指押サエ後 ナデ	指押サエ後 ナデ。ハケ目。 ナデ	-
1867	390		弥生土器・壺	F包含層	1/8	石・大・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	ナデ。指押 サエ後板ナ デ	ナデ。ハケ目。 板ナデ	-
1868	390		弥生土器・壺	F包含層	1/8	石・大・少。赤・ 小・普	10YR7/3に ぶい黄褐色	ハケ目。指 押サエ	指押サエ。指 押サエ後ハケ 目	-
1869	390		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・中・少。角・ 中・多。石・小・ 少。無・小・普	7.5Y6/4に ぶい橙色	横ナデ。指 押サエ	横ナデ。ハケ 目	-
1870	390		弥生土器・高杯	F包含層	4/8	石・中・普。赤・ 中・少	2.5Y6/3に ぶい黄色	横ナデ。ミ ガキ。不調 整。板ナデ。 ナデ	横ナデ。横ナ デ後ハケ目。 ミガキ。板ナ デ。ハケ目	-
1871	390		弥生土器・壺	F包含層	3/8	石・中・普。赤・ 中・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	横ナデ。指 押サエ	横ナデ。ハケ 目	-
1872	390		弥生土器・鉢	F包含層	3/8	石・小・普。赤・ 中・少	7.5Y6/4に ぶい橙色	横ナデ。ハ ケ目	横ナデ。横ナ デ後指押サエ。 ナデ	-
1873	390		弥生土器・壺	F包含層	8/8	石・小・普	10YR7/4に ぶい黄褐色	横ナデ。指 押サエ	横ナデ。ヘラ 削り後ハケ目。 ハケ目	-
1874	390		弥生土器・鉢	F包含層	5/8	石・大・多。赤・ 小・少	10YR6/3に ぶい黄褐色	指押サエ。板 ナデ	指押サエ。板 ナデ	-
1875	391		須恵器・壺	F包含層	3/8	石・小・少	N5E/1青灰 色	回転ナデ	回転ナデ。回 転ヘラ削り	ロクロ右回 転
1876	391		須恵器・壺	F包含層	4/8	-	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1877	391		須恵器・壺	F包含層	1/8	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1878	391		須恵器・壺	F包含層	2/8	石・小・少	2.5Y8/4淡 黄色	回転ナデ	回転ナデ。回 転ヘラ削り	ロクロ右回 転。やや上 部質
1879	391		須恵器・壺	F包含層	小片	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ	-
1880	391		須恵器・杯	F包含層	4/8	石・小・少	7.5Y7/1灰 白色	回転ナデ	回転ナデ。回 転ヘラ削り。 ヘラ切り	ロクロ左回 転
1881	391		須恵器・杯	F包含層	1/8	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り	-
1882	391		須恵器・杯	F包含層	1/8	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り	-
1883	391		須恵器・高台付 杯	F包含層	2/8	稍良	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り後ナデ	-
1884	391		須恵器・高台付 杯	F包含層	5/8	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ。回 転ヘラ削り	ロクロ右回 転
1885	391		須恵器・皿	F包含層	1/8	石・小・少	N5灰色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り	-
1886	391		須恵器・皿	F包含層	1/8	石・中・普	5Y8/1灰白 色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り	-
1887	391		須恵器・皿	F包含層	-	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ	回転ナデ。ヘ ラ切り	外底に十字 のヘラ記号
1888	391		須恵器・壺	F包含層	2/8	石・小・少	N7灰白色	回転ナデ。	回転ナデ。平 行叩き	-
1889	391		須恵器・壺	F包含層	1/8	石・中・普	N6灰色	回転ナデ。	回転ナデ。平 行叩き後カキ 目	突起状の小 さな取手を もつ

第90表 土器観察表(2)

遺物番号	種類	図版	種類・器種	遺構名	残存	胎土	外面色調	内部調整	外面調整	備考
1890	391		須恵器・壺	F包含層	-	他・小・多	2.5GY4/1暗オリーブ灰褐色	平行叩き、ナデ	当て具、ナデ	内外面調整ナデ削し
1891	392		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・大・多。赤・大・少	5Y7/2灰白色	横ナデ、ナデ	横ナデ、ナデ	-
1892	392		弥生土器・壺	F包含層	2/8	石・中・多。赤・大・少	10YR7/3に ぶい黄橙色	指揮サエ後ナデ、板ナデ	ナデ、指揮サエ後ハケ目	-
1893	392		弥生土器・壺	F包含層	-	雲・小・少。角・小・少。石・小・少	2.5Y7/2灰黄色	ミガキ、指 揮サエ後ナデ	ナデ	三角区画文を 塗刷部に 描く
1894	392		弥生土器・鉢	F包含層	5/8	石・中・多。他・小・多	2.5Y7/3浅 黄色	ハケ目、ナデ	ナデ、板ナデ	-
1895	392		土師器・杯	F包含層	1/8	石・小・少。他・小・少	5YR7/6橙色	ナデ	横ナデ、ミガキ	放射状暗文
1896	392		土師器・皿	F包含層	1/8	石・小・少	5YR5/6橙色	回転ナデ	回転ナデ、ヘラ 切り後ヘラ削り	-
1897	392		土師器・杯	F包含層	4/8	石・小・少。赤・中・少	10YR7/3に ぶい黄橙色	横ナデ	横ナデ	-
1898	392		土師器・杯	F包含層	1/8	他・小・少	2.5Y5/2暗 灰黄色	横ナデ	横ナデ	-
1899	392		土師器・高杯	F包含層	-	赤・中・少	2.5Y6/2灰 黄色	板ナデ、指 揮サエ、ナデ	ヘラ削り	脚部ヘラに よる削取り (9面)
1900	392		土師器・杯	F包含層	3/8	石・中・普	2.5Y7/4浅 黄色	横ナデ	横ナデ、ヘラ 切り後ナデ	-
1901	392		土師器・杯	F包含層	2/8	赤・小・少	2.5Y7/3浅 黄色	回転ナデ	回転ナデ、ヘ ラ切り	底部はヘラ 切りにより 低い高台状 になってい る
1902	392		土師器・土釜	F包含層	1/8	石・小・多	10YR6/3に ぶい黄橙色	板ナデ	横ナデ	-
1903	393		弥生土器・壺	区不明包含層	7/8	石・大・普。赤・中・少	2.5Y6/2灰 黄色	ナデ	横ナデ、ハケ 目、ナデ	下段の文様 は僅かに剥 離状況か?

第91表 土器観察表(3)

遺物 番号	持因	固版	器種・種類	遺構名	現存長	最大幅	最大厚	重量	種類・材質	備考
3	16	52	磨製用途不明	S H21	4.1	3.7	3.5	101.2	流紋岩	平坦面よりなる正六面体であることから、加工品と考える。加工痕筋が入る。
4	16		打製石錐	S H21	2.1	1.5	—	0.9	サヌカイト	—
5	16		打製石錐	S H21	2.1	1.2	0.3	0.8	サヌカイト	—
6	16	52	打製石包丁	S H21	8.1	3.5	0.7	30.0	サヌカイト	—
7	16	52	打製石錐	S H21	9.6	3.8	1.3	61.8	サヌカイト	刃部は潰れている
8	16	52	打製石包丁	S H21	7.7	3.8	1.1	48.5	サヌカイト	—
32	19	53	打製石包丁	S H32	9.7	4.5	1.2	60.9	サヌカイト	—
33	20	52	打製石匙	S H34	3.2	6.0	1.0	12.4	サヌカイト	—
34	20	52	打製石錐	S H34	3.2	1.9	0.5	2.1	サヌカイト	—
38	21	52	打製石錐	S B001A	3.3	1.3	0.4	1.8	サヌカイト	—
43	22	52	打製石錐	S P0614E	4.7	1.7	0.5	2.6	サヌカイト	錐部は縦にさけている。 調整痕が見られないこと から完成後のものか
44	22		砕石	S P0193A	5.0	5.0	3.4	100.4	砂岩	縦刃部の一部が使用され ている
45	22		打製石錐	S P0500A	3.9	3.0	0.6	9.6	サヌカイト	—
46	22	53	打製石包丁	S P0207F	7.8	5.0	0.8	33.3	サヌカイト	—
53	23	53	打製石包丁	S K08	9.7	4.4	1.3	55.0	サヌカイト	刃先が磨滅
58	24	53	打製石包丁	S K14	4.7	8.2	0.9	47.8	サヌカイト	抉りは片面からのみ加工
76	31	53	打製石包丁	S K38	10.6	4.7	1.1	58.3	サヌカイト	—
125	38		打製石錐	S D059/ 100	4.1	2.1	0.7	5.6	サヌカイト	白斑が多い。産地が異なるのか
126	38		打製スクレイ バー	S D059/ 100	6.1	6.6	2.0	65.3	サヌカイト	—
127	38	53	打製石包丁	S D059/ 100	8.0	4.8	1.2	36.2	サヌカイト	抉りを入れるための明瞭な調整は無いが形態から石包丁と判明した
128	38	53	打製石包丁	S D059/ 100	7.0	3.6	1.0	34.4	サヌカイト	—
129	38	53	打製石包丁	S D059/ 100	13.1	4.0	1.1	78.6	サヌカイト	—
130	38	54	打製楔形石器	S D059/ 100	4.0	3.7	1.8	30.1	サヌカイト	刃部に相当する部分は無い
131	38		打製スクレイ バー	S D059/ 100	6.0	2.9	0.4	8.7	サヌカイト	片面調整
132	38	54	打製スクレイ バー	S D059/ 100	7.0	3.9	1.3	40.8	サヌカイト	—
133	39	54	磨製大型蛤刃 石斧	S D059/ 100	11.4	7.2	3.7	438.2	角閃石閃綠 岩(深成岩)	—
134	39		打製石斧	S D059/ 100	8.0	5.4	1.6	75.7	サヌカイト	基部から刃部へと片側にのみ広がる
135	39	53	打製石包丁	S D059/ 100	6.8	5.6	1.6	76.4	サヌカイト	明瞭な抉りが無い
136	39	54	打製楔形石器	S D059/ 100	5.8	10.5	3.6	426.4	サヌカイト	敲打が全面に及び墨り心地から叩き石ともされるが、擦痕のあり方から楔形石器としておきたい
150	43	54	打製石錐	S D062	4.3	2.9	0.6	6.7	サヌカイト	先端欠損

第92表 石器・木器・金属器観察表(1)

遺物番号	埠図	国版	器種・種類	遺構名	現存長	最大幅	最大厚	重量	種類・材質	備考
151	43	54	打製スクレイバー	S D062/S D112/S D110	8.3	5.7	1.1	57.4	サヌカイト	両面に擦面存在。薄い板から成形したか
152	43		打製石包丁	S D062	4.5	5.2	1.1	27.8	サヌカイト	抉りは小さい
153	43		打製石礫	S D062	3.3	1.9	0.4	2.0	サヌカイト	—
154	43	54	磨製大型蛤刃石斧	S D062	8.1	6.1	3.8	327.1	安山岩	基部の一部、原石は雨連山に似たものがある
155	43	54	打製石匙	S D062	7.8	5.4	1.1	30.4	サヌカイト	風化著しい。左面の左側面に難面
172	46		打製石礫	S R01	3.3	1.3	0.4	1.4	サヌカイト	—
225	52		打製石包丁	S H07	5.0	4.0	0.7	15.9	サヌカイト	右面の底面が著しい。刃部はあまり磨滅していない
226	52	55	石鍤	S H07	6.7	6.3	2.0	76.6	流紋岩	上下2ヶ所を僅かに加工し小さな抉りを作っている
227	52	55	砥石	S H07	11.7	14.5	6.2	1581.8	砂岩	使用による磨滅が著しい
237	54	55	打製有舌尖頭器	S H08	9.2	2.9	0.8	22.0	サヌカイト	細かい調整のやり方から縄文時代と考える
257	58	55	打製石礫	S H13	2.6	1.8	0.3	1.4	サヌカイト	—
258	58	55	打製石礫	S H13	2.4	1.8	0.3	1.6	サヌカイト	—
271	59	55	打製石礫	S H18	3.0	1.4	0.3	1.5	サヌカイト	—
324	67	55	石鍤	S H23	6.6	5.1	1.5	47.5	安山岩	—
384	76	55	打製石礫	S H29	2.2	1.5	0.2	0.6	サヌカイト	—
385	76	55	打製石礫	S H29	2.5	1.2	0.3	1.0	サヌカイト	—
386	76	55	打製石礫	S H29	2.3	1.8	0.3	1.1	サヌカイト	右面に磨滅痕らしきもの有り
387	76	55	打製石礫	S H29	2.6	1.2	0.3	1.1	サヌカイト	—
388	76	55	打製石礫	S H29	4.1	1.8	0.3	2.6	サヌカイト	—
389	76	65	用途不明	S H29	5.6	3.0	1.3	29.4	鉄	平坦面の片側が少しくぼむ。頭部も丸く刃となるような部分はない
408	78	55	打製石礫	S H33	3.1	1.8	0.4	2.1	サヌカイト	—
409	78	55	打製石礫	S H33	2.2	1.5	0.4	1.4	サヌカイト	—
410	78	55	打製石礫	S H33	2.2	1.3	0.4	1.1	サヌカイト	—
539	93		打製石包丁	S D030	10.6	4.3	1.0	59.3	サヌカイト	抉り部欠損
540	93		打製石包丁	S D030	5.6	4.3	1.0	38.0	サヌカイト	—
541	93		打製石包丁	S D030	4.4	4.2	0.9	13.7	サヌカイト	—
542	93		打製石包丁	S D030	4.8	3.9	0.8	11.8	サヌカイト	刃部は自然の剥離を基本的に利用
543	93		打製スクレイバー	S D030	4.2	4.5	0.6	14.0	サヌカイト	—
544	93	56	打製石斧	S D030	9.2	5.4	1.9	120.2	サヌカイト	抉りに縦ずれの痕が残る
545	93	56	叩き石	S D030	5.6	5.4	3.8	134.4	サヌカイト	全面に叩き痕著しく残る
546	93		打製石礫	S D030	2.8	1.4	0.3	1.4	サヌカイト	磨滅痕は細部調整箇のものか
547	93		打製石剣	S D030	5.4	2.5	0.7	10.2	サヌカイト	—
563	97	56	打製石包丁	S D097/113	10.3	3.5	0.9	37.7	サヌカイト	刃部が描っていないことから未製品と考える。背部や一方の抉りの欠損がその理由であろう。

第93表 石器・木器・金属器観察表(2)

遺物番号	挿図	図版	器種・種類	遺構名	現存長	最大幅	最大厚	重量	種類・材質	備考
564	97		磁石, 凹石	S D097/113	11.6	12.8	4.2	930.1	砂岩	左面は凹石に、右面は低石に使用。また、縁が欠けていることから叩石の使用も考えられる。
566	98		打製石鏃	S D099	1.8	1.0	0.3	0.8	サヌカイト	-
585	100	56	打製石包丁	S D112	13.2	4.7	1.3	111.9	サヌカイト	-
586	100	56	打製スクレイバー	S D112	8.4	3.9	0.8	26.7	サヌカイト	-
650	129	56	打製石鏃	S B023	2.5	1.7	0.4	1.4	サヌカイト	-
653	130	56	打製石鏃	S B027	2.3	2.0	0.3	1.3	サヌカイト	-
669	136	56	打製石鏃	S B032	4.4	2.1	0.6	5.5	サヌカイト	-
671	139	56	打製石鏃	S B035	2.0	1.6	0.3	0.9	サヌカイト	風化が著しい。縄文?
680	148	65	帶金具(巡方)	S B049	2.9	2.3	0.2	3.5	銅	表側の金具の突起がさびついて残している
686	150	56	打製石鏃	S B051	2.6	1.2	0.3	1.1	サヌカイト	右面に細部調整前の摩滅痕らしきもの有り
688	151	56	打製石鏃	S B052	3.4	1.9	0.4	2.7	サヌカイト	左面心側の刃部が不揃いで未製品の可能性がある
755	176	65	鉄製刀子	S B076	11.5	1.7	0.7	-	鉄	柄と刃部の境不明
768	192	57	打製横形石器	S B091	10.3	7.7	2.2	210.0	サヌカイト	隕面が左面にある
785	205	56	打製石鏃	S B106	2.5	1.5	0.3	1.0	サヌカイト	-
795	212	57	砥石	S B114	6.6	3.0	2.7	99.9	流紋岩	研ぎ面4面
799	218		打製石包丁	S B120	4.6	3.8	0.6	0.6	サヌカイト	-
810	227	57	打製石匙	S B130	6.8	5.2	0.7	21.7	サヌカイト	-
881	263	56	打製石鏃	S X10	2.3	1.5	0.4	1.1	サヌカイト	-
889	266	57	打製石包丁	S D006C	7.2	3.4	0.8	24.5	サヌカイト	-
1265	294		打製石包丁	S D010	3.8	4.3	1.2	18.1	サヌカイト	-
1266	294		打製石包丁	S D010	3.2	3.8	0.7	10.1	サヌカイト	-
1267	294		打製石包丁	S D010	10.6	4.9	1.4	68.9	サヌカイト	-
1268	29		打製スクレイバー	S D010	5.8	4.6	1.2	38.3	サヌカイト	左面の棱線が磨滅
1269	294		打製石鏃	S D010	7.8	3.2	1.1	30.2	サヌカイト	-
1270	294		打製石鏃	S D010	6.6	3.8	1.0	31.1	サヌカイト	-
1271	294		打製石包丁	S D010	3.5	3.9	0.9	16.8	サヌカイト	右面少し磨滅
1272	294		打製スクレイバー	S D010	6.4	5.2	1.0	29.9	サヌカイト	自然面が小さく残る
1273	294		打製スクレイバー	S D010	7.5	3.9	1.0	32.4	サヌカイト	-
1274	295	57	打製石斧	S D010	10.1	4.7	1.9	103.3	サヌカイト	斧先端打撃による折損
1275	295		打製石斧	S D010	6.5	3.8	1.6	47.4	サヌカイト	-
1276	295		打製石斧	S D010	6.0	4.8	2.0	56.7	サヌカイト	-
1277	295		打製石鏃	S D010	2.0	1.6	0.3	0.8	サヌカイト	-
1278	295		打製石鏃	S D010	3.1	1.3	4.0	1.7	サヌカイト	-
1279	295		打製石鏃	S D010	2.9	1.9	0.3	1.1	サヌカイト	-
1280	295	58	打製横形石器?	S D010	11.2	5.2	1.7	127.3	サヌカイト	-
1281	295	57	打製石斧	S D010	8.7	7.3	2.4	210.9	サヌカイト	右面も平坦面がやや磨滅し白くなっている

第94表 石器・木器・金属器観察表(3)

遺物 番号	種類 図版	器種・種類	遺構名	現存長	最大幅	最大厚	重量	種類・材質	備考
1282	296	58 打製楔形石器	SD010	8.8	6.5	1.9	161.8	サヌカイト	上面は平坦に折れており この面を叩いたと考える
1283	296	58 打製楔形石器	SD010	8.7	6.8	1.6	138.3	サヌカイト	両面が削れている
1284	296	58 打製石核	SD010	11.6	7.7	3.4	338.3	サヌカイト	旧石器? 風化著しい
1285	296	58 砕石	SD010	5.1	6.3	2.4	112.6	砂岩	両側の広い面を低ぎ面に 利用。左の面はやや深め の低ぎ面多数有り
1286	296	58 石錐	SD010	6.8	4.8	4.7	199.4	砂岩	抉りが部分的で浅い
1287	296	58 砕石	SD010	5.2	3.7	1.4	36.2	流紋岩	拂帯用か? 4面を研ぎ面 に利用
1288	297	打製石斧	SD011	8.9	4.4	2.3	111.1	サヌカイト	両面に自然面、少し磨滅
1327	310	59 打製石包丁	SD040/ 060	8.0	5.9	1.3	69.0	サヌカイト	—
1328	310	凹石	SD040/ 060	9.8	12.0	9.4	1368.8	砂岩	側面も凹凸が目立つ。 少し重いが叩き石にも使った 可能性がある
1340	313	59 打製大型蛤刃 石斧	SD051	11.5	5.2	3.2	238.2	安山岩	—
1411	326	石錐	SD080/ 110	9.5	7.8	3.5	407.2	サヌカイト	—
1412	326	打製楔形石器	SD080/ 110	5.4	4.0	1.4	36.0	サヌカイト	両端が折れた横(縦)長の 製品の可能性もある
1413	326	59 打製楔形石器	SD080/ 110	8.3	9.2	1.0	125.2	サヌカイト	—
1422	329	打製石錐状石 器	SD095/ 096/S X08	7.3	3.1	1.4	43.8	サヌカイト	—
1423	329	打製石包丁	SD095/ 096/S X08	7.2	4.5	0.7	30.7	サヌカイト	抉りは刃部寄りに片側に つく。偶然のもの可能性 もある
1424	329	打製スクレイ パー	SD095/ 096/S X08	8.4	3.4	0.7	18.7	サヌカイト	刃部は細部調整を施して いない
1436	335	打製楔形石器	S Z01	7.1	6.1	1.4	109.0	サヌカイト	上面打撲痕著しいが刃部 には摩滅痕等なし
1437	335	59 打製石錐	S Z01	11.5	3.2	1.0	55.4	サヌカイト	—
1469	351	56 打製石錐	SD008/ 012/028	2.7	1.9	0.4	1.7	サヌカイト	—
1470	351	打製楔形石器	SD012	7.7	8.1	2.8	228.0	サヌカイト	左面に自然面。上には打 撃による横れ、下には繰 り返しての使用による潰 れ
1491	356	65 鉄鎌	A包含層	6.3	2.2	0.5	—	鉄	—
1492	356	打製石斧	A包含層	6.6	3.1	1.4	37.2	サヌカイト	両側とも刃削しをしてい る
1493	357	打製石錐	A包含層	5.6	1.7	0.7	7.8	サヌカイト	—
1494	357	打製石包丁	A包含層	10.9	4.8	1.2	79.8	サヌカイト	左面右側に抉り無く、左 側の抉りはごく小さい
1495	357	打製石錐	A包含層	8.8	3.5	1.0	35.5	サヌカイト	抉り部分が欠けているた め石包丁の可能性もある

第95表 石器・木器・金属器観察表(4)

遺物番号	種別	図版	器種・種類	遺構名	現存長	最大幅	最大厚	重量	種類・材質	備考
1496	357		打製石包丁	A包含層	11.5	6.4	1.4	146.1	サヌカイト	未製品。刃部調整の段階で折れて捨てられたものと考える。礫面残る。
1497	357		打製石斧	A包含層	8.8	9.2	2.4	244.0	サヌカイト	刃部少し磨滅
1514	358		打製スクリーパー	B包含層	17.8	10.8	1.9	358.4	サヌカイト	大型品
1542	361	59	磨製大型蛤刃石斧	B包含層	6.6	5.9	3.0	119.6	安山岩	両平面に擦痕多数残る。他に側縁部に太い平行の傷が残る。
1543	361	60	打製石槍状石器	B包含層	13.1	3.7	1.1	56.3	サヌカイト	—
1544	361		石皿	B包含層	8.4	8.1	4.7	448.1	砂岩	片面がわずかに凹む
1545	361		打製石錐	B包含層	3.6	1.2	0.6	3.2	サヌカイト	—
1546	361		打製石鎌	B包含層	2.6	1.1	0.3	1.1	サヌカイト	—
1547	362	60	打製石包丁	B包含層	11.1	4.4	1.1	75.7	サヌカイト	—
1548	362	60	打製石包丁	B包含層	9.8	3.5	1.1	45.4	サヌカイト	刃部の抉れが、使用によるものか不明
1549	362	60	打製石包丁	B包含層	6.0	2.8	0.6	9.8	サヌカイト	未製品？
1550	362	60	打製石包丁	B包含層	9.3	4.0	1.1	56.4	サヌカイト	未製品
1551	362	60	打製石包丁	B包含層	9.0	5.1	1.0	65.3	サヌカイト	—
1552	362	60	打製石包丁	B包含層	7.4	4.6	0.8	36.2	サヌカイト	—
1584	364	61	石鍬	B包含層	4.2	5.2	3.7	105.8	砂岩	—
1585	364	60	打製石包丁	B包含層	5.4	3.9	0.7	17.1	サヌカイト	—
1586	364	60	打製石包丁	B包含層	10.1	4.0	1.1	64.5	サヌカイト	未製品か？
1587	364	59	磨製柱状片刃石斧	B包含層	11.6	4.1	1.5	106.1	黒色片岩	側面基部と思われるが抉れがない。
1593	365	61	石鍬	B包含層	6.9	5.7	1.3	46.3	角閃石を含む安山岩	—
1609	366	60	打製石槍状石器	B包含層	29.6	8.0	1.9	535.3	サヌカイト	—
1622	368	65	用途不明	B包含層	—	7.6	1.2	116.3	銅	仏具の脇杖か？中央の輪状はハート形になる可能性がある。左右の突起はそれぞれの方向へ巻手状に巻く
1623	368		打製楔形石器	B包含層	7.8	5.8	1.9	109.7	サヌカイト	—
1624	368	61	打製石錐	B包含層	7.1	6.9	2.8	126.3	サヌカイト	上面打撃痕著しい。穴を開けるのに叩いたか？
1625	368		打製石錐	B包含層	8.8	2.4	1.1	29.6	サヌカイト	先端欠損のため錐で良いか断定不可能
1626	368		打製石鎌	B包含層	4.1	3.1	0.5	7.2	サヌカイト	—
1627	368		打製石鎌	B包含層	3.5	3.1	0.6	6.4	サヌカイト	—
1628	368	60	打製石包丁	B包含層	9.4	5.7	1.9	94.2	サヌカイト	未製品か、或いは自然面を極度に利用したか
1629	369	62	砥石	B包含層	19.3	12.0	6.2	1664.9	砂岩？	研ぎ面6面。磨滅著しい。2面に彫りの深い研磨痕
1637	370	61	打製石包丁	C-D包含層	8.6	4.4	1.0	39.2	サヌカイト	—
1641	371	65	刀子	C-D包含層	4.8	1.6	0.3	7.1	鉄	鋒が湾曲するらしい

第96表 石器・木器・金属器観察表(5)

遺物番号	擇図	図版	器種・種類	遺構名	現存長	最大幅	最大厚	重量	種類・材質	備考
1646	371	65	杭	C・D包含層	35.3	1.8	1.7	—	広葉樹?	先端部のみ加工。
1647	372	61	打製石包丁	C・D包含層	13.5	6.0	0.6	76.9	サヌカイト	—
1648	372		打製楔形石器	C・D包含層	10.4	8.1	3.0	318.1	サヌカイト	—
1649	372	61	打製石包丁	C・D包含層	12.9	6.5	0.8	82.6	サヌカイト	左面右下の抉りは元々擦面の凹みである。
1650	372	61	磨製小型方柱状片刃	C・D包含層	5.2	2.4	—	27.6	?	—
1651	372	61	打製石鎌	C・D包含層	5.3	2.6	0.7	5.8	サヌカイト	平基式
1652	372	61	打製石鎌	C・D包含層	2.3	1.4	0.3	0.8	サヌカイト	著しく風化する
1653	373	61	打製石包丁	C・D包含層	8.6	5.6	0.9	62.8	サヌカイト	—
1665	373	66	用途不明	C・D包含層	9.6	1.1	0.1	3.1	鉄	飾り金具? 地の上に銅をまぜた銀を鍛金しているように見える。
1687	374		打製石包丁	E包含層	4.4	8.4	1.1	69.9	サヌカイト	—
1707	376	63	打製石斧	E包含層	13.9	8.2	2.4	303.4	サヌカイト	全体磨滅が著しい先端横方向に大きく折れる。磨滅状況からその後も捨てずに使用したと思われる。
1708	376	63	打製石鎌	E包含層	15.1	6.8	2.2	267.9	サヌカイト	先端が尖るが両側面の抉りの左右から石鎌としておく。
1709	376		打製石鎌	E包含層	1.9	1.7	0.8	2.1	サヌカイト	—
1710	376		打製石鎌	E包含層	2.3	1.5	0.4	1.1	サヌカイト	—
1711	377		打製スクレイバー	E包含層	5.9	6.5	1.0	54.0	サヌカイト	—
1712	377		砥石	E包含層	8.4	5.5	2.9	204.2	流紋岩	4面を砥ぎ面に利用。磨滅著しい
1725	379	62	打製石包丁	F包含層	11.5	4.5	0.9	61.7	サヌカイト	片側の抉り部に磨面が残る
1726	379	62	打製石包丁	F包含層	10.8	4.5	1.4	75.0	サヌカイト	—
1727	379	62	打製石包丁	F包含層	9.8	4.0	1.0	36.1	サヌカイト	—
1728	379	62	打製石包丁	F包含層	8.1	3.9	1.1	34.3	サヌカイト	背部は撫面を利用
1729	379	63	打製石横状石器	F包含層	5.3	2.9	0.7	13.9	サヌカイト	刃部、切先とも鋭い
1730	379	64	打製石鎌	F包含層	4.4	3.3	0.8	9.4	サヌカイト	先端欠損
1731	379	64	石錐	F包含層	8.5	6.9	3.4	204.1	安山岩	上側のみ加工して凹みを作る。下側は自然の欠損を利用する
1781	383	63	打製石鎌	F包含層	8.0	3.8	1.3	54.6	サヌカイト	風化著しい。石材に白斑が入る
1839	387	63	打製楔形石器	F包含層	9.1	4.4	1.1	74.7	サヌカイト	—
1840	387	64	石錐	F包含層	8.7	7.3	4.2	353.7	安山岩	鉄器等で削って成形しており、その痕跡の縦が残る
1841	388	62	打製石包丁	F包含層	9.8	4.2	1.0	52.5	サヌカイト	—

第97表 石器・木器・金属器観察表(6)

遺物番号	埠図	国版	器種・種類	遺構名	現存長	最大幅	最大厚	重量	種類・材質	備考
1842	388	62	打製石包丁	F包含層	8.6	4.2	1.0	49.7	サヌカイト	刃部の潰れが著しい
1843	388		打製スクレイバー	F包含層	9.1	5.1	1.0	63.0	サヌカイト	抉りがないので、スクレイパーと考えた
1844	388		打製スクレイバー	F包含層	12.1	4.4	1.2	67.5	サヌカイト	刃部と背部の境の片方が尖っているので、スクレイパーとした。
1845	388	63	打製石斧	F包含層	14.0	8.2	1.9	338.6	流紋岩	右面右下に擦痕が残ることから、自然石を利用した石斧と考えた。刃部欠損。擦痕の角度から柄と刃部を直角に装着して握り下ろしたか
1846	388	64	石錐	F包含層	9.1	5.0	1.6	87.4	斜方輝石の安山岩	自然の凹みを縦を悉く部分とする。上部中央にわずかに打ち欠きか縦ずれの痕が残る。
1856	389		打製石鎌	F包含層	3.2	1.7	0.3	1.0	サヌカイト	抉りが深い
1903	392		打製石鎌	F包含層	2.5	1.9	0.4	2.7	サヌカイト	—
1904	392	64	打製石錐	F包含層	8.6	5.9	1.5	68.1	サヌカイト	先端欠損
1905	392		磨製大型蛤刃石斧	F包含層	8.3	2.1	3.3	90.5	安山岩の脈岩	原石は鄭東川・塙江付近に多い
1906	392	65	棒状鉄器	F包含層	7.9	1.3	1.2	12.1	鉄	—
1907	392		打製石匙	F包含層	7.1	4.1	0.8	17.1	サヌカイト	—
1908	392	62	打製石包丁	F包含層	10.3	5.8	1.3	81.7	サヌカイト	刃部不揃いや背部の敲打が殆ど認められないことから未製品と考える。
1910	393		打製石錐	F包含層	4.2	2.3	5.0	2.8	サヌカイト	—
1911	393		磨製大型蛤刃石斧	F包含層	16.0	4.8	2.7	312.9	変成岩	柄との摩擦により欠けたと思われる凹み有り
1912	393	62	打製石包丁	F包含層	11.3	4.5	1.0	53.5	サヌカイト	—

第98表 石器・木器・金属器觀察表(7)

遺構名	調査区	構造	桁行	梁間	桁長(m)	梁長(m)	面積(m ²)	桁柱間(m)	梁柱間(m)	主軸方位	長軸比率	図版番号	持国番号
S B001A	A	側	3	2	6.87	3.28	22.5	2.29	1.64	N87E	2.09	7	21
S B001F	F	総	5	3	9.10	4.72	43.0	1.82	1.57	N28W	1.93		109
S B002	A	側	3	2	4.84	3.20	15.5	1.61	1.60	N32W	1.51		110
S B003	A	総?	3	3	5.47	3.90	21.3	1.82	1.30	N56E	1.40	23	111
S B004	A	側	4	2	6.04	4.47	27.0	1.51	2.24	N21W	1.35		112
S B005	A	側	4	2	6.24~6.30	3.70~4.04	24.3	1.56~1.58	1.85~2.02	N65~67W	--		113
S B006	A	総	3	2	4.57	3.76	17.2	1.52	1.88	N63W	1.22	24	114
S B007	A	側	3	2	7.72	4.43	34.2	2.57	2.22	N27E	1.74	24	115
S B008	A	総	3	2	5.80	3.26	18.9	1.93	1.63	N26W	1.78		116
S B009	A	側	3~4	2~3	6.10	4.60~4.92	31.8	1.02~3.18	1.64~2.30	N32E	1.24	24	117
											-1.33		
S B010	A	側	2~3	2	3.56	3.76	13.4	1.19~1.78	1.88	N50W	0.95		118
S B011	A	側	3	2	4.94~5.06	5.54~5.60	27.3	1.65~1.69	2.77~2.80	N37W	--	23	119
S B012	A	側	2~3	1	3.58	2.78	10.0	1.19~1.79	2.78	N67W	1.29		120
S B014	A	側	2	2	4.06	3.62~3.88	14.2	1.81~1.94	2.03	N30W	1.06		121
											-1.12		
S B015	A	側	1	2	5.34~5.50	2.95~3.64	17.8	5.34~5.50	1.48~1.82	N24~32W	--		122
S B016	A	側	3	3	4.94	3.62	17.9	1.65	1.21	N56W	1.36		123
S B017	A	側	4	2	6.92	3.74	25.9	1.73	1.87	N08W	1.85	25	124
S B018	A	側	3	2	5.57	3.68	20.5	1.86	1.84	N16W	1.51		125
S B019	A	側	3	2	6.60	4.34	28.6	2.20	2.17	N07W	1.52		126
S B020	A	側	6	2	12.07	4.54	55.5	2.01~2.07	2.27	N07W	2.66		127
					-12.40						-2.73		
S B022	E	側	5	2	9.86	3.78	37.3	1.97	1.89	N66E	2.61		339
S B023	E	側	2	2	4.03	3.23	13.0	2.02	1.62	N51W	1.25		129
S B024	E	総	3	2	4.68	3.60	16.8	1.56	1.80	N16W	1.30		128
S B025	E	側	3	2	4.71	3.76	17.7	1.57	1.88	N05W	1.25		130
S B026	E	側	4	2~4	5.90	3.45	20.4	1.48	0.87~1.73	N89E	1.71		131
S B027	E	総	3	2	4.85	3.97	19.3	1.62	1.99	N09W	1.22		132
S B028	E	側	3	1	5.25	4.20	22.1	1.75	4.20	N10W	1.25		133
S B030	E	側	3	2	6.52	4.10	26.7	2.17	2.05	N87E	1.59		134
S B031	E	側	3	2	4.33	3.95	17.1	1.44	1.98	N05W	1.10		135
S B032	E	総	3	3	4.77	4.06	19.4	1.59	1.35	N12W	1.17		136
S B033	E	側	4	3	6.27	4.84	30.3	1.57	1.61	N10W	1.30		137
S B034	E	総	3	2	4.80	3.70	17.8	1.60	1.85	N07W	1.30	25	138
S B035	E	側	3	3	4.78~5.06	3.74~4.06	19.2	1.59~1.69	1.25~1.36	N07~11W	--		139
S B036	E	側	3	1	4.85	4.35	21.1	1.62	4.35	N13W	1.11		140
S B038	E	総	3	2	5.00	3.67	18.4	1.67	1.84	N12W	1.36		141
S B040	E	側	3	2	5.27	3.98	21.0	1.76	1.99	N89E	1.32		143
S B042	E	?	3	1~2	5.00	3.60	18.0	1.67	1.80	N48E	1.39		142
S B045	F	側	3	1	4.11	2.46	10.1	1.37	2.46	N64E	1.67	26	144
S B046	F	総	3	2	5.03	3.87	19.5	1.68	1.94	N25W	1.30		145
S B047	F	総	3	3	5.00	3.82	19.1	1.67	1.27	N25W	1.31		146
S B048	F	側	3	2	7.16	4.17	29.9	2.39	2.09	N21W	1.72		147
S B049	F	側	5	3	7.96	4.10	32.6	1.59	1.37	N64E	1.94	27	148
S B050	F	総	3	3	5.55	4.17	23.1	1.85	1.39	N25W	1.33	26	149
S B051	F	側	5	3	9.45	4.95	46.8	1.89	1.65	N66W	1.91	27	150
S B052	F	側	3	2	6.69	4.50	30.1	2.23	2.25	N23W	1.49		151
S B053	F	側	3	2	5.53	4.60	25.4	1.84	2.30	N17W	1.20		152

第99表 据立柱建物跡・櫓跡一覧(1)

遺構名	調査区	構造	桁行	梁間	桁長(m)	梁長(m)	面積(m ²)	桁柱間(m)	梁柱間(m)	主軸方位	長軸比率	図版番号	埠団番号
S B054	E	側	3	2	4.88	3.53	17.2	1.63	1.77	N08W	1.38		153
S B055	E	總	2	2	2.80	2.65	7.4	1.40	1.33	N11W	1.06		154
S B056	B	側	2	1	3.76	2.72	10.2	1.88	2.72	N03W	1.38	27	155
S B057	F	側	4	2	8.10	4.40	35.6	2.03	2.20	N25W	1.84		156
S B058	B	側	3	2	6.74	4.30	29.0	2.25	2.15	N11W	1.57		157
S B059	F	側	5	3	8.72	5.22	45.5	1.74	1.74	N70E	1.67	28	158
S B060	F	總	3	2	5.18	3.43	17.8	1.73	1.72	N22W	1.51	28	159
S B061	F	側	5	2	8.94	3.15	28.2	1.79	1.58	N66W	2.84		160
S B062	B	側	3	2	6.88	4.90	33.7	2.29	2.45	N12W	1.40		161
S B063	B	側	2	2	4.93	4.67	23.0	2.47	2.34	N78W	1.06		162
S B064	B	總	3	3	4.99	3.95	19.7	1.66	1.32	N12W	1.26	28	164
S B065	B	總	3	3	4.85	4.14	20.1	1.62	1.38	N13W	1.17		165
S B066	B	總	2	2	3.27	3.21	10.5	1.64	1.61	N13W	1.02		166
S B068	B	側	5	3	10.43	4.35	45.4	2.09	1.45	N76E	2.40		167
S B069	B	側	3	2	5.50	3.89	21.4	1.83	1.95	N14W	1.41		168
S B070	F	側	4	2	7.90	2.82	22.3	1.98	1.41	N63E	2.80		169
S B071	F	側	3	2	3.99	3.25	13.0	1.33	1.63	N20W	1.23	29	170
S B072	F	側	3	2	5.25	3.30	17.3	1.75	1.65	N27W	1.59	29	173
S B073	F	側	5	3~4	9.64	4.97	47.9	1.93	1.24~1.66	N24W	1.94	29	172
S B074	B	側	3	3	6.28	5.78	36.3	2.09	1.93	N74E	1.09		174
S B075	F	側	4	2	6.30	4.21	26.5	1.58	2.11	N20W	1.50		175
S B076	B	總	4	3	6.47	4.67	30.2	1.62	1.56	N21W	1.39	29	176
S B077	B	側or 總	2	2	4.82	4.28	20.6	2.41	2.14	N72E	1.13		177
S B078	F	側	4	2	7.00	3.66	25.6	1.75	1.83	N09W	1.91		178
S B079	F	側	3	2	6.27	4.33	27.1	2.09	2.17	N29W	1.45		179
S B080A	A	側	2	2	3.63	2.94	10.7	1.82	1.47	N35E	1.23		180
S B081	A	側	4	2	8.00	4.27	34.2	2.00	2.14	N32E	1.87		181
S B082	A	側	2	1	6.04	2.03	12.3	3.02	2.03	N87E	2.98		182
S B083	A	側	3	2	5.53	3.91	21.6	1.84	1.96	N33E	1.41		183
S B084	A	總	3	2	5.47	4.00	21.9	1.82	2.00	N81E	1.37		184
S B085	B	側	4~5	2	7.39	5.30~5.45	39.1	0.95~2.56	2.65~2.73	N73E	1.35 -1.39		185
S B086	E	側	2~3	1	4.35	2.07	9.0	1.45~2.18	2.07	N83E	2.10		186
S B087	E	總	3	2	6.75	3.85	26.0	2.25	1.93	N18W	1.75		187
S B088	E	側	2	2	3.99	2.89	11.5	2.00	1.45	N74E	1.38		188
S B089	E	側	3	2	4.93	3.73	18.4	1.64	1.87	N02W	1.32		189
S B090	E	側	3	2	4.58	3.85	17.6	1.53	1.93	N31W	1.19		190
S B091	E	側	2	1	3.62	1.51	5.5	1.81	1.51	N62E	2.40		191
S B092	E	側	3	2	4.10	2.95	12.1	1.37	1.48	N72W	1.39		192
S B093	E	側	3	2	5.03	3.59	18.1	1.68	1.80	N72E	1.40		194
S B094	E	側	4	1	7.83	3.40~3.59	27.4	1.96	3.40~3.59	N25W	2.18 -2.30		340
S B095	E	側	4	1	7.88	3.11	24.5	1.97	3.11	N26W	2.53		341
S B096	E	側	1~2	2	3.93	3.65	14.3	1.97~3.93	1.83	N70E	1.06		195
S B097	F	側	3	2	6.43	3.07	19.7	2.14	1.54	N85E	2.78		196
S B098	F	側	2	2	4.28	3.93	16.8	2.14	1.97	N69E	1.09		197
S B099	F	側	2	2	3.97	3.41	13.5	1.99	1.71	N21W	1.16		198
S B100	F	側	6	1	9.78	1.88	18.5	1.63	1.89	N67E	5.17		199

第100表 挖立柱建物跡・柵列跡一覧(2)

遺構名	調査区	構造	桁行	梁間	桁長(m)	梁長(m)	面積(m ²)	桁柱間(m)	梁柱間(m)	主軸方位	長軸比率	図版番号	博国番号
SB101	F	總	2	2	4.13	4.05	16.7	2.07	2.03	N66E	1.02	200	
SB102	F	側	2	1	4.30	1.87	8.0	2.15	1.87	N67E	2.30	201	
SB103	F	側	2	1	3.93	2.99	11.8	1.97	2.99	N23W	1.31	202	
SB104	F	側	3	1	5.72	3.60	20.6	1.91	3.60	N70E	1.59	203	
SB105	E	側	2	2	3.27	2.97	9.7	1.64	1.49	N83E	1.10	204	
SB106	E	總	3	3	5.05	4.33	21.9	1.68	1.44	N08W	1.17	205	
SB107	F	側	2	2	3.48	3.00	10.4	1.74	1.50	N17W	1.16	206	
SB108	F	側	3	2	6.11	3.75	22.9	2.04	1.88	N70E	1.63	207	
SB109	F	側	4	3	8.46	6.18	52.3	2.12	2.06	N72E	1.37	208	
SB110	F	側	2	2	4.36	3.68	16.0	2.18	1.84	N18W	1.18	209	
SB112	F	側	2	2	5.44	3.80	20.7	2.72	1.90	N78E	1.43	210	
SB113	F	側	3~4	1	3.58	3.03	10.8	0.90~1.19	3.03	N68E	1.18	211	
SB114	F	側	1~2	2	4.95	4.13	20.4	2.48~4.96	2.07	N23W	1.20	212	
SB115	A	側	1	1	2.40	1.92	4.6	2.40	1.92	N14E	1.25	213	
SB116	E	側	2	1	3.90	2.01	7.8	1.95	2.01	N15W	1.94	214	
SB117	B	側	3	1	5.56~5.94	4.33	24.9	1.85~1.98	4.33	N16W	1.28	215	~1.37
SB118	F	側	2	1	2.90	2.57	7.5	1.45	2.57	N78E	1.13	216	
SB119	A	側	2	1~2	4.19	3.47	14.5	2.10	1.74~3.47	N34W	1.21	217	
SB120	A	側	3	1	4.52	3.63	16.4	1.51	3.63	N37W	1.25	218	
SB121	B	側	2	1~2	3.81	2.74	10.4	1.91	1.37~2.74	N21W	1.39	219	
SB122	F	側	2	1	4.34	2.75	11.9	2.17	2.75	N19W	1.58	220	
SB123	F	側	1~2	1~2	6.70	4.78	32.0	3.35~6.70	2.39~4.78	N16W	1.40	221	
SB124	F	側	1~2	1	3.42	1.74	6.0	1.71~3.92	1.74	N32E	1.97	222	
SB125	E	總	2	1~2	3.98	3.84	15.3	1.99	1.92~3.84	N20W	1.04	223	
SB126	E	側	2	1	3.58	2.51	9.0	1.79	2.51	N64E	1.43	342	
SB127	B	側	3	1	4.09	3.61	14.8	1.36	3.61	N79E	1.13	224	
SB128	B	側	3	?	5.00	?	?	1.67	?	N19W	?	225	
SB129	B	側	2	1	4.50	3.68	16.6	2.25	3.68	N13W	1.22	226	
SB130	B	側	2	1	3.62	1.76	6.4	1.81	1.76	N78E	2.06	227	
SB131	B	側	2	1~2	4.08	3.90	15.9	2.04	1.95~3.90	N74E	1.05	228	
SB132	B	側	2	1	3.58	2.02	7.2	1.79	2.02	N24W	1.77	229	
SB133	A/E	側	2	1	3.38	2.00	6.8	1.69	2.00	N17E	1.69	230	
SB134	E	側	2	1	2.97	2.77	8.2	1.49	2.77	N83E	1.07	231	
SB135	A	側	6	1	9.50	3.67	34.9	1.58	3.67	N69E	2.59	343	
SB136	A	側	3	1	5.65	3.76	21.2	1.88	3.76	N05E	1.50	232	
SB137	F	側	3	1	5.20	3.88	20.2	1.73	3.88	N27W	1.34	233	
SB138	A	側	5	2	10.40	4.13	43.0	2.08	2.07	N17E	2.52	234	
SB139	A	?	2	?	4.20	?	?	2.10	?	N70E	?	235	
SB140	F	側	5	1	8.94	2.32	20.7	1.79	2.32	N66W	3.85	236	
SB141	B	側	2	2	4.28	3.63	15.5	2.14	1.82	N18W	1.18	237	
SB142	B	側	3	2+	4.96	?	?	1.65	1.65	N16W	?	238	
SA08	A	—	2	—	6.30	—	—	3.15	—	N87E	—	239	
SA22	E	—	5	—	5.10	—	—	1.02	—	N34E	—	240	
SA23	F	—	5	—	9.30	—	—	1.86	—	N67E	—	241	
SA24	F	—	3	—	5.35	—	—	1.78	—	N27W	—	242	
SA26	F	—	4	—	8.55	—	—	2.14	—	N62E	—	243	
SA27	B	—	2	—	4.10	—	—	2.10	—	N18W	—	244	
SA28	B	—	2	—	3.95	—	—	1.98	—	N14W	—	245	

第101表 堀立柱建物跡・柵列跡一覧(3)

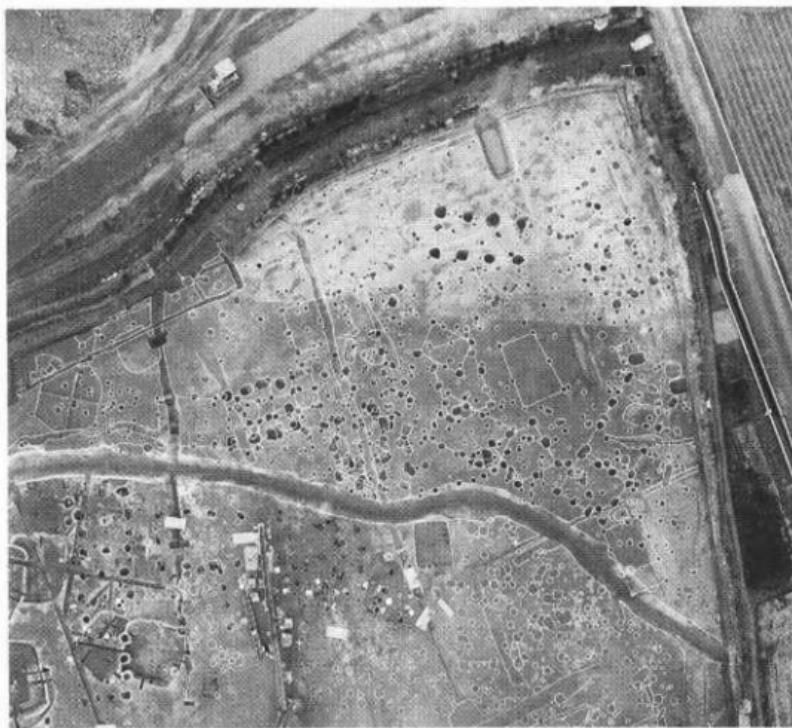
遺構名	層位	調査区	報告書 遺物番号	形 状
S H03		A		径3cmの鉄滓1
S H06		E		径5cmの鉄塊1。形態不明
S H21		F		長4cmの鉄塊。用途・性格不明
S H23		F		鉄細片多數。形態不明。
S H29		E	389	用途不明
S H32		E		5*4.5*1cmの鉄板1
S H34		E		5*4*1cmの鉄板1。性格不明
S B026		E		鉄織片少數。用途不明
S B049		F	680	帯金具(遼方)
S B065		B		径2cmの鉄分の多い鉄滓4
S B076		F	755	鉄製刀子
S B089		A		2.5
S P0043B		B		径3cmの鉄塊3。鉄滓?
S P0758E		E		径2cmのガラス質鉄滓2
S P0824F		F		長9cm・径8mmの棒状品1。性格・用途不明
S D010		E		炉関係。かかフイゴ羽口に付着したガラス質。径2cm
S D010		E		炉関係。かかフイゴ羽口に付着したガラス質。径3cm
S D010		E		径2cmの鉄塊1
S D010		E		径4cmの鉄分の多い鉄滓
S D010	下層	E		フイゴ羽口1
S D010	上層	E		径2cmの鉄滓2
S D010	上層	E		径5~7mmの棒状品1。径3cmのガラス質鉄滓1
S D010	上層	E		径2cmと4cmの鉄塊各1。径5cmの鉄分の多い鉄滓1。フイゴ羽口1
S D010	上層	E		フイゴ羽口1。径4cmの鉄滓1
S D010	中~下層	A		4*3*1cmの鉄塊
S D010	中~下層	E		炉関係。炉かフイゴ羽口に付着したガラス質
S D010	中~下層	E		フイゴ羽口片3
S D010	中~下層	E		幅3*厚0.5cmの鉄板。刀子?
S D010	中~下層	E		径5cmの鉄分の多い鉄滓1。フイゴ羽口1
S D010	中層	E		フイゴ羽口1
S D010	中層	A		6*4*1cmの鉄板1。性格不明
S D012		E		径3cmの鉄塊1。鉄滓?
S D012		E		径2cmのガラス質の鉄滓1
S D040/060	中層	B		径2cmの鉄滓3
S D051		F		残存長10cm・径4mmの鉄釘?2本
S D053/070		B		径3cmの鉄滓4
S D071	北の流れ	B		径2cmのガラス質~鉄分の多い鉄滓3
S Z01		B		径5cmの鉄滓1
A包含層		A	1491	鉄錐
A包含層		A		5*3*0.4cmの鉄板1。性格不明
B包含層	最上層	B	1622	用途不明
C-D包含層		CD	1641	刀子
C-D包含層		CD	1665	用途不明
C-D包含層	20~23層	C		径7cmの鉄滓4
C-D包含層	20~23層	C		径5cmの鉄塊4。鉄滓?

第102表 鉄器関係遺物一覧(1)

遺構名	層位	調査区	報告書 遺物番号	形 状
E包含層	7層	E		8 * 3 * 0.4cmの鉄板 1
E包含層	?	E		マイゴ羽口 1
F包含層		F	1906	棒状鉄器
F包含層	21・4・6層	F		4 * 3 * 0.5cmの鉄板 2
F包含層		F		径 3 cm の鉄塊 1
F包含層	灰色粘質土	F		径 3 cm の鉄滓 2
不明	?	?		径 2 cm の鉄滓 2
不明	?	?		径 5 cm(2)と 径 5 cm(1)と 径 7 cm(1)の鉄分の多い鉄滓。長 3 * 径 0.7 cm の棒状品 3

第103表 鉄器関係遺物一覧(2)

図版

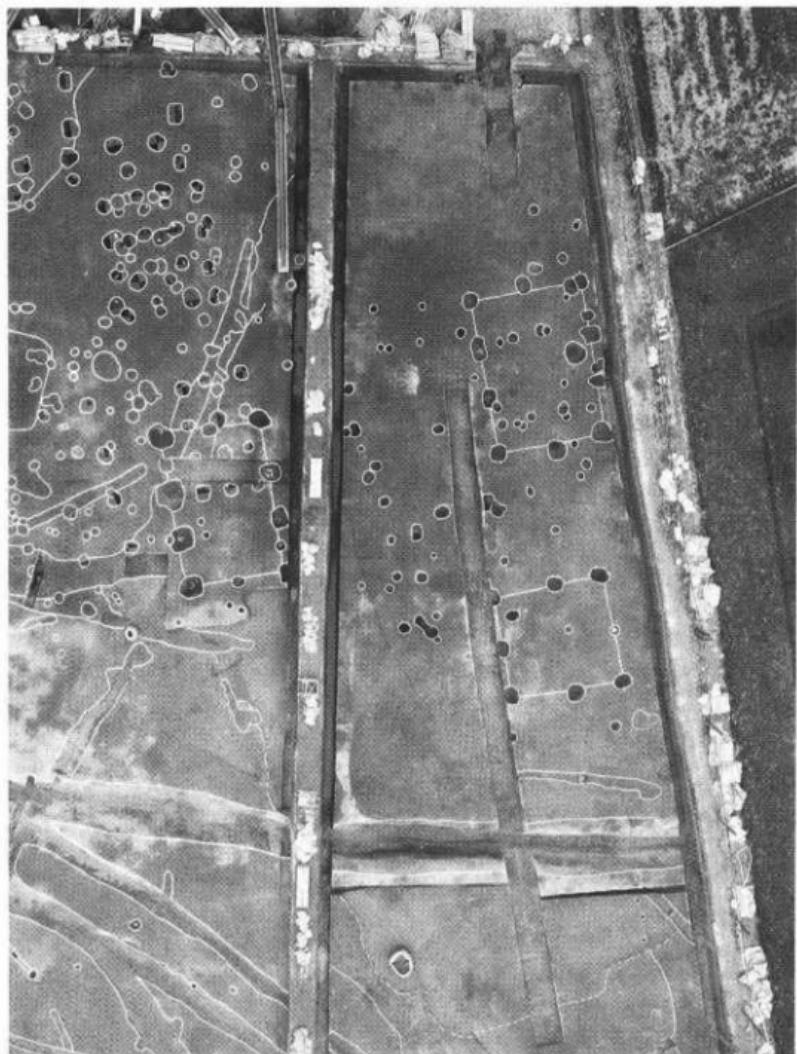


A区空中写真



A区南半部空中写真

図版 2



B区第1遺構面空中写真



B区第2遭横面空中写真

図版 4



B・F区中央部空中写真

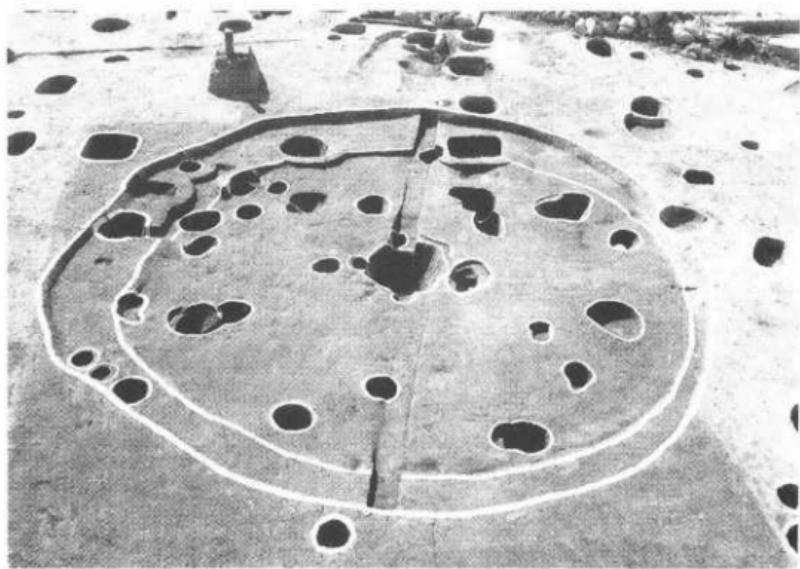


F区南半部空中写真

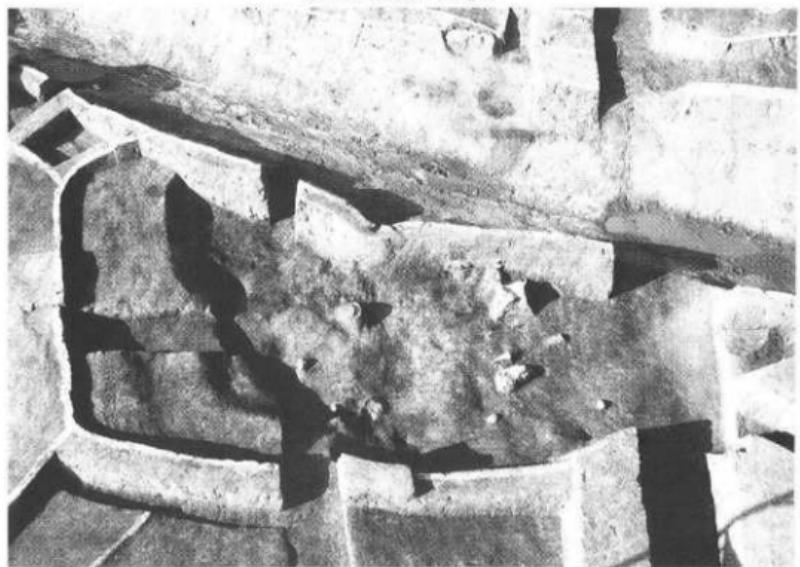


B・F 区空中写真

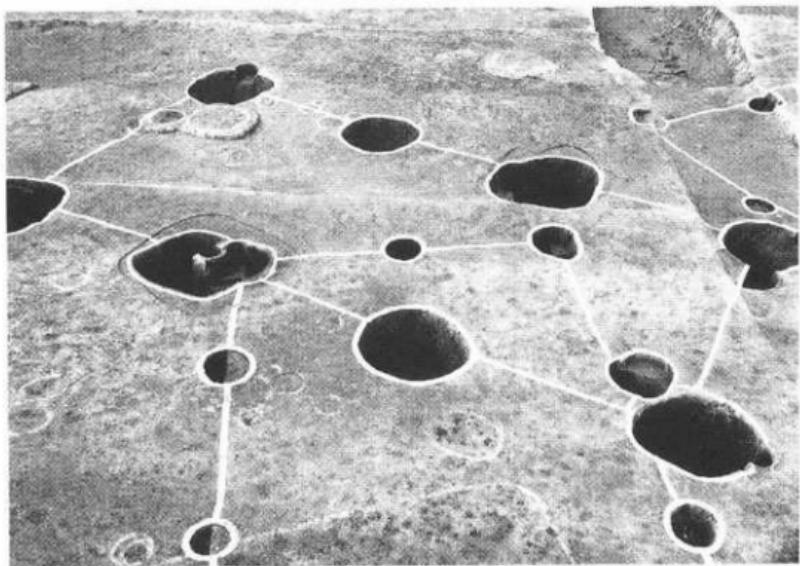
図版 6



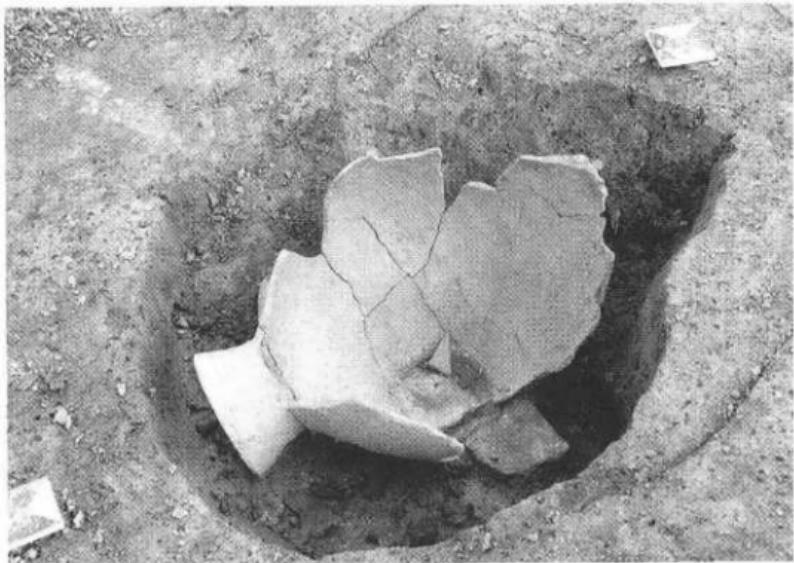
S H21完掘状況 東より



S H32完掘・土器出土状況 南東より

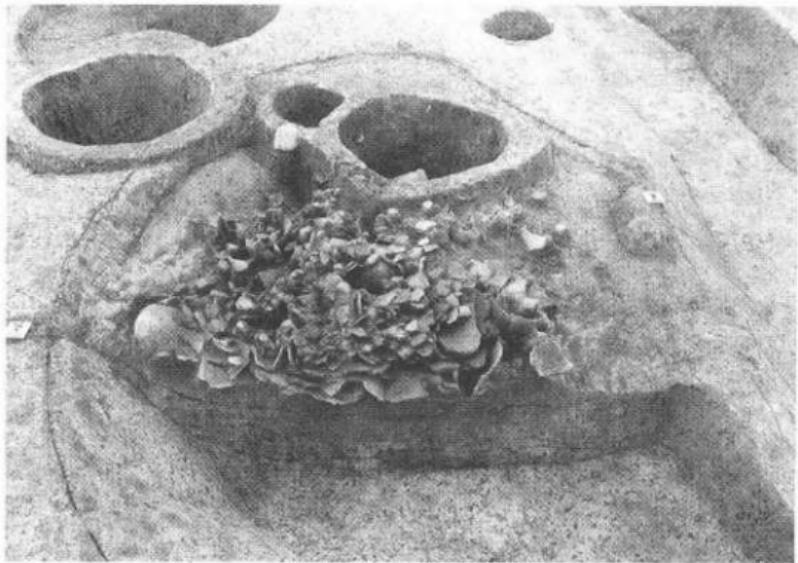


S B 001A完掘状況 南より

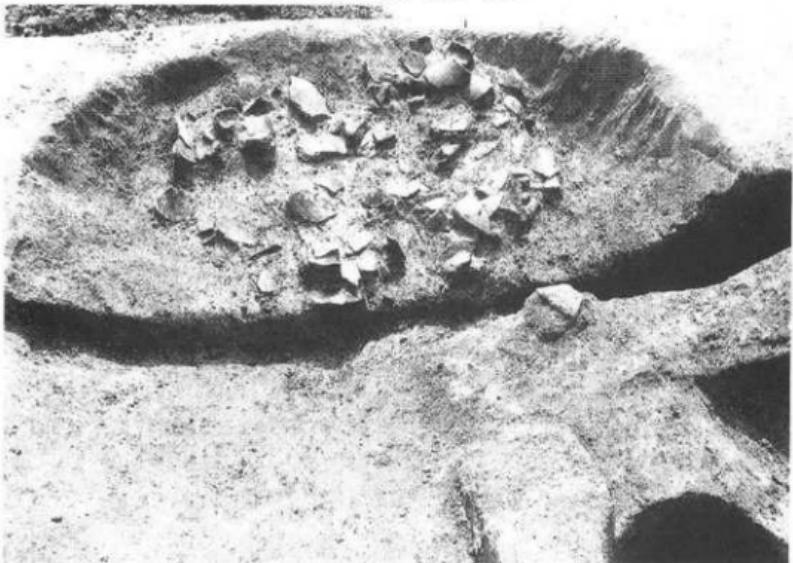


S P 0876A土器出土状況 西より

図版 8



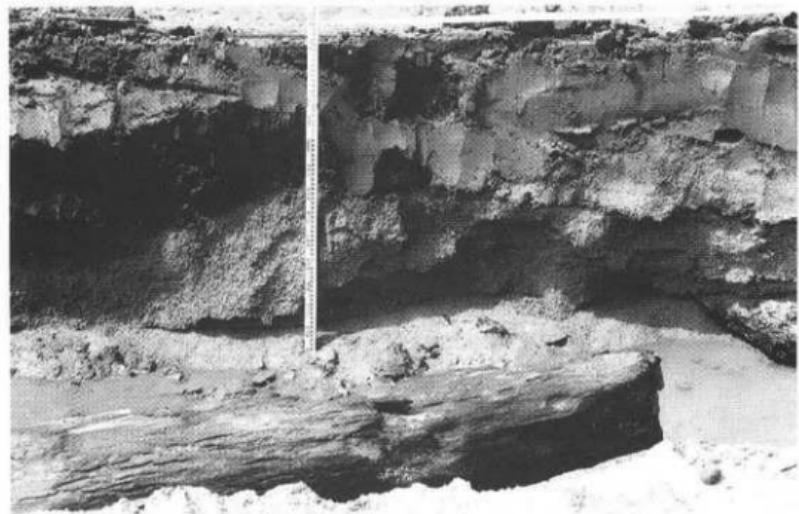
S K 21上層土器出土状況 南より



S K 38土器出土状況 北より



S D 062土器出土状況及び下部土層断面



S R 01最深部流木検出状況 北より

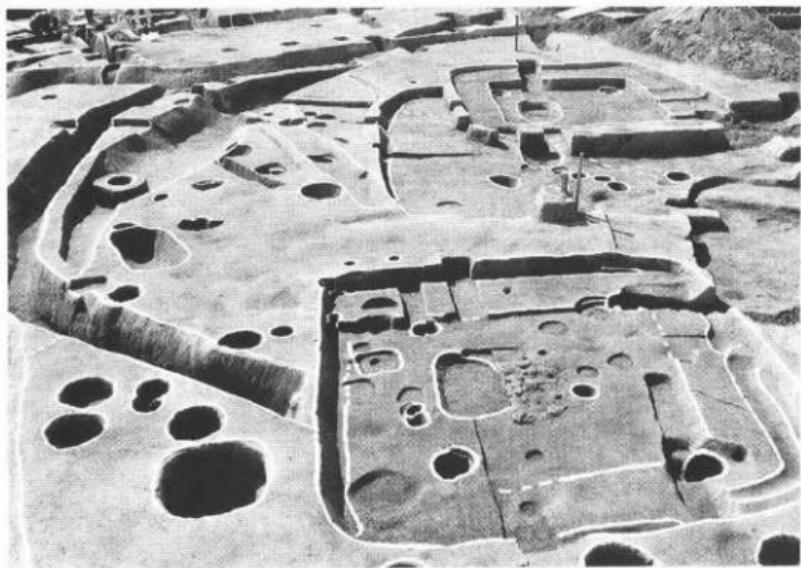
図版10



E区完掘状況 南東より



E区調査風景 (SH09・10付近、後方飯野山) 北東より

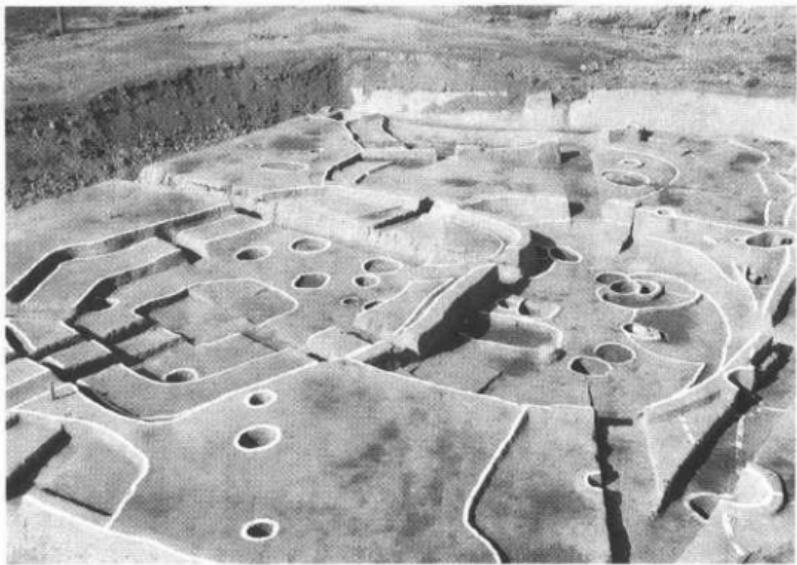


S H08・12・18、SD 030完掘状況 東より



F区完掘状況（後方山裾が川津東山田遺跡） 北より

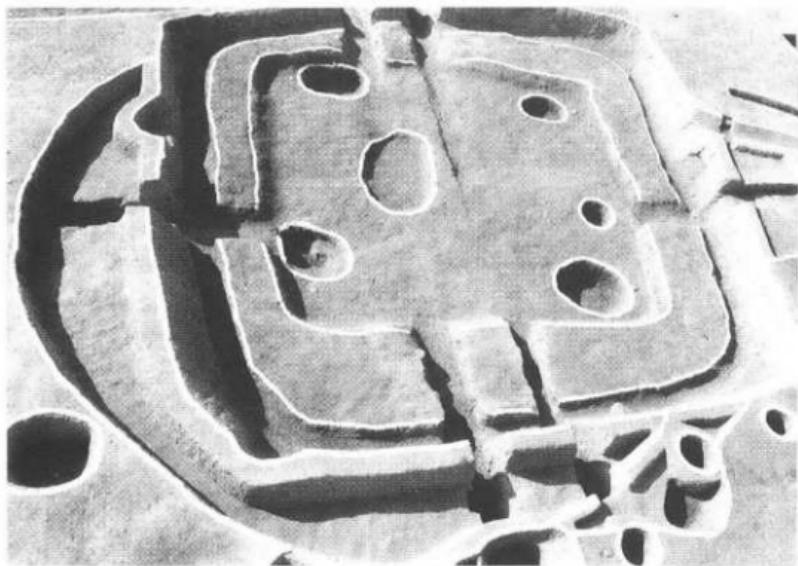
図版12



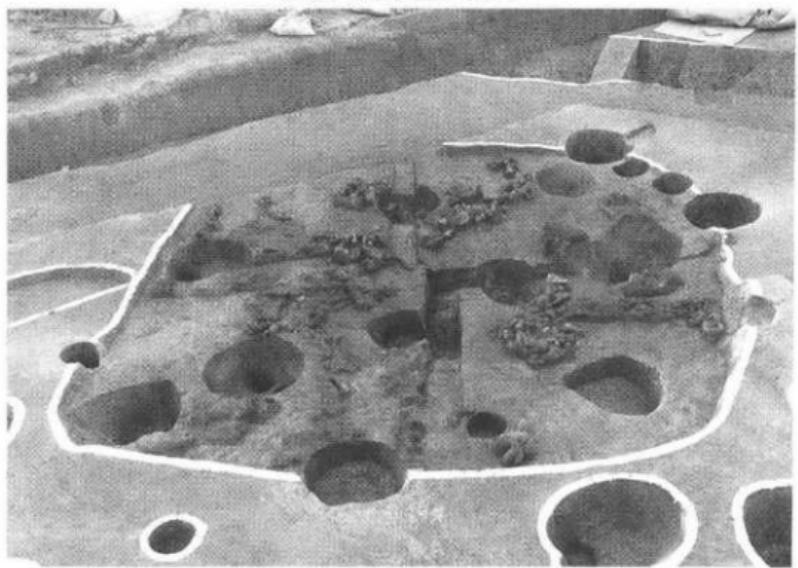
S H29・31・32・33完掘状況 南より



S H08・22完掘状況 北より

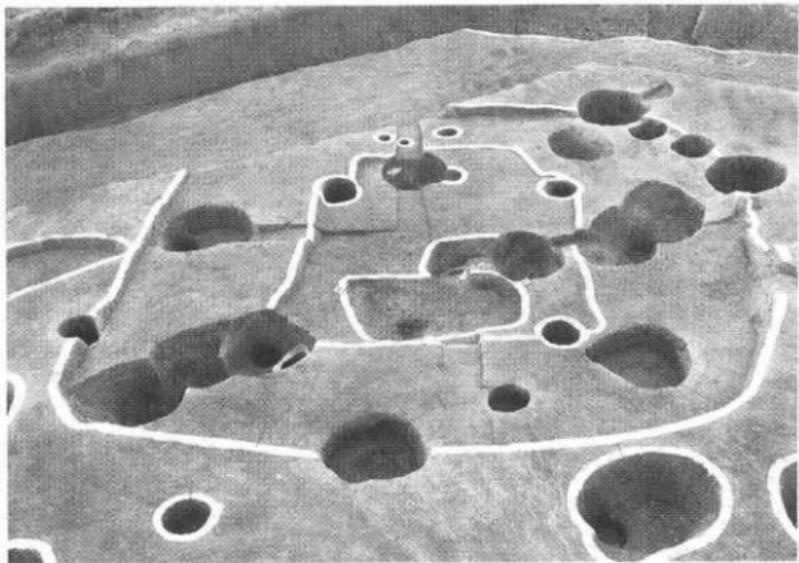


S H09・10発掘状況 東より

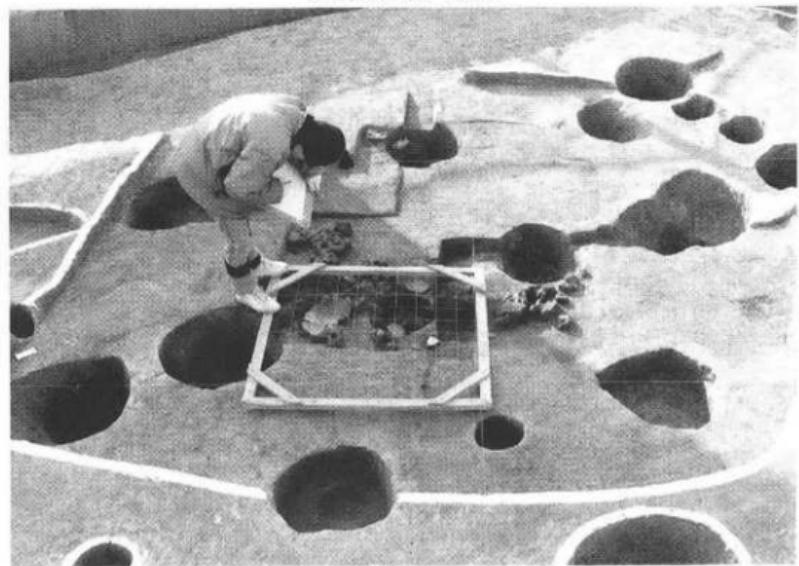


S H20炭化材・焼土等検出状況 東より

図版14



S H 20発掘状況 東より



S H 20調査風景 東より

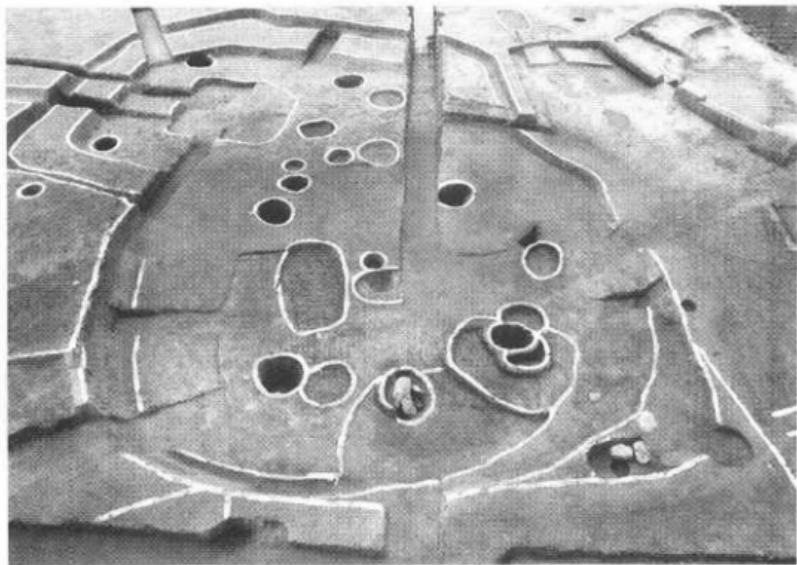


S H25南東主柱穴根石検出状況 北より



S H27完掘状況 北西より

図版16



S H29完掘状況 東より



S P 0431E詰め石・土器検出状況



S K 09土器出土状況 西より



S E 01木材・石等検出状況

図版18



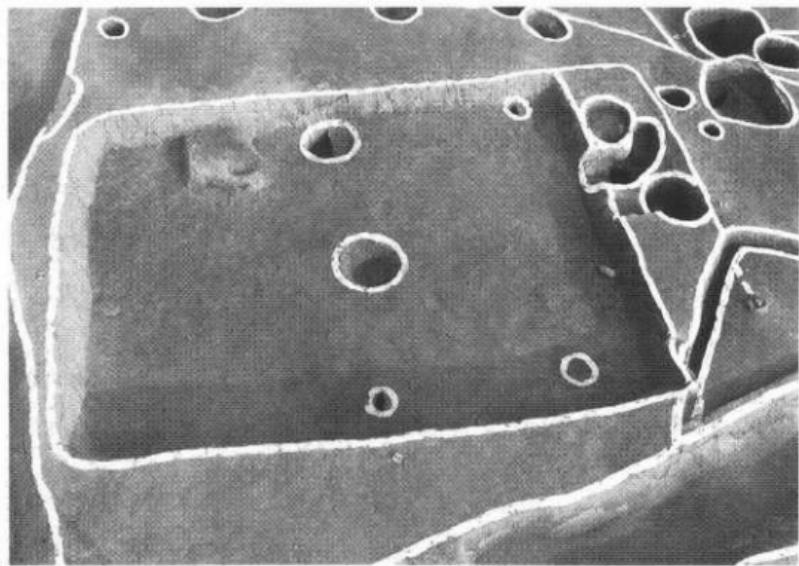
SD030土層断面③疊積み上げ検出状況 北より



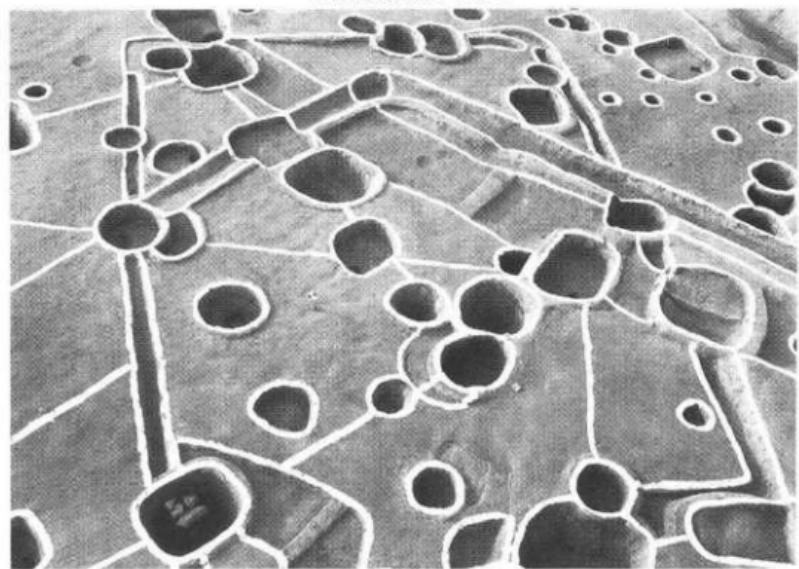
SD030上層土器出土状況（D24付近） 東より



C・D区包含層落ち込み検出土器群

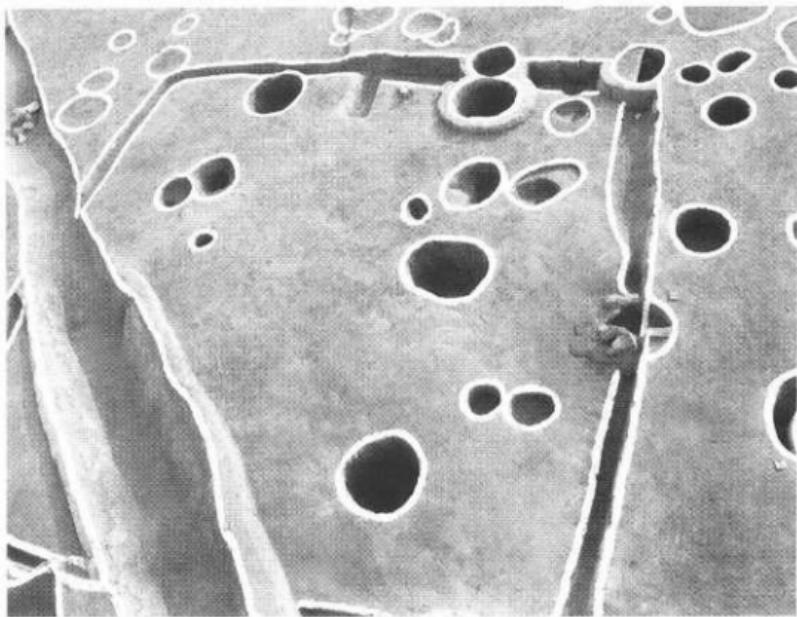


S H02完掘状況 西より



S H04完掘状況 東より

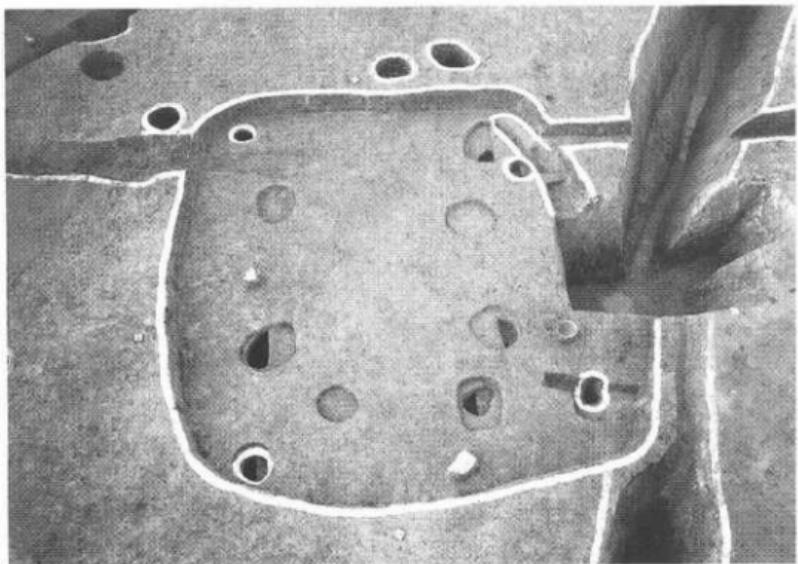
図版20



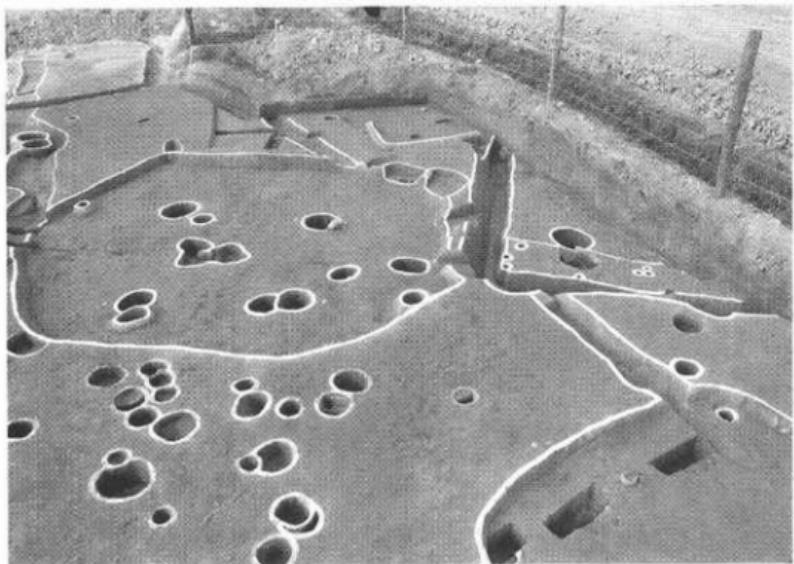
S H03完掘状況 北より



S H03竪部土器検出状況 南より



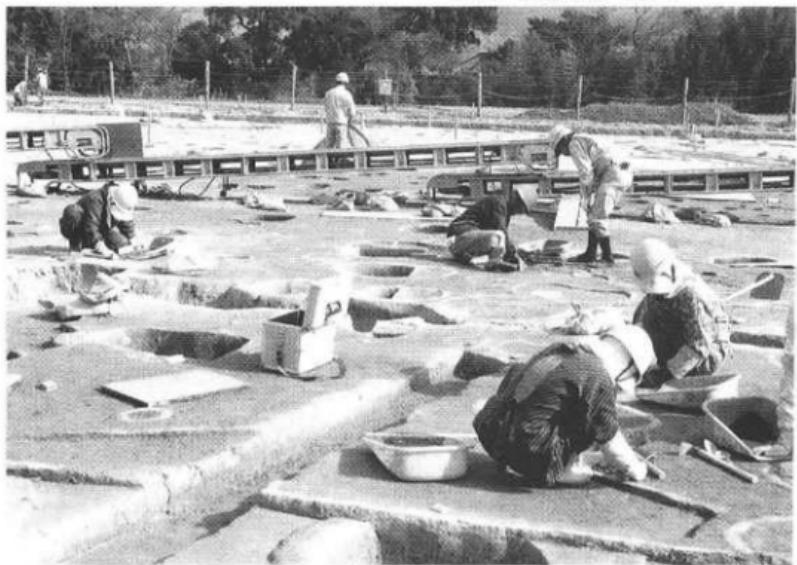
SH11完掘状況 南東より



SH12・15・16・17完掘状況 東より



S H 15・16完掘状況 西より



E区調査風景 西より